

令和6年度

主要施策成果報告書

豊橋市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和6年度一般会計および特別会計における主要な施策の成果について、その概要を次のとおり報告いたします。

## 目 次

I	決算の概要	
1.	概 況	3
2.	各会計決算集計表	6
3.	各基金年度末現在高	8
4.	各会計地方債年度末現在高	9
5.	職員の状況	10
6.	財政指標の状況（普通会計）	10
7.	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標	10
II	一般会計	
1.	歳入の状況	12
2.	歳出の状況	20
3.	主要な施策の成果	33
	総 務 費	33
	民 生 費	96
	衛 生 費	146
	労 働 費	189
	農 林 水 産 業 費	195
	商 工 費	214
	土 木 費	230
	消 防 費	271
	教 育 費	278
	災 害 復 旧 費	339
III	特別会計	
	競 輪 事 業	344
	国民健康保険事業	346
	総合動植物公園事業	349
	公共駐車場事業	352
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	353
	後期高齢者医療	354

(注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

# I 決算の概要

## 1. 概況

令和6年度は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されて以降、経済は緩やかな回復基調となり、企業収益は過去最高を記録するなど好調さを維持している一方で、急速な円安の進行を一因とした物価上昇に対して国民の賃金や所得の伸びが追いつかない状況が続いた。こうした中、国は「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を実施し、賃上げと投資が牽引する成長型経済への移行を確実にすることをめざすとともに、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済の実現を図った。

本市においては、物価高騰対策の補正予算を編成して対応するとともに、第6次豊橋市総合計画に掲げる「未来を担う人を育むまち・豊橋」の実現に向け、「分野別計画」における諸施策を着実に実施した。

### (1) 重点的に取り組んだ主な内容

#### ○ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

子育て世帯への支援のため、学校給食費の半額軽減及び食物アレルギーにより給食を喫食していない児童生徒の保護者等に対する助成を行うことで経済的負担を軽減したほか、子ども連れが安心して電車やバスを利用できるよう講座を実施した。

また、保育士の確保について、保育補助者の雇用に対する助成をモデル的に実施したほか、園舎が老朽化している新吉保育園の保育環境や保育機能を向上するため、つつじが丘校区への移転整備工事を実施した。

さらに、学校教育の推進として、愛知県が進める「ラーケーションの日」に係る校務支援員を全校配置するとともに、学級数の多い小中学校に新たに教員業務支援員を配置した。また、小中学校等の体育館及び武道場への空調整備に向けた調査を行うなど、教育環境の充実を図った。

#### ○ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち

産業人材の育成支援として、人材育成に関する相談窓口の開設や専門家による伴走支援、学びの意識を醸成する交流の場の創出等を一体的に実施することにより、リスキリングを中心とした新たな学びの仕組みを構築した。

農業振興では、災害に強い産地形成に向けた取組みや配合飼料価格安定制度積立金等への助成により、厳しい経営環境におかれながらも営農継続に前向きに取り組む農業者を支援した。

商業振興では、様々な融資制度により物価高やコロナ禍の影響が残る事業者を支援するとともに、業態転換等を行う取組みに対する助成制度を拡充し、中小企業の新たなチャレンジを後押しした。

また、現在整備中の「豊橋新城スマート I C (仮称)」を契機に本市及び北部地域の活性化をめざし、地域住民と共に本地域のまちづくりについて検討を進めた。

#### ○ 命の安全、心の安心が確保されたまち

消防防災体制では、令和5年6月の大雨被害を踏まえ、水没車両救助訓練をはじめとした実際の災害に近い形で水防訓練を実施したほか、水上オートバイの増強及び資機材搬送車の整備により水難救助体制を強化した。また、救急需要が集中する日中に活動する日勤救急隊を増隊するとともに、救急需要予測システムを活用し、救急車の最適配置に取り組むなど救急救命体制を強化した。

動物愛護では、「豊橋市動物愛護センター」の建設に着手した。また、動物用の医療機器等に活用するためのクラウドファンディング型のふるさと納税を実施した結果、目標額を超える寄附を得ることができた。

#### ○ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

社会福祉では、複合的な課題を抱える世帯等を包括的に支援するため、支援の中核を担う福祉相談サポートセンターの相談支援員を増員したほか、認知症本人とその家族を地域住民や関係機関が一体となって支える仕組み「チームオレンジ」を発足した。

予防歯科の推進として、受診勧奨対象年齢に20歳、30歳を加えるとともに、25歳、35歳の方には、無料の歯周病検診を実施した。さらに、キャッチアップ期間が終了する年代を中心に女性の子宮頸がんのワクチン接種を促進したほか、市独自で男性のHPVワクチン接種への助成を開始した。

市民病院では、スーパー I C U (集中治療室) の設置や救急入院センターの南病棟への移設などの改修工事に着手するとともに、外来治療センターの拡充に向けた実施設計を行った。

○ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

スポーツ振興では、2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に向け、施設機能向上を図るため、総合体育館の改修工事に着手するとともに、市民球場のスコアボードを更新したほか、施設改修の実施設計を行った。

文化・芸術振興では、豊橋市民文化会館の改修工事に着手するとともに、二川宿本陣資料館のリニューアルオープンに合わせて、企画展を開催するなど、地域の芸術や歴史文化を発信した。

○ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

まちなかの活性化では、商業機能の再生や都心居住等を促すため、豊橋広小路一丁目北地区の市街地再開発事業を支援した。また、まちのブランド化として、漫画「だもんで豊橋が好きって言うてるじゃん！」や吉本芸人による笑いの力など、コンテンツを活用したプロモーションなどを通じ、市の魅力を効果的に発信したほか、アニメ化された小説「負けヒロインが多すぎる！」と連携し、イベント等のPRを実施した。

観光振興として、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）と連携し、「モンスターハンター」などのコンテンツを活用した誘客活動を行うことで、新たな観光需要を創出した。

○ 自然と共生し、地球環境を大切にすまち

脱炭素社会の実現に向け、地区体育館等のスポーツ施設のLED化を重点的に進めるとともに、PPA事業の手法により、保健所・保健センター等に太陽光発電設備を導入した。

資源循環推進では、充電式電池の分別回収等を開始するとともに、ごみ収集作業の効率化のためのデジタル化に着手した。また、豊橋市と田原市で広域処理を行う新しいごみ処理施設の建設については、現施設の安定稼働に留意しながら、計画的かつ安全に整備を進めた。

緑の環境づくりでは、グリーンスポーツセンター跡地について、既存の自然を生かしながら紅葉が楽しめる公園整備に着手した。

○ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

幹線道路の整備では、「豊橋新城スマートIC（仮称）」において、早期開通をめざし、用地取得及び橋梁下部工事等を進めるとともに、橋梁上部工事に着手した。

公共交通の維持・活性化では、路線バスの交通系ICカードの導入や鉄軌道の施設改修に対する助成を行ったほか、慢性的な運転士不足への対応として、運転士確保支援事業の実施や今後の自動運転バスの社会実装に向けた実証走行を行った。

○ その他

市民の利便性向上と業務効率化を一体的に推進するため、デジタル技術を活用した業務改革を行うとともに、職員デジタル人材を育成するため、生成AIの活用や動画配信など時代に応じたスキルの取得をめざす研修を実施した。

国の経済対策に対応し、所得税・住民税の定額減税や、定額減税補足給付金、住民税非課税世帯等支援給付金の給付を行った。

(2) 一般会計の決算

歳入 1,532億 7,913万円に対し、歳出は 1,511億 6,371万円で、歳入歳出の差引額（形式収支）は 21億 1,542万円となった。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 5億 5,779万円を差し引いた実質収支は 15億 5,763万円となり、前年度と比較して 12億 9,247万円減少した。また、7億 8,000万円を財政調整基金へ繰り入れることとした。

○ 歳入の状況

市税決算額は 648億 8,322万円で、前年度と比較して 1.9%、12億 5,967万円の減となった。市税のうち法人市民税は、コロナ禍からの経済回復や自動車産業の車両生産の回復等により 4.9%、1億 6,421万円の増となったものの、個人市民税は、国の施策である定額減税の影響により 6.4%、15億 1,585万円の減となった。

また、交付金等については、地方特例交付金が定額減税による市税の減収分として交付される個人住民税減収補てん特例交付金により 4.4倍、16億 8,795万円増の 21億 8,413万円となったほか、地方消費税交付金が 4.9%、4億 5,269万円増の 96億 4,038万円、法人事業税交付金が 32.7%、3億 9,800万円増の 16億 1,655万円、株式等譲渡所得割交付金が 73.2%、3億 9,302万円増の 9億 3,015万円となった。

地方交付税は、普通交付税が 4年連続の交付となり、前年度と比較して 2.4倍、9億 4,031万円増の 16億 2,985万円の交付、特別交付税は 0.2%、146万円増の 6億 4,114万円の交付となった。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が皆減になったものの、定額減税補足給付金給付事業費の皆増などにより、前年度と比較して0.1%、2,458万円増の303億7,014万円となった。

県支出金は、岩田総合球技場管理運営事業費が皆増になったものの、市街地再開発等事業費などの減により、前年度と比較して1.9%、2億1,101万円増の113億5,582万円となった。

繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金が皆減になったものの、職員退職手当基金繰入の皆増などにより、前年度と比較して41.3%、14億7,030万円増の50億3,090万円となった。

諸収入は、制度融資貸付金元金などが減になったものの、学校給食費収入や競輪事業特別会計からの繰入金などの増により、前年度と比較して36.1%、17億5,751万円増の66億2,509万円となった。

市債は、美術博物館整備事業や市街地再開発事業などが皆減になったものの、市民文化会館整備事業や公営住宅建設事業などの増により前年度と比較して14.1%、12億4,598万円増の100億9,208万円となった。

#### ○ 歳出の状況

人件費は236億2,730万円で、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給開始や、人事院勧告を踏まえた給料表の引き上げ、定年延長制度による2年に1度の職員退職手当の支給者数の増により、前年度と比較して12.2%、25億7,745万円の増となった。

物件費は215億2,800万円で、予防接種事業費や住民記録システム標準化に係る台帳記録事務費などが減になったものの、税総合システム標準化に伴う税務総務費共通事務費の増などにより前年度と比較して2.0%、4億2,310万円の増となった。

扶助費は425億7,114万円で、住民税非課税世帯等支援給付金事業費などが減となったものの、障害福祉サービス等給付費や児童手当給付費などの増により、前年度と比較して8.1%、31億7,229万円の増となった。

補助費等は144億5,503万円で、学校給食費物価高騰対策臨時支援給付事業費が皆減になったものの、定額減税補足給付金給付事業費の皆増などにより、前年度と比較して7.4%、9億9,453万円の増となった。

普通建設事業費は218億6,064万円で、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費や美術博物館整備事業費の皆減があったものの、ごみ処理施設整備等事業費や市立高等学校整備事業費の増などにより、前年度と比較して0.9%、1億9,162万円の増となった。

災害復旧事業費は1億7,660万円で、令和5年6月の大雨による漁港海岸施設災害応急復旧費の皆減や諸施設災害応急復旧費の減により、前年度と比較して61.6%、2億8,328万円の減となった。

公債費は98億9,478万円で、前年度と比較して1.1%、1億580万円の減となった。

繰出金は142億2,245万円で、国民健康保険事業で減となったものの、後期高齢者医療などの増により、前年度と比較して1.6%、2億2,025万円の増となった。

以上のことから、歳出合計では前年度対比4.7%、67億3,387万円の増となった。

なお、歳出予算総額1,706億2,504万円と歳出決算額との差額194億6,133万円から翌年度繰越額120億6,515万円を除いた不用額は、負担金、補助及び交付金の20億9,900万円、委託料の11億3,517万円をはじめとして、一般会計全体で73億9,617万円となった。

#### (3) 特別会計の決算

決算規模は6会計の合計で歳入833億8,760万円、歳出819億9,706万円で、歳入歳出の差引額は13億9,053万円となった。

#### (4) 財政指標

経常収支比率は、経常一般財源収入が増加したものの、扶助費や人件費など経常経費充当一般財源が増加したため、前年度の90.0%から92.0%へと2.0ポイント増加した。

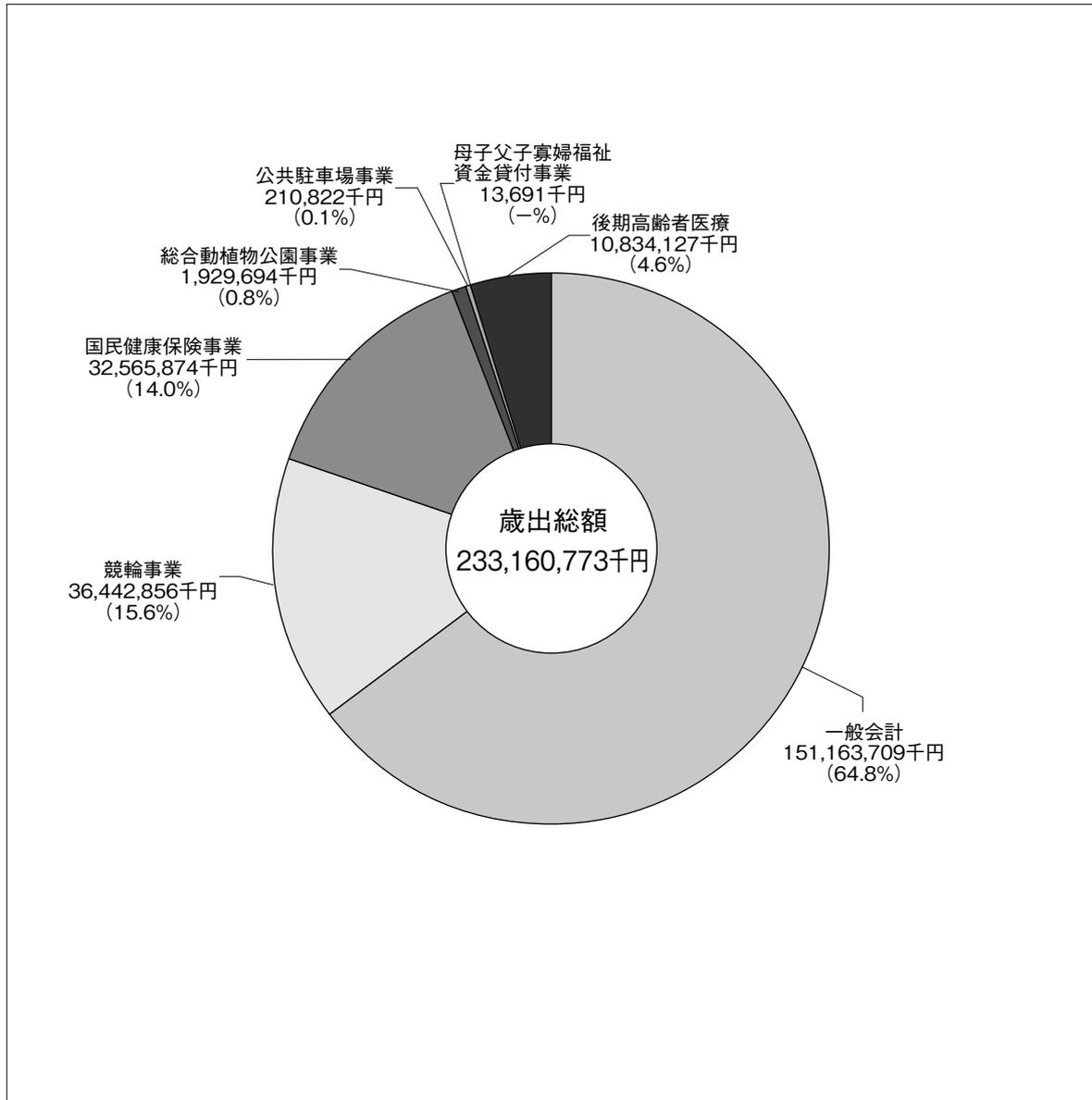
また、実質公債費比率は、標準財政規模が増加するとともに、公営企業の元利償還金などの減少により、単年度の数値では0.1ポイント改善したものの、令和3年度の数値に比べ令和6年度の数値が高かったため、過去3か年平均値は5.1%から5.7%へと0.6ポイント増加した。将来負担比率は、標準財政規模が増加したものの、基準財政需要額算入見込額や充当可能基金が減少したことにより、前年度の27.1%から27.5%へと0.4ポイント増加した。いずれも早期健全化基準等を大きく下回っているものの、引き続き、歳出の見直しと財源確保に取り組むとともに、将来負担の適正化を見据えた財政運営に努める。

## 2. 各会計決算集計表

単位：千円

会計名	最終予算額	決算額			翌年度に繰越すべき財源	翌年度繰上充用額	実質収支額 (差引純繰越額)	
		歳入	歳出	差引額				
一般会計	170,625,035	153,279,132	151,163,709	2,115,424	557,790	0	1,557,634	
特別会計	競輪事業	36,918,000	36,625,584	36,442,856	182,728	0	0	182,728
	国民健康保険事業	33,651,712	33,733,882	32,565,874	1,168,008	0	0	1,168,008
	総合動植物公園事業	2,129,210	1,929,694	1,929,694	0	0	0	0
	公共駐車場事業	225,000	232,104	210,822	21,281	0	0	21,281
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	23,000	20,934	13,691	7,243	0	0	7,243
	後期高齢者医療	11,076,627	10,845,398	10,834,127	11,271	0	0	11,271
小計	84,023,549	83,387,596	81,997,064	1,390,532	0	0	1,390,532	
合計	254,648,584	236,666,728	233,160,773	3,505,956	557,790	0	2,948,166	

# 各会計決算集計表 (歳出)



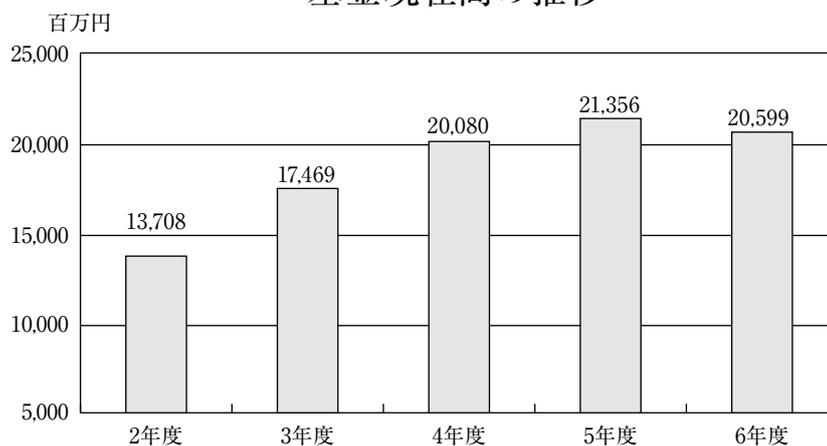
### 3. 各基金年度末現在高

単位：千円

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一 般 会 計	財政調整基金	5,298,163	7,673,704	9,149,359	8,168,967	6,200,510
	減債基金	347,475	339,741	332,303	603,244	824,375
	職員退職手当基金	—	—	—	726,400	587,111
	新型コロナウイルス感染症対策基金	215,130	110,000	0	0	—
	ふるさと基金	79,820	82,967	108,007	147,722	542,924
	公共施設等整備基金	866,188	1,120,838	1,531,457	2,183,042	2,321,212
	文化振興基金	38,621	38,637	38,677	38,729	38,769
	丸山薫現代詩振興基金	10,005	9,357	8,841	8,175	7,682
	スポーツ振興基金	38,630	38,630	38,630	38,630	38,630
	市民協働推進基金	16,877	16,643	16,701	18,093	17,028
	福祉振興基金	229,858	230,158	230,458	233,058	234,158
	河原福祉基金	42,976	40,375	25,084	20,559	14,894
	高齢者福祉・医療振興基金	—	224,377	212,168	211,440	210,970
	環境活動振興基金	1,715	3,257	2,063	6,577	4,903
	森林環境譲与税基金	49,961	81,601	113,856	9,632	28,726
	未来産業支援基金	2,609,770	2,607,398	2,510,847	2,358,596	2,171,683
	つつじが丘校区地域振興基金	176,924	177,058	171,958	101,755	0
	地域公共交通活性化基金	3,258	3,414	3,574	3,737	3,905
	教育振興基金	28,812	28,919	29,022	29,150	29,278
	豊橋市立野依小学校等環境整備基金	—	171,003	20,284	20,475	20,554
	小・中学校読書活動振興基金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	司文庫基金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	星野眞吾・高畑郁子美術振興基金	415,904	406,618	408,411	580,565	569,001
	美術博物館資料取得等基金	—	—	70,000	55,459	54,296
特 別 会 計	競輪事業財政調整基金	587,235	587,678	588,641	590,010	592,279
	競輪事業施設等整備基金	1,107,981	1,923,651	2,867,314	3,573,375	4,701,639
	国民健康保険事業財政調整基金	500,973	501,352	501,951	503,075	504,369
	豊橋総合動植物公園整備基金	49,767	65,275	76,998	89,559	86,774
	公共駐車場事業基金	249,774	244,018	281,458	294,463	350,998
土地開発基金	600,000	600,000	600,000	600,000	300,000	
収入印紙購入基金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
合 計	13,707,816	17,468,670	20,080,061	21,356,489	20,598,668	

※年度末現在高については出納整理期間における収入、支出を含んだ数値を記載している。また、会計等については、令和6年度に経理した区分である。

#### 基金現在高の推移

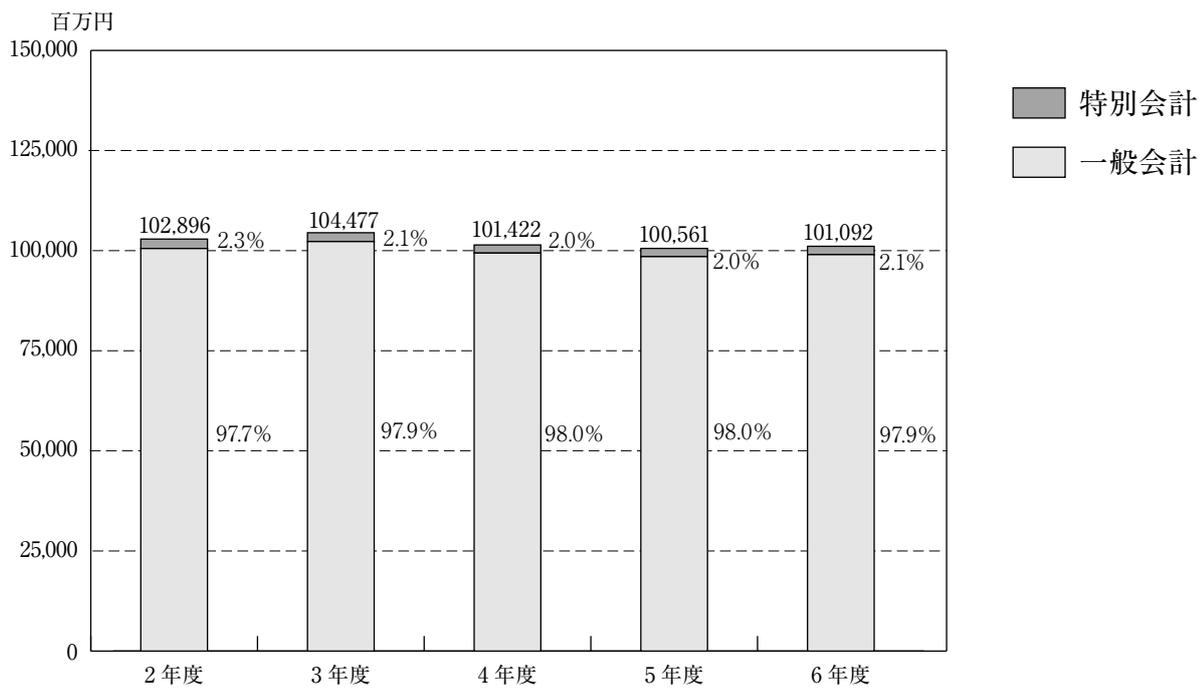


#### 4. 各会計地方債年度末現在高

単位：千円

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一 般 会 計		100,534,827	102,272,793	99,393,080	98,507,851	99,007,006
特 別 会 計	総 合 動 植 物 公 園 事 業	2,297,443	2,153,987	1,989,483	2,022,807	2,061,776
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 業 貸 付 事 業	63,698	50,094	39,927	29,896	23,205
小 計		2,361,141	2,204,081	2,029,410	2,052,703	2,084,981
合 計		102,895,968	104,476,874	101,422,490	100,560,554	101,091,987

#### 地方債現在高の推移



## 5. 職員の状況

単位：人

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計	2,166	2,179	2,198	2,234	2,292
特別会計	107	110	112	113	113
合計	2,273	2,289	2,310	2,347	2,405

職員数は4月1日現在

## 6. 財政指標の状況（普通会計）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常収支比率（%）	87.6	87.2	89.4	90.0	92.0	
自主財源比率（%）	45.1	51.4	54.8	55.7	53.6	
財政力指数	単年度	1.012	0.974	0.983	0.988	0.974
	3か年平均	1.000	0.995	0.990	0.982	0.982

## 7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標

〔健全化判断比率〕

単位：%

区 分	早期健全化基準 (本市における基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実質赤字比率	11.25以下	実質赤字額なし (6.40)	実質赤字額なし (6.96)	実質赤字額なし (5.58)	実質赤字額なし (3.76)	実質赤字額なし (1.99)
連結実質赤字比率	16.25以下	実質赤字額なし (27.27)	実質赤字額なし (33.64)	実質赤字額なし (34.66)	実質赤字額なし (31.26)	実質赤字額なし (24.44)
実質公債費比率	25.0以下	3.8	3.8	4.4	5.1	5.7
将来負担比率	350.0以下	42.4	33.3	27.8	27.1	27.5

( ) は黒字比率を記載

〔資金不足比率〕

単位：%

区 分	経営健全化基準	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水道事業会計	20.0以下	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
下水道事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
病院事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
総合動植物公園事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし

## Ⅱ 一般會計

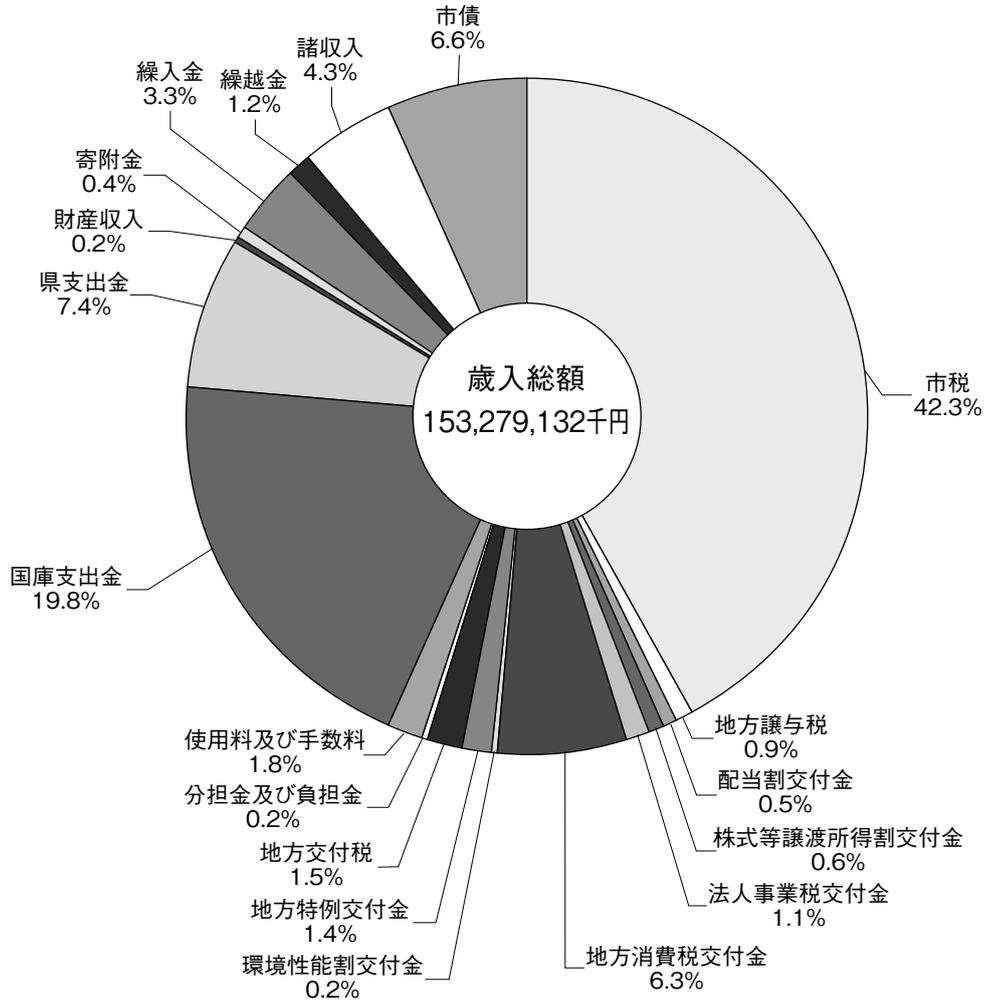
# 1. 歳入の状況

## 一般会計款別決算状況（歳入）

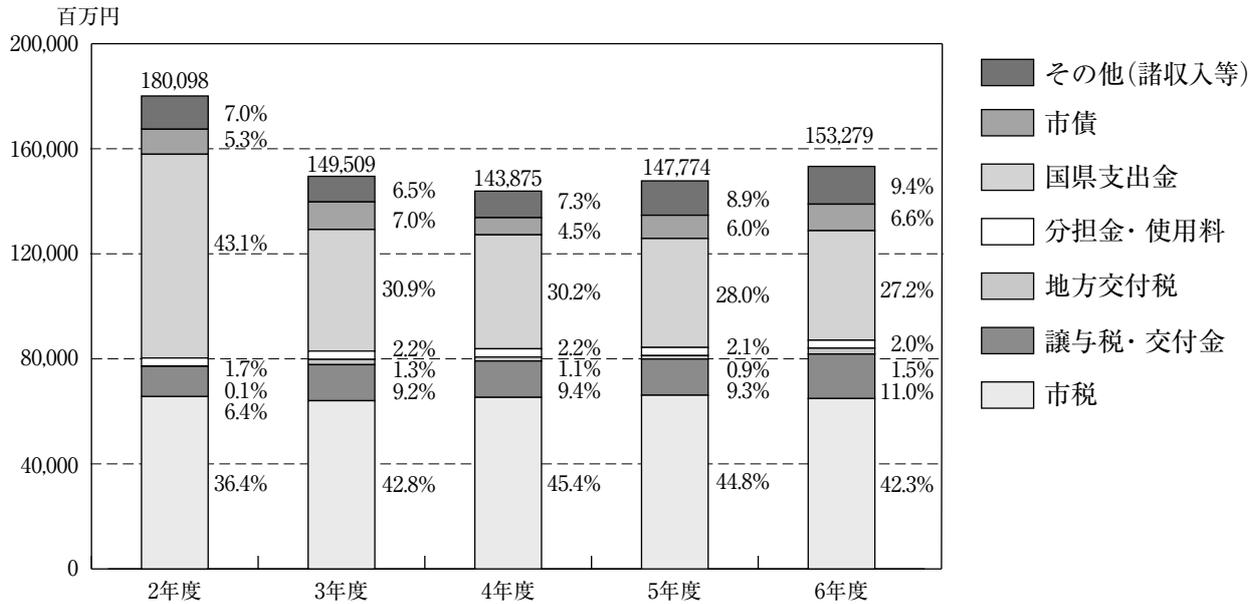
単位：千円、%

区 分	令和5年度			令和6年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 税	66,142,894	44.8	1.3	64,883,224	42.3	△ 1.9
2 地 方 譲 与 税	1,417,046	1.0	2.3	1,389,600	0.9	△ 1.9
3 利 子 割 交 付 金	25,167	—	△ 3.0	34,160	—	35.7
4 配 当 割 交 付 金	522,157	0.4	14.8	700,217	0.5	34.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	537,133	0.4	71.7	930,148	0.6	73.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	1,218,553	0.8	8.4	1,616,552	1.1	32.7
7 地 方 消 費 税 交 付 金	9,187,687	6.2	△ 1.1	9,640,377	6.3	4.9
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	2,458	—	144.6倍	18,290	—	7.4倍
9 環 境 性 能 割 交 付 金	307,748	0.2	8.0	356,589	0.2	15.9
10 国 有 提 供 施 設 等 金 所 在 市 助 成 交 付 金	3,999	—	1.2	4,079	—	2.0
11 地 方 特 例 交 付 金	496,179	0.3	△ 3.1	2,184,130	1.4	4.4倍
12 地 方 交 付 税	1,329,223	0.9	△ 12.6	2,270,990	1.5	70.9
13 交 通 安 全 対 策 金 特 別 交 付 金	53,031	—	△ 16.6	46,478	—	△ 12.4
14 分 担 金 及 び 負 担 金	271,206	0.2	△ 17.5	245,958	0.2	△ 9.3
15 使 用 料 及 び 手 数 料	2,822,247	1.9	0.5	2,763,000	1.8	△ 2.1
16 国 庫 支 出 金	30,345,559	20.5	△ 1.2	30,370,137	19.8	0.1
17 県 支 出 金	11,144,804	7.5	△ 12.0	11,355,815	7.4	1.9
18 財 産 収 入	778,462	0.5	40.3	264,113	0.2	△ 66.1
19 寄 附 金	353,899	0.2	49.6	543,210	0.4	53.5
20 繰 入 金	3,560,592	2.4	2.2倍	5,030,895	3.3	41.3
21 繰 越 金	3,540,100	2.4	4.3	1,913,995	1.2	△ 45.9
22 諸 収 入	4,867,585	3.3	4.0	6,625,094	4.3	36.1
23 市 債	8,846,100	6.0	35.4	10,092,081	6.6	14.1
合 計	147,773,830	100	2.7	153,279,132	100	3.7

# 一般会計款別決算状況（歳入）



## 款別決算状況の推移

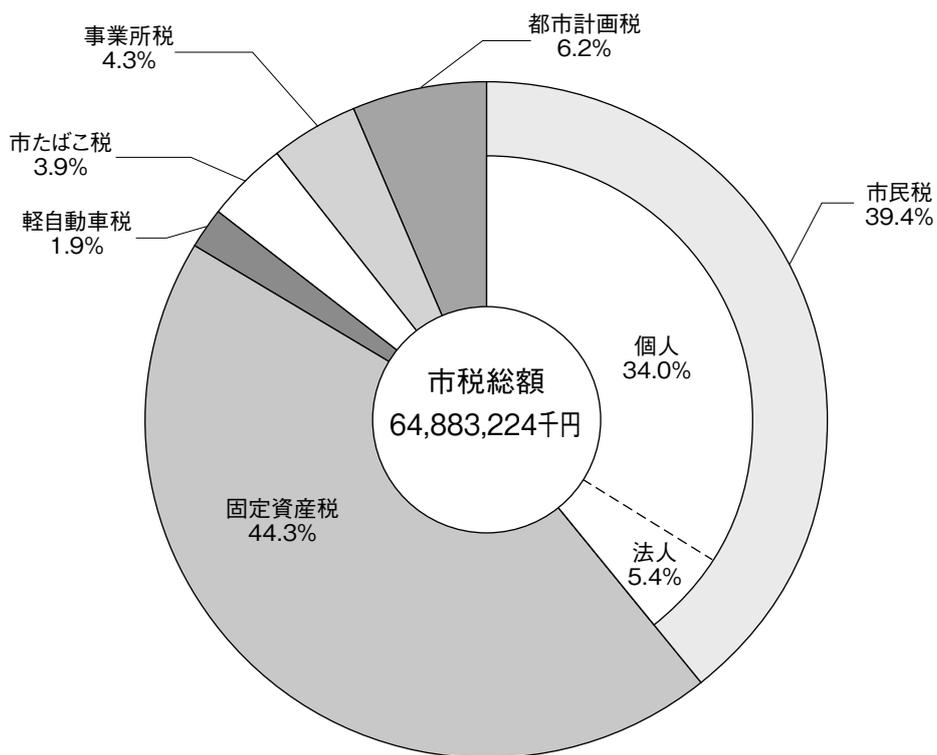


## 市 税 決 算 状 況

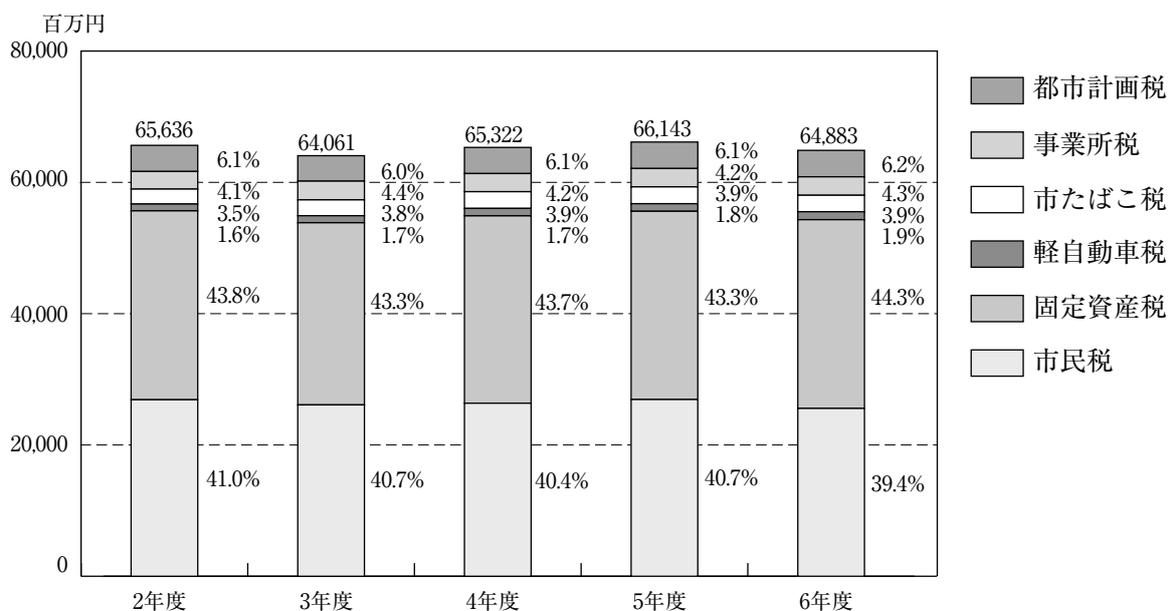
単位：千円、%

区 分	令和5年度			令和6年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 民 税	26,923,697	40.7	2.1	25,572,051	39.4	△ 5.0
(1) 個 人	23,600,891	35.7	2.3	22,085,038	34.0	△ 6.4
(2) 法 人	3,322,806	5.0	1.3	3,487,013	5.4	4.9
2 固 定 資 産 税	28,667,016	43.3	0.5	28,746,319	44.3	0.3
3 軽 自 動 車 税	1,160,921	1.8	2.3	1,211,845	1.9	4.4
4 市 た ば こ 税	2,561,298	3.9	0.6	2,502,512	3.9	△ 2.3
5 事 業 所 税	2,795,870	4.2	1.2	2,811,047	4.3	0.5
6 都 市 計 画 税	4,032,721	6.1	1.3	4,029,325	6.2	△ 0.1
7 鉦 産 税	136	—	△ 9.0	111	—	△ 18.8
8 入 湯 税	1,234	—	皆増	10,015	—	8.1倍
合 計	66,142,894	100	1.3	64,883,224	100	△ 1.9

## 市税決算状況



## 市税決算状況の推移



## 目的税（入湯税、事業所税及び都市計画税）の充当状況

### ・入湯税

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	入湯税
観 光 振 興	・まつり・イベント支援事業 ・観光プロモーション推進事業 など	450,978	5,278	0	10,252	435,448	10,015
合 計		450,978	5,278	0	10,252	435,448	10,015

### ・事業所税及び都市計画税

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	事業所税	都市計画税
保育所、社会福祉施設等整備	・法人保育所認定こども園整備費補助金 ・保健所・保健センター管理運営事業 など	1,148,503	357,645	416,100	102,205	272,554	92,666	0
火葬場整備	・斎場管理運営事業	44,584	0	0	0	44,584	15,158	0
廃棄物処理施設等整備	・ごみ焼却処理事業 ・豊橋田原ごみ処理施設整備事業 など	3,004,223	348,168	808,800	82,166	1,765,089	484,508	957,725
道路・橋梁、河川等整備	・道路舗装事業 ・交通安全施設改良事業 など	2,812,734	628,190	1,426,900	51,018	706,626	209,947	89,300
公園整備	・公園修繕事業 など	647,845	179,923	196,500	1,007	270,414	25,197	196,500
市街地整備	・牟呂坂津土地区画整理事業 ・牛川西部土地区画整理推進事業 ・柳生川南部土地区画整理推進事業 など	656,309	213,657	137,600	0	305,052	363	304,200
下水道整備	・雨水処理等負担金 ・下水道建設改良事業出資金	1,396,202	0	0	0	1,396,202	107,302	1,288,900
消防・防災施設等整備	・消防署所施設管理事業 など	302,723	19,344	208,900	0	74,479	25,322	0
教育・文化施設整備	・穂の国とよはし芸術劇場管理事業 ・美術博物館整備事業 など	2,470,946	5,268	981,200	0	1,484,478	504,709	0
公債費	・都市計画事業債等に係る元利償還金	4,737,783	0	0	0	4,737,783	1,205,322	1,192,700
徴税費	・課税事務費 など	4,108,681	634,294	0	368,887	3,105,500	140,552	0
合 計		21,330,532	2,386,489	4,176,000	605,283	14,162,760	2,811,047	4,029,325

## 森林環境譲与税の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
						森林環境譲与税基金繰入金	森林環境譲与税	
間 伐 等 の 森 林 整 備 関 係	・ 森林環境整備推進事業費	19,456	0	0	0	0	19,456	19,456
人 材 の 育 成 ・ 担 い 手 の 確 保	・ 森林管理事業費	622	0	0	0	0	622	622
木 材 利 用 ・ 普 及 啓 発	・ 観光施設維持管理事業費	15,083	0	0	0	0	15,083	15,083
基 金 積 立	・ 森林環境譲与税基金積立金	19,094	0	0	169	0	18,925	18,925
合 計		54,255	0	0	169	0	54,086	54,086

## 地方消費税交付金（消費税率引上げ分）の充当状況

消費税率が引き上げられたことに伴う地方消費税交付金の増収分の充当状況については、次のとおりです。

（歳入） 7款1項1目 地方消費税交付金

決算額 9,640,377 千円

うち、社会保障財源分 5,423,198 千円

（歳出） 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決 算 額	財 源 内 訳			
			国県支出金	そ の 他	一 般 財 源	うち、 引上げ分の 地方消費税
社会福祉	障害者福祉事業	15,188,585	10,045,513	2,110	5,140,962	949,643
	高齢者福祉事業	985,724	340,064	323	645,337	119,207
	児童福祉事業	23,393,787	13,179,212	703,394	9,511,181	1,756,913
	母子父子福祉事業	1,354,829	478,551	20	876,258	161,863
	生活保護事業	4,540,426	3,378,501	65,490	1,096,435	202,534
小 計		45,463,351	27,421,841	771,337	17,270,173	3,190,160
社会保険	国民健康保険事業	2,085,956	1,255,365	0	830,591	153,427
	介護保険事業	2,858,457	0	0	2,858,457	528,016
	高齢者医療事業	4,842,672	0	0	4,842,672	894,542
小 計		9,787,085	1,255,365	0	8,531,720	1,575,985
保健衛生	病院事業	1,355,032	0	0	1,355,032	250,304
	疾病予防対策事業	2,606,324	233,762	208,068	2,164,494	399,827
	医療提供体制確保事業	37,475	0	0	37,475	6,922
小 計		3,998,831	233,762	208,068	3,557,001	657,053
合 計		59,249,267	28,910,968	979,405	29,358,894	5,423,198



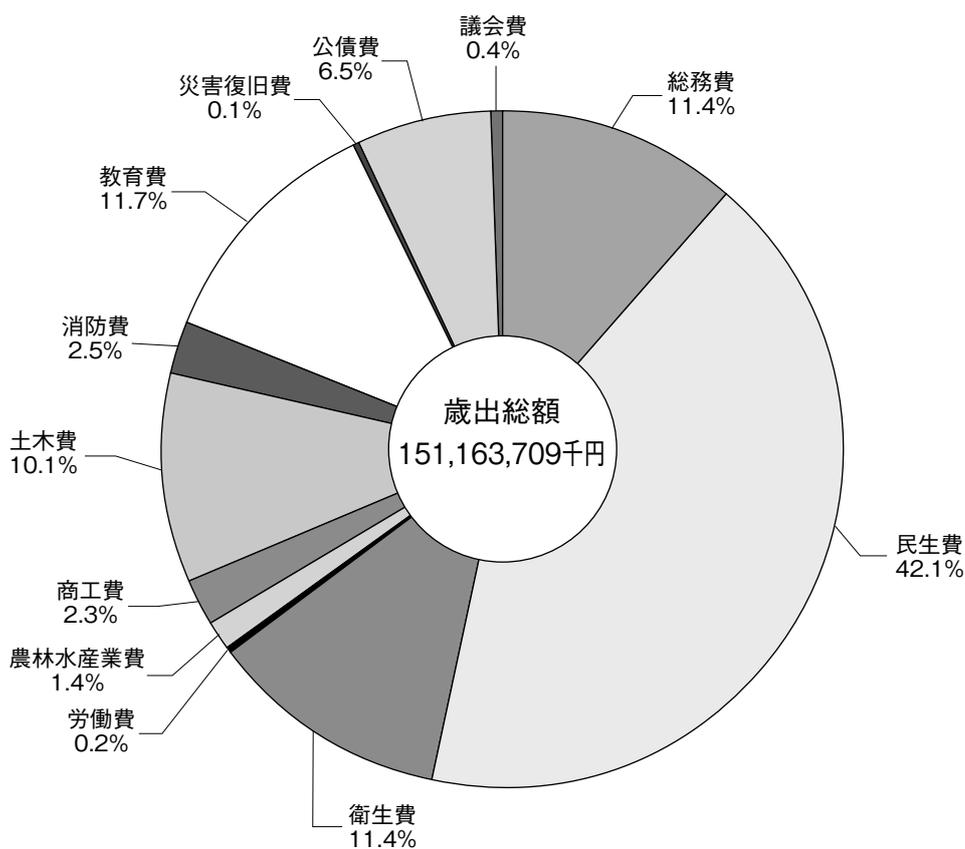
## 2. 歳出の状況

### 一般会計款別決算状況（歳出）

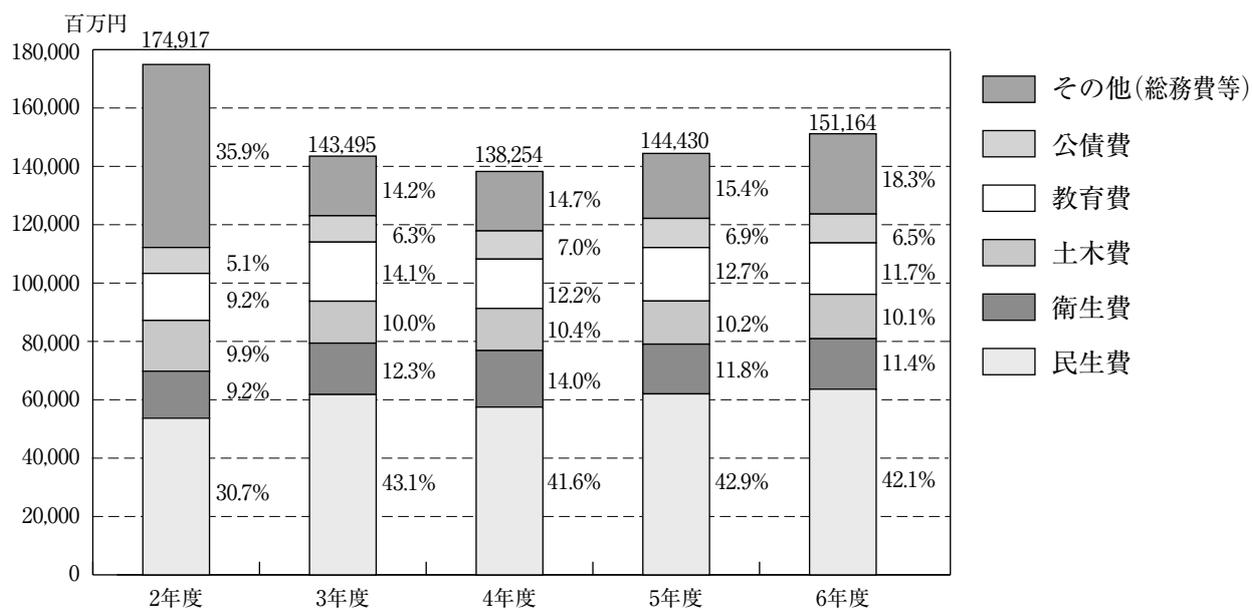
単位：千円、%

区 分	令和5年度			令和6年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 議 会 費	626,820	0.4	1.7	631,217	0.4	0.7
2 総 務 費	12,563,332	8.7	10.0	17,193,490	11.4	36.9
3 民 生 費	62,018,322	42.9	7.8	63,638,656	42.1	2.6
4 衛 生 費	17,053,797	11.8	△ 11.9	17,280,826	11.4	1.3
5 労 働 費	261,355	0.2	△ 8.4	267,731	0.2	2.4
6 農 林 水 産 業 費	2,021,135	1.4	12.5	2,053,149	1.4	1.6
7 商 工 費	2,947,109	2.0	6.3	3,403,501	2.3	15.5
8 土 木 費	14,774,365	10.2	2.3	15,225,764	10.1	3.1
9 消 防 費	3,385,493	2.3	△ 2.2	3,777,216	2.5	11.6
10 教 育 費	18,317,647	12.7	8.4	17,620,782	11.7	△ 3.8
11 災 害 復 旧 費	459,881	0.3	20.5倍	176,597	0.1	△ 61.6
12 公 債 費	10,000,578	6.9	3.4	9,894,779	6.5	△ 1.1
合 計	144,429,835	100	4.5	151,163,709	100	4.7

## 一般会計款別決算状況（歳出）



## 款別決算状況の推移

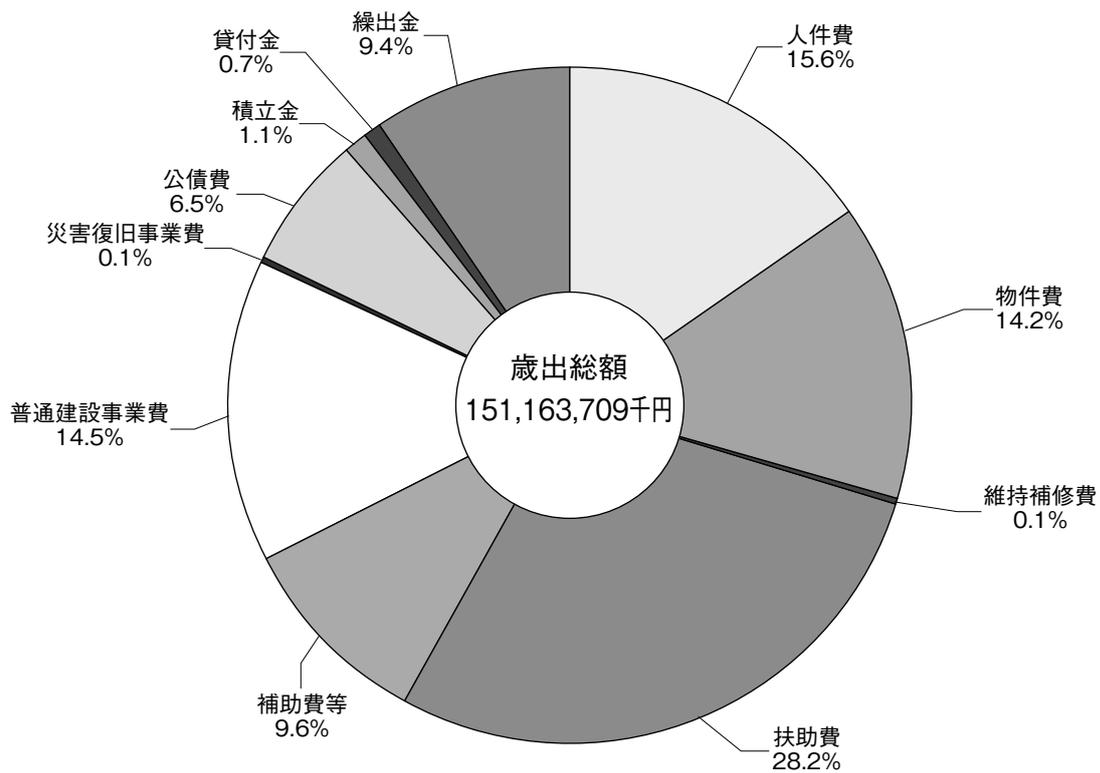


一般会計性質別決算状況（歳出）

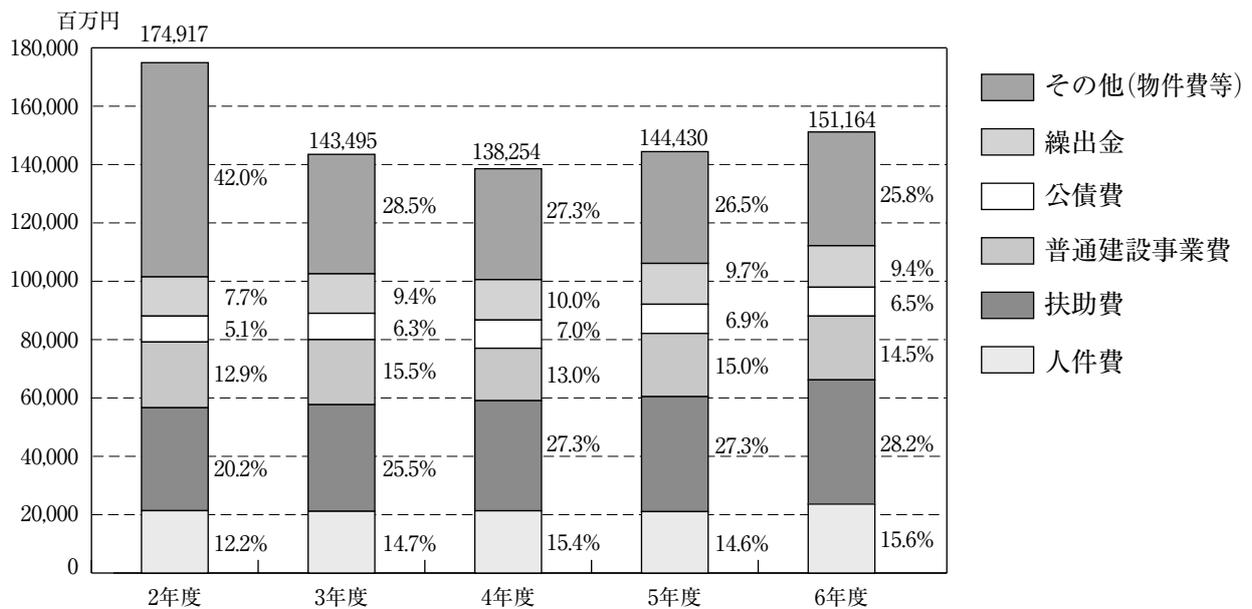
単位：千円、%

区 分	令和5年度			令和6年度			
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率	
1 人 件 費	21,049,842	14.6	△ 1.3	23,627,297	15.6	12.2	
2 物 件 費	21,104,892	14.6	△ 2.3	21,527,997	14.2	2.0	
3 維 持 補 修 費	107,493	0.1	3.4	87,904	0.1	△ 18.2	
4 扶 助 費	39,398,851	27.3	4.4	42,571,142	28.2	8.1	
5 補 助 費 等	13,460,497	9.3	△ 4.8	14,455,027	9.6	7.4	
6 普 通 建 設 事 業 費	21,669,016	15.0	20.6	21,860,641	14.5	0.9	
内 訳	補 助 事 業 費	9,646,704	6.7	9.0	8,539,684	5.6	△ 11.5
	単 独 事 業 費	11,438,598	7.9	31.8	12,785,673	8.5	11.8
	県 営 事 業 負 担 金	583,714	0.4	30.7	535,284	0.4	△ 8.3
7 災 害 復 旧 事 業 費	459,881	0.3	20.5倍	176,597	0.1	△ 61.6	
8 公 債 費	10,000,578	6.9	3.4	9,894,779	6.5	△ 1.1	
9 積 立 金	2,017,783	1.4	3.2倍	1,653,077	1.1	△ 18.1	
10 投 資 及 び 出 資 金	300	—	0.0	300	—	0.0	
11 貸 付 金	1,158,500	0.8	△ 2.7	1,086,500	0.7	△ 6.2	
12 繰 出 金	14,002,202	9.7	1.1	14,222,449	9.4	1.6	
合 計	144,429,835	100	4.5	151,163,709	100	4.7	

## 一般会計性質別決算状況（歳出）



## 性質別決算状況の推移

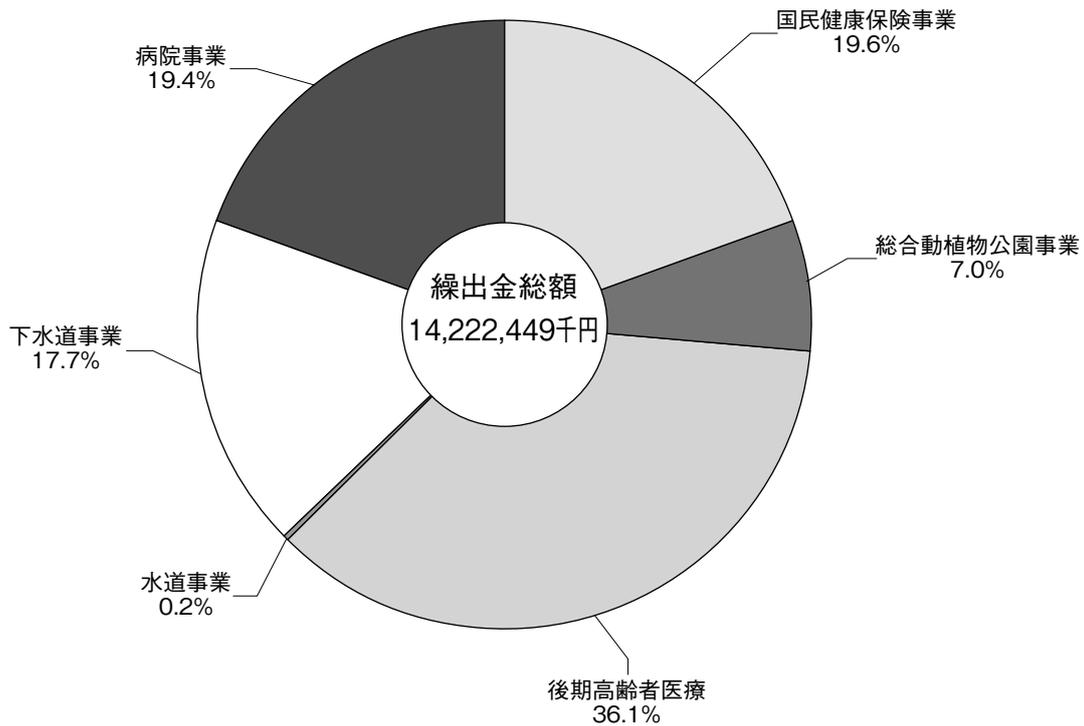


## 他会計への繰出金決算状況

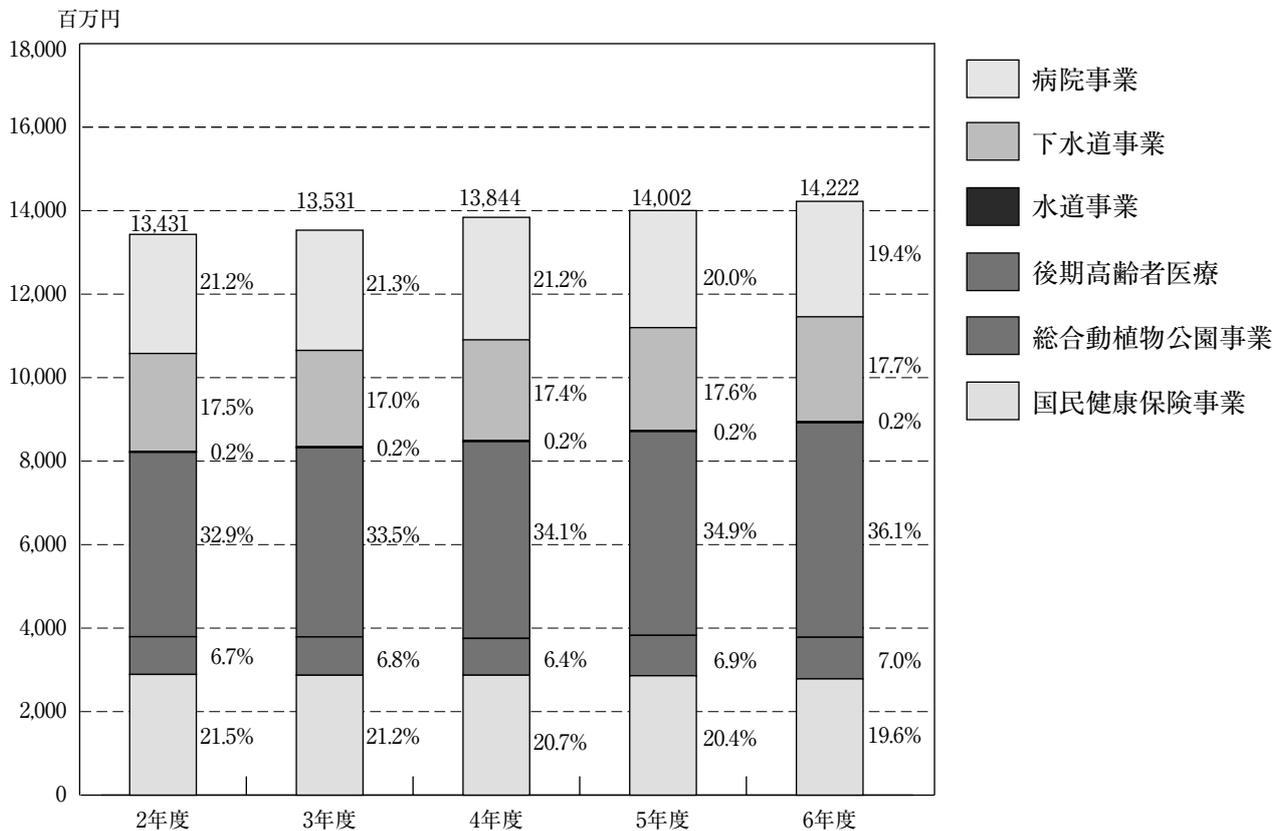
単位：千円、%

区 分		令和5年度			令和6年度		
		決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
特別会計	国民健康保険事業	2,858,979	20.4	△ 0.4	2,784,386	19.6	△ 2.6
	総合動植物公園事業	966,182	6.9	9.8	995,334	7.0	3.0
	公共駐車場事業	—	—	皆減	—	—	—
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	113	—	△ 95.6	1,066	—	9.4倍
	後期高齢者医療	4,882,598	34.9	3.6	5,138,519	36.1	5.2
	小 計	8,707,872	62.2	2.8	8,919,305	62.7	2.4
企業会計	水道事業	28,347	0.2	10.7	26,631	0.2	△ 6.1
	児童手当費負担金	6,352	—	△ 8.4	7,707	0.1	21.3
	消火栓設置等負担金	21,995	0.2	17.8	18,924	0.1	△ 14.0
	下水道事業	2,462,232	17.6	2.0	2,511,570	17.7	2.0
	雨水処理等負担金	1,818,698	13.0	3.0	1,873,336	13.2	3.0
	児童手当費負担金	7,772	0.1	13.9	8,924	0.1	14.8
	下水道建設改良事業出資金	37,585	0.3	△ 44.0	32,071	0.2	△ 14.7
	バイオマス活用センター負担金	375,530	2.7	6.8	372,185	2.6	△ 0.9
	分流式下水道等負担金	222,646	1.6	0.6	225,053	1.6	1.1
	病院事業	2,803,751	20.0	△ 4.5	2,764,944	19.4	△ 1.4
	病院運営事業費負担金	525,193	3.8	△ 10.0	585,914	4.1	11.6
	救命救急センター運営費負担金	450,640	3.2	7.3	462,972	3.3	2.7
	空床確保費負担金	224,196	1.6	2.9	175,408	1.2	△ 21.8
	保健衛生行政経費負担金	117,431	0.8	5.8	130,737	0.9	11.3
企業償還金等負担金	1,445,065	10.3	△ 7.2	1,360,153	9.6	△ 5.9	
児童手当費負担金	41,226	0.3	△ 8.6	49,760	0.3	20.7	
小 計	5,294,330	37.8	△ 1.5	5,303,144	37.3	0.2	
合 計	14,002,202	100	1.1	14,222,449	100	1.6	

## 繰出金決算状況



## 繰出金決算状況の推移



## 物 価 高 騰 対 策

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総務費	2,608,889,761	2,557,219,317	2,557,219,317	0	51,670,444
①定額減税補足給付金給付事業費	2,557,219,317	2,557,219,317	2,557,219,317	0	0
②市民文化会館管理事業費	0	0	0	0	0
③ライフポートとよはし管理事業費	0	0	0	0	0
④公会堂管理事業費	0	0	0	0	0
⑤穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	13,200,000	0	0	0	13,200,000
⑥アイプラザ豊橋管理事業費	6,839,415	0	0	0	6,839,415
⑦総合運動場管理運営事業費	1,700,000	0	0	0	1,700,000
⑧地区体育館管理運営事業費	6,773,000	0	0	0	6,773,000
⑨トレーニングセンター管理運営事業費	890,000	0	0	0	890,000
⑩運動広場管理運営事業費	500,000	0	0	0	500,000
⑪総合体育館管理運営事業費	7,606,000	0	0	0	7,606,000
⑫屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	13,431,000	0	0	0	13,431,000
⑬市民センター管理運営事業費	731,029	0	0	0	731,029
3 款 民生費	2,396,656,756	2,392,256,756	2,392,256,756	0	4,400,000
①総合福祉センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
②障害福祉サービス事業所等光熱費高 騰対策支援金	0	0	0	0	0
③住民税非課税世帯等支援給付金給付 事業費	698,911,902	698,911,902	698,911,902	0	0
④住民税非課税世帯支援給付金給付事 業費	1,189,225,844	1,189,225,844	1,189,225,844	0	0
⑤住民税均等割のみ課税世帯支援給付 金給付事業費	504,119,010	504,119,010	504,119,010	0	0
⑥介護サービス事業所等光熱費高騰対 策事業費	0	0	0	0	0
⑦豊橋市子育て世帯臨時特別給付金給付 事業費	0	0	0	0	0
⑧法人保育所・認定こども園通常保育 事業費	0	0	0	0	0

# の 決 算 状 況

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和5年度	令和6年度
給付人数 事務費	—	58,220人 2,445,590,000円 111,629,317
指定管理料光熱費高騰対策分	23,000円	—
指定管理料光熱費高騰対策分	3,733,000円	—
指定管理料光熱費高騰対策分	404,000円	—
指定管理料光熱費高騰対策分	9,823,000円	13,200,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	2,356,000円	6,839,415円
指定管理料光熱費高騰対策分	0円	1,700,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	4,744,584円	6,773,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	669,108円	890,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	0円	500,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	5,393,416円	7,606,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	9,468,892円	13,431,000円
指定管理料光熱費高騰対策分	430,000円	731,029円
指定管理料光熱費高騰対策分	1,513,000円	—
障害福祉サービス事業所等光熱費高騰対策支援金	49事業所 439,000円	—
給付世帯数 事務費	非課税世帯 29,810世帯 894,300,000円 50,517,003	非課税世帯等 5,941世帯 594,100,000円 こども加算 1,263人 63,150,000 41,661,902
給付世帯数 事務費	非課税世帯 29,851世帯 2,089,570,000円 31,711,866	非課税世帯 28,234世帯 878,180,000円 こども加算 7,317人 266,340,000 44,705,844
給付世帯数 事務費	均等割のみ課税世帯 598世帯 59,800,000円 825,733	均等割のみ課税世帯 4,532世帯 453,200,000円 こども加算 743人 37,150,000 13,769,010
介護サービス事業所光熱費高騰対策支援金 事務費	230事業所 2,935,000円 305,480	—
給付人数 事務費	108人 —	1,180,000円 —
副食費給付費（市独自分） 物価高騰対応給食物資購入費補助金 届出保育施設光熱費高騰対策支援金 届出保育施設燃料費高騰対策支援金	59施設 4,892,660円 73 163,159,380 7 3,216,000 48 1,295,700	—

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑨私立幼稚園運営費補助金	0	0	0	0	0
⑩交通児童館管理運営事業費	400,000	0	0	0	400,000
⑪こども未来館管理運営事業費	4,000,000	0	0	0	4,000,000
⑫その他	0	0	0	0	0
4 款 衛生費	226,473,060	190,797,350	0	0	35,675,710
①余熱利用施設管理運営事業費	600,000	0	0	0	600,000
②出産・子育て応援給付金給付事業費	223,681,732	189,153,854	0	0	34,527,878
③その他	2,191,328	1,643,496	0	0	547,832
6 款 農林水産業費	32,336,912	0	0	0	32,336,912
①畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	0	0	0	0	0
②施設園芸電気価格高騰対策事業費	0	0	0	0	0
③畜産飼料価格高騰対策緊急支援金	0	0	0	0	0
④肥料価格高騰対策特別支援補助金	0	0	0	0	0
⑤畜産配合飼料価格安定事業補助金	31,773,912	0	0	0	31,773,912
⑥道の駅食農拠点推進事業費	563,000	0	0	0	563,000
7 款 商工費	299,702,424	42,000,000	0	0	257,702,424
①商業振興事業費	14,595,000	0	0	0	14,595,000
②プレミアム付電子商品券事業補助金	271,177,524	42,000,000	0	0	229,177,524
③制度融資関係事業費	13,929,900	0	0	0	13,929,900
④その他	0	0	0	0	0
8 款 土木費	0	0	0	0	0
①公共交通対策事業費	0	0	0	0	0
10 款 教育費	1,059,000	0	0	0	1,059,000
①教育活動支援事業費	0	0	0	0	0
②教育振興事業費	0	0	0	0	0
③就学援助事業費	1,059,000	0	0	0	1,059,000
④民営児童クラブ運営事業費	0	0	0	0	0

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和5年度		令和6年度	
副食費給付費（市独自分）	1施設	255,000円	—	
指定管理料光熱費高騰対策分		0円	400,000円	
指定管理料光熱費高騰対策分		3,709,000円	4,000,000円	
物価高騰対策に係る人件費	時間外勤務手当	1,356,153円	—	
指定管理料光熱費高騰対策分		4,668,000円	600,000円	
給付人数		延 5,438人	延 4,363人	
物価高騰対策に係る人件費	時間外勤務手当等	1,156,382円	時間外勤務手当等	2,191,328円
畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	配合飼料 119件	46,441,740円	—	
施設園芸電気価格高騰対策支援金 事務費	259件	24,435,000円 1,391,523	—	
畜産飼料価格高騰対策緊急支援金	115件	39,122,982円	—	
肥料価格高騰対策特別支援補助金	25件	7,059,424円	—	
畜産配合飼料価格安定事業補助金	—		118件	31,773,912円
指定管理料光熱費高騰対策分		915,161円	563,000円	
新ビジネスチャレンジ応援補助金	14事業者	3,315,000円	54事業者	14,595,000円
プレミアム付電子商品券	販売セット数 流通額	188,944セット 1,228,136,000円	販売セット数 流通額	147,830セット 960,895,000円
信用保証料補助金 経営安定資金特別対策補助金	422件 420	38,549,100円 28,907,100	84件 84	7,595,500円 6,334,400
物価高騰対策に係る人件費	会計年度任用職員（日額等）	2,698,470円	—	
鉄軌道事業者電気価格高騰対策支援金 タクシー事業者燃料費等高騰対策支援金 路線バス事業者燃料費等高騰対策支援金	1事業者 4 1	18,432,000円 12,520,000 11,137,000	—	
文化芸術体験活動バス賃借料	バス賃借料高騰分	356,240円	—	
野外教育活動バス賃借料	バス賃借料高騰分	175,595円	—	
小学校就学援助事業費 中学校就学援助事業費	— 中学校1年生新入学用品費増加分	2,589,000円	小学校1年生新入学用品費増加分	1,059,000円
光熱費高騰対策支援金	40クラブ	785,600円	—	

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑤学校給食物資調達事業費	0	0	0	0	0
⑥学校給食費物価高騰対策臨時支援給 付事業費	0	0	0	0	0
一般会計 合計	5,565,117,913	5,182,273,423	4,949,476,073	0	382,844,490

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果		
	令和 5 年度		令和 6 年度
物価高騰対応学校給食物資購入費	5,268,766食	228,487,585円	
市立小中学校給食の無償提供	3,434,346	864,482,810	—
市立小中学校給食費の半額軽減	1,168,726	145,973,791	
給付人数	5,294人	207,642,850円	—
事務費		1,590,650	

## 一般会計節別不用額状況（歳出）

単位：千円、%

区 分	令和5年度							令和6年度					
	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	
1 報 酬	3,235,310	2,955,094	1,478	278,739	2.8	8.6	3,416,599	3,249,983	1,515	165,101	2.2	4.8	
2 給 料	8,891,058	8,683,563	0	207,495	2.1	2.3	9,264,231	9,051,289	0	212,942	2.9	2.3	
3 職員手当等	6,772,342	6,611,714	183	160,445	1.6	2.4	8,630,654	8,398,095	600	231,959	3.1	2.7	
4 共 済 費	3,521,675	3,290,167	133	231,374	2.4	6.6	3,740,442	3,475,207	24	265,211	3.6	7.1	
5 災害補償費	2,607	411	0	2,196	—	84.2	4,622	2,742	0	1,880	—	40.7	
6 恩給及び退職年金	1,592	1,591	0	1	—	0.1	1,592	464	0	1,128	—	70.9	
7 報 償 費	383,910	315,297	0	68,613	0.7	17.9	360,068	313,135	0	46,933	0.6	13.0	
8 旅 費	164,978	118,584	56	46,338	0.5	28.1	154,131	112,427	59	41,645	0.6	27.0	
9 交 際 費	4,037	2,350	0	1,687	—	41.8	4,021	2,923	0	1,098	—	27.3	
10 需 用 費	4,401,906	3,596,154	115,143	690,609	7.1	16.1	4,213,402	3,779,214	35,783	398,405	5.4	9.5	
11 役 務 費	1,140,436	1,055,662	5,485	79,289	0.8	7.0	1,362,305	1,249,564	7,239	105,502	1.4	7.8	
12 委 託 料	23,738,798	21,047,105	297,873	2,393,820	24.5	10.2	23,055,856	21,348,154	572,527	1,135,174	15.3	5.0	
13 使用料及び賃借料	1,747,541	1,633,652	33,188	80,701	0.8	4.7	2,252,368	2,184,244	1,500	66,624	0.9	3.0	
14 工事請負費	19,733,916	13,239,991	5,462,423	1,031,502	10.5	7.2	25,963,018	15,347,017	9,858,564	757,437	10.2	4.7	
15 原 材 料 費	39,391	37,235	0	2,156	—	5.5	42,423	40,336	0	2,087	—	4.9	
16 公有財産購入費	910,689	884,962	9,518	16,208	0.2	1.8	1,154,191	742,637	345,700	65,854	0.9	8.1	
17 備品購入費	456,594	364,770	62,162	29,662	0.3	7.5	553,005	433,323	83,925	35,758	0.5	7.6	
18 負担金、補助及び交付金	24,023,473	19,920,403	1,515,225	2,587,845	26.4	11.5	21,440,966	18,185,777	1,156,188	2,099,000	28.4	10.3	
19 扶 助 費	32,983,076	32,269,892	0	713,184	7.3	2.2	35,750,810	35,176,594	0	574,216	7.8	1.6	
20 貸 付 金	1,647,061	1,158,500	0	488,561	5.0	29.7	1,580,500	1,086,500	0	494,000	6.7	31.3	
21 補償、補填及び賠償金	296,138	236,048	10,411	49,679	0.5	17.4	460,516	326,291	0	134,226	1.8	29.1	
22 償還金、利子及び割引料	11,015,256	10,978,008	0	37,248	0.4	0.3	10,880,496	10,774,476	0	106,020	1.4	1.0	
23 投 資 及 び 出 資 金	300	300	0	0	—	0.0	300	300	0	0	—	0.0	
24 積 立 金	2,018,132	2,017,783	0	349	—	0.0	1,657,928	1,653,077	0	4,851	0.1	0.3	
25 寄 附 金	500	500	0	0	—	0.0	—	—	—	—	—	—	
26 公 課 費	8,557	7,899	0	658	—	7.7	8,071	7,491	0	580	—	7.2	
27 繰 出 金	14,563,042	14,002,202	0	560,840	5.7	3.9	14,642,519	14,222,449	1,528	418,542	5.7	2.9	
28 予 備 費	30,000	0	0	30,000	0.3	100	30,000	0	0	30,000	0.4	100	
合 計	161,732,314	144,429,835	7,513,279	9,789,200	100	6.3	170,625,035	151,163,709	12,065,153	7,396,173	100	4.7	

※不用率＝不用額／（最終予算額－翌年度繰越額）

### 3. 主要な施策の成果

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総 務 費	17,193,490,136	3,728,943,653	1,076,200,000	2,106,487,467	10,281,859,016
1 項 総 務 管 理 費	6,962,377,393	15,545,832	38,100,000	1,545,855,286	5,362,876,275
3 目 人 事 管 理 費	193,483,046	5,534,100	0	12,672,311	175,276,635

#### 1 人事管理事業費 156,694,723 円 (人事課)

[総括]

幅広く有為な人材を確保するため、東京・大阪での採用試験を実施した。職員研修では、職員の持つ知識・技能等の庁内展開による学び合う職場風土の醸成と職員の能力向上を目的とした「豊橋みらいアカデミー」を計13回開講したほか、パートナーシティ締結に基づく人事交流のための福島市への職員派遣、戦略的広報に寄与するためのBSよしもと株式会社への職員派遣等を継続し、職員の育成に取り組んだ。

また、庁内障害者ワークステーションを拡充し、新たに上下水道局に清掃・屋外作業部門を設置することで、障害者スタッフの業務適性を見極めるための就労支援作業場の体制強化を図った。

今後も、職員の能力向上や組織力を高め、質の高い市政運営の実現に繋げるよう、人事制度の充実を図っていく。

[実績及び成果]

#### (1) 職員採用事務費 5,900,888 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	1次試験受験者数	採用者数	1次試験受験者数	採用者数
事 務 職 ・ 技 術 職	542人(38)	47人(1)	502人(33)	47人(4)
専 門 職	82	30	131	24
経 験 者 等	52 (-)	2 (1)	48	5
労 務 職	62	8	180	15
合 計	738 (38)	87 (2)	861 (33)	91 (4)

※ ( ) は市外採用試験による内数

※経験者等の1次試験は書類審査のため、会場試験は未実施

#### (2) 人事給与管理事務費 48,192,911 円

#### (3) 職員研修費 15,119,288 円

#### (ア) 市単独研修 10,299,810 円

[階層別研修]

区 分	令和5年度	令和6年度
研 修 内 容 に つ い て の 理 解 度	4.1	4.2
現 在 の 業 務 に お け る 有 益 度	4.2	4.3
将 来 の 業 務 に お け る 有 益 度	4.2	4.3

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※階層別研修は、新規採用職員から管理職までの各階層に必要とされる基本的な知識、能力を習得させることを目的として実施している。

(イ) 派遣研修 3,059,562 円

区 分	令和5年度	令和6年度
研修内容についての理解度	4.5	4.5
現在の業務における有益度	4.6	4.5
自己の能力開発に対しての有益度	4.6	4.5

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※主な派遣先（国内）中央省庁、愛知県、豊田市、福島市、BSよしもと株式会社、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会、市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研究所、国土交通大学、全国建設研修センター、愛知県市町村振興協会研修センター 等

(ウ) 自己啓発支援補助金 1,759,916 円

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較
	人員またはグループ	金 額	人員またはグループ	金 額	
自 己 研 修	72人	1,619,471円	84人	1,759,916円	16.7%
グ ル ー プ 研 修	3グループ	83,510	—	—	皆減
計	—	1,702,981	—	1,759,916	—

※自己啓発支援補助金は、自己の能力開発を図り、行政能率の向上に資するために実施する自己研修に対する経費の補助である。

※人員は研修受講修了者の数である。

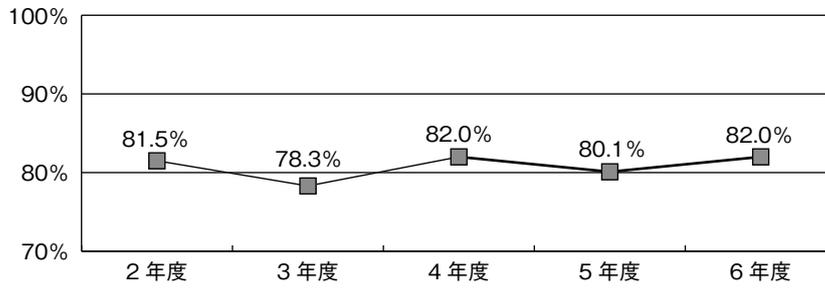
(4) 庁内障害者ワークステーション運営事業費 87,481,636 円

業 務 内 容	令和5年度	令和6年度
	依頼所属数：76 課	依頼所属数：96 課
印刷、製本、ホチキス止め	425件	404件
封入封緘、紙折り作業	273	275
シール貼り、ゴム印押し	89	123
簡易なデータ入力、スキャニング	48	126
清掃、シュレッダー作業、ごみ回収	477	597
その他の簡易な作業	604	848
合 計	1,916	2,373

[指 標]

指 標 名：人材育成・活用の推進に向けた職場成熟度

指標説明：職場環境に関するアンケートにおいて、職場の現状について肯定的な回答をした割合



※職場環境に関するアンケートは、階層別研修の受講者を対象に6分野（職場管理、人間関係、やりがい感、改革推進度、人材育成、働きかけ度）32項目で実施し、指標は全32項目の平均割合

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 広 報 広 聴 費	82,369,507	735,000	0	10,812,800	70,821,707

1 広報事業費 75,563,636円 (広報広聴課)

[総括]

広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ放送などさまざまな媒体を活用し、広く情報を発信した。

令和6年度は、ホームページのデザインをリニューアルし、スマートフォンで閲覧しやすいものにしたほか、各種情報発信媒体を活用し積極的な発信に努めた。今後も、各種情報発信媒体の特性を活かし、迅速・正確な広報活動に努めていく。

[実績及び成果]

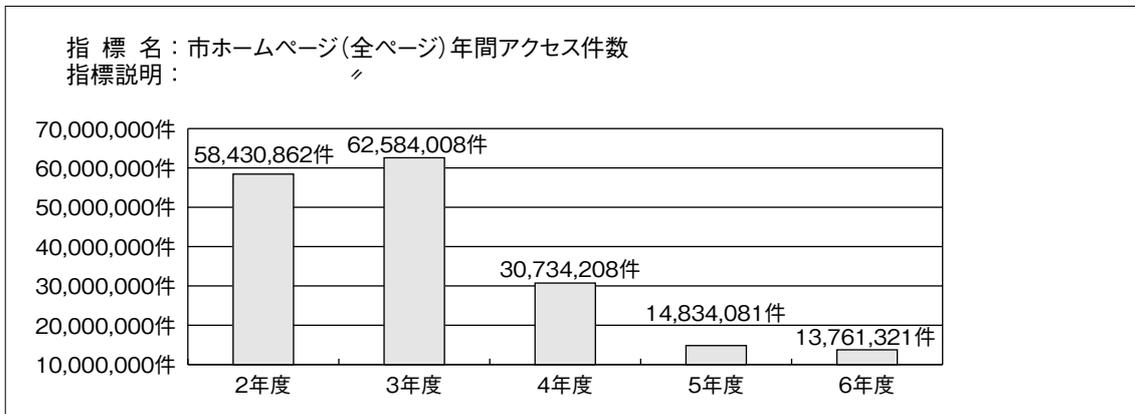
(1) 活字等広報事業費 39,657,292円

区 分	令和5年度	令和6年度
広 報 と よ は し	月1回発行	月1回発行
多言語デジタルブック配信(広報とよはし)	月1回配信	月1回配信
点字広報とよはし	月1回発行	月1回発行
声の広報とよはし	月1回発行	月1回発行

(2) 電波等広報事業費 35,906,344円

区 分	令和5年度	令和6年度
ラ ジ オ 広 報	やしの実FM	やしの実FM
テ レ ビ 広 報	ティーズ	ティーズ
ウ ェ ブ 広 報	ホームページ	ホームページ

[指標]



2 広聴事業費

6,059,780 円（広報広聴課）

[総括]

まちづくり出前講座を実施したほか、市民意識調査やとよはしインターネットモニター、市長への手紙、市民のメールボックス等により、幅広く市民の声を把握することに努めた。また、希望する小学校区において「地域と市長のまちづくり懇談会」を開催した。今後も、市民の声を市政に活かすため、多様化する市民ニーズを的確に把握していく。

[実績及び成果]

(1) 調査広聴事業費 2,101,150 円

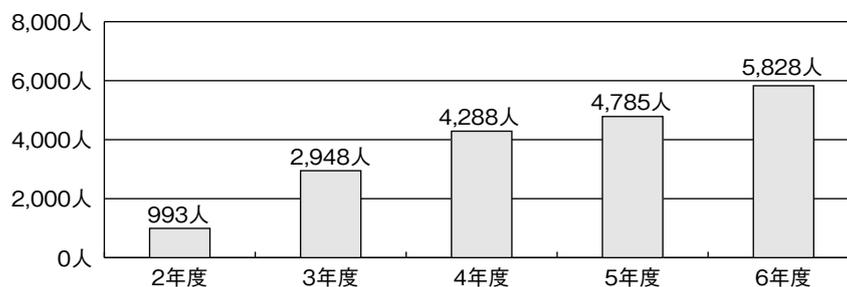
区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
市民意識調査	有効回収数2,313件 回収率46.3%	有効回収数2,379件 回収率47.6%

(2) 広聴活動事業費 3,958,630 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
地域と市長のまちづくり懇談会	実施回数6回 84人参加	実施回数2回 39人参加
市長への手紙	60通	179通
市民のメールボックス	1,086件	1,197件
まちづくり出前講座	実施回数176回 4,785人参加	実施回数199回 5,828人参加

[指標]

指標名：まちづくり出前講座の参加者数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 企 画 費	37,255,042	0	0	604,000	36,651,042

1 総合計画推進事業費 2,042,468 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」の推進に向けた具体的な事業計画を明らかにするため、実施計画を策定するとともに、総合計画の進捗管理において、分析を重視した行政評価により効果的な事業選択を行った。今後も「目指すまちの姿」の実現に向け、限られた行政資源の適正な配分を行いながら総合計画に基づくまちづくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 政策推進事業費 2,042,468 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	・実施計画の策定 ・まちづくり創作絵本「ちゃっとおいでん」の制作	

2 総合計画策定事業費 6,871,994 円 (政策企画課)

[総括]

「第6次豊橋市総合計画後期基本計画」を令和6年度、7年度の2か年をかけて策定する。令和6年度は、人口推計などの将来予測を行ったほか、市民向けのアンケート調査やワークショップ、市民会議などさまざまな方法で市民からの意見を収集した。収集した意見等を活用しながら、令和7年度も引き続き、策定作業を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 総合計画策定事業費 6,871,994 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	

3 地方創生推進事業費 5,281,572 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」のまちづくり戦略 (第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略) に基づき、若者と女性に力点を置き人口減少対策に分野を横断して取り組むとともに、まちづくり戦略を推進するさらなる財源を確保するため、民間事業者のマッチング支援サービスを活用し企業版ふるさと納税による寄附金の獲得に努めた。

[実績及び成果]

(1) 総合戦略推進事業費 1,414,572 円

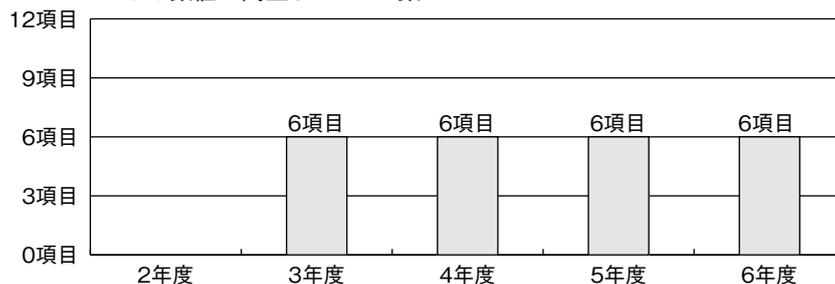
区 分	令和5年度	令和6年度
交付金採択件数	・デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ) 3件 ・デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ) 2	・デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ) 3件 ・デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ) 1

(2) 大学研究活動費補助金 3,867,000 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
豊橋技術科学大学	4件	3,713,000円	4件	3,100,000円
愛 知 大 学	—		—	
豊 橋 創 造 大 学	—		1	767,000

[指 標]

指 標 名：現況値より向上した個別戦略のKPI数  
 指標説明：個別戦略で設定したKPI（重要業績評価指標）12項目のうち、現況値（2019年度）より数値が向上したKPIの数



4 未来創生戦略事業費 10,762,194 円（政策企画課）

[総 括]

少子化・高齢化などの社会環境の変化による複雑化・多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応するための庁内型シンクタンクとして、政策立案に向けた基礎調査等を行い政策研究レターを発行したほか、政策推進アドバイザー等を活用し職員向け研究機会を提供した。

[実績及び成果]

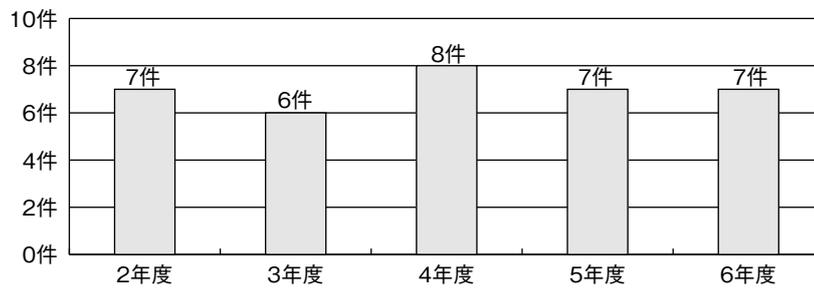
(1) 未来創生戦略事業費 10,762,194 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
政策研究等実施件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研究 1件 - テーマ：将来人口分析</li> <li>・研修会 5回 - テーマ：政策・事業づくり スマートシティ 人流データ分析</li> <li>・その他 1件 - 内容：都市OS（データ連携基盤）の導入に向けた基礎調査委託業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研究 1件 - テーマ：市内企業の脱炭素化に向けた取組みについて</li> <li>・研修会 5回 - テーマ：政策・事業づくり 人流データ分析</li> <li>・その他 1件 - 内容：都市OS（データ連携基盤）の導入の効果及び運用方法等の検討のための実証（データ利活用によるまちなかのにぎわい創出事業：愛知県スマートシティモデル事業）</li> </ul>
発 行 物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策研究レター 2回</li> <li>・滞在人口等分析情報 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策研究レター 1回</li> <li>・滞在人口等分析情報 2</li> </ul>

[指 標]

指 標 名：政策研究等実施件数

指標説明：個人研究、グループ研究および講演会等実施件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11 目 まちのブランド化推進費 <まちのブランド化の推進>	15,471,089	0	0	8,725,366	6,745,723

1 まちのブランド化推進事業費 15,471,089 円 (広報広聴課・秘書課)

[総括]

豊橋ならではの暮らしの魅力を、名古屋市をはじめとした近隣地域で生活する子育て世帯に伝えるため、本市の魅力である「ちょうど良さ」「まち・住人の温かさ、優しさ、心地よさ」をトータルで表現するホームページを制作の上、婚姻、引っ越し・住宅購入といったライフステージの変化のタイミングにあるターゲットに届くように広告出稿・配信を実施した。また、アニメ化された小説「負けヒロインが多すぎる！」と連携したPRや、漫画「だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん！」を活用した市政情報の発信など、本市を舞台にした作品を活用した情報発信を実施した。

今後も動員力の高いコンテンツや多彩な地域資源を活用し、戦略的に本市の魅力発信を行っていく。

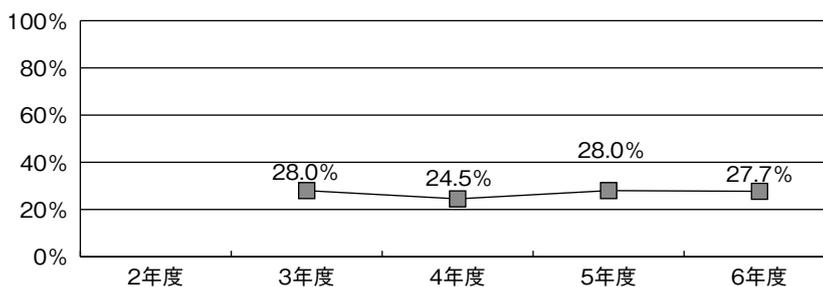
[実績及び成果]

(1) まちのブランド化推進事業費 15,471,089 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS等を活用した戦略的情報発信</li> <li>・ 情報発信アドバイザーの活用</li> <li>・ 豊橋市住みます芸人の活用</li> <li>・ 豊橋市イメージアンケート調査</li> <li>・ ふくしま花火大会への協賛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS等を活用した戦略的情報発信</li> <li>・ 情報発信アドバイザーの活用</li> <li>・ 豊橋市イメージアンケート調査</li> <li>・ ふくしま花火大会への協賛</li> <li>・ 豊橋市が舞台の作品を活用した情報発信</li> </ul>
ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回		—

[指 標]

指 標 名：豊橋市イメージアンケート調査  
 指標説明：豊橋市について連想するものがあると回答した人の割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 豊橋のファンづくり費 <豊橋のファンづくり>	27,327,180	0	0	2,227,895	25,099,285

1 豊橋のファンづくり活動事業費 27,327,180円 (広報広聴課・東京事務所)

[総括]

定住・移住を促進するため、豊橋市定住・移住アドバイザーを活用し、行政だけでは伝えられない暮らしの情報や豊橋の魅力の発信、移住相談などに取り組んだほか、首都圏において、本市とつながる“きっかけ”を作るため、ふるさと回帰支援センターと連携し、フェアの出版やセミナーを開催した。

また、吉本芸人による笑いの力を使ったプロモーションにより、市民の市政への興味や理解、このまちへの愛着を深めるため、イベント出演のほか、BSよしもと、ティーズ、エフエム豊橋、SNSでの情報発信などを実施した。

東京事務所では、東三河ゆかりの首都圏在住者で構成する「ほの国東三河応援倶楽部」会員へのメールマガジン配信等による情報発信を行った。また、東京事務所を持つ他自治体と連携しPRイベントを実施したほか、豊橋産農産物のフェアやマルシェのPRなど、関係課と連携したプロモーション活動に取り組んだ。

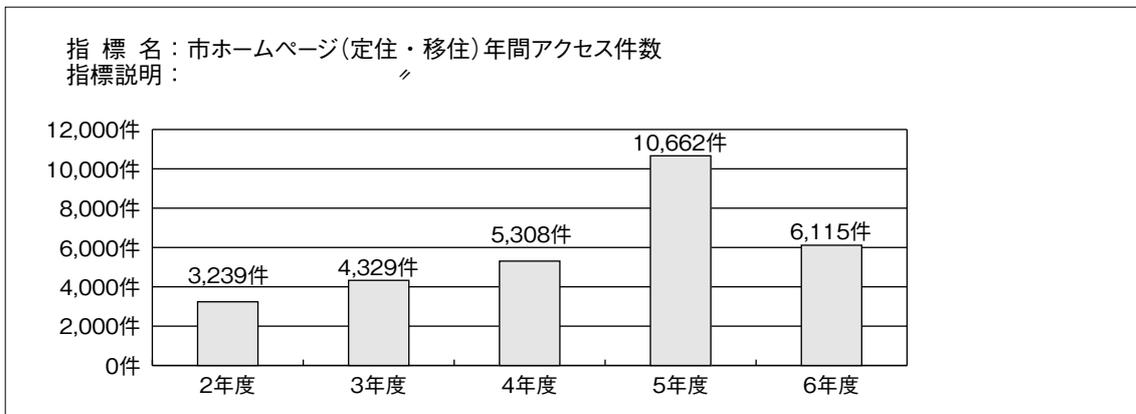
今後も、東三河の各市町村、民間団体等と連携して、幅広いプロモーション活動を実施していく。

[実績及び成果]

(1) ファンづくり活動事業費 10,894,655円 (広報広聴課)

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住・移住アドバイザーの設置、活用</li> <li>首都圏移住イベント・セミナーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住・移住アドバイザーの活用</li> <li>豊橋市住みます芸人の活用</li> <li>首都圏移住イベント・セミナーの実施</li> </ul>

[指 標]



## (2) 首都圏活動事業費

16,432,525 円（東京事務所）

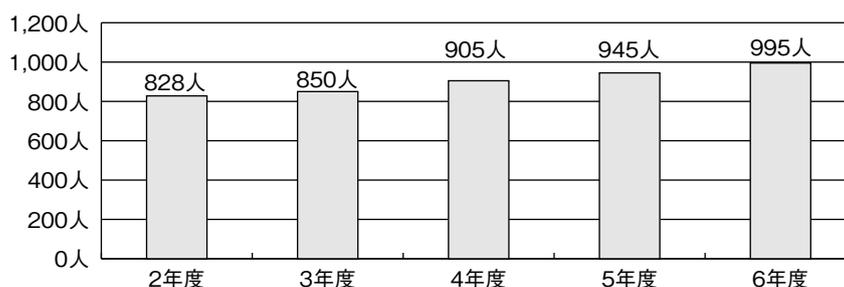
区分	令和5年度	令和6年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央省庁、民間企業等からの情報収集</li> <li>・関係課と連携した省庁への要望活動</li> <li>・首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援）</li> <li>・東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション</li> <li>・中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動</li> <li>・「THE 祭 of JAPAN 2023」及び「全国交流物産展 in 新橋」出展による観光プロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央省庁、民間企業等からの情報収集</li> <li>・関係課と連携した省庁への要望活動</li> <li>・首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援）</li> <li>・東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション</li> <li>・中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動</li> <li>・「全国交流物産展 in 新橋」及び「東海北陸ブロック物産観光連絡協議会」出展による観光プロモーション</li> </ul>

## 〈ほの国東三河応援倶楽部〉

区分	令和5年度	令和6年度
総会及び市政報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 2.1</li> <li>・出席者 ふるさと大使、応援倶楽部会員など 127名出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 2.4</li> <li>・出席者 ふるさと大使、応援倶楽部会員など 117名出席</li> </ul>

## 〔指 標〕

指 標 名：「ほの国東三河応援倶楽部」の会員数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 広域連携費	82,975,937	56,840	0	0	82,919,097

1 広域行政推進事業費 82,975,937円 (政策企画課)

[総括]

東三河広域連合において、「ほの国こどもパスポート事業」を引き続き行い、住民交流を促進し、東三河地域の活性化を図った。また、ほの国東三河マルシェ（新宿駅西口広場・イオンモール新瑞橋店・イオン岡崎南店）の開催により東三河の特産品を扱う事業者や生産者の販路拡大を支援するとともに、セミナー・ワークショップを開催するなど、東三河ブランドの創出・確立を推進した。今後も地方分権の流れや複雑多様化する広域的課題に対応するため、関係市町村との連携事業を実施するとともに、住民の広域連携への意識の高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 広域行政推進事務費 1,463,980円

区 分	令和5年度	令和6年度
豊川水系総合開発促進期成同盟会要望実施回数	2回	2回
水源地をめぐる旅	—	実施回数 1 参加者数 35人

(2) 東三河広域連合管理負担金 73,309,234円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
	68,793,034円	73,309,234円

(3) 東三河広域連合広域行政推進事業負担金 8,202,723円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
	51,714,940円	8,202,723円

[指標]

指標名：ほの国こどもパスポート利用者数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 水資源対策費 ＜治山・治水対策の充実＞	37,218,594	0	0	0	37,218,594

1 設楽ダム水源地域整備事業費 26,715,554 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業に対し負担金を支出した。今後も引き続き、長年渇水や洪水被害に悩む東三河下流域の被害軽減のため、国・県・関係市町村と連携して設楽ダムの建設促進を図る。

[実績及び成果]

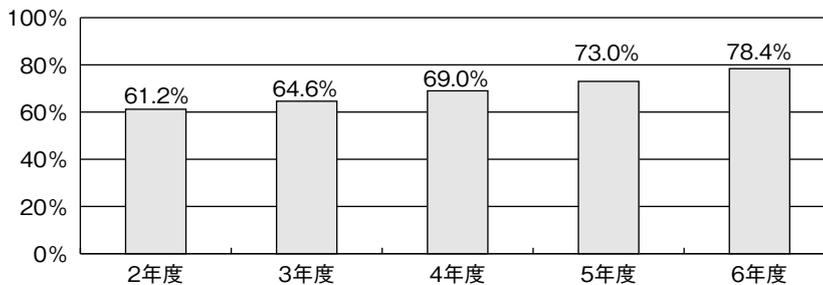
(1) 設楽ダム水源地域整備事業負担金 26,715,554 円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
		19,154,158 円

[指 標]

指 標 名：設楽ダム水源地域整備事業進捗率

指標説明：当該年度までの累計負担額／豊橋市の総負担額(平成21年度～令和8年度)



2 豊川水源基金費 10,503,040 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業を補完して行われる設楽ダム水源地域対策事業に対し負担金を支出した。また、豊川水系における水源林整備を推進するため「第9期水源林対策事業基本計画」(令和3年度から令和7年度)に基づき、公益財団法人豊川水源基金に対し負担金を支出した。今後も引き続き、水源地域の振興や水源林保全を図るため、国・県・関係市町村と連携した効果的な事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域対策事業負担金 1,612,040 円

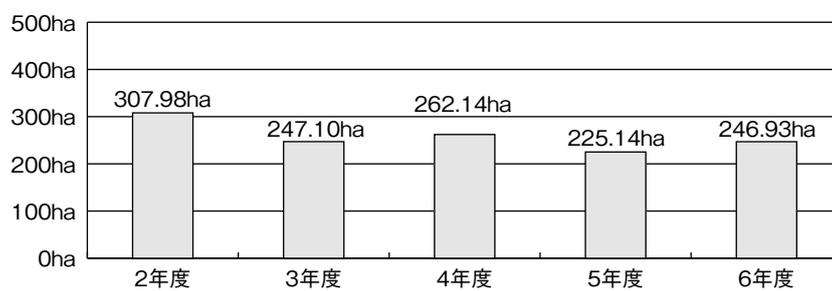
負 担 金	令和5年度	令和6年度
		433,394 円

(2) 水源林地域対策事業負担金 8,891,000 円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
		8,955,000 円

[指 標]

指 標 名：水源林地帯整備面積  
指 標 説 明：下刈り・除間伐面積



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15 目 情報システム整備拡充費	833,761,152	8,353,000	0	49,379,314	776,028,838

1 行政事務情報化推進事業費 758,046,125 円 (情報企画課)

[総括]

行政サービスの維持・向上を図るため、制度改正に伴う税総合システムをはじめとした業務システムの改修作業を実施した。また、外部施設ネットワークの更新及び通信の無線化を進めネットワーク環境の整備を行った。さらに、基幹業務システムの統一・標準化においては、令和8年1月の一斉稼働に向けて、調達及び移行作業に着手した。今後も、システムの最適化と安定稼働に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 行政情報管理システム管理運営事業費 425,839,790 円

内 容	令和5年度	令和6年度
行政情報端末数	2,362台	2,477台

(2) 住民情報システム管理運営事業費 310,260,895 円

内 容	令和5年度	令和6年度
住民情報端末数	138台	143台

(3) 電子計算システム開発事業費 21,945,440 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	税総合システム、団体内統合宛名システム等 11件	税総合システム、団体内統合宛名システム等 8件

2 行政デジタル推進事業費 51,986,261 円 (行政デジタル推進室)

[総括]

市民の利便性や行政の生産性を高めるため、行政手続きのオンライン化を推進するとともに、RPAやノーコード・ローコードデジタル開発基盤（以下「デジタル開発基盤」という。）のさらなる活用に向けて利用環境を充実させたほか、生成AIの全庁的な運用を開始した。また、アナログ規制の見直しに着手した。さらに、職員向けにデジタルツールの説明会や活用研修を実施したほか、階層別DX研修や動画配信スキルアップ研修を行うなど、職員デジタル人材を育成するためのさまざまな取組みを行った。

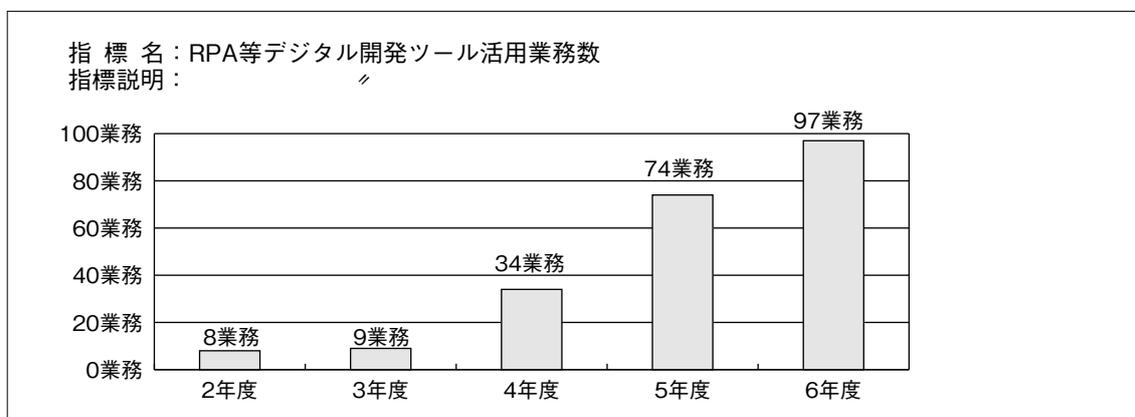
今後も、デジタル化による市民の利便性向上と業務変革を推進するとともに、その推進力となる職員デジタル人材の育成に努める。

[実績及び成果]

(1) ICT利活用推進事業費 51,986,261円

内 容	令和5年度	令和6年度
職員デジタル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツール説明会参加者数 96人</li> <li>RPA研修受講者数 36</li> <li>デジタル開発基盤研修受講者数 25</li> <li>ICTコミュニティ参画者数 39</li> <li>階層別DX研修受講者数 幹部、管理職、主査・主任向け 248 全職員向け 1,852</li> <li>情報システム調達研修受講者数 23</li> <li>動画配信スキルアップ研修受講者数 10</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツール説明会参加者数 169人</li> <li>RPA研修受講者数 40</li> <li>デジタル開発基盤研修受講者数 98</li> <li>ICTコミュニティ参画者数 27</li> <li>階層別DX研修受講者数 幹部、管理職、主査・主任向け 174 全職員向け 2,073</li> <li>情報システム調達研修受講者数 14</li> <li>動画配信スキルアップ研修受講者数 20</li> <li>Chat GPT研修受講者数 95</li> </ul>

[指 標]



3 地域情報化推進事業費 18,517,172円（行政デジタル推進室）

[総 括]

地域サービス及び行政サービスにおける情報のデジタル化を推進するため、観光・防災Wi-Fiステーションの安定稼働を図ったほか、「あいち電子自治体推進協議会」の共同化事業において、施設予約システムやあいち電子申請・届出システム、電子調達システムの運用を行った。

今後も、市民ニーズに合ったサービスを提供できるよう、愛知県や県内市町村と連携し、電子自治体推進のための事業に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 情報発信基盤等整備事業費 7,004,572円

〔公衆無線LAN〕

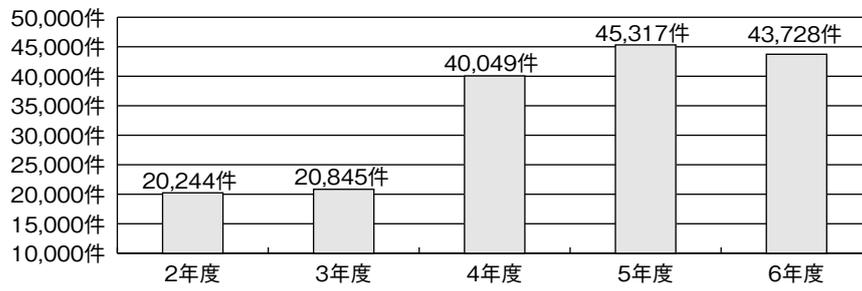
設 置 箇 所 数	令和5年度	令和6年度
	18箇所	18箇所

(2) 自治体共同情報化推進事業費 11,512,600円

あいち電子自治体 推進協議会負担金	令和5年度	令和6年度
	11,619,200円	11,494,200円

[指 標]

指 標 名：施設予約システム住民利用件数  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 徴 税 費	4,290,876,922	3,191,513,203	0	368,886,811	730,476,908
4目 納 税 費	177,727,438	0	0	28,990,500	148,736,938

1 納税事務費 140,803,693 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納額の減少を目的として、口座振替の加入推進、公平かつ的確迅速な収納整理及び滞納整理に努めたほか、市税コールセンターにおける現年度滞納者に対する催告を行った。また、平成28年度から引き続き東三河広域連合徴収課へ職員4名を派遣するとともに、徴収困難案件を移管し、積極的な滞納整理を実施した。市税全体の収入率は、厳しい納税環境の中においても前年度比で0.1ポイント増となった。今後も収入率の向上に向け適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 啓発事業費 557,510 円

区 分	令和5年度	令和6年度
口 座 振 替 加 入 率	34.7%	33.5%

(2) 収納整理事務費 16,157,858 円

区 分	令和5年度	令和6年度
督 促 状 発 付 件 数	78,651件	78,395件
コ ン ビ ニ 納 付 件 数	185,284	185,618
ク レ ジ ッ ト カ ー ド 納 付 件 数	7,435	9,541
電 子 決 済 納 付 件 数	19,706	23,609
市税コールセンターによる架電件数	27,156	26,107

(3) 滞納整理事務費 84,244,713 円

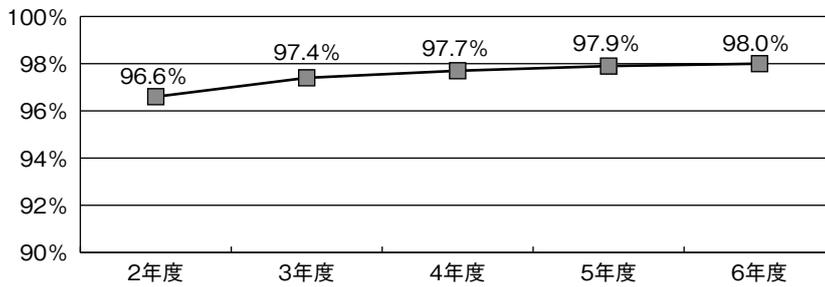
区 分	令和5年度	令和6年度
差 押 件 数	3,270件	2,794件
差 押 期 別 件 数	49,663期	36,949期
公 売 に よ る 換 価 件 数 ( 出 資 金 等 含 む )	13件	28件

(4) 東三河広域連合滞納整理事業負担金 39,843,612 円

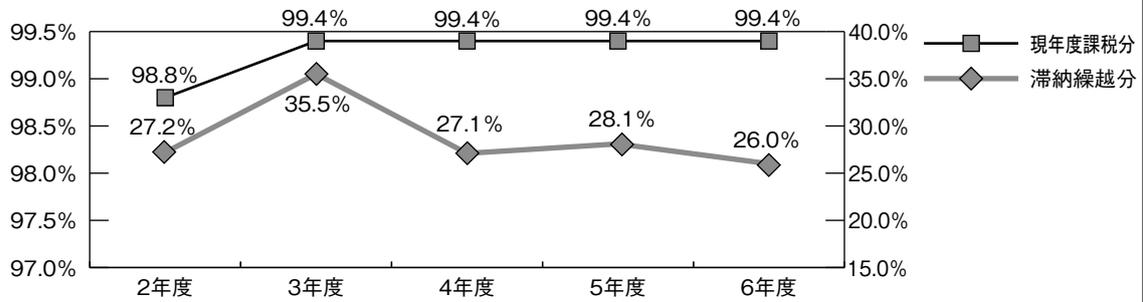
負 担 金	令和5年度	令和6年度
	36,908,715円	39,843,612円

[指標]

指標名：市税収入率(全体)  
 指標説明：収入額／調定額



指標名：市税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)  
 指標説明：収入額／調定額



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	893,264,167	142,980,000	0	115,946,822	634,337,345
1目	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	883,235,475	142,381,000	0	115,946,822	624,907,653

1 戸籍住民基本台帳等サービス事務費 336,263,486円 (市民課)

[総括]

戸籍法、住民基本台帳法、マイナンバー法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付、マイナンバー関係事務などの窓口事務を行った。また、証明窓口の土曜開庁、マイナンバー窓口の第2木曜夜間及び土曜開庁、死亡に伴う遺族の手続きを支援する対面型個別相談窓口「おくやみコーナー」の運用、大清水まなび交流館「ミナクル」でのマイナンバーカード申請受付窓口臨時開設など、市民サービスの充実に努めた。マイナンバーカードの交付件数は、国のマイナポイント事業のあった令和5年度に比べ減少したが、国の施策によって、国外での利用や特急発行が開始され、利便性の向上が図られた。さらに、国が定める「自治体DX推進計画」において、自治体が行うべき重点取組事項と位置付けられている情報システムの標準化のため、令和7年度末までに移行できるよう、戸籍システムの標準化対応改修を開始した。今後も親切・丁寧な市民対応を心掛け、正確かつ迅速な事務を行う。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 206,703,420円

実施項目		令和5年度	令和6年度	比較
戸 籍 関 係		58,367件	57,422件	△ 1.6%
住 民 基 本 台 帳 関 係		82,251	79,510	△ 3.3
印 鑑 登 録 関 係		18,473	17,210	△ 6.8
そ の 他 証 明 関 係		1,893	2,007	6.0
マイナン バーカー ド 関 係	カード交付(※)	43,796	33,310	△23.9
	電子証明書更新	3,324	11,877	3.6倍
	そ の 他 手 続	21,460	26,331	22.7%
コンビニ 交付 関 係	戸 籍 関 係	9,261	8,965	△ 3.2
	住 民 基 本 台 帳 関 係	37,788	42,637	12.8
	印 鑑 登 録 関 係	26,520	30,457	14.8
計		303,133	309,726	2.2

※大清水窓口センターにおける予約交付分を含む。

(2) 届出受付事務費 1,114,387円

実施項目		令和5年度	令和6年度	比較
戸 籍 関 係		10,988件	11,087件	0.9%
住 民 基 本 台 帳 関 係		26,823	27,206	1.4
印 鑑 登 録 関 係		6,158	6,048	△ 1.8
火 埋 葬 許 可 関 係		2,554	2,619	2.5
計		46,523	46,960	0.9

(3) 台帳記録事務費 128,445,679 円

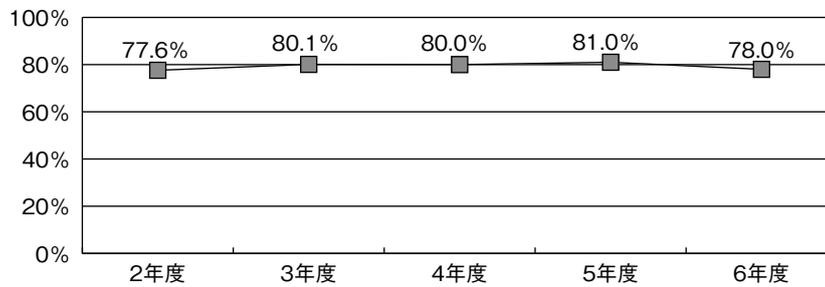
実施項目	令和5年度	令和6年度	比較
戸籍関係	12,662件	12,744件	0.6%
住民基本台帳関係	93,399	91,587	△ 1.9
印鑑登録関係	21,312	20,937	△ 1.8
身上調査関係	2,985	2,912	△ 2.4
相続税法関係	4,301	0*	皆減
計	134,659	128,180	△ 4.8%

※令和6年3月に相続税法第58条通知に係る事務は廃止された。

[指標]

指標名：窓口サービス満足度

指標説明：市民課の全体的な印象について、満足及びやや満足と回答した件数／窓口サービスアンケート調査件数



2 窓口センターサービス事務費 75,913,126 円（市民課）

[総括]

市内8か所の窓口センターにおいて、戸籍法、住民基本台帳法、マイナンバー法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付事務、マイナンバーカード関係事務とともに、国民健康保険、国民年金関係の届出受付、税務関係の証明書類の交付、火埋葬許可証の交付等の窓口事務を行った。今後も引き続き関係各課の事務を幅広く取り扱うことで、身近な市役所として利便性の一層の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 53,827,336 円

実施項目		令和5年度	令和6年度	比較
戸籍関係		42,178件	44,684件	5.9%
住民基本台帳関係		73,488	68,211	△ 7.2
印鑑登録関係		55,410	51,370	△ 7.3
税務証明関係		35,040	31,860	△ 9.1
その他証明関係		1,461	1,517	3.8
マイナンバー カード関係	カード交付(※)	—	1,584	皆増
	電子証明書更新	2,502	14,252	5.7倍
	その他手続	9,083	14,874	63.8%
計		219,162	228,352	4.2

※大清水窓口センターにおける予約交付分（再掲）

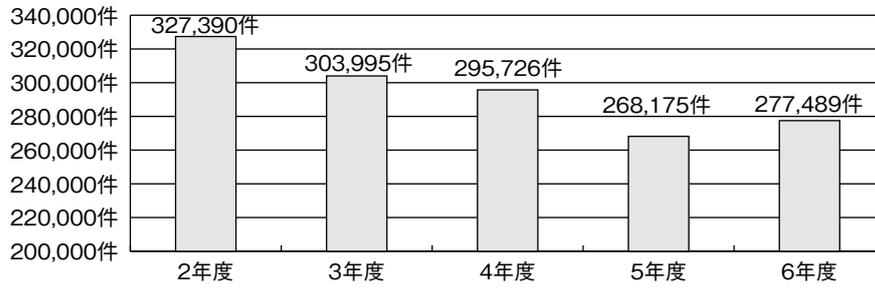
(2) 届出受付事務費 496,865 円

実施項目		令和5年度	令和6年度	比較
戸籍関係		3,397件	3,425件	0.8%
住民基本台帳関係		8,383	8,691	3.7
印鑑登録関係		6,960	6,662	△ 4.3
火埋葬許可関係		1,770	1,876	6.0
国民健康保険関係		7,019	6,592	△ 6.1
国民年金関係		2,767	2,584	△ 6.6
福祉関係		17,644	18,342	4.0
学校関係		100	70	△30.0
大きなごみ証紙関係		973	895	△ 8.0
計		49,013	49,137	0.3

(3) 施設管理運営事業費 21,588,925 円

[指 標]

指 標 名：窓口センター総取扱件数  
指標説明：届出及び証明発行件数の合計(関係課分を含む)



※マイナンバーカード普及に伴う集計対象業務の見直しにより再計算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 戸籍住民諸費	10,028,692	599,000	0	0	9,429,692

1 一般旅券事業費 9,429,692 円 (市民課)

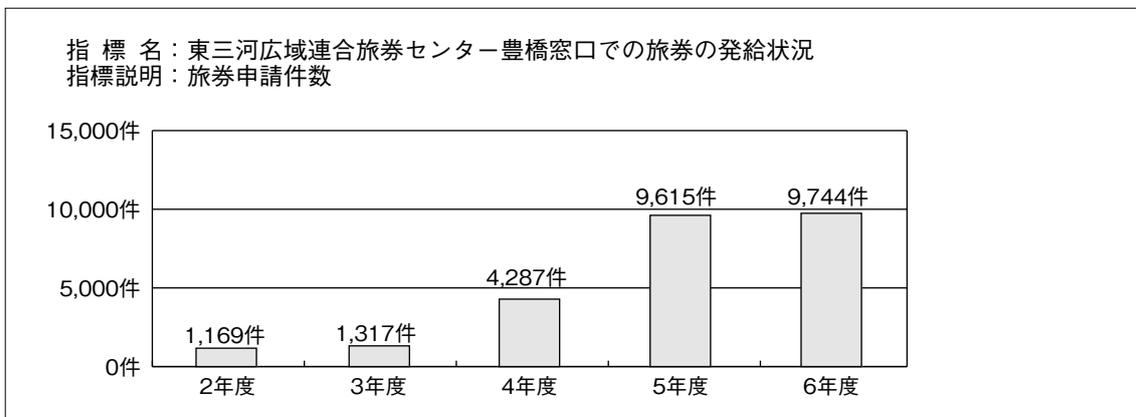
[総括]

令和元年度から都道府県の法定受託事務である一般旅券の発給事務の一部を、東三河広域連合を受皿として権限移譲を受け、東三河8市町村のいずれの窓口でも一般旅券の発給申請等ができるようになるなどの利便性の向上を図った。日本人の海外渡航が引き続き増加する中、申請件数は小幅ではあるが増加した。今後も構成市町村及び愛知県と連携し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

[実績及び成果]

(1) 東三河広域連合旅券事務負担金 9,429,692 円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 文化 振 興 費	1,511,201,468	0	496,400,000	1,177,395	1,013,624,073
2目 芸術文化振興費 ＜個性あふれる芸術文化によるまちの魅力向上、芸術文化の幅広い分野への展開＞	161,064,016	0	0	0	161,064,016

1 文化創造活動事業費 157,932,110 円 (文化課)

[総 括]

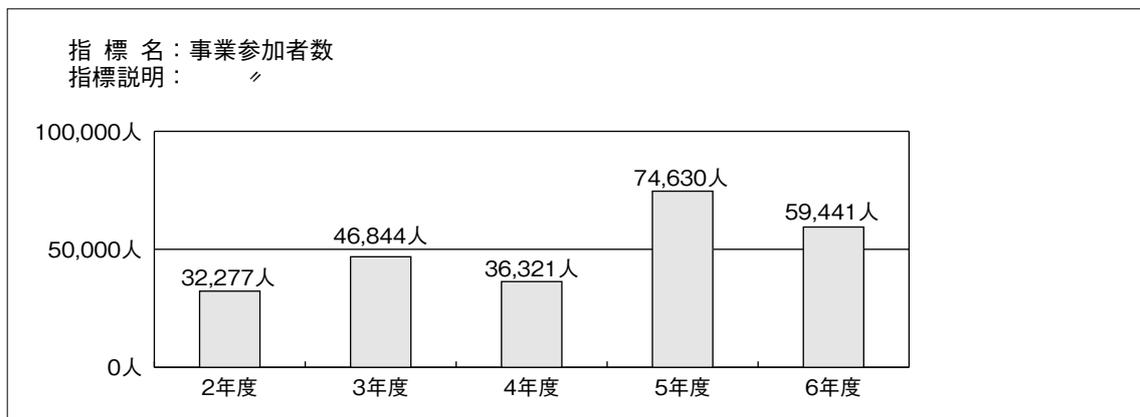
豊橋文化振興財団は、穂の国とよはし芸術劇場を拠点として、芸術文化の創造発信及び市民の鑑賞機会の充実を図っており、令和6年度はぶらっと親子わくわくプログラム2024「ベック from スコットランド」や「オーランド」を上演したほか、3年ぶりにぶらっと文化祭「Art Platter」Vol.2を開催するなど、多くの方に芸術文化の鑑賞機会を提供した。また、伝統芸能の振興事業として「立川志の輔独演会」、「松竹大歌舞伎」、音楽文化の振興事業として加藤訓子プロデュース「メタクセナキス」、「小曾根真 No Name Horses ～20年目の the DAY1～」などの鑑賞事業を実施した。今後も優れた芸術文化に触れることのできる機会を充実するとともに、本市の芸術文化作品や取組みを市内外に向けて発信していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋文化振興財団補助金 157,932,110 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		164,782,729 円 (参加者 74,630 人)

[指 標]

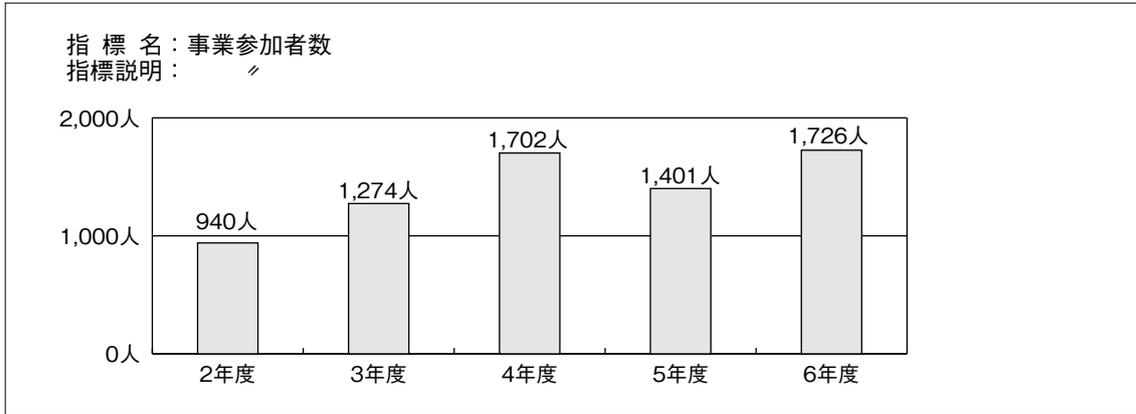


2 文化がみえるまちづくり事業費 3,131,906 円（文化課）

[総括]

小中学生を対象にアーティストによるワークショップを行う芸術文化体験普及事業では、演劇やダンス、音楽を通じて表現やコミュニケーションを体験する講座等を実施し、多くの児童、生徒に参加してもらうことができた。今後もさまざまな分野と連携した芸術文化活動を行えるよう事業を実施していく。

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 芸術文化推進費 <芸術文化を支える人づくり、 豊かな芸術文化の未来への継承>	1,276,179,022	0	496,400,000	1,177,395	778,601,627

1 文化推進事業費 12,135,344 円 (文化課)

[総括]

本市の中学生や高校生を中心に、音楽家による集中的な指導や演奏発表会の開催、音楽を志す青少年の交流の促進等により、自己の向上・研さんの場を提供する豊橋青少年音の輪事業を実施した。事業では、ライフポートとよはしを会場として、夏季には学校単位での参加による「サマーコンサート」を開催したほか、春季には個人参加により、プロの音楽家から技術指導を受ける「スプリングクリニック」を実施した。郷土関係出版物補助金については、申請が1件あったものの要件に合わず不採択となった。今後も、青少年が芸術文化に触れる機会の拡充や文化の担い手を育成する事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 文化活動推進事業費 3,452,033 円

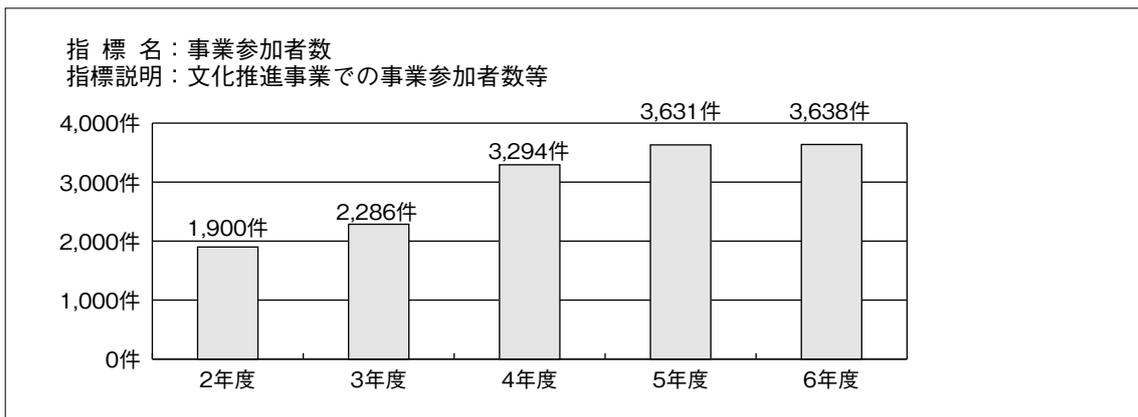
区 分	令和5年度	令和6年度
豊橋青少年音の輪事業補助金	3,301,210円	3,452,033円
郷土関係出版物補助金	68,000	0
伝統芸能後継者育成事業	1,055,802	—

(2) 文芸文化事業費 8,487,056 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
丸山薫賞対象数	189作品	211作品	11.6%
丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞応募数	656	666	1.5
文芸応募数	1,410	1,160	△17.7

(3) 文化振興表彰事業費 196,255 円

[指標]



2 文化施設管理事業費 1,259,693,678 円（文化課）

[総括]

文化施設（7施設）について、指定管理者及びPFI事業者による適正な管理運営を行った。令和6年度は市民文化会館の施設機能の回復・向上を図るための改修工事に着手した。また、公会堂では、老朽化した冷温水発生機の取替えを行い、空調設備の機能の回復に努めるなど、老朽化した設備の更新を実施した。今後も、必要となる修繕や維持保全を行うとともに、指定管理者の自主的な経営努力を促し、利用者が安全・快適に利用できるよう努めていく。

[実績及び成果]

(1) 市民文化会館管理事業費 562,265,881 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
ホール	171件 延 21,697人	—	皆減
会議室	1,803 延 32,258	507件 延 9,240人	△71.4%
展示室	337 延 19,347	216 延 13,460	△30.4
リハール室	236 延 14,032	249 延 11,249	△19.8
合計	2,547 延 87,334	972 延 33,949	△61.1

(ア) 市民文化会館大規模改修工事 524,654,000 円

2か年継続事業の初年度 総事業費 1,500,000,000 円

内容	区分・構造	延床面積	整備内容
	鉄筋コンクリート造2階建	6,072㎡	外壁改修、内装改修、外構工事等

(2) 西川芸能練習場管理事業費 1,406,793 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
ホール	177件 延 4,745人	174件 延 4,355人	△ 8.2%
楽屋	85 延 1,778	80 延 2,389	34.4
合計	262 延 6,523	254 延 6,744	3.4

(3) 三の丸会館管理事業費 16,362,935 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
茶室	168件 延 3,426人	179件 延 4,645人	35.6%
和室	406 延15,199	461 延18,571	22.2
立礼茶席	延 8,789	延 8,421	△ 4.2
合計	574 延27,414	640 延31,637	15.4

(4) ライフポートとよはし管理事業費 166,820,334 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
コンサートホール	160件 延43,042人	165件 延46,157人	7.2%
中ホール	288 延27,052	295 延31,697	17.2
合計	448 延70,094	460 延77,854	11.1

(5) 公会堂管理事業費 64,598,105 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
大ホール	202件 延48,948人	220件 延52,911人	8.1%

(6) 穂の国とよはし芸術劇場管理事業費 351,979,961 円

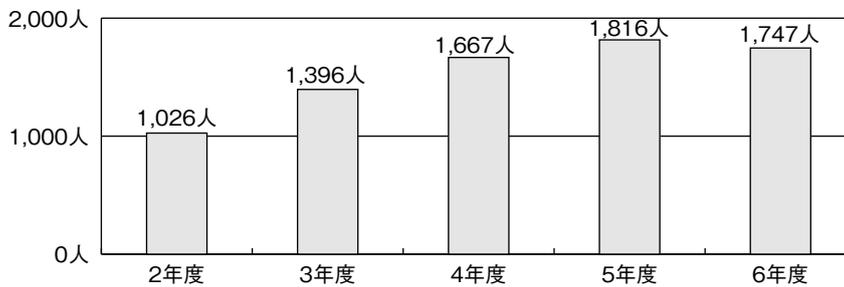
利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
主ホール	261件 延 90,601人	213件 延 83,916人	△ 7.4%
アートスペース	271 延 30,642	281 延 31,234	1.9
創造活動室	1,818 延 19,142	1,998 延 19,851	3.7
研修室	704 延 12,380	778 延 15,786	27.5
交流スクエア等	延 32,299	延 30,755	△ 4.8
合計	3,054 延185,064	3,270 延181,542	△ 1.9

(7) アイプラザ豊橋管理事業費 96,259,669 円

利用状況	令和5年度	令和6年度	比較(利用人員)
講堂	95件 延 75,454人	100件 延 79,786人	5.7%
小ホール	249 延 22,865	248 延 23,898	4.5
会議・和室	4,452 延 46,237	4,770 延 53,367	15.4
実習・調理実習・多目的室	3,523 延 27,431	3,476 延 27,058	△ 1.4
体育室	1,595 延 15,560	1,518 延 16,623	6.8
学習・図書室	延 18,937	延 20,803	9.9
合計	9,914 延206,484	10,112 延221,535	7.3

[指標]

指標名：1日当たりの利用者数  
 指標説明：延べ利用者数／開館日数



3 文化活動支援事業費

4,350,000 円（文化課）

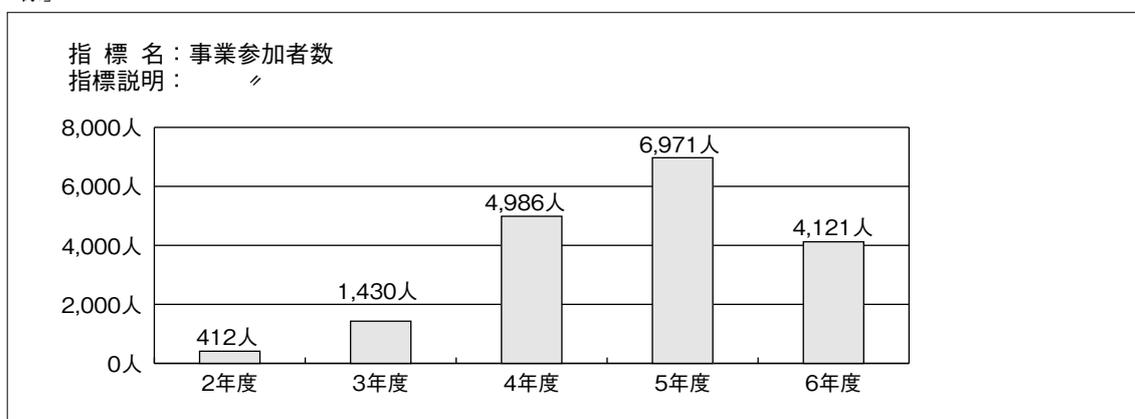
[総括]

吉田文楽保存会、豊橋交響楽団、豊橋素人歌舞伎保存会の定期公演等を実施し、多くの市民が参加、鑑賞することにより、文化活動の活性化と振興が図られた。また、吉田文楽保存会の新春門付け公演を新たに二川宿本陣資料館で実施した。今後も、この地域で育まれた芸術文化を担う芸術文化活動団体を支援していく。

[実績及び成果]

区 分	令和5年度	令和6年度
(1) 吉田文楽保存会補助金	450,000円	1,250,000円
(2) 豊橋交響楽団補助金	1,800,000	1,800,000
(3) 豊橋素人歌舞伎保存会補助金	1,300,000	1,300,000
(4) 三河市民オペラ2023年公演「アンドレア・シェニエ」開催事業補助金 令和5年度事業終了	1,000,000	—
計	4,550,000	4,350,000

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 スポーツ振興費	1,673,480,207	177,079,000	502,800,000	41,417,914	952,183,293
2目 スポーツ参加促進費 <スポーツへの参加促進>	17,756,380	0	0	0	17,756,380

1 スポーツ推進事業費 17,756,380円 (スポーツ課)

[総括]

市民が楽しくスポーツに参加するきっかけづくりとなるよう「とよはしスポーツ博」を開催した。また、「鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソン」及び「豊橋みなとシティマラソン」を開催し、市民のスポーツ活動への参加促進を図った。今後も市民がスポーツをする機会を増やし、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ少年団活動事業補助金 810,000円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		121団体	810,000円	108団体

(2) スポーツ活動推進事業費 9,623,640円

(ア) 行事開催

区 分	令和5年度			令和6年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	6月～12月	陸上競技場 総合体育館ほか	延3,361人	6月～12月	陸上競技場 総合体育館ほか	延2,990人
とよはしスポーツ博	10.21	陸上競技場	7,096	10.19	陸上競技場	6,242
豊橋みなと シティマラソン	11.5	豊橋総合スポーツ公園 及びその周辺	2,562	11.3	豊橋総合スポーツ公園 及びその周辺	2,641
渥美半島駅伝競走大会	12.24	渥美半島	260	2.2	渥美半島	290
穂の国・豊橋ハーフマラソン	3.24	豊橋公園発着	3,776	3.23	豊橋公園発着	4,932

(イ) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会

開 催 回 数	令和5年度		令和6年度	
		1回		1回

(3) 市民スポーツ祭事業補助金 450,000円

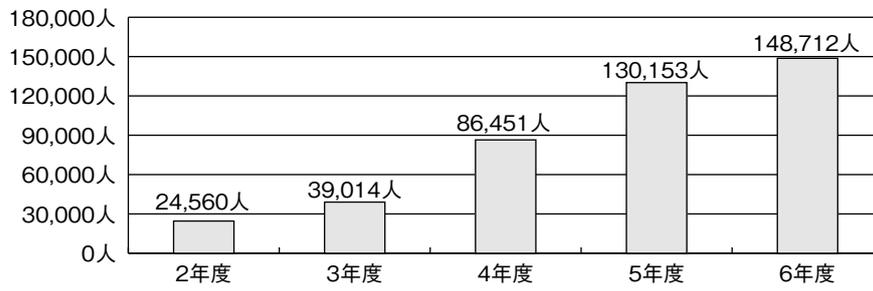
補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		27種目	450,000円	26種目

(4) スポーツ推進委員活動事業費 6,872,740円

スポーツ推進委員	令和5年度		令和6年度	
		111名	6,660,000円	102名

[指 標]

指 標 名：市内スポーツイベント参加者(プロスポーツ観戦含む)  
指標説明：  
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 スポーツ環境づくり費 <スポーツ環境の充実>	1,450,293,887	177,079,000	502,800,000	41,417,914	728,996,973

1 スポーツ活動振興事業費 103,134,871円 (スポーツ課)

[総括]

学校の体育館や運動場を市民へ開放するとともに、スポーツ協会のスポーツ事業を支援するなど、スポーツに触れる環境を提供した。また、スポーツの普及発展に貢献した個人や団体を顕彰し、スポーツへの意識の高揚を図った。今後も、施設の有効活用や事業補助などを行い、スポーツの振興に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 学校体育施設開放運営事業費 31,716,218円

開放施設 市立小・中学校、特別支援学校、県立高校 計82校

[利用状況]

区 分	令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延173,730人	—	173,730人	延179,455人	—	179,455人
剣 道	延 42,680	—	42,680	延 54,793	—	54,793
空 手	延 29,693	—	29,693	延 29,004	—	29,004
野 球	—	延130,525人	130,525	—	延148,602人	148,602
ソフトボール	—	延 22,329	22,329	—	延 18,307	18,307
卓 球	延 5,006	—	5,006	延 7,802	—	7,802
バドミントン	延 37,579	—	37,579	延 36,987	—	36,987
サ ッ カ ー	—	延252,572	252,572	—	延252,661	252,661
バスケットボール	延177,921	—	177,921	延202,080	—	202,080
ソフトバレー	延 95,021	—	95,021	延104,846	—	104,846
インディアカ	延 22,451	—	22,451	延 19,894	—	19,894
そ の 他	延155,653	延 33,805	189,458	延131,535	延 39,770	171,305
計	739,734	439,231	1,178,965	766,396	459,340	1,225,736

(2) 豊橋市スポーツ協会補助金 63,039,923円

補 助 金	令 和 5 年 度		令 和 6 年 度	
		57,800,000円		63,039,923円

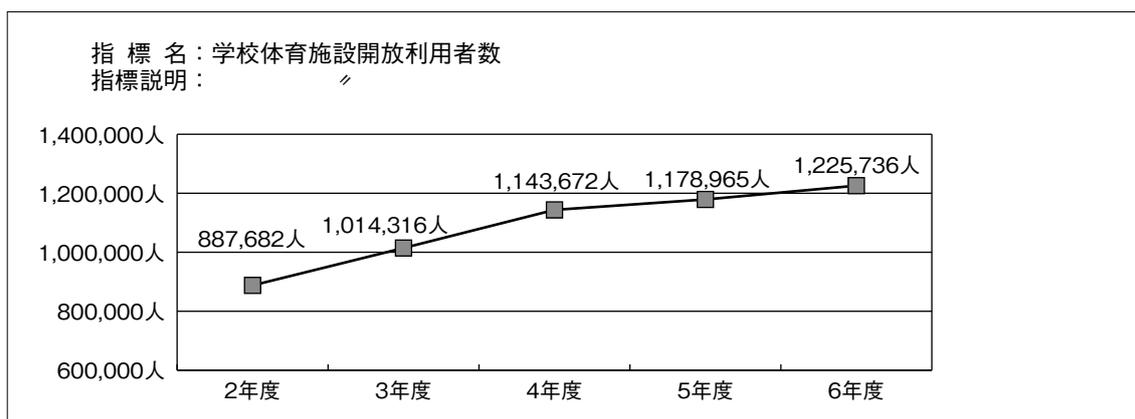
(3) 日本港湾福利厚生協会補助金 6,300,000円

補 助 金	令 和 5 年 度		令 和 6 年 度	
		プール延利用者数 46,199人	6,300,000円	プール延利用者数 42,871人

(4) スポーツ活動顕彰事業費 2,078,730円

区 分	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
ス ポ ー ツ 賞	2名	1名
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	3	3
ス ポ ー ツ 特 別 賞	1	1

[指標]



2 スポーツ施設管理運営事業費 1,290,167,971 円（スポーツ課）

[総括]

アジア競技大会・アジアパラ競技大会開催に向け、総合体育館において、第1競技場の屋根改修に着手したほか、バリアフリー化及び劣化改修工事を行った。また、市民球場では、スコアボードをLED方式に更新し、観戦環境の向上を図ったほか、トイレの洋式化や観客席のバリアフリー化のための実施設計を行った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が快適にスポーツに親しめるよう施設の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 78,130,634 円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊橋球場※	199日	41,307人	—	—	皆減
東田球場	166	14,064	191日	19,027人	35.3%
陸上競技場	308	91,929	304	104,691	13.9
硬式庭球場	292	10,846	287	10,039	△7.4
軟式庭球場	267	27,506	267	29,751	8.2
計	—	185,652	—	163,508	△11.9

※令和6年4月1日より利用停止

<武道館>

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔道場	308日	18,325人	299日	12,430人	△32.2%
剣道場	308	12,779	302	12,175	△4.7
弓道場	308	14,305	304	13,690	△4.3
相撲場	79	575	92	718	24.9
トレーニング室	308	13,629	299	13,849	1.6
計	—	59,613	—	52,862	△11.3

## 〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	—

(2) 地区体育館管理運営事業費 76,903,305 円

## 〔利用状況〕

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	308日	39,200人	304日	35,764人	△ 8.8%
新 栄	308	31,504	304	28,640	△ 9.1
牛 川	308	34,872	304	31,103	△10.8
草 間	308	39,464	304	37,666	△ 4.6
飯 村	308	44,774	304	44,783	0.0
下 五 井	308	35,994	304	34,334	△ 4.6
浜 道	308	41,329	304	43,616	5.5
二 川	308	40,299	304	41,479	2.9
石 卷	308	32,317	304	33,137	2.5
大 清 水	308	54,660	304	51,219	△ 6.3
計	—	394,413	—	381,741	△ 3.2

## 〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	下五井地区体育館改修実施設計	—

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 70,840,288 円

## 〔利用状況〕

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	182日	5,808人	69日	1,810人	△68.8%
ト レ ー ニ ン グ 室	255	766	61	207	△73.0
和 室	37	177	1	1	△99.4
調 理 室	0	0	0	0	0.0
研 修 室 ・ 集 会 室	267	3,605	70	713	△80.2
テ ニ ス コ ー ト 等	208	1,122	38	379	△66.2
計	—	11,478	—	3,110	△72.9

## 〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	天井改修工事	外壁改修等工事

(4) 岩田総合球技場管理運営事業費 358,686,606 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	167日	54,431人	143日	56,382人	3.6%
市 民 球 技 場	88	25,604	95	23,159	△ 9.5
市 民 庭 球 場	299	42,719	298	44,005	3.0
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	165	3,851	167	4,115	6.9
計	—	126,605	—	127,661	0.8

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	市民球場給水加圧装置取替修繕	

(5) 運動広場管理運営事業費 24,769,127 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	298日	26,449人	324日	26,398人	△ 0.2%
明 海 広 場	127	15,288	144	14,913	△ 2.5
明 海 少 年 広 場	114	37,055	125	37,920	2.3
高 山 広 場	285	6,729	305	6,943	3.2
向 山 運 動 広 場	249	17,131	358	16,768	△ 2.1
石 巻 運 動 広 場	292	68,015	312	77,666	14.2
臨 海 運 動 広 場	139	20,462	163	19,763	△ 3.4
高 師 緑 地 馬 場	305	7,061	303	6,259	△11.4
レクリエーション広場※	217	14,530	—	—	皆減
計	—	212,720	—	206,630	△ 2.9%

※令和5年末に廃止

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	高師緑地青少年広場受変電設備取替修繕	

- (6) 総合体育館管理運営事業費 517,434,549 円  
 (ア) 総合体育館改修工事 422,653,240 円  
 2 年継続事業の初年度 総事業費 1,130,000,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄骨・鉄筋コンクリート造 2階建 一部3階建	内部改修、屋根改修	12,348 m <sup>2</sup>

[利用状況]

〈総合体育館〉

区 分		令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	301日	188,572人	304日	218,442人	15.8%
	そ の 他	24	4,774	21	18,838	3.9倍
卓 球 室		313	8,683	305	9,709	11.8%
会 議 室		166	3,849	181	3,617	△ 6.0
研 修 室		134	4,130	138	3,073	△25.6
計		—	210,008	—	253,679	20.8

〈総合スポーツ公園サッカー場〉

区 分		令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
総合スポーツ公園サッカー場		303日	40,270人	300日	39,899人	△ 0.9%

[施設整備]

内 容	令和5年度		令和6年度	
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員
総合体育館改修基本・実施設計 受水槽薬注タンク設置工事				—

- (7) 万場調整池庭球場管理運営事業費 4,000,782 円

[利用状況]

区 分		令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト		290日	14,981人	283日	13,728人	△ 8.4%

- (8) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 159,402,680 円

[利用状況]

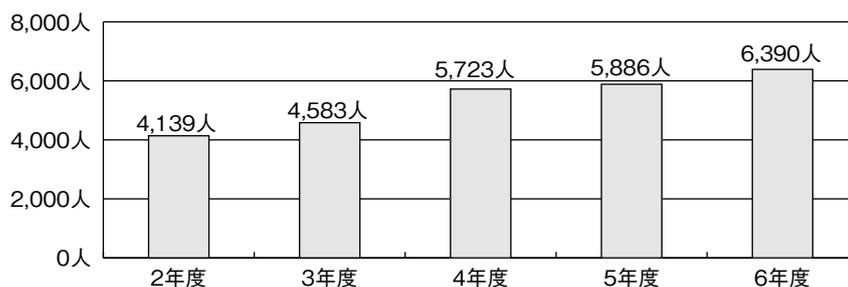
区 分		令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル		111日	33,266人	111日	34,145人	2.6%
ア イ ス ア リ ー ナ		189	39,275	188	42,546	8.3
ト レ ー ニ ン グ 室		314	35,372	310	36,410	2.9
会 議 室		195	5,218	185	5,442	4.3
計		—	113,131	—	118,543	4.8

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	可動床等修繕	

〔指 標〕

指 標 名：全スポーツ施設1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開場・開館日数



3 多目的屋内施設等整備事業費 56,991,045 円（スポーツ施設再編室）

〔総 括〕

多目的屋内施設等の整備に向け、「多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業」の事業者を決定し、特定事業契約を締結した。その後、多目的屋内施設等の整備に向けた取組みを見直すとともに、豊橋公園内の球場、武道館、テニスコート等を含め、市内全体のスポーツ施設の整備・再編に向けた検討を進めた。今後は、令和7年7月に行った住民投票の結果を受け、事業継続に向けて多目的屋内施設等の整備の早期再開を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 多目的屋内施設等整備事業費 56,991,045 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	多目的屋内施設整備基本計画の策定 要求水準書等の作成	

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ活用推進費 ＜スポーツによるまちの魅力と活力の創出＞	4,279,661	0	0	0	4,279,661

1 スポーツを活用したまちづくり事業費 1,618,670円 (スポーツ課)

[総括]

合宿等を目的に豊橋に宿泊する市外のスポーツ団体等を誘致するため、宿泊費の一部を助成する補助金を支出し、スポーツ施設の平日利用や、宿泊施設の需要喚起を図った。今後も、補助金の周知や市内スポーツ施設の魅力発信を行い、市外からの誘客に努め、まちの活性化を図っていく。

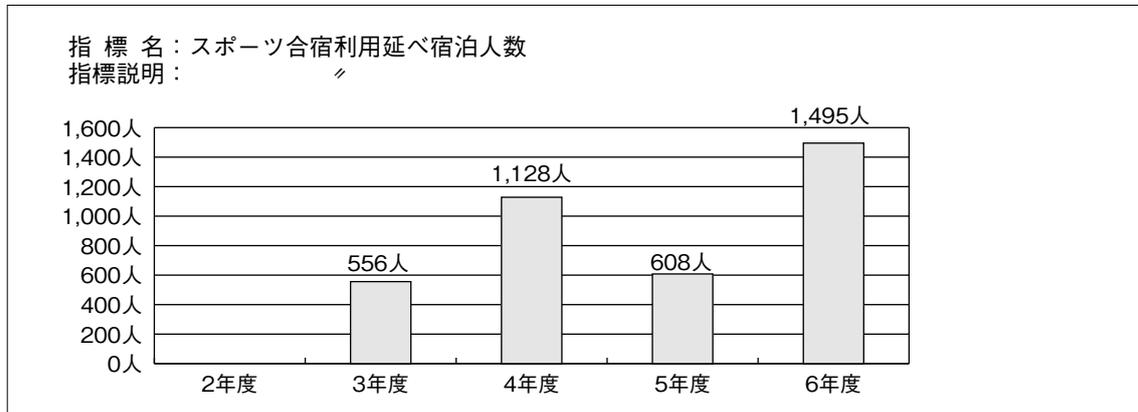
[実績及び成果]

(1) スポーツを活用したまちづくり事業費 1,618,670円

(ア) スポーツ合宿等支援事業補助金 1,487,000円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		11団体	484,000円	33団体

[指標]



2 スポーツ大会誘致事業費 1,644,175円 (スポーツ課)

[総括]

市民が「みる」スポーツに触れる機会を創出するため、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦の誘致、開催を支援した。今後も、プロスポーツをはじめとしたハイレベルなスポーツを積極的に誘致し、「みる」スポーツを充実させることにより、まちの活性化を図っていく。

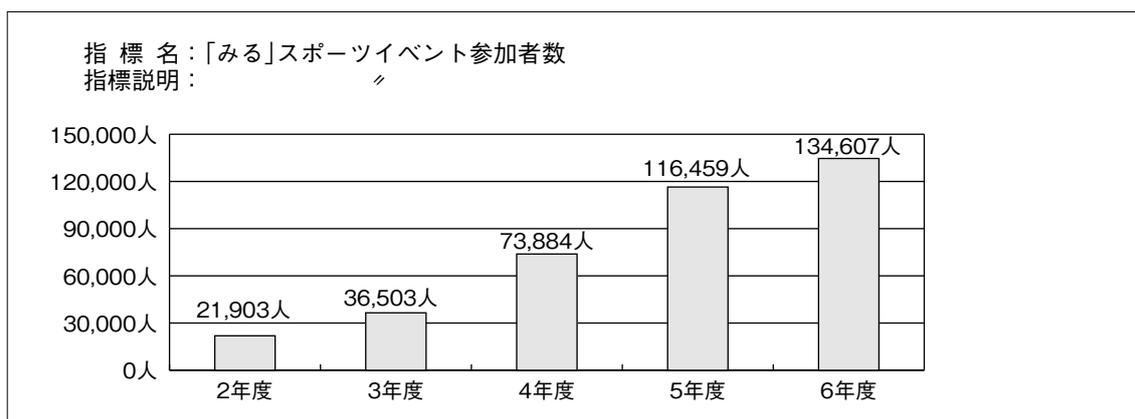
[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 1,644,175円

(ア) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,644,175円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
			849,984円	

[指標]



3 スポーツによる共生・交流促進事業費 1,016,816 円（スポーツ課）

[総括]

スポーツをより身近に感じられる機会を創出するため、豊橋市出身のアスリートであるバスケットボール選手の高田真希選手及びパラ卓球選手の八木克勝選手の協力のもと、講習会を開催した。また、八木選手を新たに「とよはしスポーツアンバサダー」として委嘱した。

共生社会の実現に向けた取組みとして、小学生を対象にゴールボールの出前講座を実施したほか、とよはしスポーツ博では車いすバスケットボール元日本代表である根木慎志氏による体験会を開催し、参加者にパラスポーツの魅力を伝えた。

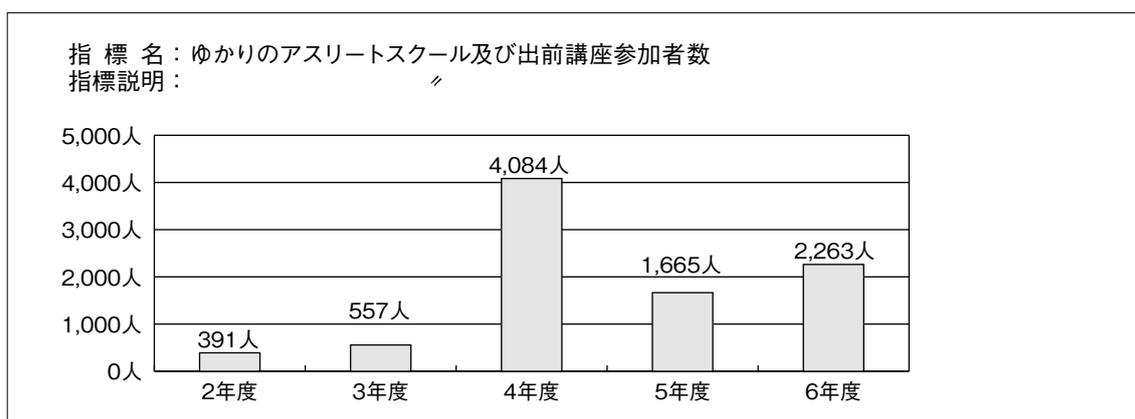
今後も、アスリートとの交流やパラスポーツの理解を深める活動を行うことで、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツによる共生・交流促進事業費 1,016,816円

出前講座開催回数	令和5年度	令和6年度
	10回	15回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9項 総務諸費	1,414,595,086	85,203,268	38,900,000	23,621,245	1,266,870,573
1目 地域コミュニティ活動費 <地域コミュニティ活動の促進>	403,095,942	0	38,900,000	3,917,382	360,278,560

1 地域コミュニティ推進事業費 125,631,328円 (市民協働推進課)

[総括]

地域の自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として、各校区及び町自治会に対してコミュニティ活動交付金を交付した。また、地域のまちづくりを進めていく人材を育成するため、まちづくり講習会を開催するとともに、コミュニティ活動に利用する備品整備に対し助成を行った。このほか、自治会のデジタル化を応援するため、自治会役員等を対象としたオンラインストレージの操作を学ぶ講習会を全10ブロックで開催した。今後も、地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の主体的なまちづくりの推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自治連合会活動事業費 123,080,408円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
コミュニティ活動交付金(校区自治会)	14,449,200円	14,459,200円	0.1%
コミュニティ活動交付金(町自治会)	108,498,780	108,043,940	△0.4
自治連合会活動推進費	693,154	276,968	△60.0
デジタル支援講座の開催	394,020	300,300	△23.8
計	124,035,154	123,080,408	△0.8

(2) 地域コミュニティ支援事業費 50,920円

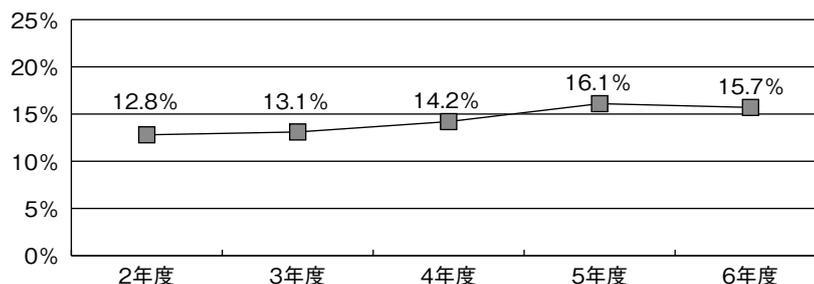
区 分	令和5年度	令和6年度
まちづくり講習会参加者数	150人	148人
地域コミュニティ人材育成研修	1種、1講座、参加者数120人	1種、1講座、参加者数94人

(3) コミュニティ推進事業補助金 2,500,000円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	対象校区	事業内容	対象校区	事業内容
内 容	天 伯	テーブル、プロジェクター等	下 地	椅子、テーブル等
	飯 村	椅子、テーブル	—	—
補 助 金	5,000,000円		2,500,000円	

[指標]

指標名：校区市民館の地域コミュニティによる利用率  
 指標説明：自治会等地域コミュニティ利用回数／利用者別利用回数合計



2 校区市民館管理運営事業費 212,723,655 円（市民協働推進課）

〔総括〕

校区市民館の利用者数は、令和5年度の853,180人に比べ19,130人増となった。また、LED照明器具取替修繕を15館で実施するなど、施設設備の老朽化に対応した。

今後は、営利事業者への一部利用制限緩和の周知に取り組むほか、地域住民が講師となることで、地域の人材を活かし活躍できる場を提供する地域講座の開催を促進することで、地域コミュニティ活動の充実を図る。

〔実績及び成果〕

(1) 校区市民館管理運営事業費（50館） 212,723,655円

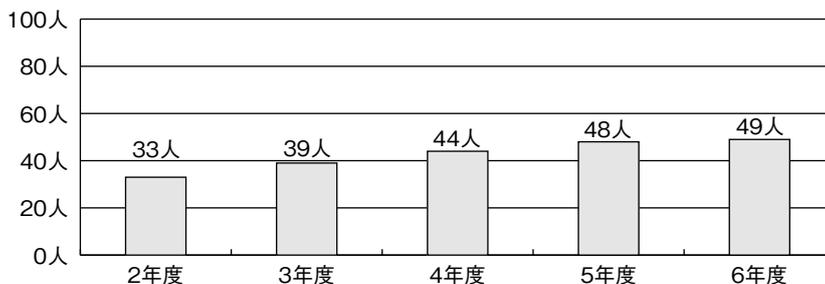
区 分	令和5年度		令和6年度		比較 (延利用者数)
	件数	延利用者数	件数	延利用者数	
東 田	1,428	24,488	1,261	20,595	△15.9%
松 葉	600	10,249	640	10,266	0.2
津 田	329	8,189	414	9,026	10.2
磯 辺	478	6,569	463	6,217	△ 5.4
大 崎	400	10,678	468	9,937	△ 6.9
鷹 丘	544	9,224	536	8,972	△ 2.7
下 条	584	35,848	533	29,710	△17.1
多 米	1,040	19,312	1,183	22,477	16.4
旭	923	21,537	842	17,667	△18.0
谷 川	525	16,694	576	19,885	19.1
花 田	801	15,936	825	16,463	3.3
高 師	798	10,679	770	11,676	9.3
野 依	800	13,912	774	15,459	11.1
植 田	844	14,071	819	14,109	0.3
牛 川	1,476	48,255	1,560	47,448	△ 1.7
西 郷	490	22,455	437	21,853	△ 2.7
石 巻	367	11,367	347	13,354	17.5
石巻（金田分館）	694	7,393	693	7,506	1.5
小 沢	470	11,854	571	13,479	13.7
豊 南	474	11,056	309	7,802	△29.4
賀 茂	495	16,456	494	16,811	2.2
芦 原	893	17,800	929	19,606	10.1
岩 田	1,097	23,871	1,017	20,947	△12.2
豊	891	11,376	839	11,673	2.6
大 村	642	9,899	656	9,673	△ 2.3
幸	606	13,622	610	15,225	11.8
福 岡	1,334	22,998	1,324	24,149	5.0
栄	1,189	17,297	1,251	17,528	1.3
嵩 山	841	32,099	805	27,443	△14.5
二 川	957	17,744	947	17,155	△ 3.3
高 根	622	8,416	608	7,532	△10.5

区 分	令和5年度		令和6年度		比 較 (延利用者数)
	件 数	延利用者数	件 数	延利用者数	
老 津	件 677	人 23,350	件 719	人 25,758	10.3%
下 地	682	19,085	554	17,002	△10.9
牟 呂	951	20,223	939	19,293	△ 4.6
吉 田 方	612	11,833	527	11,128	△ 6.0
天 伯	893	17,185	1,084	19,783	15.1
大 清 水	1,238	23,051	1,218	23,975	4.0
向 山	1,037	16,227	1,023	16,921	4.3
玉 川	831	17,056	788	15,778	△ 7.5
細 谷	402	7,493	392	8,771	17.1
飯 村	245	3,324	833	12,121	3.6倍
富 士 見	913	23,263	1,002	33,009	41.9%
中 野	996	17,816	928	17,932	0.7
八 町	836	16,889	860	17,188	1.8
二 川 南	848	22,571	823	20,921	△ 7.3
汐 田	1,393	24,327	1,423	26,575	9.2
松 山	587	15,451	691	18,810	21.7
つつじが丘	933	17,428	903	16,276	△ 6.6
新 川	1,390	24,596	1,245	26,371	7.2
前 芝	704	10,668	794	13,055	22.4
計	39,800	853,180	40,247	872,310	2.2

- (ア) LED照明器具取替修繕（下条始め15館） 11,297,000円
- (イ) 石巻校区市民館金田分館集会室冷暖房機取替修繕 1,254,000円
- (ウ) つつじが丘校区市民館外壁耐震工事 9,486,657円
- (エ) 下条校区市民館屋上防水・外壁改修工事 11,903,100円
- (オ) 嵩山校区市民館屋上防水・外壁改修工事 12,056,000円

[指 標]

指 標 名：校区市民館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／(開館日数×市民館数)



3 地域集会所建設支援事業費 4,500,000 円（市民協働推進課）

[総括]

地域住民の心のふれあい及び連帯意識の促進を図るため、1地区に対して地域集会所の建設にかかる費用の一部を助成した。今後も、地域のニーズを確認しながら、希望する地域に支援をしていく。

[実績及び成果]

(1) 地域集会所建設費補助金 4,500,000 円

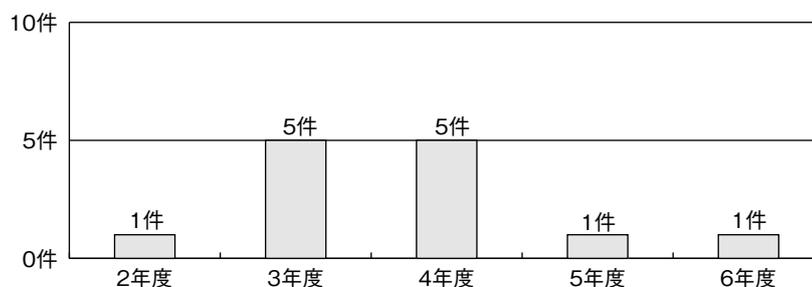
助成地区	令和5年度	令和6年度
	—	1地区（札木町）

(2) 地域集会所バリアフリー改修費補助金 0円

助成地区	令和5年度	令和6年度
	1地区（鍛冶町）	—

[指標]

指標名：地域集会所建設費等補助件数  
 指標説明：年度ごとの建設費、耐震改修費及びバリアフリー改修費の補助件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 市民活動支援費 <市民活動への支援>	86,198,825	0	0	2,864,410	83,334,415

1 市民活動推進事業費 5,259,346 円 (市民協働推進課)

[総括]

市民活動中の事故の補償や各種講座の開催など、市民活動が活性化するための支援を行った。市民活動プラザ登録団体数や市民協働推進補助金活用団体数が増えるなど、市民活動団体の活動は活発になっている。今後も引き続き市民の声を踏まえた市民活動への支援を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 市民活動支援事業費 3,017,346 円

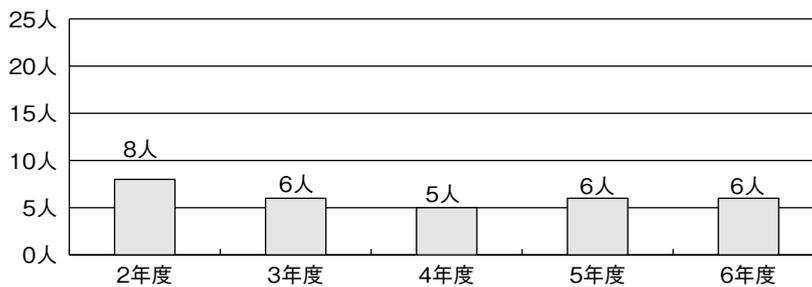
区 分	令和5年度	令和6年度
市民協働推進審議会	年間開催数4回	年間開催数5回
市民活動プラザ登録団体数	486団体	495団体
各種人材育成講座等の開催	9種、19講座、参加者数399人	8種、16講座、参加者数297人
東三河市民活動情報サイトへのアクセス数	33,477件	35,977件
市民活動総合補償制度対象事故件数	傷害55件 賠償3件	傷害49件 賠償1件

(2) 市民協働推進補助金 2,242,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
市民活動スタート支援(つつじ)補助金	9団体 450,000円	9団体 421,000円
市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金	2 420,000	7 1,404,000
市民活動若者支援(わかば)補助金	3 163,000	5 417,000

[指標]

指標名：市民活動プラザ1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数/開館日数



2 市民センター管理運営事業費 30,942,675 円（市民協働推進課）

〔総括〕

市民センターによる SNS（インスタグラム等）を用いた情報発信を継続し、市民活動支援の講座や市民活動団体が参加するイベントについて周知に努めた。また、市民センター会議室等の利用促進を図るため、新規利用やリピーターの獲得に努めた。今後も指定管理者の持つノウハウを活かした各種講座や相談事業を実施するとともに、集会・交流等のための施設として利用が促進されるよう、指定管理者と協力しながら周知に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 市民センター管理運営事業費 30,942,675 円

〔利用状況〕

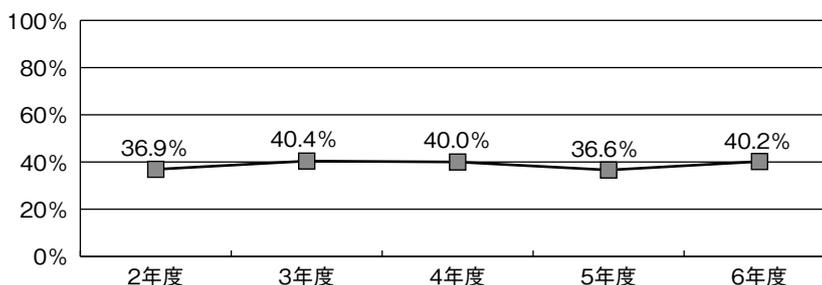
区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		比 較 (延利用者数)
	利用件数	延利用者数	利用件数	延利用者数	
第1ミーティングルーム	350件	2,892人	377件	3,770人	30.4%
第2ミーティングルーム	359	3,091	361	3,610	16.8
第3ミーティングルーム	194	1,581	243	2,430	53.7
第4ミーティングルーム	369	3,017	434	4,340	43.9
小 会 議 室	495	10,152	517	12,408	22.2
中 会 議 室	358	18,471	370	23,310	26.2
大 会 議 室	249	18,176	282	25,398	39.7
多 目 的 ホ ール	330	26,148	346	34,254	31.0
合 計	2,704	83,528	2,930	109,520	31.1
開 館 日 数	308日		304日		—

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
各種人材育成講座等の開催	7種、36講座、参加者数 2,345人	7種、34講座、参加者数 3,550人

〔指 標〕

指 標 名：市民センター会議室利用率

指標説明：利用件数 / (部屋数 × 利用可能日数 × 3区分) ※3区分は、貸出単位で午前、午後、夜間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 若者活躍支援費 <若者活躍の支援と機会の充実>	4,831,183	0	0	0	4,831,183

1 若者政策提案事業費 4,831,183円 (市民協働推進課)

[総括]

豊橋の将来を担う若者が自分たちの住みたくなるまちの実現に向け、ワークショップの中での議論を通して、豊橋の未来を創るための政策を提案する「豊橋わかば議会」を開催し、令和6年度は4つの政策を事業化した。また、「豊橋わかば議会」先輩若者委員から、政策立案及び提案後採択された事業に参画した経験を伝える場として、現役若者委員との交流会を開催した。今後は、政策提案に限らず、若者が主体的に事業へ関われるよう、実際に自分たちで事業を運営していく視点も議論に取り入れていく。

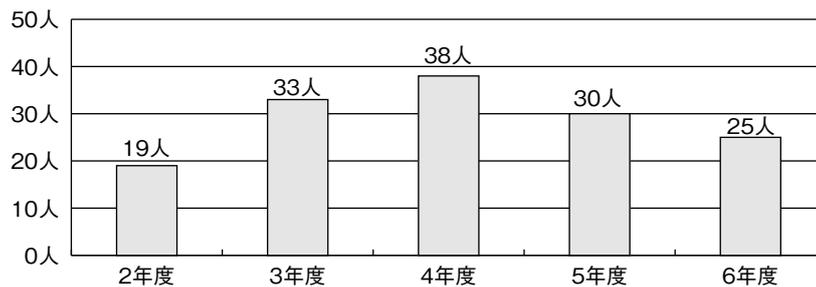
[実績及び成果]

(1) 若者政策提案事業費 4,831,183円

区 分	令和5年度	令和6年度
豊橋わかば議会参加者数	延 273人	延 233人

[指標]

指標名：わかば議会、提案事業等に関わった若者委員の人数  
 指標説明：現役若者委員の人数と提案事業等に参加した先輩若者委員の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 国際連携費 <国際連携の推進>	90,531,895	0	0	42,940	90,488,955

1 友好提携交流事業費 7,430円 (多文化共生・国際課)

[総括]

リトアニア・パネヴェジス市とのパートナーシティ協定締結5周年記念事業として、同国の文化や歴史に触れ、理解を深めることを目的としたイベント及び企画展を開催した。また、友好都市である中国・南通市より訪問団を受け入れたほか、姉妹都市のアメリカ・トリード市からはユース・オーケストラを迎えるなど、積極的な交流を展開し、相互理解と友好親善を深めた。

[実績及び成果]

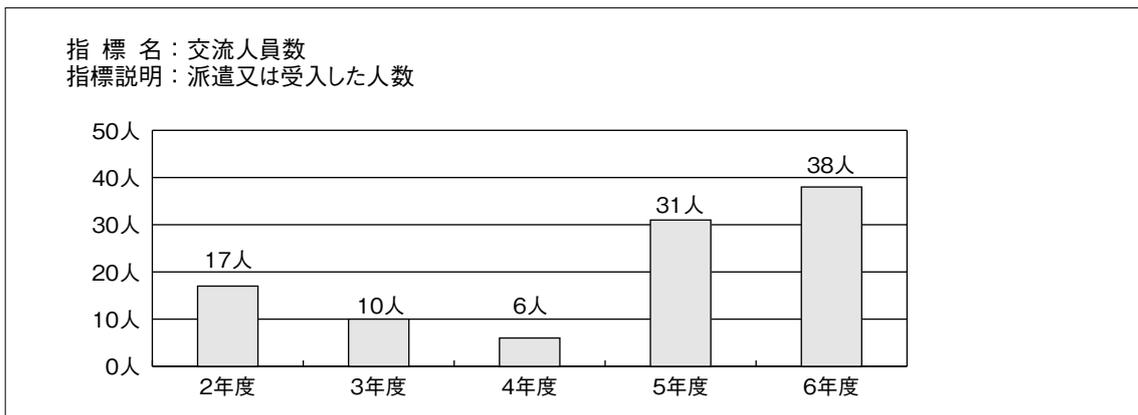
(1) 友好・姉妹都市交流事業費 6,000円

内 容	令和5年度	令和6年度
		—

(2) パートナーシティ交流事業費 1,430円

内 容	令和5年度	令和6年度
	<b>【ドイツ・ヴォルフスブルグ市】</b> 国際青年会議へ学生を派遣 インターン生の受入 実科学校生徒の受入	

[指 標]



2 豊橋市国際交流協会補助金 52,185,215 円（多文化共生・国際課）

[総括]

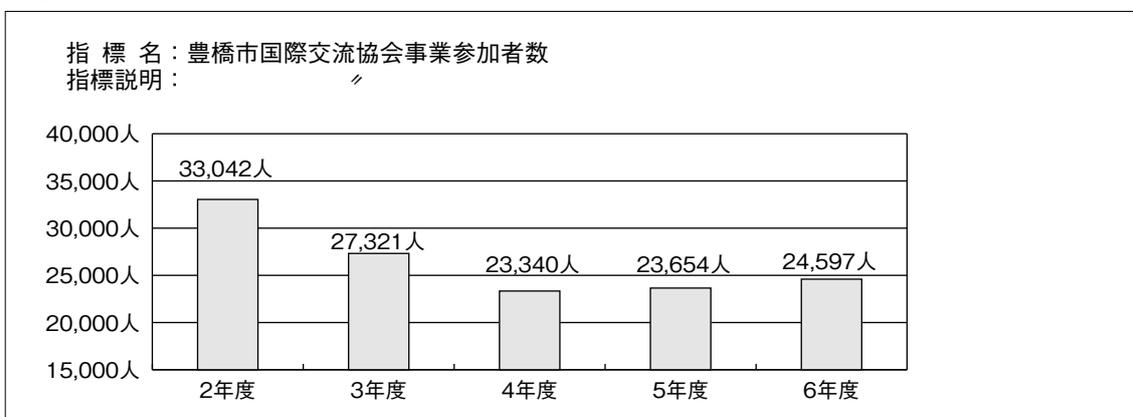
豊橋市国際交流協会は、令和6年度に設立35周年を迎え、これを記念しアメリカ・トリード市のグレーター・トリード・インターナショナル・ユース・オーケストラ（GTiYO）による演奏会を開催した。また、日本語学習支援事業、国際理解教育・語学講座の実施、国際交流サロンの運営など、地域の国際交流活動の促進及び国際化意識の向上を図ったほか、日本語ボランティア講座の開催や災害時通訳ボランティアの養成など、外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進した。今後も市として協会が実施する各種事業を支援するとともに、様々な機会を通じて、協会への協力支援に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市国際交流協会補助金 52,185,215 円

補助金	令和5年度	令和6年度
	46,400,602円	52,185,215円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 多文化共生費 <多文化共生の推進>	66,751,760	7,104,303	0	1,000,000	58,647,457

1 多文化共生推進事業費 42,207,006 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

外国人市民も安心して行政サービスを受けられるよう、通訳者による外国人市民相談のほか、31言語に対応できる多言語通訳タブレットを1台から3台に増強するとともに、ベトナム語・インドネシア語翻訳者を新たに配置した。また、市ホームページリニューアルに伴い開設した外国人向け情報ページやSNSを活用し、やさしい日本語を含めた多言語で外国人市民に役立つ情報を発信した。一方で、日本人向けに出前講座や職員研修、駅前デジタルサイネージでの周知などやさしい日本語の普及啓発に努めた。

さらに、外国人の子どもたちへの日本語学習支援として、就学前の幼児を対象としたプレスクールや外国人中学生等アフタースクール事業に加え、安定的な就労につなげることを目的とした成人向け日本語教室の実施や、日本語が話せない方を対象に、日本語が学べる初期地域日本語教室を開設した。また精神面でのケアが必要なブラジル人を支援するためのメンタルヘルス相談事業を実施した。

[実績及び成果]

(1) 外国人相談事業費 32,133,461 円

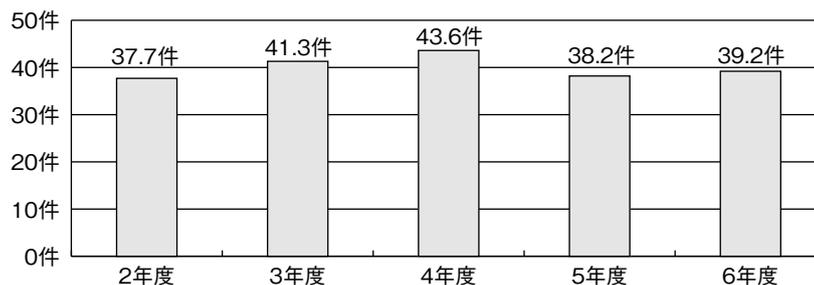
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
相 談 件 数	12,951件	13,057件	0.8%
外国人情報窓口対応件数	6,647	7,961	19.8
文 書 等 翻 訳 件 数	160	161	0.6

(2) 多文化共生事業費 10,073,545 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	プレスクール事業 (3か所 (4教室)、参加者63名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 外国人中学生等アフタースクール事業 就労のための日本語教室事業 「多文化共生推進計画2024-2028」の策定	プレスクール事業 (3か所 (4教室)、参加者57名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 外国人中学生等アフタースクール事業 就労のための日本語教室事業 初期地域日本語教室事業

[指 標]

指 標 名：外国人相談開設1日当たりの相談件数  
 指標説明：相談件数／相談開設日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 男女共同参画推進費 <性別によらずに活躍できる環境の充実>	34,332,310	369,000	0	0	33,963,310

1 男女共同参画推進事業費 2,644,416円 (市民協働推進課)

[総括]

男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会の実現をめざし、男女共同参画週間・月間啓発イベントや啓発パンフレットの配布、男女共生フェスティバルなどを行い、市民の男女共同参画及び性の多様性を尊重する意識の醸成を図った。また、女性活躍を推進するため、地元企業と協働し、女子生徒のための理系魅力発見セミナーを5事業所で開催したほか、女性応援プロジェクトでは女性の活躍を目的としたセミナー及びグループワークを実施した。このほか、女性を対象とした再就職・起業支援セミナー及び無料相談を開催するとともに、女性のキャリアアップを支援するための国家資格及び公的資格取得に対する補助金を支給した。今後も様々な事業を展開し、さらなる男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 男女共同参画啓発事業費 1,684,311円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
委員会、審議会等の女性委員数	107人	143人*	33.6%
一般啓発事業 標語応募点数	319点	492点	54.2
女性再就職支援事業参加者数	43人	28人	△34.9
女性応援プロジェクト参加者数	57	35	△38.6

\*豊橋市附属機関設置条例の制定により、対象となる委員会、審議会等が増加した。

(2) 女性キャリアアップ応援補助金 351,000円

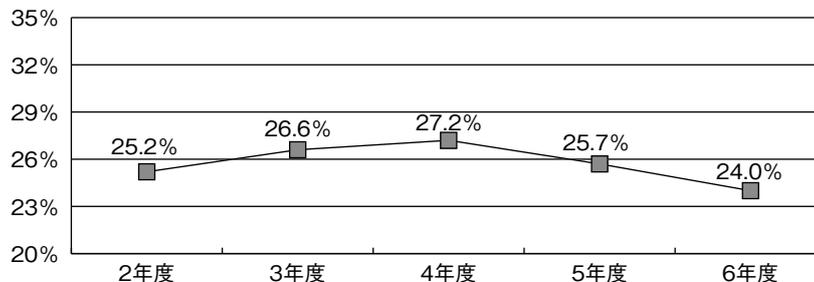
補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		6件	187,000円	11件

(3) 男女共生フェスティバル開催事業補助金 609,105円

区 分	令和5年度	令和6年度
男女共生フェスティバル参加者数	622人	858人
補 助 金	616,256円	609,105円

[指 標]

指 標 名：委員会、審議会等(法律・条例に基づくもの)女性委員の比率  
 指標説明：女性委員数/全体の委員数



※対象とする委員会、審議会等を「法律・条例・要綱に基づくもの」から「法律・条例に基づくもの」に変更したため、2年度～3年度指標を再計算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 男女共同参画支援費 <性別による困難を抱える人への支援の充実>	20,137,584	6,887,000	0	4,500	13,246,084

1 男女共同参画支援事業費 20,137,584円 (市民協働推進課)

[総括]

悩みを抱える人への支援として、女性相談員による悩みごと相談、DV相談のほか、専門の相談員による法律相談、男性相談、LGBT等性的少数者のための相談を実施した。このうち、男性相談について、日時の拡充をするとともに、身近な施設で相談ができる体制を整えた。また、パートナーシップ制度について、事実婚の方やパートナーシップにある方の三親等内の近親者を制度対象者に加え、パートナーシップ・ファミリーシップ制度にするとともに、制度利用者の転出入時における負担を軽減するための自治体間連携を進めた。加えて、SNS相談や居場所の提供、訪問支援などのつながりサポート事業を実施した。このほか、男女共同参画センターにおいては、男女共同参画の推進に取り組む団体の交流・活動場所の提供に加え、男女共同参画に関する掲示や図書の充実などによる情報提供を行うとともに、男性の家事や育児への主体的な参画を促す講座等を実施した。今後も性別等による困難を抱える人の支援を実施するとともに、男女共同参画センターの利用促進に努めていく。

[実績及び成果]

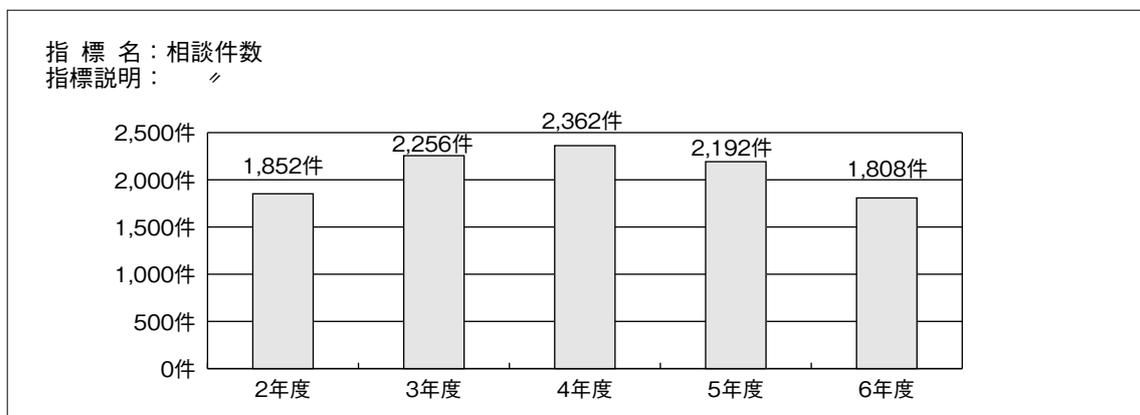
(1) 相談支援事業費 17,711,137円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
女性法律相談件数	19件	14件	△26.3%
女性悩みごと相談件数	1,905	1,557	△18.3
D V 相 談 件 数	260	231	△11.2
男 性 相 談 件 数	5	4	△20.0
L G B T 相 談 件 数	3	2	△33.3
パートナーシップ・ファミリーシップ制度宣誓件数	5	6	20.0

(2) 男女共同参画センター管理運営事業費 2,426,447円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
男女共同参画センター利用者数	延 37,048人	延 37,018人	△ 0.1%
ライフアップセミナー参加者数	7講座 89	5講座 72	△19.1

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 地域防災力強化費 <地域防災力の充実>	47,692,480	1,941,490	0	0	45,750,990

1 地域防災力強化推進事業費 16,046,100円 (防災危機管理課)

[総括]

地域防災力の強化を図るため、地域防災の担い手を育成する「防災リーダー養成講座」の開催や、小学校と地域が連携して災害への備えに取り組む「防災まちづくりモデル校区事業」を実施した。また、災害時に円滑なペット同行避難ができるように、必要な資材等をまとめたスターターキットを避難所である小学校に配備するとともに、アクションカードを用いた訓練を実施した。さらに、家庭における防災力の向上を図るため、家具転倒防止金具やガラス飛散防止フィルム等を取り付ける費用の一部を助成したほか、市内小売業者と協力し、家庭の備蓄を促進するキャンペーンを実施した。なお、令和6年度の総合防災訓練は、台風10号の接近により中止となった。今後も各種訓練や防災啓発活動を実施することで、市民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化などを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 防災対策啓発事業費 12,585,550円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
防災啓発講習会の開催回数	359回	363回	1.1%

(2) 自主防災組織育成事業費 3,066,950円

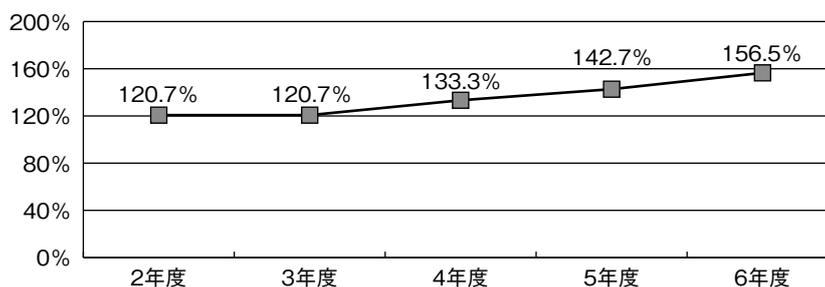
内 容	令和5年度	令和6年度	令和6年度末累計
防災リーダー養成講座修了者数	80人	117人	1,330人

(3) 家具転倒防止推進事業補助金 393,600円

内 容	令和5年度	令和6年度	令和6年度末累計
家具転倒防止推進事業補助金交付世帯数	134世帯	96世帯	230世帯

[指 標]

指 標 名：防災リーダー養成講座修了者目標達成率  
 指標説明：防災リーダー養成講座修了者数／防災リーダー養成目標数(850人)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 災害対応力強化費 <災害対応力の強化>	300,571,868	9,476,005	0	8,518,126	282,577,737

1 防災対策事業費 127,622,650 円 (防災危機管理課)

[総括]

豊橋ほっとメールの登録促進や豊橋防災ラジオの普及、同報系防災行政無線や飲料水耐震性貯水槽等の防災関係設備の適切な維持管理と運用を行うとともに、老朽化した避難所等誘導標識を更新した。また令和5年6月の大雨被害を踏まえ、水没車両救助訓練をはじめとした実際の災害に近い形で水防訓練を実施した。今後も大規模地震や風水害に備え、防災対策の強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策管理事務費 41,442,363 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか

(2) 東三河地域防災協議会負担金 1,789,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
セミナー・研修会の開催回数	3回	3回
調査研究テーマ数	4テーマ	4テーマ
調査研究成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東三河地域における熱中症発生の時空間分布調査と対策に関する研究</li> <li>○南海トラフ地震による東三河地域のリアルタイム被害想定システムの構築</li> <li>○南海トラフ地震を想定した東三河地域における応急仮設住宅の需給推計</li> <li>○訪問看護・訪問リハビリテーション事業と協働した災害時要配慮者の避難行動の確立と避難所における環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東三河地域における熱中症発生の時空間分布調査と対策に関する研究</li> <li>○南海トラフ地震による東三河地域のリアルタイム被害想定システムの構築</li> <li>○南海トラフ地震を想定した東三河地域における応急仮設住宅の需給推計</li> <li>○訪問看護・訪問リハビリテーション事業と協働した災害時要配慮者の避難行動の確立と避難所における環境整備</li> </ul>

(3) 防災備蓄品等整備事業費 46,436,362 円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
非常用食料購入数	70,512食	63,512食	△ 9.9%
避難誘導標識整備数	5か所	4か所	△20.0

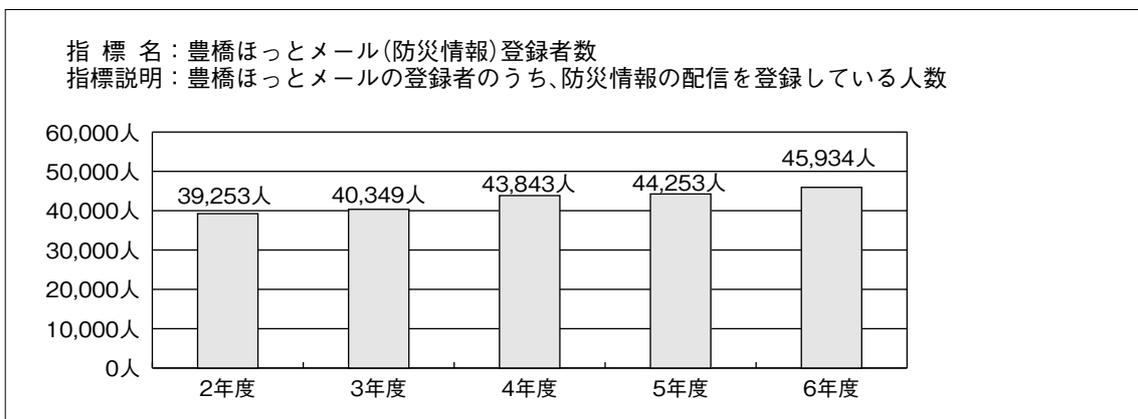
(4) 防災無線維持管理事業費 30,079,237 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局修繕 同報系防災行政無線屋外拡声子局移設	

(5) 飲料水用施設維持管理事業費 5,826,073 円

(6) 水防対策事業費 2,049,615 円

[指 標]



2 危機管理対策事業費 20,209,542 円（防災危機管理課）

[総 括]

災害時における被害状況の収集能力向上及び初動対応力強化を図るため、全天候型ドローンを活用した救助現場などの映像伝送訓練を行った。また、被害や対応状況の把握と共有の迅速化を図るため、災害情報共有システム（TRANS MOD）の機能強化を行うとともに、災害対策本部が有効に機能するよう災害対策本部設置運営訓練や機器操作研修を実施した。今後も、各種訓練や機器操作研修を実施し、災害対策本部機能の強化に努めていく。

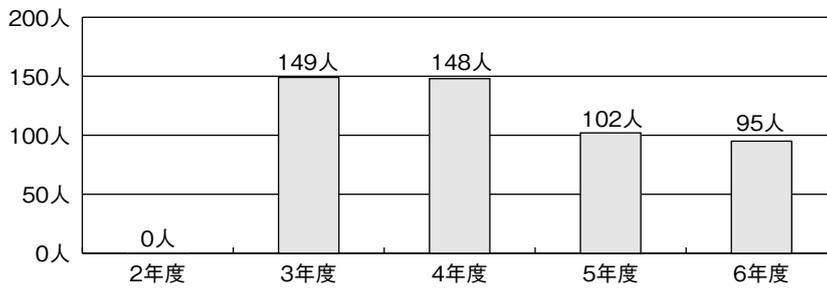
[実績及び成果]

(1) 危機管理対策事業費 20,209,542 円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
機器操作研修の受講者数	102人	95人	△ 6.9%
ドローン飛行隊出動回数	11回	10回	△ 9.1

[指 標]

指 標 名：災害対策本部機器操作研修の受講者数  
指標説明：／



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 耐震化促進費 <建物の耐震化の促進>	108,967,612	56,008,000	0	3,400	52,956,212

1 建築物耐震促進事業費 75,690,309 円 (建築物安全推進課)

[総括]

発生が危惧される南海トラフ地震等に備え耐震化を促進するため、民間木造住宅の無料耐震診断や各種助成を行うとともに、災害発生時の生命の安全確保及び道路の閉塞防止のため、ブロック塀等の撤去に対する助成を行った。今後も、「豊橋市建築物耐震改修促進計画」に基づき、積極的な啓発と各種助成の実施により耐震診断及び耐震改修等のさらなる普及を図り、災害に強いまちづくりをめざす。

[実績及び成果]

(1) 木造住宅耐震診断事業費 7,552,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成14年度からの累計
耐震診断実施棟数	220棟	160棟	12,313棟

(2) 木造住宅耐震改修費補助金 45,936,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成15年度からの累計
耐震改修実施棟数	34棟	49棟	1,440棟

(3) 木造住宅段階的耐震改修費補助金 2,400,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成25年度からの累計
耐震改修実施棟数	4棟	4棟	29棟

(4) 非木造住宅耐震診断費補助金 0 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成20年度からの累計
耐震診断実施棟数	0棟	0棟	11棟(102戸)

(5) 非木造住宅耐震改修費補助金 0 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成24年度からの累計
耐震改修等実施棟数	0棟	0棟	0棟

(6) 木造住宅解体工事費補助金 15,133,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成22年度からの累計
解体工事補助棟数	48棟	52棟	648棟

(7) 木造住宅耐震シェルター整備費補助金 3,000,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成25年度からの累計
シェルター設置棟数	7棟	10棟	33棟

(8) 特定既存耐震不適格建築物耐震診断費補助金 0 円

区 分	令和5年度	令和6年度	平成29年度からの累計
耐震診断実施棟数	1棟	0棟	3棟

(9) 要安全確認計画記載建築物耐震改修費補助金 0円

区 分	令和5年度	令和6年度	令和4年度からの累計
耐震改修等実施棟数	1棟(工事)	0棟	1棟

(10) ブロック塀等撤去費補助金 879,000円

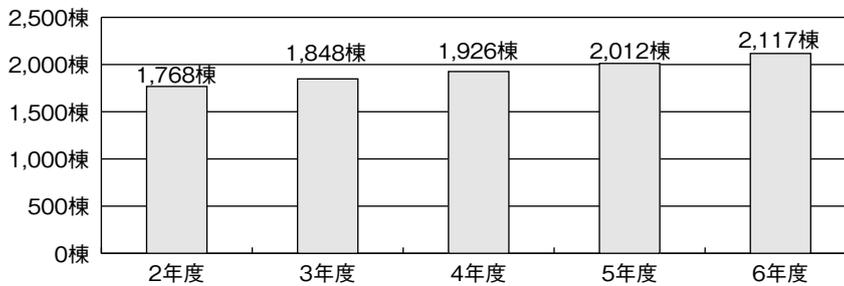
区 分	令和5年度	令和6年度	平成30年度からの累計
ブロック塀等撤去件数	17件	12件	169件

(11) 建築物耐震促進啓発事業費 730,309円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
ダイレクトメールの発送数	8,538通	7,455通	△12.7%

[指 標]

指 標 名：住宅の耐震改修・解体工事棟数(累計)  
指 標 説 明：住宅の耐震改修棟数 + 解体工事棟数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 防犯・治安対策費 <防犯・治安対策の推進>	73,662,062	900,000	0	140,000	72,622,062

1 防犯・治安対策推進事業費 48,468,393 円 (安全生活課)

[総括]

犯罪のない安全で安心なまち「とよはし」をめざして策定された「第6次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」に基づき、防犯パトロール、自主防犯活動への支援、各世代に応じた防犯教育講座を開催するとともに、警察・市民・事業者と協力して防犯啓発活動を行った。また、地域防犯力を向上するため、市が主体となって防犯カメラの計画的な設置を進めるとともに、自治会等へ防犯灯の設置・維持に係る補助を行った。さらに、還付金詐欺等の未然防止のため、特殊詐欺対策装置購入に対する助成を行った。しかしながら、令和6年中の市内の刑法犯罪発生件数は、依然として高い状況が続いており、行動計画の目標値を達成することができなかったため、引き続き関係機関等と連携協力し、地域防犯力や防犯意識向上のための取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市防犯協会連合会補助金 2,600,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		2,600,000円		2,600,000円

(2) 地域防犯事業費 28,372,617 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
防 犯 教 育 講 座	開催数120回	受講者数16,918人	開催数126回	受講者数14,621人
自 主 防 犯 活 動	52小学校区	活動者数12,940人	52小学校区	活動者数12,742人
安全なまちづくり市民運動	実施回数 4回		実施回数 4回	
防 犯 カ メ ラ 設 置	9台 (自治会)		250台 (市)	

(3) 安全安心防犯灯補助金 9,100,461 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
設 置 補 助 灯 数	234灯	3,930,200円	186灯	3,128,400円
維 持 補 助 灯 数	4,571	5,299,446	4,860	5,972,061

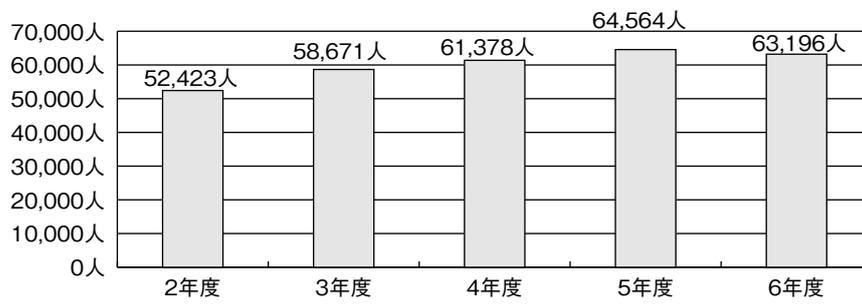
(4) 路上喫煙防止対策事業費 8,395,315 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業 (啓発シール階段貼付など)・路上喫煙実態調査		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業 (路面標示シート貼替など)

[指 標]

指 標 名：地域防犯活動に参加した市民の人数

指標説明：地域において防犯活動に関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 交通安全対策費 <交通安全対策の推進>	126,818,090	2,517,470	0	3,000,000	121,300,620

1 交通安全対策推進事業費 102,926,655 円 (安全生活課)

[総括]

誰もが安全に移動できるまちをめざし、交通事故死者数等の目標値を定めた「第11次豊橋市交通安全計画」に基づき、各種交通安全対策を実施した。交通安全思想の普及徹底のため、四季の交通安全運動を実施するとともに、子どもと高齢者の安全確保のため、交通安全教室の開催や運転免許証の自主返納を促す取組みを実施した。さらに、自転車交通事故発生抑止のため、ステッカー原画及びポスターデザイン募集において最優秀賞となった作品を使用して啓発品を作成し、イベントでの配布や市内各所への掲示などに活用した。結果として、令和6年中の市内の交通事故死者数及び人身事故件数等は、計画の目標値を達成することができた。

[実績及び成果]

(1) 交通安全啓発事業費 83,626,274 円

区 分	令和5年度	令和6年度
交通安全教室	321回 参加者数 24,759人	326回 参加者数 24,770人
交通安全市民運動	実施回数 4回	実施回数 4回

(2) 通学路標示板整備事業費 242,000 円

通学路標示板設置	令和5年度	令和6年度
	27か所	23か所

(3) 交通安全実施団体補助金 2,700,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
交通安全協会補助金	2,000,000円	1,000,000円
交通安全都市推進協議会補助金	1,500,000	1,500,000
幼児交通安全クラブ連絡協議会補助金	200,000	200,000

(4) 自転車ヘルメット購入補助金 5,883,640 円

区 分	令和5年度	令和6年度
ヘルメット購入補助件数	4,755件 9,422,490円	2,956件 5,883,640円

(5) 予防型交通安全対策事業費 2,400,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
市内で発生した人身事故件数	1,070件	1,143件

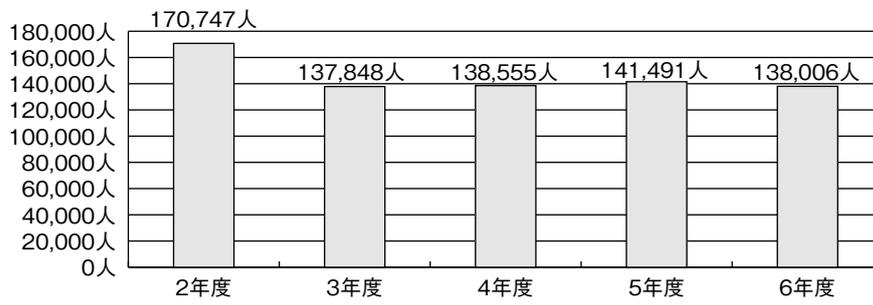
(6) 高齢者交通安全対策推進事業費 8,074,741 円

区 分	令和5年度	令和6年度
運転免許自主返納助成件数	888件	1,044件
安全運転支援装置設置者数	5人	8人

[指 標]

指 標 名：交通安全活動に関わった市民の人数

指標説明：交通安全教育・啓発活動などに参加又は関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 消費者保護費 <消費者保護の推進>	51,003,475	0	0	4,130,487	46,872,988

1 消費者行政事業費 15,633,227 円 (安全生活課)

[総括]

第52回消費者展を開催し、消費者団体と協働で消費生活に関する啓発を行った。また、消費生活相談事業及び消費者啓発事業を東三河8市町村で共同実施し、国家資格を有する消費生活相談員が消費生活トラブルに関する相談に対応するとともに、消費生活出前講座などを開催した。消費生活に関する相談件数は前年度と比較して増加しており、特に近年インターネットやSNSを通じての取引が多く、トラブルの内容は、年々多様化・複雑化している。今後も消費者被害の未然防止や救済のため、啓発活動や消費生活相談に取り組むとともに、消費生活相談員の育成などによる相談体制の充実を図る。

[実績及び成果]

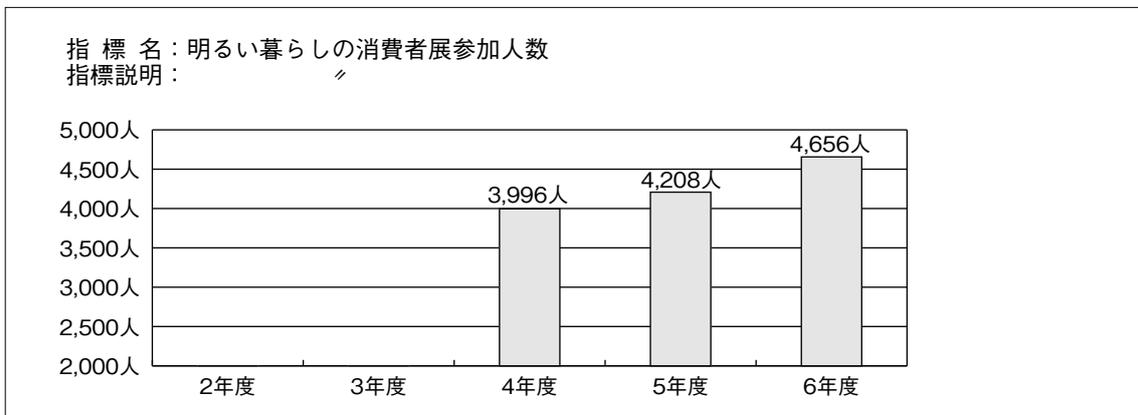
(1) 消費者行政推進事業費 547,381 円

区 分	令和5年度	令和6年度
明るい暮らしの消費者展	第51回 10.21~22 参加者数4,208人	第52回 10.19~20 参加者数4,656人

(2) 東三河広域連合消費生活事業負担金 15,085,846 円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
	15,080,807円	15,085,846円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 款 民 生 費	63,638,655,689	32,076,503,420	577,900,000	2,060,582,136	28,923,670,133
1 項 社 会 福 祉 費	26,965,095,729	14,597,346,028	92,800,000	182,144,345	12,092,805,356
2 目 地 域 福 祉 活 動 推 進 費 <地域福祉活動の推進>	378,769,242	28,422,000	85,000,000	8,673,136	256,674,106

1 地域福祉推進事業費 38,764,257 円 (福祉政策課)

[総括]

福祉相談サポートセンターにおいて、複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援する相談機関が円滑に連携するための調整や、支援につながっていない人に対して伴走型支援を行う等、課題の解決に向けた支援を行った。また、災害時に家族等の援助を受けることが困難であり、避難支援を必要とする人（避難行動要支援者）を把握するとともに、日頃の見守りと災害発生時の支援に活用するため、本人同意のもと地域の自主防災組織及び民生委員へ避難行動要支援者の情報を提供した。今後も地域福祉サービスの充実を図っていく。

[実績及び成果]

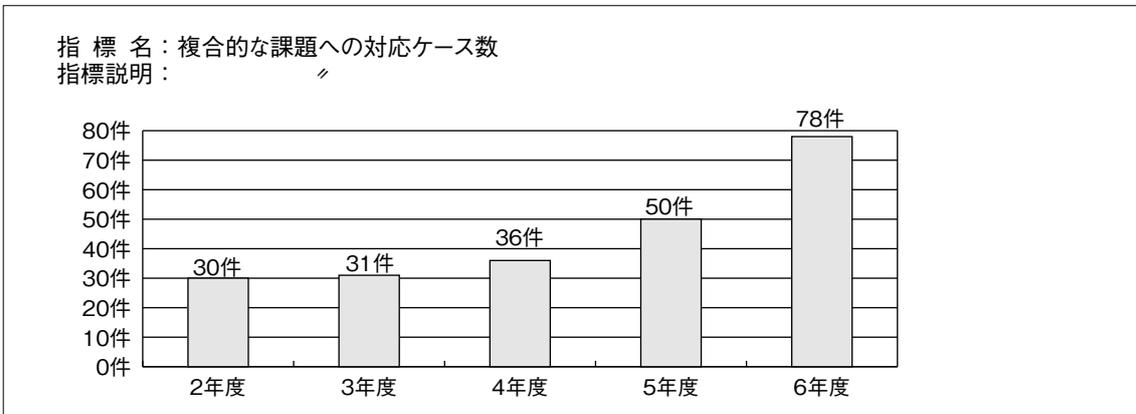
(1) 地域共生社会推進事業費 35,798,248 円

複合的な課題への 対応ケース数	令和5年度	令和6年度	比較
		50件	78件

(2) 避難行動要支援者支援事業費 140,176 円

避難行動要支援者登録 台帳への新規登録者数	令和5年度	令和6年度	比較
		144件	141件

[指標]



2 福祉センター管理運営事業費 219,484,716 円（福祉政策課）

[総括]

総合福祉センターを始め4か所の福祉センターについて指定管理者による管理を行ったほか、つつじが丘地域福祉センターの管理運営に対し助成を適切に行った。今後も社会福祉活動の拠点として地域福祉の振興を図るため、利便性の向上や利用の促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域福祉センター管理運営事業費 72,145,207 円

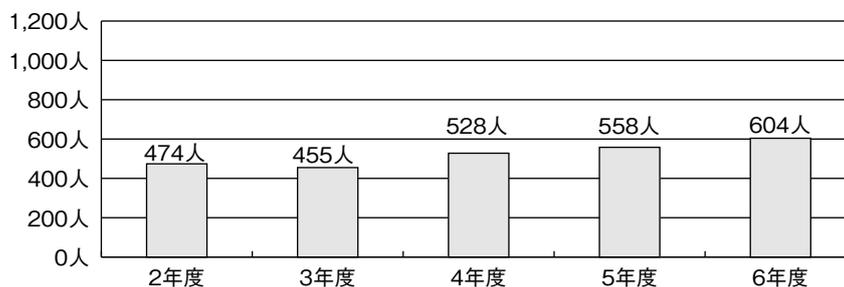
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
八町地域福祉センター	延 16,636人	延 15,706人	△ 5.6%
大清水地域福祉センター	延 23,652	延 35,752	51.2
牟呂地域福祉センター	延 28,414	延 27,214	△ 4.2
つつじが丘地域福祉センター	延 39,191	延 37,525	△ 4.3
利 用 者 数 合 計	延 107,893	延 116,197	7.7

(2) 総合福祉センター管理運営事業費 147,339,509 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
利 用 者 数	延 63,902人	延 69,251人	8.4%

[指 標]

指 標 名：福祉センター1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 暮らしを支える福祉推進費 <暮らしを支える福祉サービスの充実>	133,220,856	1,000,000	0	6,889,042	125,331,814

1 成年後見制度推進事業費 25,473,961 円 (福祉政策課)

[総括]

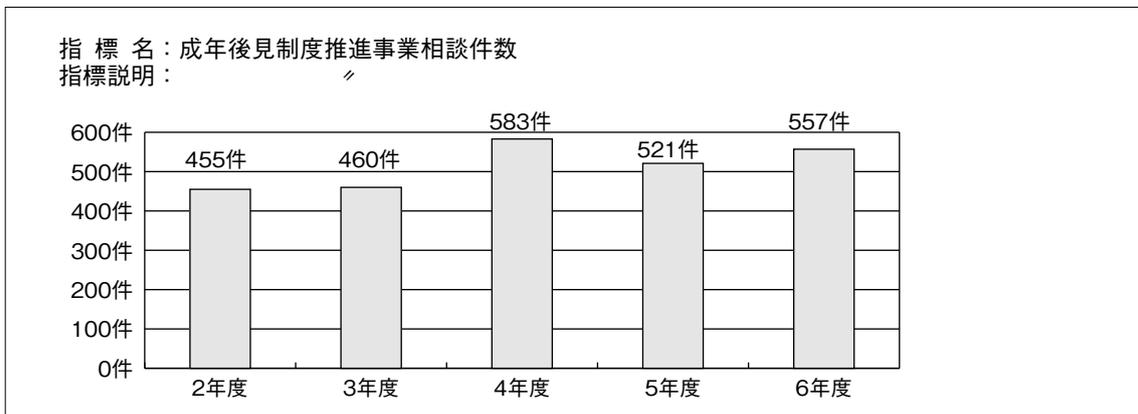
権利擁護の総合的な推進拠点となる成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及啓発と相談等を実施した。また、受任調整会議を開催し、成年後見制度の利用を必要とする方の生活環境や抱えている課題を考慮したうえで、求められる後見活動や後见人等候補者を検討した。今後も制度の利用を希望する人が適切に制度を利用できるよう体制整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 成年後見制度推進事業費 25,473,961 円

相 談 件 数	令和5年度	令和6年度	比 較
		521件	557件

[指 標]



2 更生保護活動支援事業費 5,668,257 円 (福祉政策課)

[総括]

犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪・非行の予防啓発活動等を行う更生保護事業の拠点施設として、保護司会等の更生保護団体が利用する更生保護会館の管理運営を行った。また、更生保護活動及び犯罪予防活動を行う更生保護団体に対し、適切な補助金交付を行った。今後も更生保護団体と関係機関・団体及び地域住民との連携を強化し、更生保護活動の一層の充実強化を図る。

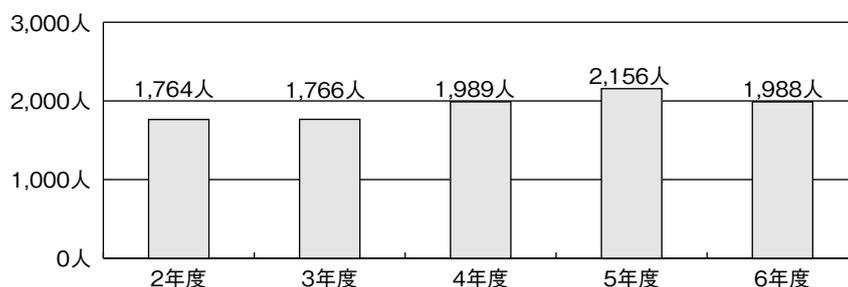
[実績及び成果]

(1) 更生保護活動支援事業費 5,668,257 円

更生保護会館利用者数	令和5年度	令和6年度	比 較
		延 2,156人	延 1,988人

[指 標]

指 標 名：更生保護会館年間延利用者数  
 指標説明：〃



3 社会福祉施設等指導監査事業費 23,934,234 円（福祉政策課）

[総 括]

質の高い社会福祉サービスを確保するため、社会福祉施設、障害福祉サービス事業者等の運営や福祉サービスの提供状況について、指導監査や運営指導を行った。また、東三河広域連合が実施する社会福祉法人に関する指導監査及び介護保険サービス事業者等に対する運営指導の事務に要した経費を負担した。今後も利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、適正な指導を行っていく。

[実績及び成果]

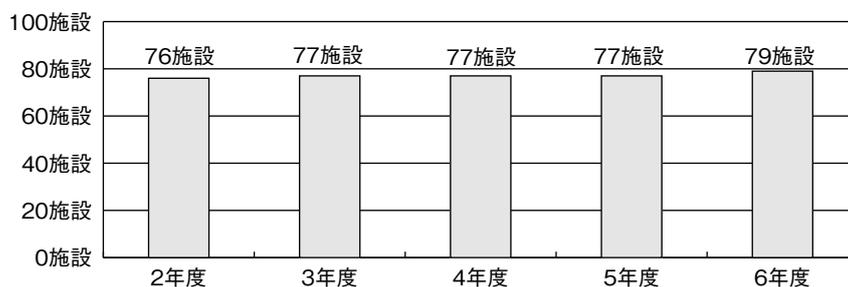
(1) 社会福祉施設等指導監査事務費 213,603 円

区 分	令和5年度	令和6年度
社会福祉施設指導監査実施施設数	77施設	79施設
障害福祉サービス事業者等運営指導件数	164件	167件

(2) 東三河広域連合監査指導事業負担金 23,720,631 円

[指 標]

指 標 名：社会福祉施設指導監査実施施設数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 障害者総合支援費 <障害者(児)の自立と社会参加の促進>	14,143,744,902	9,644,269,047	7,800,000	63,018,353	4,428,657,502

1 障害福祉サービス等給付事業費 9,818,520,882円 (障害福祉課)

[総括]

障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などの障害福祉サービス等の給付事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。在宅で生活を希望する医療的ケアが必要な重度障害者が増加したことに伴い、重度訪問介護の利用者数が大きく増加した。また、障害者が自立した生活を営むことに対する需要も高く、共同生活援助の利用者数も増加した。今後も、障害者の自立、社会参加に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 介護給付事業費 4,829,596,673円

区 分	令和5年度	令和6年度
居 宅 介 護	延 172,352時間	延 159,662時間
重 度 訪 問 介 護	延 48,821	延 59,731
同 行 援 護	延 14,077	延 15,329
行 動 援 護	延 1,833	延 1,281
生 活 介 護	延 218,518日	延 213,649日
療 養 介 護	延 11,370	延 11,295
短 期 入 所	延 8,319	延 9,021
施 設 入 所 支 援	延 83,147	延 80,430

(2) 訓練等給付事業費 4,075,967,061円

区 分	令和5年度	令和6年度
就 労 移 行 支 援	延 1,317人	延 1,466人
就 労 継 続 支 援 ( A 型 )	延 2,530	延 2,431
就 労 継 続 支 援 ( B 型 )	延 12,230	延 12,931
就 労 定 着 支 援	延 556	延 591
共 同 生 活 援 助	延 8,075	延 9,288
自 立 訓 練	延 92	延 90
自 立 生 活 援 助	延 24	延 19

(3) 自立支援医療給付事業費 351,623,951円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
腎 臓 病 人 工 透 析 等	延 3,245件	延 3,464件	6.7%
そ の 他	延 586	延 631	7.7

(4) 補装具給付事業費 75,303,046 円

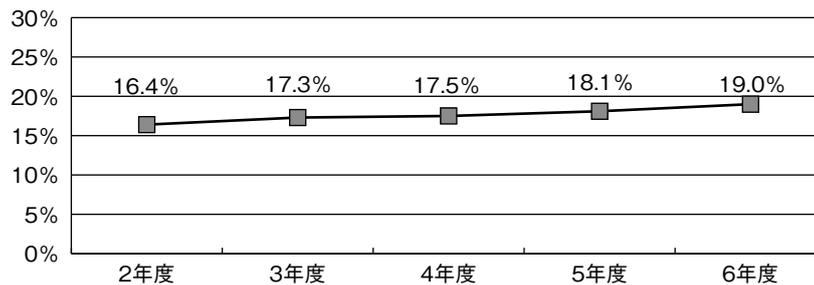
区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
	交 付	修 理	交 付	修 理
義 肢	10件	29件	15件	30件
装 具	71	22	75	28
車 椅 子	68	123	42	129
補 聴 器	97	38	86	48
視覚障害者安全つえ	26	0	27	0
歩 行 補 助 つ え	1	0	5	0
そ の 他	59	31	53	20
計	332	243	303	255

(5) 東三河広域連合障害福祉事業負担金 7,907,571 円

障害支援区分審査件数 (8市町村)	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
	1,656件	2,416件	45.9%

[指 標]

指 標 名：障害福祉サービス利用率  
 指標説明：介護給付事業・訓練等給付事業決定者数／身体・知的・精神手帳所持者数



2 障害児支援等給付事業費 3,022,108,049 円 (障害福祉課)

[総 括]

児童福祉法に基づく障害児通所支援給付事業などを実施することで、障害児支援の充実を図った。障害児支援の需要は高く、児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援の利用者数が大きく増加した。また、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児の相談支援体制の充実を図った。今後も障害児の支援に努めていく。

[実績及び成果]

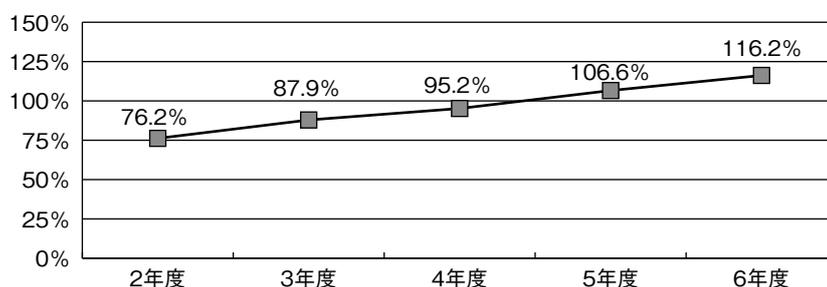
(1) 障害児通所支援給付事業費 2,891,056,813 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
児 童 発 達 支 援	延 45,161日	延 52,484日
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	延 167,609	延 187,848
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 822	延 1,162
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	延 8	延 5

[指標]

指標名：障害児通所支援利用率

指標説明：障害児通所支援給付事業決定者数／18歳未満の身体・知的・精神手帳所持者数



3 障害者地域生活支援事業費 434,784,927 円（障害福祉課）

[総括]

障害者が自立した日常生活・社会生活を送るため、障害者総合支援法に基づく相談支援、日常生活用具給付などの地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。今後も障害者が地域において自立した生活を送れるよう必要な支援を進める。

[実績及び成果]

(1) 相談支援事業費 118,380,045 円

区 分	令和5年度	令和6年度
地域自立支援協議会費	開催数 102回	開催数 93回
相談支援事業委託	8施設 延 19,282件	8施設 延 19,154件
安心生活支援事業費	1 延 2	0 延 0

(2) 意思疎通支援事業費 13,322,260 円

(ア) 手話通訳者活動費 12,486,579 円

活 動 回 数	令和5年度	令和6年度	比 較
	743回	706回	△ 5.0%

(イ) 要約筆記者活動費 522,123 円

活 動 回 数	令和5年度	令和6年度	比 較
	104回	94回	△ 9.6%

(ウ) 点字プリンター維持管理費 0 円

利 用 件 数	令和5年度	令和6年度	比 較
	3件	0件	皆減

(エ) コミュニケーション支援機器設置費 313,558 円

利 用 件 数	令和5年度	令和6年度	比 較
	12件	22件	83.3%

(3) 日常生活用具給付事業費 104,676,732 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
介護・訓練支援用具	21件	17件	△19.0%
自立生活支援用具	45	35	△22.2
在宅療養等支援用具	51	43	△15.7
情報・意思疎通支援用具	42	35	△16.7
排泄管理支援用具	9,837	9,601	△ 2.4
居宅生活動作補助用具	8	6	△25.0
計	10,004	9,737	△ 2.7

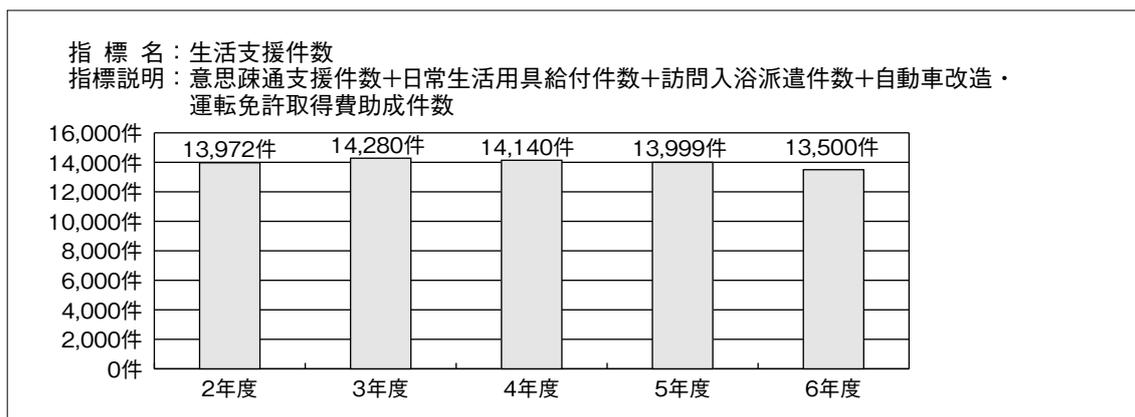
(4) 移動支援事業費 62,864,339 円

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
	39事業所 延 21,792時間	38事業所 延 21,663時間

(5) 障害者理解啓発事業費 304,700 円

パンフレット等 配布枚数	令和 5 年度	令和 6 年度
	1,800枚	2,300枚

[指 標]



4 医療的ケア児等支援事業費 4,055,590 円（障害福祉課）

[総 括]

医療的ケアを必要とする障害児が通う保育園、幼稚園、認定こども園又は児童発達支援事業所に、訪問看護ステーション等の看護師を派遣することにより、医療的ケアを実施し、保護者の負担の軽減を図った。

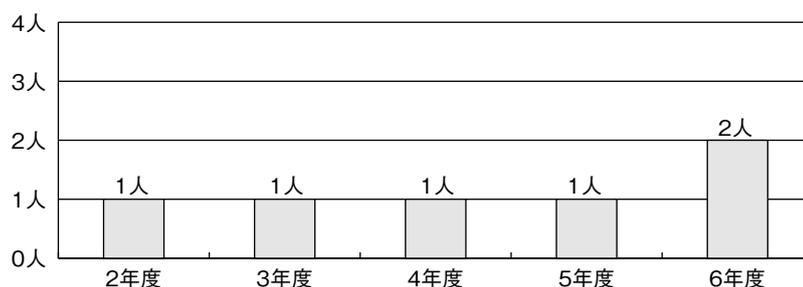
[実績及び成果]

(1) 障害児看護支援事業費 4,055,590 円

利 用 者	令和 5 年度	令和 6 年度
	保育園 1 人	保育園 1 人、幼稚園 1 人

[指 標]

指 標 名：障害児看護支援事業利用者数  
 指標説明：〃



5 障害者福祉会館管理運営事業費 51,930,883 円（障害福祉課）

[総 括]

指定管理者により、各種教室や減災学習をはじめとする特色ある事業を展開するなど、施設の適正な管理運営に努め、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数も回復傾向にある。今後も利用者のニーズに応じたイベントや講座の実施に努めるとともに、利用者が安全・快適に過ごせるよう施設の維持・保全を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 障害者福祉会館管理運営事業費 51,930,883 円

[施設利用者]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	294日	292日	△ 0.7%
利 用 者 数	延 37,544人	延 40,944人	9.1

[活動内容]

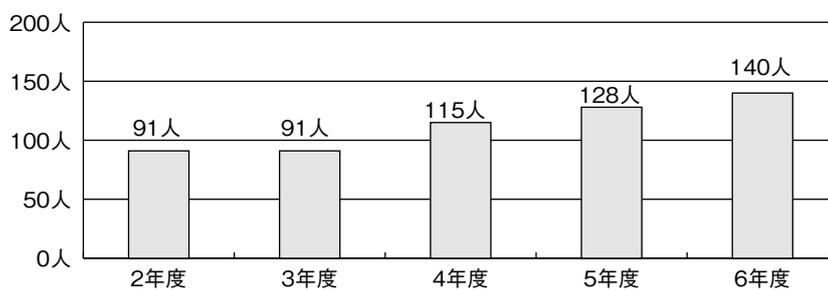
区 分	令和5年度	令和6年度
障害児(者)余暇支援事業	参加人員 延 224人	参加人員 延 187人
スポーツ・文化教室	延 728	延 771
教 養 講 座	延 87	延 81
減災学習(避難所体験事業)	延 721	延 593

[施設整備]

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール塗裝修繕</li> <li>・消防用設備修繕</li> <li>・ダンパ機器取替修繕</li> <li>・自動ドア装置修繕</li> <li>・体育館地下外壁防水工事(着工)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上太陽熱温水装置撤去修繕</li> <li>・湧水ポンプ取替修繕</li> <li>・Wi-Fi 設備取付委託</li> <li>・アスベスト含有分析調査委託</li> <li>・体育館地下外壁防水工事(しゅん工)</li> </ul>

[指 標]

指 標 名：障害者福祉会館 1日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 障害者医療費 <円滑な医療費の助成>	1,188,590,095	407,718,000	0	0	780,872,095

1 障害者医療費助成事業費 720,797,029 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者の医療費について、保険診療費の自己負担額を助成することにより、障害者やその家族の経済的な負担を軽減し生活の安定を図った。

[実績及び成果]

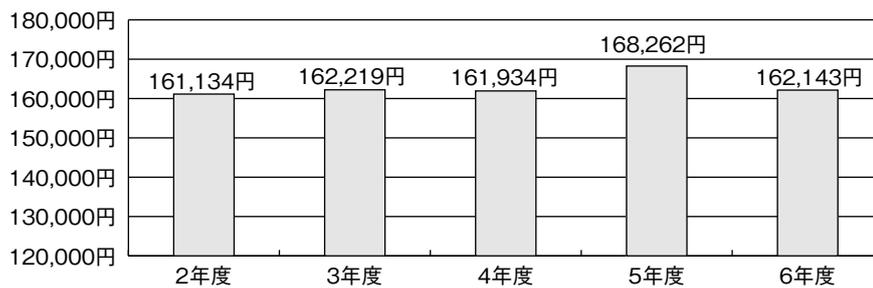
(1) 障害者医療費助成事業費 720,797,029 円

(ア) 医療助成費 716,670,871 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
受 給 者 数	延 53,042人	延 53,034人	△ 0.0%
受 診 件 数	延 121,327件	延 122,165件	0.7
受 診 率	228.7%	230.4%	1.7ポイント

[指標]

指標名：障害者医療費1人当たりの助成費  
 指標説明：障害者医療助成費／受給者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 老人福祉費	6,536,243,519	396,054,000	30,600,000	1,140,687,331	4,968,902,188
2目 高齢者活動促進費 <高齢者の活躍の機会 拡大と介護予防の推進>	146,892,490	4,293,000	18,400,000	917,056	123,282,434

1 老人福祉センター等施設管理運営事業費 94,031,092 円 (長寿介護課)

[総括]

指定管理者により、老人福祉センターを始め10か所の老人福祉施設の適切な管理運営を行った。また、仁連木老人福祉センターの機能強化と適切な維持管理を行うための改修工事に着手した。今後も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 老人福祉センター等施設管理運営事業費 94,031,092 円

(ア) 仁連木老人福祉センター大規模改修工事 20,510,000 円

2か年継続事業の初年度 総事業費 75,900,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 2階建	軽運動室の設置、屋根・外壁防水、トイレ改修等	500㎡

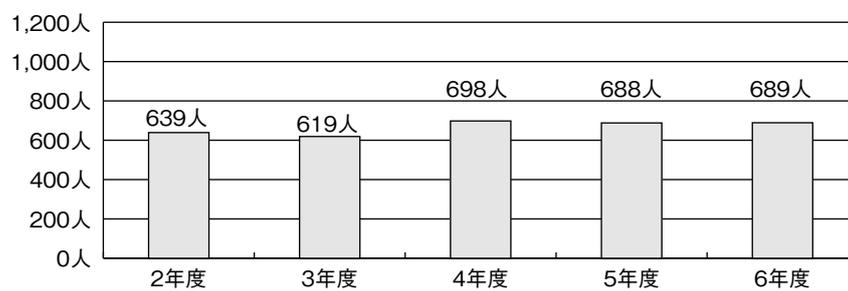
[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
	延利用者数	延利用者数	
仁連木老人福祉センター	31,613人	25,470人	△19.4%
下 地	32,106	31,673	△ 1.3
高 師	38,821	37,049	△ 4.6
石 巻	26,908	29,289	8.8
大 岩	31,825	28,341	△10.9
小 計	161,273	151,822	△ 5.9
牟呂高齢者活動センター	12,342	23,470	90.2
石 巻	3,857	4,761	23.4
小 計	16,199	28,231	74.3
西川老人憩の家	7,713	6,779	△12.1
東細谷	11,027	10,869	△ 1.4
城 下	5,240	5,005	△ 4.5
小 計	23,980	22,653	△ 5.5
合 計	201,452	202,706	0.6

※仁連木老人福祉センターは、大規模改修工事に伴い令和7年1月より休館

[指 標]

指 標 名：老人福祉センター等 1 日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 高齢者生活支援費 <高齢者の生活支援サービスの充実>	1,144,455,400	340,064,000	0	26,381,709	778,009,691

1 養護老人ホーム管理運営事業費 128,866,484 円 (総合老人ホーム)

[総括]

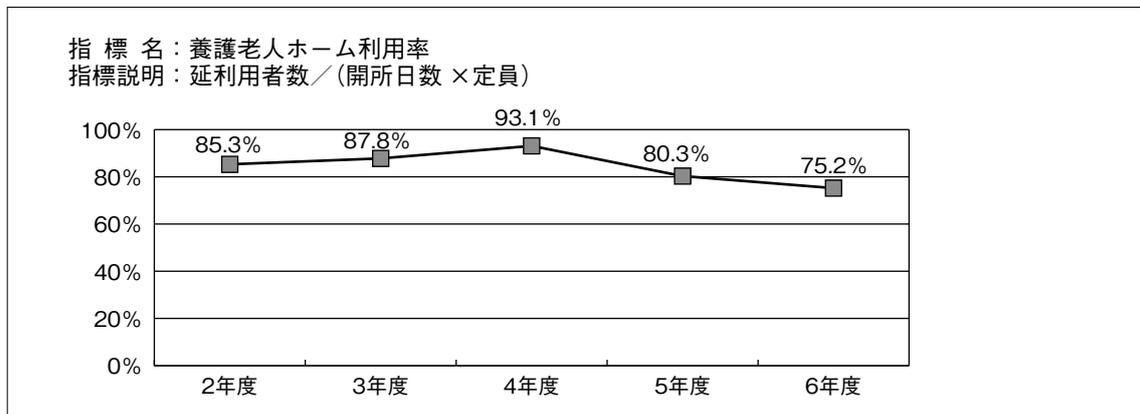
環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な65歳以上の方が、安心して健康的な生活を送れるように養護した。令和6年度は厨房のスチームコンベクションオープン1台を更新し給食サービスの質の向上を図った。今後もセーフティネット機能を担う市内唯一の施設として、高齢者の養護の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 72,411,442 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	17,622人	16,464人	△ 6.6%
1 日 当 た り の 利 用 者 数	48.2	45.1	△ 6.4

[指 標]



2 高齢者福祉サービス事業費 64,710,849 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、電車、タクシー等の利用料金を助成する高齢者移動支援事業などの各種サービスを実施した。今後も、高齢者のニーズや社会情勢を考慮しながら高齢者の生活支援を継続していく。

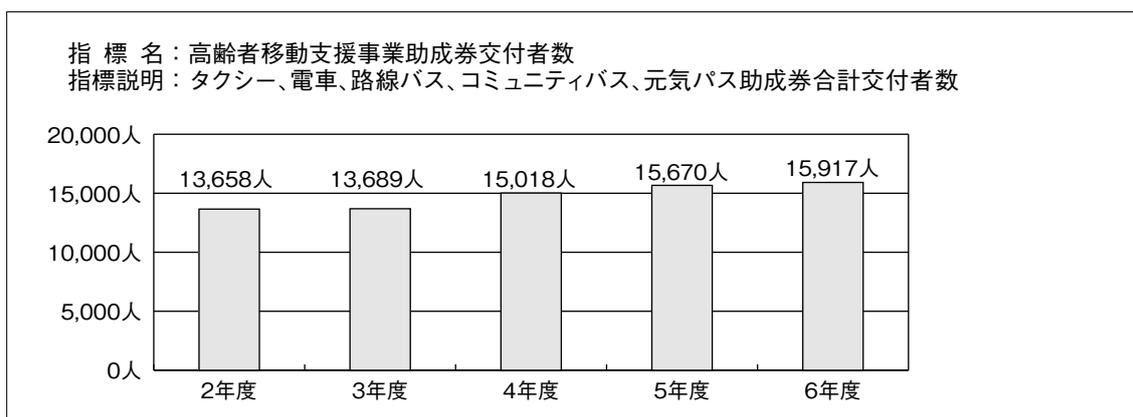
[実績及び成果]

(1) 高齢者福祉サービス事業費 64,710,849 円

(ア) 高齢者移動支援事業費 53,490,487 円

区 分	令和5年度	令和6年度
交 付 者 数	15,670人	15,917人

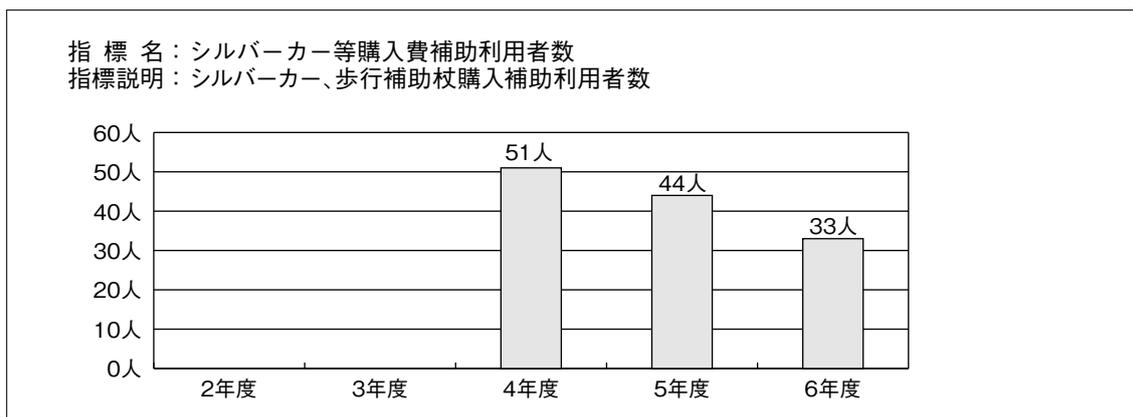
[指標]



(イ) シルバーカー等購入費補助金 322,600円

区分	令和5年度	令和6年度
補助金利用者数	44人	33人

[指標]



3 後期高齢者福祉医療費助成事業費 740,980,272円（国保年金課）

[総括]

後期高齢者医療制度に加入している障害者など後期高齢者福祉医療費助成対象者の療養に係る医療費の自己負担分を助成した。今後も福祉医療費の適正な助成に努めていく。

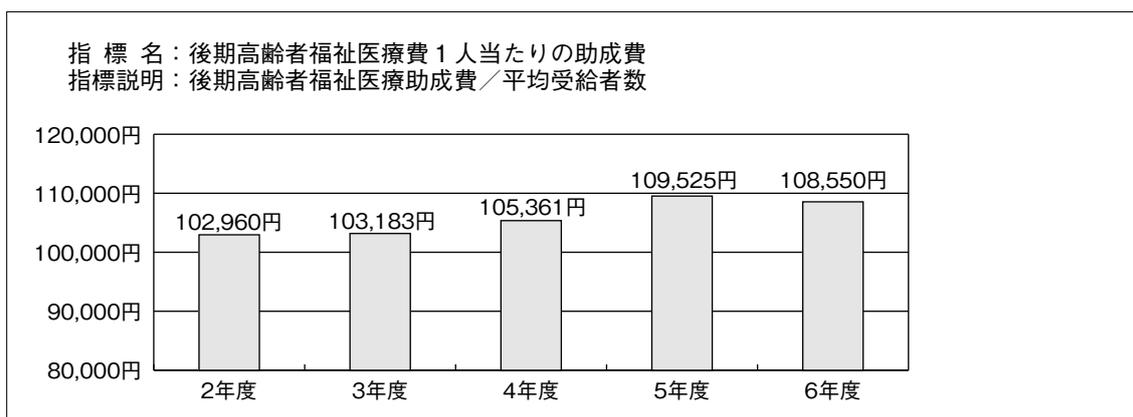
[実績及び成果]

(1) 後期高齢者福祉医療費助成事業費 740,980,272円

(ア) 医療助成費 733,755,178円

区分	令和5年度	令和6年度	比較	
受給者数	延 81,482人	延 81,115人	△ 0.5%	
支給件数	入院	延 13,165件	延 13,019件	△ 1.1
	外来	延 202,994	延 205,731	1.3
	計	延 216,159	延 218,750	1.2
受診率	265.3%	269.7%	4.4ポイント	

[指 標]



4 保健介護一体事業費 9,833,704 円 (長寿介護課)

[総 括]

高齢者の健康づくりや介護予防を一体的に実施するため、医療専門職である保健師を中心に高齢者の通いの場等での健康講座の開催や、管理栄養士、歯科衛生士による家庭訪問等の個別支援を行い、高齢者のフレイル対策等に取り組んだ。令和6年度は「AIフレイル検知サービス」を開始し、登録した一人暮らしの後期高齢者の家庭における電力データをAIで分析することで、フレイルの早期発見や予防につなげる取組みを行った。

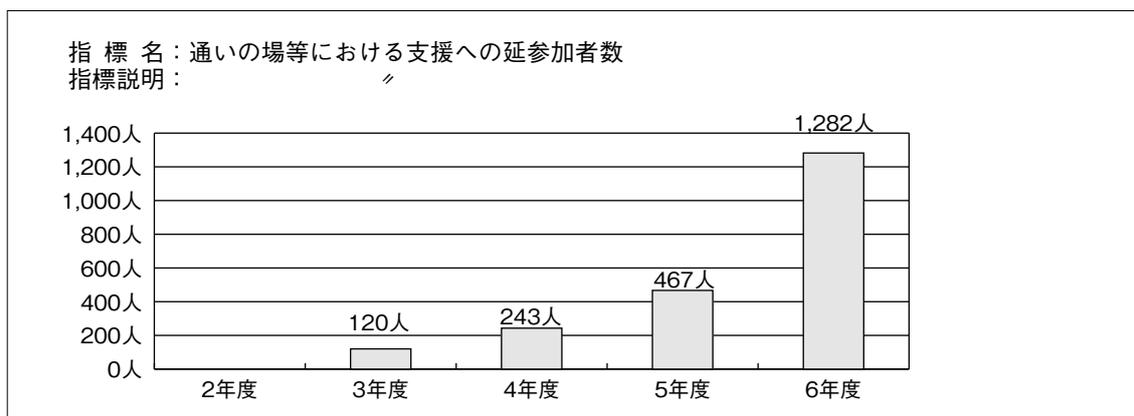
[実績及び成果]

(1) 保健介護一体事業費 9,833,704 円

区 分	令和5年度	令和6年度
通いの場等における支援	実施圏域数	12圏域
	延参加者数	467人
個別支援件数	延 127件	延 456件
AIフレイル検知サービス登録者	—	45人

※圏域とは日常生活圏域の概ね中学校区に相当

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 介護保険サービス費 <介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営>	432,492,697	51,697,000	12,200,000	249,083,901	119,511,796

1 デイサービスセンター管理運営事業費 50,069,464円 (総合老人ホーム)

[総括]

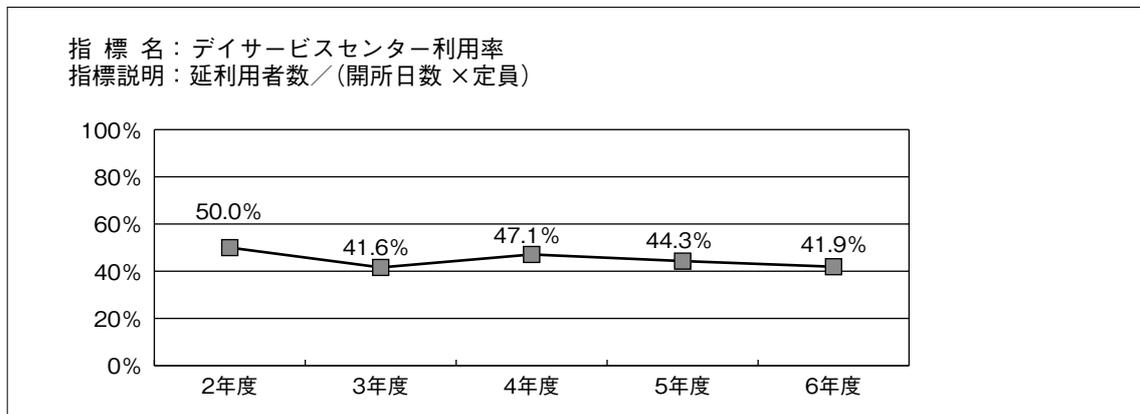
介護保険で要介護又は要支援と認定され、居宅において介護を受けている方をリフトバスで送迎し、入浴の介助及び食事の提供等を行い、日常生活の自立支援を行った。令和6年度は車いすに乗ったまま測定できるバリアフリー体重計を購入し利用者サービスの充実を図った。今後もサービスの向上を図り、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 32,502,266円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	2,042人	1,925人	△ 5.7%
1日当たりの利用者数	8.0	7.5	△ 6.3

[指 標]



2 特別養護老人ホーム管理運営事業費 318,489,233円 (総合老人ホーム)

[総括]

65歳以上で、身体上又は精神上常時の介護を必要とし、居宅において介護を受けることが困難な方に、入浴・食事等の日常生活の介護サービスを提供し、自立した生活ができるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図った。令和6年度は空調設備の更新を行い入所者の住環境の向上を図るとともに、タブレット型介護記録システムを新規導入し、介護情報の共有化により一人ひとりに寄り添った介護を実践するなど介護サービスの向上を図った。今後もより良い介護サービスの提供に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 140,402,752円

(ア) 特別養護老人ホーム

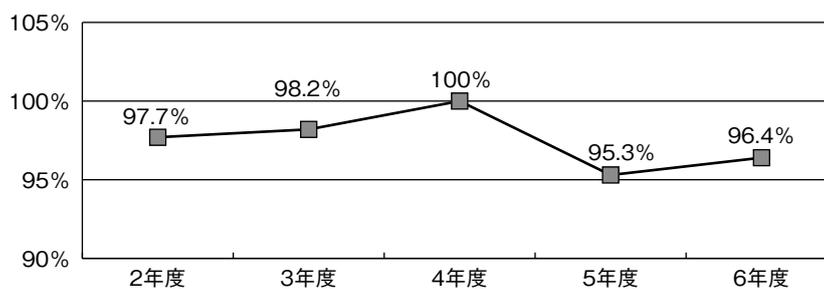
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
年 間 延 契 約 者 数	17,448人	17,586人	0.8%
1日当たりの契約者数	47.7	48.2	1.0

(イ) ショートステイ

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	968人	694人	△28.3%
1日当たりの利用者数	2.6	1.9	△26.9

[指 標]

指 標 名：特別養護老人ホーム契約率  
指標説明：延契約者数／(開所日数 × 定員)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 介護保険事業費 <介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営>	4,464,622,408	0	0	754,968,121	3,709,654,287

1 認定調査事務費 181,483,645 円 (長寿介護課)

[総括]

平成30年度から東三河広域連合による介護保険事業の運営が開始され、本市では構成市町村として窓口事務及び要介護等認定のための調査を実施している。認定調査は全国一律の判断基準があり、的確に実施することが求められているため、認定調査員に対し、愛知県や広域連合が主催する研修内容の周知及び定期的な勉強会により認定調査の判断の平準化に努めている。また、令和5年度から愛知県より指定市町村事務受託法人の指定を受ける事業者者に調査を委託し、要介護認定における調査体制の強化を図っている。

[実績及び成果]

(1) 認定調査事務費 181,483,645 円

[被保険者数]

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	43,640人	41,888人	△4.0%
	75歳以上	53,971	55,912	3.6
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

[要介護等認定申請受付件数]

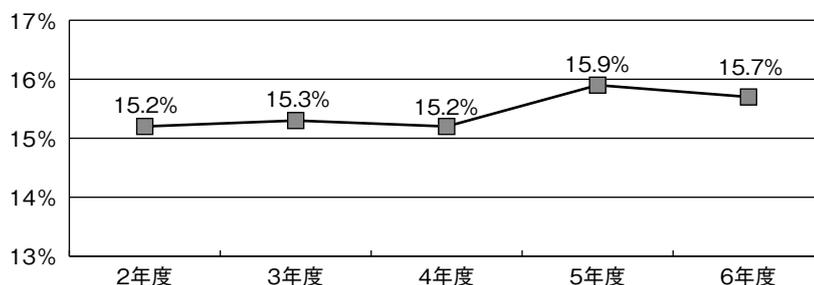
区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
新 規 申 請		4,324件	3,867件	△10.6%
更 新 申 請		6,539	6,725	2.8
変 更 申 請		2,185	1,966	△10.0
合 計		13,048	12,558	△3.8

[要介護等認定状況]

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
要介護等認定調査件数		9,762件	12,628件	29.4%
要介護等認定審査件数		8,914	11,348	27.3
要介護等認定状況	要支援1	2,849人	2,670人	△6.3
	要支援2	2,824	2,888	2.3
	要介護1	3,202	3,159	△1.3
	要介護2	2,166	2,241	3.5
	要介護3	1,533	1,518	△1.0
	要介護4	1,846	1,748	△5.3
	要介護5	1,028	957	△6.9
合 計		15,448	15,181	△1.7

[指 標]

指 標 名：要介護等認定者出現率  
 指標説明：要介護・要支援認定者数／高齢者(65歳以上)人口 各年度10月時点



2 介護予防・生活支援サービス事業費 3,260,950 円 (長寿介護課)

[総 括]

高齢者ができるだけ介護を必要とせず、地域において自立した生活を送れるように、シルバー人材センターやボランティア等の住民主体による介護予防や生活支援サービスを提供した。また、多様な担い手の社会参加を通じて、地域の支え合い体制づくりを推進した。

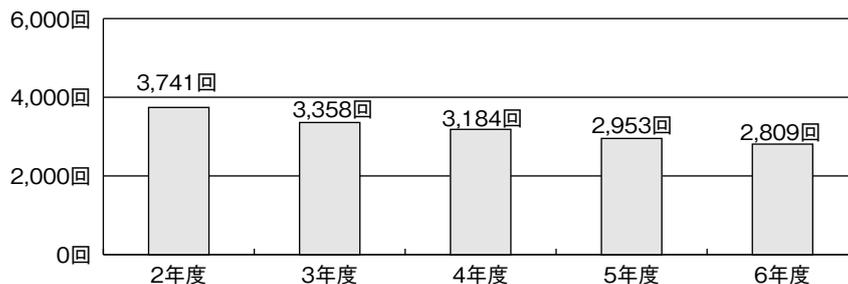
[実績及び成果]

(1) 地域型訪問サービス事業費 2,949,450 円

区 分	令和5年度	令和6年度
訪 問 人 数	延 654人	延 620人
訪 問 回 数	延 2,953回	延 2,809回

[指 標]

指 標 名：地域型訪問サービス訪問回数(延回数)  
 指標説明：〃



3 一般介護予防事業費

10,963,978 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者に対して、介護予防教室を開催することで、介護予防に関する知識の普及を図るとともに、地域における自主的な活動が継続的にいえるよう支援した。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアスポーツの振興を図るとともに、趣味活動等の支援を行った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、高齢者のニーズに合った事業を実施し、社会参加の促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) 介護予防普及啓発事業費 6,657,544 円

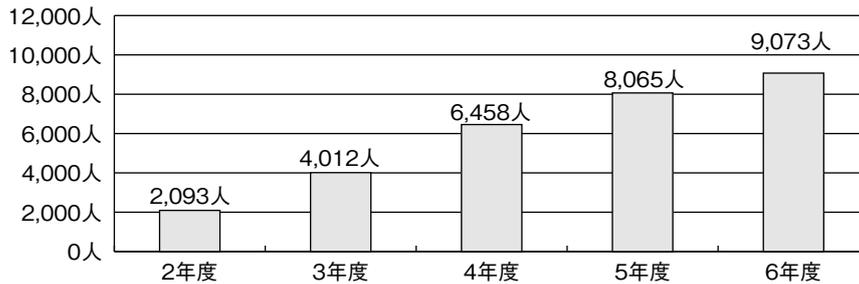
区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
介護予防教室等	実施回数 478回	実施回数 569回
	参加者数 8,065人	参加者数 9,073人

- (2) 地域介護予防活動支援事業費 4,306,434 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
シルバースポーツブロック大会	参加者数 645人	参加者数 608人

[指標]

指標名：介護予防教室等参加者数(延人数)  
 指標説明：〃



4 包括的支援事業費

412,795,164 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域団体や関係機関と連携して、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、高齢者の支援を行った。また、医療と介護の連携を図る在宅医療・介護連携推進事業、地域の互助の体制づくりを推進する生活支援体制整備事業、認知症の方を総合的に支援する認知症総合支援事業、個人や地域の課題を抽出し解決に向けて検討する地域ケア会議推進事業を引き続き実施した。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 369,167,152 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
地域包括支援センター	委託先 相談受付件数	18施設 18,196件	委託先 相談受付件数	18施設 20,533件

(2) 在宅医療・介護連携推進事業費 12,579,410 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
東三河ほいっぷネットワーク登録者	登録者数	1,013人	登録者数	1,095人

(3) 生活支援体制整備事業費 1,132,722 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
お互いさまのまちづくり協議会	実施回数	3回	実施回数	3回

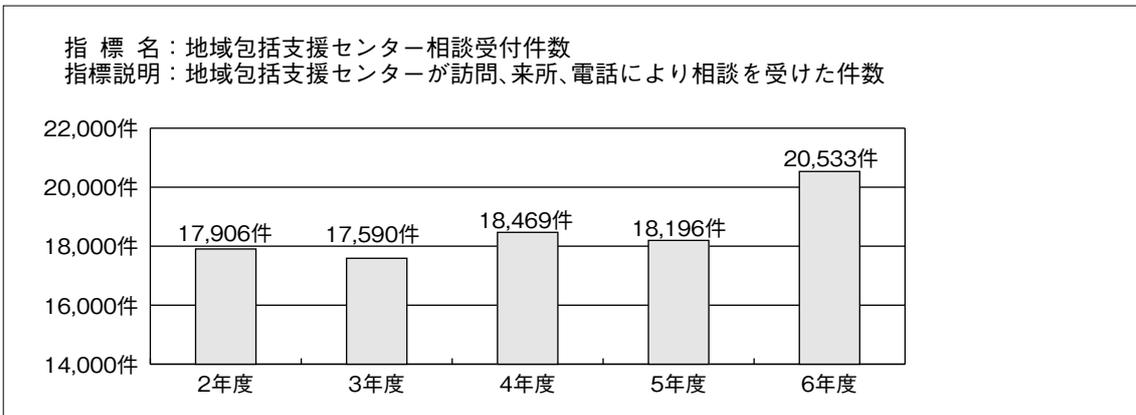
(4) 認知症総合支援事業費 29,105,880 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
認知症地域支援推進員	相談件数	1,308件	相談件数	1,740件

(5) 地域ケア会議推進事業費 810,000 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
地域ケア会議	開催数	96回	開催数	91回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 児 童 福 祉 費	25,208,323,473	13,643,941,831	454,500,000	667,857,010	10,442,024,632
2目 切れ目のない子育て支援費 <安心して結婚や子育てができる環境づくり>	8,253,072,685	5,895,263,424	0	2,413,450	2,355,395,811

1 切れ目のない子育て支援事業費 21,809,730 円 (子育て支援課)

[総括]

妊娠から出産、子育てまでを切れ目なく支援するため、乳児期の子育て家庭向けの家事代行サービスや、休日や夜間などの児童の一時預かりを行ったほか、市役所庁舎内のキッズスペースにおいて、来庁者向けの託児サービスを行った。また、子育て支援情報ポータルサイト「育なび」やインスタグラムを活用し、子育て世帯向けの情報の発信や、子育て支援の取組みを積極的に進める「子育て応援企業」の認定・表彰や子育て応援フェスの開催など、「子育て応援宣言」に基づいた子育てを社会全体で応援する機運醸成の取組みを行った。加えて、結婚を希望する男女に対し、婚活サポーターによる相談や出会いのきっかけづくりの支援を行った。令和7年3月に策定した「豊橋市こども計画 2025-2029」に基づき、今後も結婚から妊娠・出産・子育てにおける多様な課題に対応するため、ライフステージに応じたきめ細かい支援に取り組んでいく。

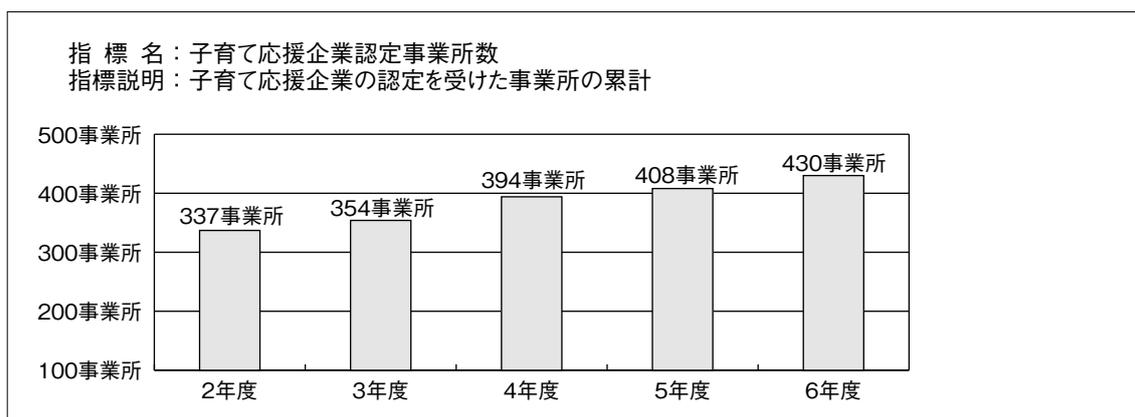
[実績及び成果]

(1) 切れ目のない子育て支援事業費 21,809,730 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
児 童 福 祉 週 間 行 事	7施設・団体	164人	9施設・団体	315人
子育て支援ショートステイ事業委託	7	延 43	7	延 147
子育て支援トワイライトステイ事業委託	5施設	延 111	5施設	延 60
子育て支援プラットフォーム事業	子育て支援情報ポータルサイト、SNS及び母子健康手帳アプリの運営		子育て支援情報ポータルサイト及び SNS の運営	
子育て応援企業認定・表彰事業	認定企業数 220社(408事業所) うち、新規認定 21社(29事業所)		認定企業数 240社(430事業所) うち、新規認定 24社(35事業所)	
結 婚 支 援 事 業	婚活サポーター登録者数 42人 大学生向けセミナーの開催 1回		婚活サポーター登録者数 42人	
乳 児 期 家 事 支 援 事 業	利用者数	実 585人	利用者数	実 483人
	利用回数	延 2,036回	利用回数	延 1,729回
庁 舎 キ ャ ッ ス ス ペ ー ス の 運 営 (来庁者向け託児サービス)	利用者数	延 479人	利用者数	延 949人
	預かり児童数	延 546	預かり児童数	延 1,090

※庁舎キッズスペースでの来庁者向け託児サービスは、令和5年9月から開始

[指標]



2 児童手当給付事業費 6,347,742,536 円（子育て支援課）

[総括]

児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな育ちの支援を目的として児童手当を支給した。国の制度改正に伴い、令和6年10月分から所得制限の撤廃、高校生世代まで支給期間の延長、多子世帯への加算額の引上げを行った。今後も分かりやすい受給者への通知や広報等により制度の周知に努め、手当の適正な支給を行っていく。

[実績及び成果]

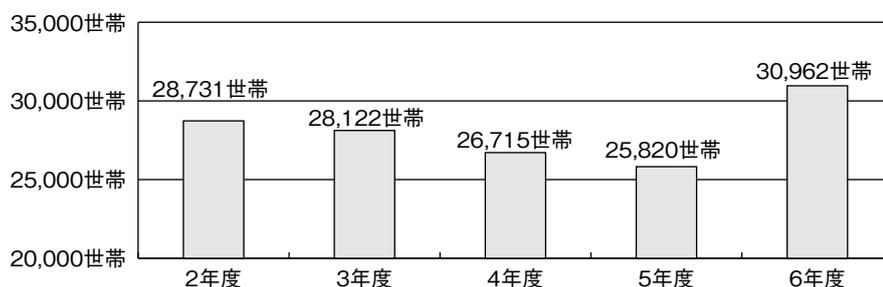
(1) 児童手当給付事業費 6,347,742,536 円

(ア) 手当費 6,307,500,000 円

区 分	令和5年度			令和6年度		
	月 額	対象児童数	支 給 額	月 額	対象児童数	支 給 額
0歳から 3歳未満	15,000円	延 77,152人	1,157,280,000円	9月以前分 15,000円 10月以降分 15,000円 又は30,000円	延 74,037人	1,170,015,000円
3歳以上 小学校修了前	10,000円 又は15,000円	延300,894	3,214,035,000	9月以前分 10,000円 又は15,000円 10月以降分 10,000円 又は30,000円	延299,711	3,452,370,000
小学校修了後 中学校修了前	10,000円	延103,695	1,036,950,000	9月以前分 10,000円 10月以降分 10,000円 又は30,000円	延108,440	1,159,220,000
中学校修了後 高校生世代	—	—	—	10月以降分 10,000円 又は30,000円	延 39,287	425,150,000
特例給付	5,000円	延 29,075	145,375,000	9月以前分 5,000円	延 20,149	100,745,000
計	—	延510,816	5,553,640,000	—	延541,624	6,307,500,000

[指標]

指標名：児童手当受給世帯数  
 指標説明：〃



※令和4年6月分から制度改正により、所得上限限度額が創設された。

※令和6年10月分から制度改正により、所得制限の撤廃や支給期間の延長、多子加算の引上げが行われた。

3 子ども医療費助成事業費 1,883,520,419 円（国保年金課・子育て支援課）

[総括]

安心して子育てができる環境づくりの一環として、18歳到達年度末までの子どもの入院費及び通院費の保険診療分について、自己負担額を全額助成することにより保護者の経済的な負担を軽減した。今後も、分かりやすい制度の周知に努めるとともに、適正な医療費の助成を行い、子育て環境の一層の充実に努める。

[実績及び成果]

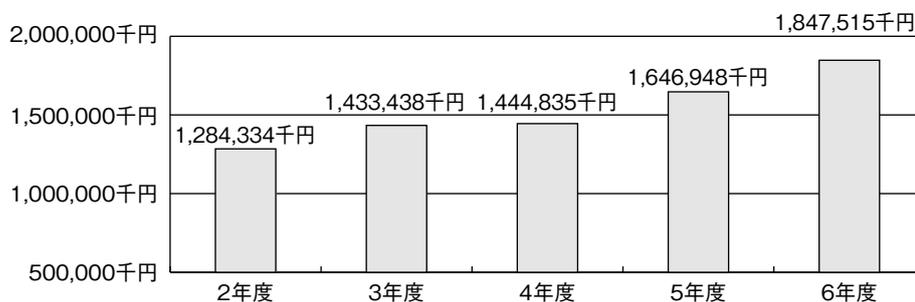
(1) 子ども医療費助成事業費 1,883,520,419 円

(ア) 医療助成費 1,847,514,853 円

区分	令和5年度	令和6年度	比較
対象児童数	延 655,088人	延 642,337人	△ 1.9%
受診件数	延 758,856件	延 840,719件	10.8
受診率	115.8%	130.9%	15.1ポイント

[指標]

指標名：子ども医療費助成額  
 指標説明：〃



※令和2年10月より18歳到達年度末までの子どもの入院医療費助成開始

※令和6年1月より18歳到達年度末までの子どもの通院医療費助成開始

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 児童相談支援費 <子どもの権利を守る方策の推進>	46,725,635	19,532,217	0	299,500	26,893,918

1 児童相談支援事業費 46,725,635 円 (こども若者支援センター)

[総括]

すべての子ども・若者及びその家族を対象に相談・支援を行う拠点として、保護者や関係機関から寄せられる相談への対応や、養育に不安がある家庭への訪問支援を実施した。特に児童虐待については、要保護児童対策ネットワーク協議会を中心に、保健・福祉・医療・教育などの関係機関と連携し、子どもとその保護者などへの支援を行った。

令和6年度からは、こども家庭センターを設置し、統括支援員を中心とした合同ケース会議の開催やサポートプランの作成等、母子保健と児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う体制を整えた。また、支援対象児童等見守り強化事業では、子どもの見守り機会が減少する学校の長期休暇期間に、支援の必要な家庭に対し、民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、お弁当の配付と声掛けをするなど、地域での見守り体制の強化に努めた。令和5年度に設置した心理グループでは、「とよはし親とこどもの絆プログラム」と題し、子育てに奮闘する中で、子どもへの関わりを見直したい保護者を対象に、関わり方の引き出しを増やすことを目的とした講座を開始した。この講座では、親の学びに子どもが一緒に参加することで、より実践的な親子の関わりを再現し、我が子に合った柔軟な声掛けや関わりを練習するなど、親と子どもの絆を深める体験とした。さらに、ヤングケアラー支援では、愛知県ヤングケアラー支援事業(3か年の市町村モデル事業の最終年)を受託し、子どもに身近な場所で、子どもの声を聴き、一人ひとりに寄り添った支援ができるよう、学校訪問を通して、ヤングケアラーの理解促進を行うとともに、支援者への支援を行った。今後も子どもの声を大切に、子どもの声を取りこぼさないよう関係機関と連携した支援に取り組んでいく。

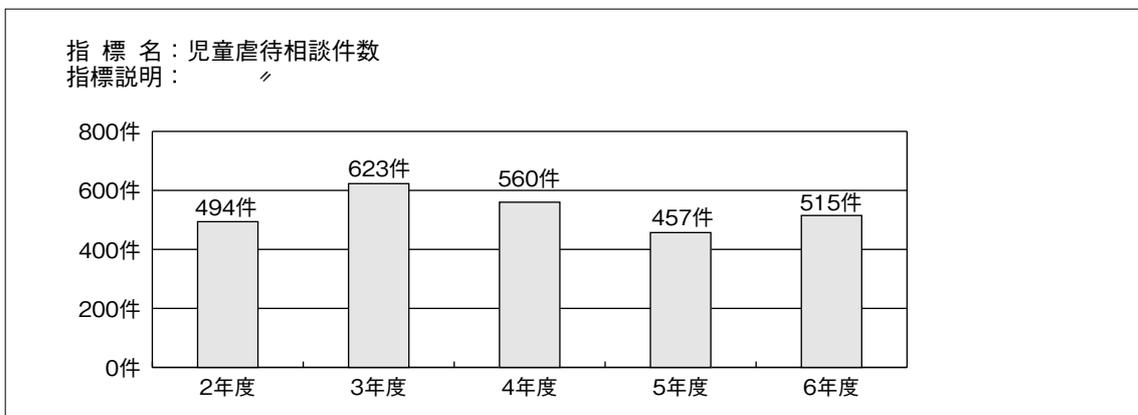
[実績及び成果]

(1) 児童相談支援事業費 46,725,635 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
児童家庭相談件数	延 2,343件	延 2,660件	13.5%
子育て世帯訪問支援件数※	延 231	延 296	28.1
要支援家庭ショートステイ利用日数	延 280日	延 173日	△38.2
ヤングケアラー関係機関研修会参加者数	235人	162人	△31.1

※令和6年度より「養育支援訪問」から名称変更

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 幼児期教育保育費 <幼児期の教育・保育の充実>	13,828,425,711	7,102,121,456	454,500,000	399,064,743	5,872,739,512

1 公立保育所等管理運営事業費 1,075,869,540円 (保育課)

[総括]

公立の保育所4園と幼保連携型認定こども園1園で教育・保育の提供を行った。多様化する保育ニーズに応えるため、全園で延長保育、2園で休日保育を実施するとともに、くるみ保育園において一時預かり事業、こじかこども園及び青少年センター内の病児保育室「つくし」で病児保育事業を実施した。また、こじかこども園及び牛川東保育園に看護師を配置し医療的ケア児の受入れを行ったほか、保育士の周辺業務を外部に委託することで保育士の負担軽減を図った。今後も保育所等の利用希望に応えるとともに、多様化する保育ニーズに適応する保育事業の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 388,688,641円

(ア) 通常保育事業費

[児童数]

区 分	定 員	延定員	令和5年度	令和6年度	比 較
津 田 保 育 園	120人	1,440人	児童数 延1,248人	児童数 延1,218人	△ 2.4%
新 吉 〃	80	960	746	772	3.5
牛川東 〃	170	2,040	1,644	1,668	1.5
くるみ 〃	140	1,680	1,677	1,608	△ 4.1
こじかこども園	165	1,980	1,737	1,888	8.7
計	675	8,100	7,052	7,154	1.4

[特別支援保育事業]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	64人	72人	12.5

[施設整備費]

内 容	令和5年度	令和6年度
	2階ベランダウッドデッキ塗装修繕(くるみ) 東門門扉取替及び自動施錠化修繕(津田) ホワイトボード設置修繕(津田)	2階ベランダ日除けカーテン改修修繕(くるみ) 1階ほふく室フローリングブロック段差補修修繕(くるみ) 1階3歳児室前他日除け設置修繕(こじか)

(イ) 延長保育事業費

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	5園	5園	0.0%
利 用 人 数	延 1,536人	延 1,389人	△ 9.6

(ウ) 一時預かり事業費

[一般型]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 1,365人	延 1,368人	0.2

〔幼稚園型〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 192人	延 76人	△60.4

(エ) 子育て支援事業費

施 設 数	令和5年度	令和6年度	比 較
	5園	5園	0.0%

(オ) 地域子育て支援センター事業費

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 5,743人	延 6,387人	11.2

(カ) 休日保育事業費

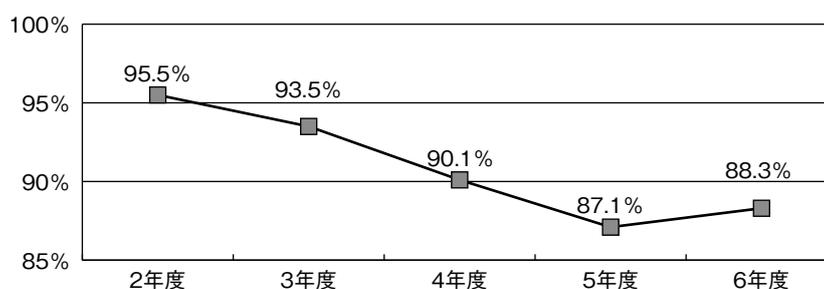
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 452人	延 750人	65.9

(キ) 病児保育事業費

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 305人	延 177人	△42.0

〔指 標〕

指 標 名：公立保育所等児童数充足率  
 指標説明：延利用児童数／延定員



2 公立保育所整備事業費 431,424,307 円（保育課）

[総括]

園舎の老朽化が進む新吉保育園の保育環境や保育機能を向上するため、つつじが丘校区への移転整備工事を実施した。

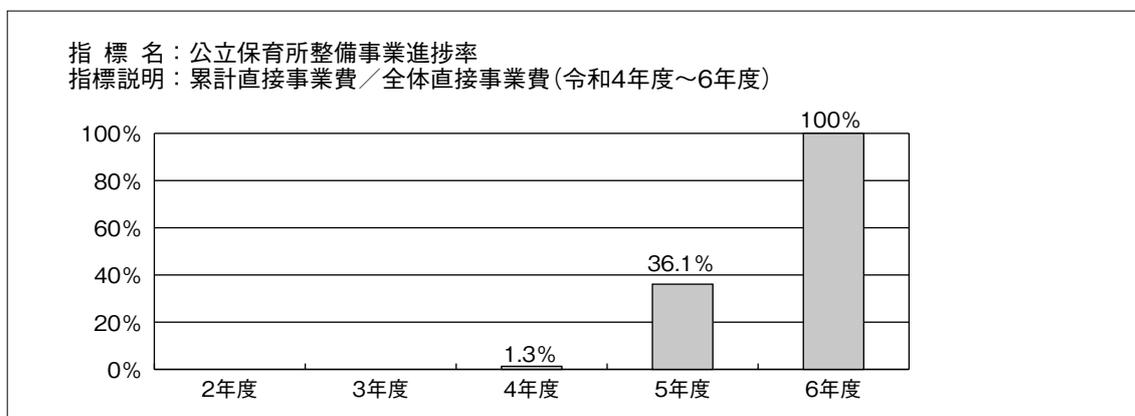
[実績及び成果]

- (1) 公立保育所整備事業費 431,424,307 円  
 (ア) つつじが丘保育園（仮称）整備工事等 415,495,200 円  
 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 636,165,200 円

内 容	区分・構造	延床面積	整備内容
	園舎 木造2階建	907㎡	保育室、一時保育室、 病児保育室、調理室等

- (イ) 備品購入費等 15,929,107 円

[指標]



※令和6年度の全体直接事業費にて、4年度から再算定

3 子ども・子育て給付事業費 9,641,802,396 円（保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所、認定こども園、幼稚園を通じた給付を実施し、教育・保育の提供を行った。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、保育所及び認定こども園の低所得世帯の第1子の保育料の無償化や、所得制限なしで第2子以降の保育料の無償化を行うなど、市独自の保育料等の負担軽減措置を引き続き行うことで、子育て世帯への経済的支援を行った。

今後も、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支えるために、幼児期の教育・保育サービスを安定的に提供し、子どもの発達段階に応じて必要な時期に質の高い教育・保育を受けられる環境を整えるよう努める。

[実績及び成果]

- (1) 子ども・子育て給付事業費 9,641,802,396 円  
 (ア) 法人保育所運営委託料 4,743,863,080 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
保育所 児童数	37園 延 59,837人	37園 延 57,181人	△ 4.4%
〃（広域利用） 〃	2 延 6	2 延 8	33.3

## (イ) 施設型給付費 4,341,237,085 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
認定こども園 児童数	22園 延 48,238人	24園 延 49,370人	2.3%
〃 (広域利用) 〃	8 延 52	6 延 60	15.4
新制度移行幼稚園 〃	1 延 1,232	1 延 1,061	△13.9
〃 (広域利用) 〃	1 延 5	1 延 1	△80.0
事業所内保育(広域利用) 〃	1 延 37	1 延 23	△37.8

## (ウ) 子育てのための施設等利用給付費 546,720,055 円

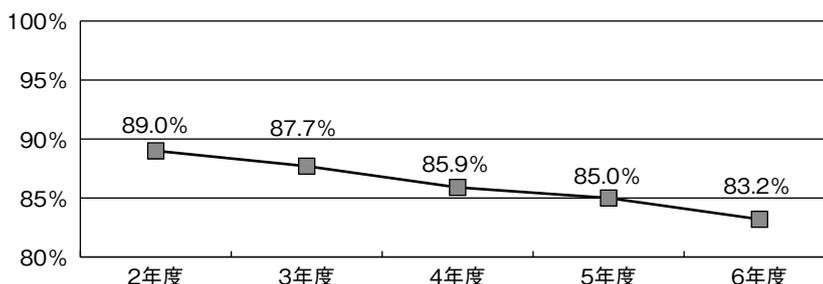
区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
幼稚園 児童数	20園 延 22,041人	18園 延 18,107人	△17.8%
届出保育施設 〃	14 延 2,000	14 延 2,051	2.6

## (エ) 私立幼稚園副食費補足給付補助金 9,982,176 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
幼稚園 児童数	17園 延 3,487人	17園 延 3,419人	△ 2.0%

## [指 標]

指 標 名：法人保育所等児童数充足率  
 指標説明：延利用児童数／延定員



※施設型給付を行う認定こども園及び新制度移行幼稚園を含む

## 4 法人保育所・認定こども園運営支援事業費 2,591,151,076 円 (保育課)

## [総 括]

令和6年度は、老朽化した園舎の大規模改修・増改築を行う5園に対して整備費の助成を行った。また、引き続き市独自の施策により保育料や副食費について保護者の経済的負担の軽減を図った。さらに、保育所等の体制を強化し保育士の負担軽減を図るため、特別な支援を必要とする児童を受け入れる保育所等に対する人件費補助金を年度途中の対象児童の変動に対応できるよう拡充して実施するとともに、モデル園4園に対して、保育補助者の雇上げに係る経費の一部助成を行った。

今後も、教育・保育内容の充実及び施設の運営改善を図るとともに、良好な教育・保育環境を整備し、将来を担う子どもの健全な育成を促進するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所・認定こども園通常保育事業費 1,989,419,076 円

(ア) 法人保育所・認定こども園運営費補助金 1,827,048,006 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
	園数	延 べ 費 用	園数	延 べ 費 用
人件費（特別支援保育含む）	60園	1,658,944,800円	62園	1,651,913,793円
管理費（特別支援保育含む）	49	28,870,000	51	38,678,750
施設補修工事費	3	24,031,000	4	27,956,000
元利償還金	1	2,425,850	—	—
土地賃借料	17	29,617,983	17	29,609,028
職員研修事業費	59	3,200,000	59	3,200,000
保育体制強化事業費	35	46,562,473	43	55,346,435
翻訳機等導入費	4	159,000	2	50,000
新型コロナウイルス感染症対策費	15	4,251,000	—	—
保育士支援システム導入費	23	13,889,000	9	7,222,000
送迎用バス安全装置設置費	21	6,918,620	—	—
子ども見守りサービス機器等導入費	1	31,000	—	—
保育補助者雇上強化事業費	—	—	4	13,072,000
計	—	1,818,900,726	—	1,827,048,006

(イ) 副食費給付費 161,364,070 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		比 較
	園数	延 べ 費 用	園数	延 べ 費 用	
保育所 児童数	36園	延 17,829人	36園	延 16,796人	△ 5.8%
認定こども園 〃	24	延 16,120	26	延 16,438	2.0
新制度移行幼稚園 〃	1	延 669	1	延 485	△27.5

※広域利用を含む

(ウ) 適合届出保育施設利用料助成事業費 340,000 円

利 用 人 数	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
	127人	68人	

(エ) 性被害防止対策費補助金 667,000 円

施 設 数	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
	10施設	13施設	

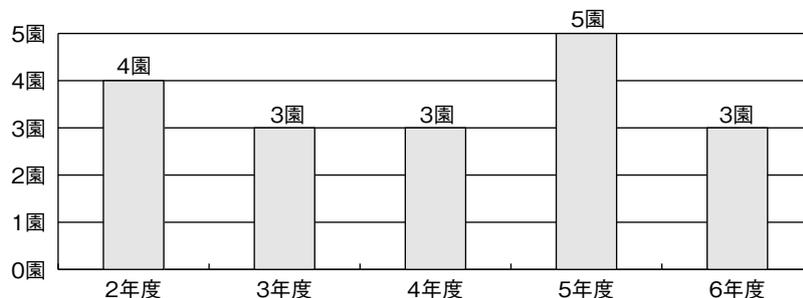
(2) 法人保育所・認定こども園整備費補助金 601,732,000 円

(ア) 建設費 601,732,000 円

		令和5年度	令和6年度
内	容	野依保育園 改築 定員220人 鉄骨造2階建	野依保育園 改築(繰越) 定員220人 鉄骨造2階建
		岩田こども園 大規模改修・改築 (令和5年度～6年度2か年事業) 定員270人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建	岩田こども園 大規模改修・改築 (令和5年度～6年度2か年事業) 定員270人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建
		上庄 夏の空こども園 認定こども園新設 園舎新設 定員120人 鉄骨造2階建	ひまわり保育園 大規模改修・園舎増改築 (令和6年度～7年度2か年事業) 定員181人
		希望が丘こども園 大規模改修・園舎新設 定員340人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建 木造1階建	東観音寺保育園 大規模改修 定員50人 鉄筋コンクリート造2階建
		豊橋中央幼稚園 認定こども園新設 園舎改築 定員241人 鉄骨造3階建	柱保育園 大規模改修 (令和6年度～7年度2か年事業) 定員220人 鉄筋コンクリート造2階建

[指 標]

指 標 名：法人保育所・認定こども園大規模改修等実施園数  
 指標説明：  
 //



※複数年度にわたるものは、初年度に計上

5 私立幼稚園運営事業費 40,676,361 円 (保育課)

[総 括]

私立幼稚園運営費補助金について、施設の補修費のほか、幼稚園における教育環境の向上を図るため、園庭遊具や教材の購入費等の助成を行った。また、園児の健康維持を図るため、園児の健康診断に対する助成を行った。今後も保育所・認定こども園と併せ、幼稚園の子育てに関する専門的機能の活用と幼児教育環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 私立幼稚園運営費補助金 40,676,361円

[運営費補助金]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	19園	18園	△ 5.3%
利 用 人 数	1,880人	1,528人	△18.7
補 助 額	20,598,000円	17,818,562円	△13.5

[園児健康診断補助金]

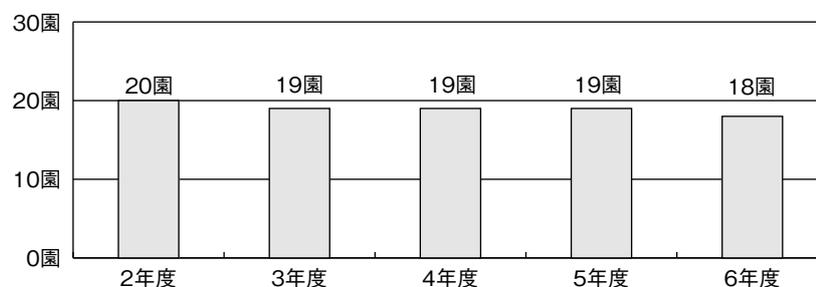
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	16園	15園	△ 6.3%
実 施 人 数	内 科	1,346人	△19.2
	歯 科	1,349	△19.5
補 助 額	1,637,680円	1,320,580円	△19.4

[副食費補助金]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	18園	17園	△ 5.6%
利 用 人 数	延 9,333人	延 7,301人	△21.8
補 助 額	26,405,369円	21,537,219円	△18.4

[指 標]

指 標 名：私立幼稚園数  
 指標説明： /



## 6 保育総合支援事業費

17,309,764 円（保育課）

## 〔総括〕

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組むため、待機児童対策の一環として、保育コンシェルジュがこども未来館や交通児童館などでの出張相談を行うなど、保育所等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援の充実に取り組んだ。

また、保育士・保育所支援窓口においては、専任の保育士再就職支援コーディネーターを配置し、SNSを用いた広報活動の拡大や、ハローワークでの保育のお仕事相談会の実施などにより、就労希望者と保育所等のマッチングを図った。さらに、有志の民間園と官民一体で保育の魅力を発信する「こども未来お仕事フェア」を開催したほか、市内保育施設に対して労働環境改善等に向けた研修を実施した。

今後も女性の就労増加に伴い、保育ニーズの増加が見込まれるため、保護者に対する両立支援体制の充実に図るとともに、保育士資格を有する未就労者への就労支援を強化していく。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 利用者支援事業費 4,639,127 円

保育コンシェルジュが対応した 保護者からの相談件数	令和5年度	令和6年度	比較
	901件	881件	△ 2.2%

## (2) 子育て環境総合支援事業費 12,670,637 円

## (ア) 保育士・保育所支援窓口事業費 4,289,622 円

支援窓口における 求職件数	令和5年度	令和6年度	比較
	176件	260件	47.7%

## (イ) 資格取得受験費用補助金 38,100 円

保育士試験受験費用 助成件数	令和5年度	令和6年度	比較
	1件	3件	3.0倍

## (ウ) 潜在保育士復職前短期雇用費補助金 0 円

潜在保育士復職前 短期雇用助成件数	令和5年度	令和6年度	比較
	1件	0件	皆減

## (エ) 保育所等緊急搬送時選定療養費助成金 61,600 円

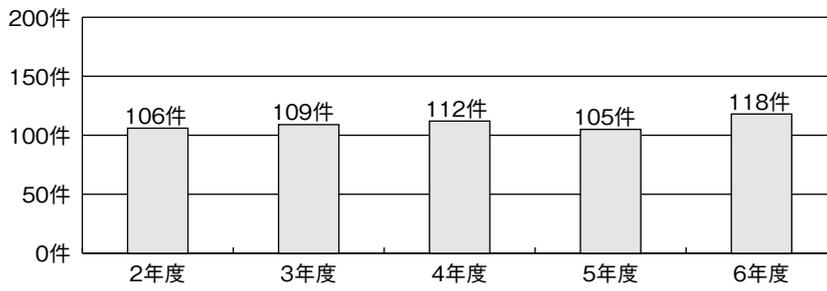
保育所等緊急搬送時 選定療養費助成件数	令和5年度	令和6年度	比較
	7件	8件	14.3%

## (オ) 歯科健診器材購入費 3,618,780 円

歯科健診器材配布園数	令和5年度	令和6年度	比較
	—	23園	皆増

[指 標]

指 標 名：支援窓口における就労マッチング数  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 地域子育て支援費 <地域における子育てへの支援>	454,859,642	122,814,704	0	6,818,787	325,226,151

1 交通児童館管理運営事業費 27,074,651円 (こども未来館)

[総括]

指定管理者の創意工夫による多彩なイベントや児童館まつりなど規模の大きなイベントを積極的に開催したことにより、利用者数は前年度より増加した。今後も、乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に親しまれ、健康でゆたかな情操を育む魅力ある場となるよう、適切な施設管理とイベントのさらなる充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 27,074,651円

[施設利用者]

区 分	令和5年度	令和6年度
開 館 日 数	317日	319日
個 人 利 用 者	延 264,734人	延 282,616人
団 体 利 用 者	164団体 延 2,977	176団体 延 3,732
計	延 267,711	延 286,348

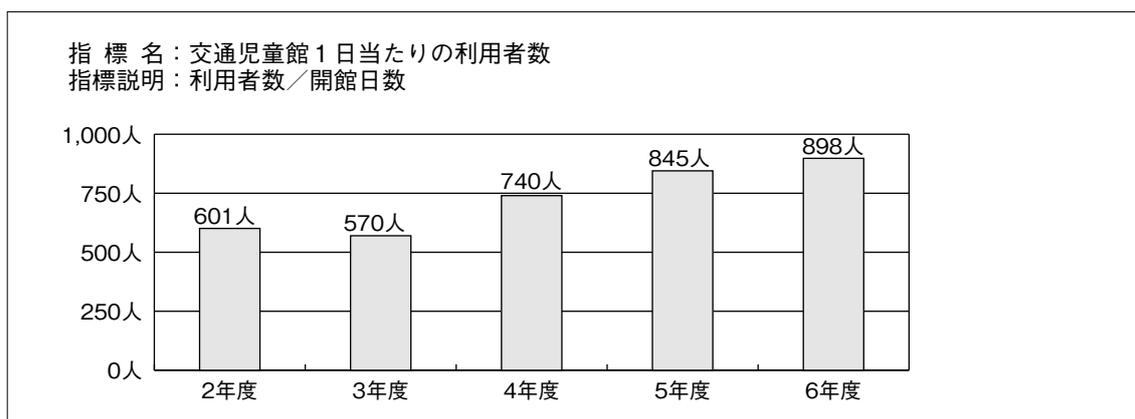
[遊具利用者]

区 分	令和5年度	令和6年度
バ ッ テ リ ー カ ー	延 18,737人	延 16,957人
自 転 車	延 15,134	延 16,073
一 輪 車	延 1,411	延 1,261

[行事参加者]

区 分	令和5年度		令和6年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
す く す く 広 場	24回	622人	12回	669人
リトミックあそび	12	403	12	442
おやこ造形あそび	12	265	12	253
ベビWARAリズム	12	253	12	262
めざせ!わっぱなし	12	201	11	280
運 動 あ そ び	48	570	46	613
交 通 安 全 教 室	28	1,358	33	1,472
つ ど い の 広 場	141	7,515	142	7,216

[指標]



2 こども未来館管理運営事業費 237,836,164 円（こども未来館）

[総括]

子どもの健やかな成長及び市民の交流を目的に、子どもを中心とした様々な世代の人々がふれあう場及び機会を提供し、多彩なイベントを開催した。行政が子育てプラザの運営を、指定管理者が体験・発見プラザと集いプラザの運営及び施設全体の維持管理を担い、それぞれ特性を生かした効率的な運営を行った。指定管理者の多彩なイベント等により、利用者数は前年度より増加した。さらに、子育て支援の拠点施設として、伴走型相談支援を継続して実施するなど、相談支援の充実を図った。

今後も、遊びと体験の場の提供、子育てに関する相談対応や情報提供など保護者に寄り添った支援を行うとともに、民間事業者とも連携し、市民協働による運営にも重点を置きながら、多種多様なイベントの企画・実施などにより、新たな利用者の獲得及びリピーターの確保に努めていく。

[実績及び成果]

[主なイベント開催状況]

	令和5年度	令和6年度
内 容	にゃおなちんぼうがきの収穫祭 藤白圭の世界展 ありがとう15周年!ここにこ誕生祭 まちなか☆こども夜店 ここにこ宇宙博 ここにこクラフトコレクション ぼんぼんでん スーパーカー大集合 三河トコトン!豚まつり	サステナライフフェスタ クセノマニア ここにこ芝生シアター 星空映画会 ナイトカラフルマルシェ ここにこライブ こどもボックス&とよスイーツカーニバル ここにこXmasライブ メタルクリーチャー2025 こども未来館相撲大会ここにこ場所

(1) 施設管理事業費 130,673,886 円

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
開 館 日 数		312日	310日	△ 0.6%
延利用者数	子育てプラザ	128,733人	118,483人	△ 8.0
	体験・発見プラザ	238,035	275,985	15.9
	集 い プ ラ ザ	204,168	267,243	30.9
	計	570,936	661,711	15.9
1 日 平 均 利 用 者 数		1,830	2,135	16.7

※子育てプラザのみ令和5年度は310日、令和6年度は307日の開館

(2) 子育てプラザ活動事業費 42,017,505 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
子育てプラザ開催講座	57回 参加者 延 1,220人	53回 参加者 延 1,131人
子育てサポーター養成講座	10 参加者 延 199	10 参加者 延 216
チャイルドサポートプラン説明会	81 参加者 577	84 参加者 512
ここにこサークル	36か所 参加者 延 4,669	34か所 参加者 延 4,685
一時預かり事業	延 873	延 837
一時預かり利用者負担軽減事業	延 25	延 6
妊娠・出産・子育て総合相談窓口	延 374	延 317
母子健康手帳の交付	517 519冊	508 512冊

(3) 体験・発見プラザ活動事業費 2,000,412 円

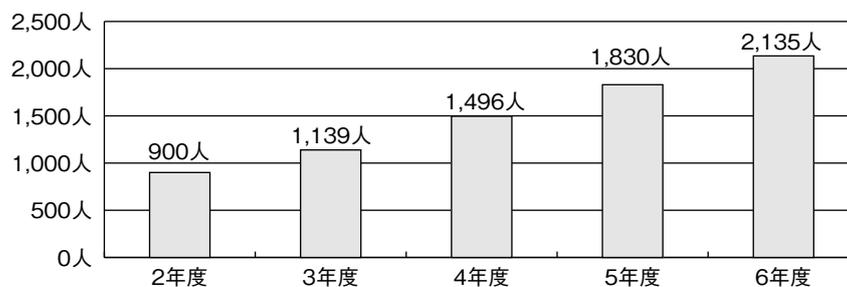
区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
体験セット貸出数	230セット 64,684件	246セット 89,330件
体験プログラム	132回 参加者 延 2,482人	132回 参加者 延 2,329人

(4) 企画活動事業費 3,855,139 円

実行委員会開催イベント	令和 5 年度	令和 6 年度
	20回 参加者 延 28,752人	16回 参加者 延 15,098人

[指 標]

指 標 名：こども未来館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



3 ミラまちこども館管理運営事業費 7,924,063 円（保育課・こども未来館）

[総括]

ミラまちこども館内にある地域子育て支援センターにおいて、子育て世帯が気軽にかつ自由に交流できる場を提供するとともに、育児相談や親子講座などを開催し、子育てに不安や悩みを持つ家庭に対する支援を行った。今後も地域や関係機関と連携を行い、施設の充実を図っていく。

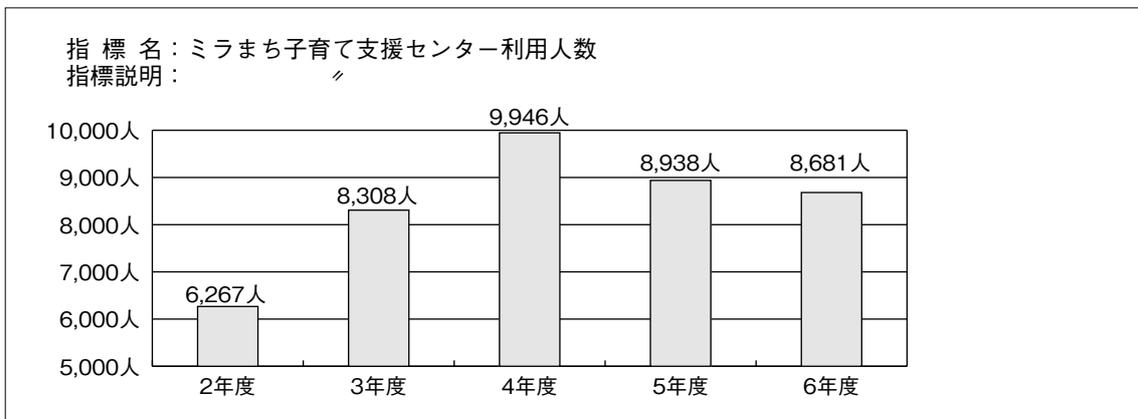
[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 7,924,063 円

(ア) 地域子育て支援センター事業費 7,731,174 円

	令和5年度	令和6年度	比較
ミラまち子育て支援センター利用人数	延 8,938人	延 8,681人	△ 2.9%

[指標]



4 児童育成事業費 59,178,552 円（子育て支援課・こども未来館）

[総括]

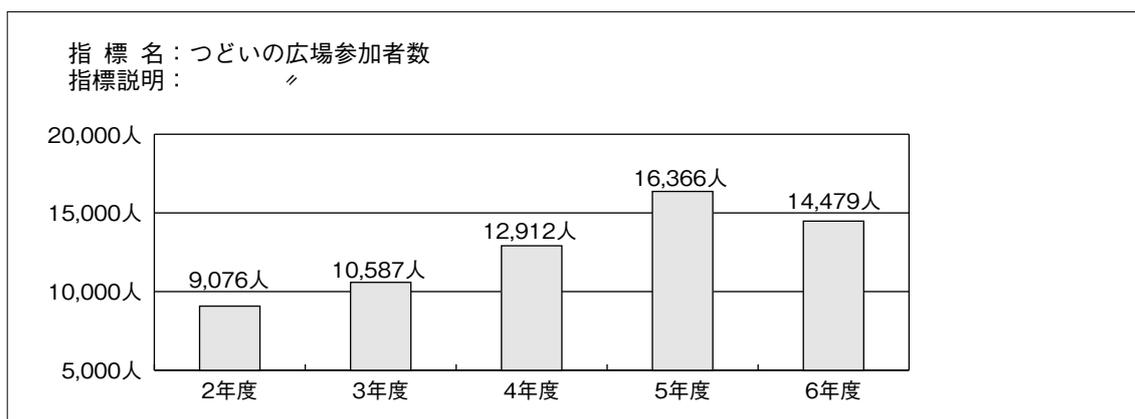
核家族化や共働きなどにより子育てに不安や負担を抱える家庭を支援するため、親子のふれあいの充実を促す幼児ふれあい教室や父親参加型のパパママ子育て講座及び交流の場としてつどいの広場を開催した。また、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、ひとり親世帯及び多子世帯を対象に利用料の助成を行った。今後も子育てしやすい環境づくりのため、多様な子育てニーズに対応できるよう、各事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 児童育成事業費 59,178,552 円

区分	令和5年度	令和6年度
つどいの広場開催委託	3か所433回 参加者延16,366人	3か所433回 参加者延14,479人
ファミリー・サポート・センター事業	会員数 2,065	会員数 1,992
	活動回数 3,819回	活動回数 3,928回
幼児ふれあい教室開催事業	35講座 参加者延 2,585人	30講座 参加者延 2,438人
パパママ子育て講座開催事業	16 参加者延 756	13 参加者延 866
赤ちゃんの駅登録施設数	282施設	287施設

[指標]



5 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 122,177,152 円（こども未来館・保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、共働き家庭に限らず、すべての子育て家庭を支援するため、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業など、地域の様々な子育て支援を実施した。また、保育園及び認定こども園に対し11時間を超える開所を支援するため、延長保育事業費補助金を市独自分も含めて交付した。さらに、レスパイトケアを必要とする子育て家庭が安定して一時預かりを利用できるよう、低所得世帯に対し利用料の助成を実施した。

今後も地域の実情に応じ、多様な子育てニーズを的確に把握するとともに、教育・保育施設等が持つ専門的機能を活用しながら未就学児と保護者に対して育児相談や遊びの場などを引き続き提供することにより、子育て支援事業の拡充に努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 122,177,152 円

(ア) 延長保育事業費補助金 28,816,720 円

区分	令和5年度	令和6年度	比較
施設数	22園	23園	4.5%
利用人数	延 13,369人	延 15,053人	12.6

(イ) 一時預かり事業費補助金 52,888,670 円

[一般型]

区分	令和5年度	令和6年度	比較
施設数	3園	3園	0.0%
利用人数	延 1,338人	延 1,452人	8.5

[幼稚園型]

区分	令和5年度	令和6年度	比較
施設数	21園	23園	9.5%
利用人数	延 27,379人	延 29,366人	7.3

(ウ) 一時預かり利用者負担軽減事業費 30,000 円

区分	令和5年度	令和6年度	比較
施設数	3園	3園	0.0%
利用人数	延 48人	延 15人	△68.8

(エ) 地域子育て支援センター事業費 36,641,000 円

[地域子育て支援センター運営委託料]

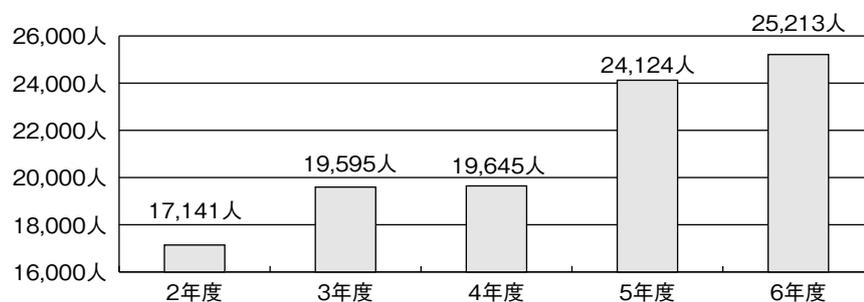
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	延 24,124人	延 25,213人	4.5

(オ) 病児保育事業委託料 3,800,762 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
施 設 数	1施設	1施設	0.0%
利 用 人 数	延 24人	延 38人	58.3

[指 標]

指 標 名：地域子育て支援センター利用人数  
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 ひとり親家庭等支援費 <ひとり親家庭等への支援の充実>	1,362,651,638	479,803,227	0	19,700	882,828,711

1 ひとり親家庭等支援事業費 1,130,787,801 円 (子育て支援課)

[総括]

ひとり親家庭の自立支援のため、就業に役立つ知識及び技能の習得や、養育費確保のための公正証書作成等への支援を行ったほか、ひとり親家庭等への経済的支援のため、国の制度である児童扶養手当や市の制度である母子父子福祉手当を支給した。児童扶養手当については、国の制度改正に伴い、令和6年11月分から所得制限及び第3子以降の加算額の引上げを行った。また、制度周知を図るため、「ひとり親家庭のしおり」の配布及びホームページでの公開を行うとともに、LINEによる積極的な配信を行った。さらに、援護の必要な母子家庭について施設入所など必要な措置を行った。今後も支援を必要とするひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立に向けた支援の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) ひとり親家庭等自立支援事業費 30,898,176 円

(ア) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業費 15,815,000 円

支給人数	令和5年度		令和6年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	12人		15人	

(イ) ひとり親家庭等養育費確保支援事業費 872,903 円

助成金支給人数	令和5年度		令和6年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	43人		46人	

(2) 児童扶養手当給付事業費 1,039,602,466 円

(ア) 手当費 1,035,162,510 円

区分	令和5年度		令和6年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
全部支給	12,754人	561,582,820円	12,834人	582,487,350円
一部支給	11,778	337,872,830	11,231	339,843,610
加算額				
2子加算	9,574	91,675,710	9,272	92,023,070
3子以降加算	2,941	17,320,440	2,751	20,808,480
計	—	1,008,451,800	—	1,035,162,510

(3) 母子父子福祉手当給付事業費 39,448,340 円

(ア) 手当費 39,446,200 円

対象児童数	令和5年度		令和6年度	
	支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円	1,676人	支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円	1,697人

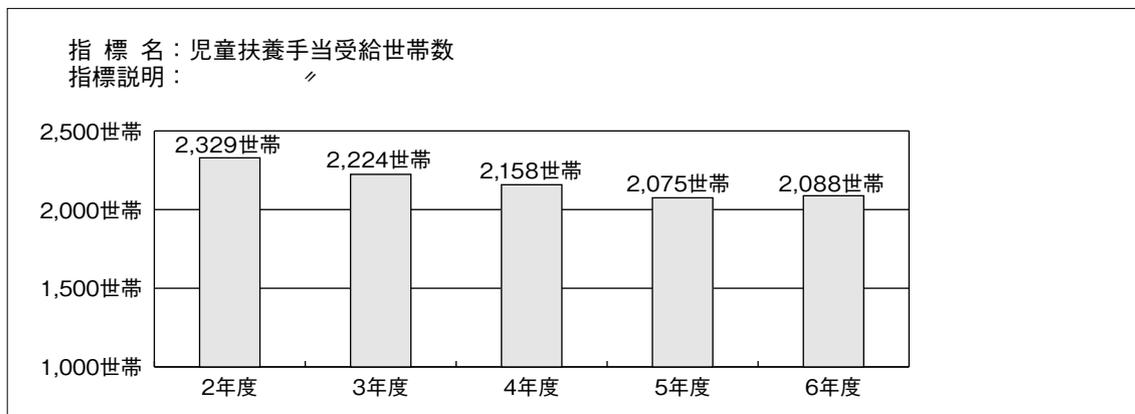
(4) 母子生活支援施設入所事業費 17,910,569 円

利用世帯数	令和5年度		令和6年度	
	延世帯	延人数	延世帯	延人数
	4施設 延 40世帯		4施設 延 38世帯	

(5) 助産施設入所事業費 2,928,250 円

利 用 人 数	令和 5 年度	令和 6 年度
	7人	8人

[指 標]



2 母子父子家庭等医療費助成事業費 231,863,837 円（子育て支援課）

[総 括]

18歳到達年度末までの子どもを扶養しているひとり親家庭の医療費について、保険診療分の自己負担額を助成することにより、経済的な負担の軽減及び生活の安定に寄与した。今後も適正な医療費の助成を行い、ひとり親家庭に対する福祉の向上を図る。

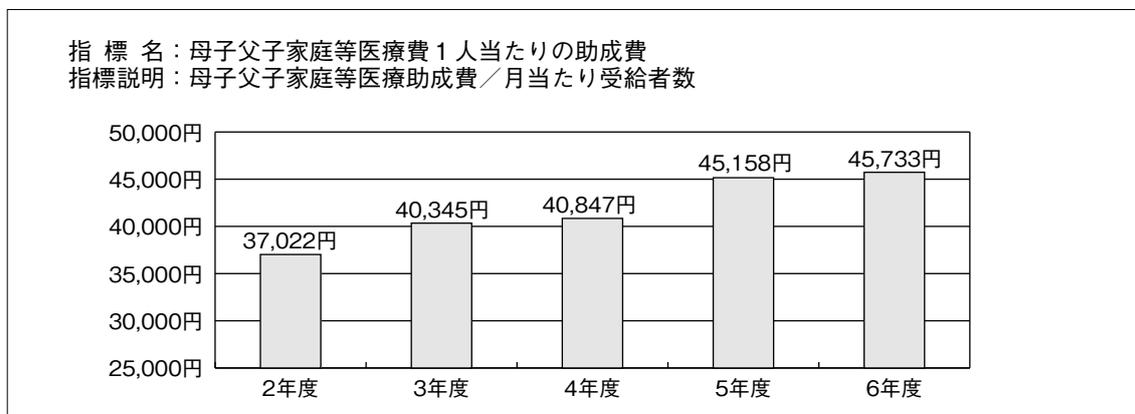
[実績及び成果]

(1) 母子父子家庭等医療費助成事業費 231,863,837 円

(ア) 医療助成費 228,483,310 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
受 給 者 数	延 61,782人	延 59,956人	△ 3.0%
受 診 件 数	延 78,065件	延 78,034件	△ 0.0
受 診 率	126.4%	130.2%	3.8ポイント

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日療育支援費 ＜療育支援の推進＞	715,756,731	6,048,000	0	256,090,830	453,617,901

1 高山学園運営事業費 173,323,872 円 (保育課)

[総括]

児童発達支援センターとして、心身の発達促進と障害の軽減のための療育を実施するとともに、保護者への養育援助を行った。また、児童発達支援センターとして地域における中核的な役割を果たすため、障害児サービスを提供する事業所職員向けの研修を行い、療育の質の向上に寄与した。今後も良好な環境のもとで児童の成長を促すよう療育体制の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 46,488,153 円

[児童数]

通園児童数	令和5年度	令和6年度	比較
		延 479人	延 480人

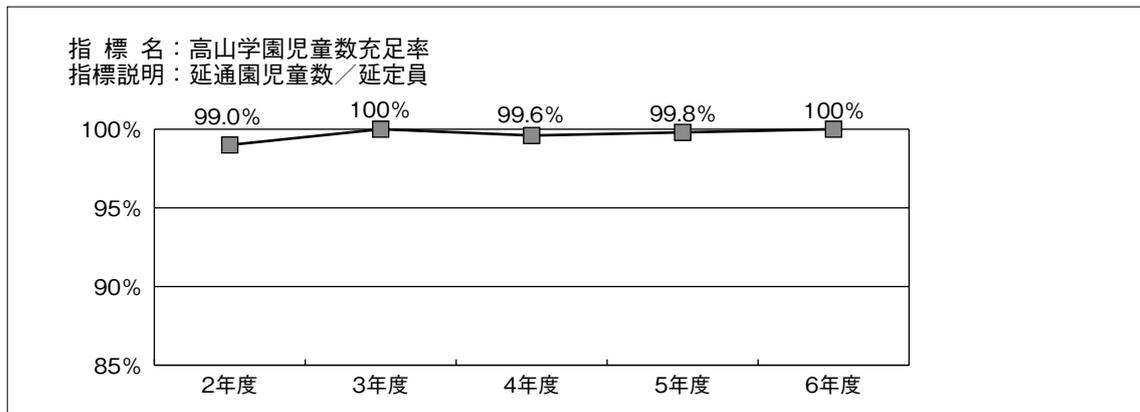
[相談支援数]

相談支援数	令和5年度	令和6年度	比較
		延 382人	延 361人

[施設整備費]

内 容	令和5年度	令和6年度
		園庭東側フェンス取替修繕 カメラシステム購入

[指標]



2 こども発達センター管理運営事業費 542,432,859 円 (こども発達センター)

[総括]

児童精神科医師をはじめとした専門スタッフを配置し、相談・診療・通園の各種事業を実施した。診療事業について、令和6年度は、診療業務の効率化及び市民サービス向上を図るため、医科用電子カルテシステムの再構築に着手した。また、講演会・研修会を実施するなど、障害児支援につながる取組みを行った。今後も、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら、総合的な療育支援を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 148,939,550 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
開 館 日 数	247日	251日	1.6%
相 談 件 数	延 1,960件	延 2,289件	16.8
診 療・リハビリ人数	延21,346人	延22,993人	7.7
通園事業利用者数	4,872	5,006	2.8

(2) 相談事業費 30,714,606 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
障害児等療育支援事業	3 施設 延1,464件	3 施設 延1,432件
講演会・研修会	53件 参加者 1,132人	49件 参加者 1,181人
プレイルーム支援事業	延3,817	延4,028

(3) 診療事業費 127,020,941 円

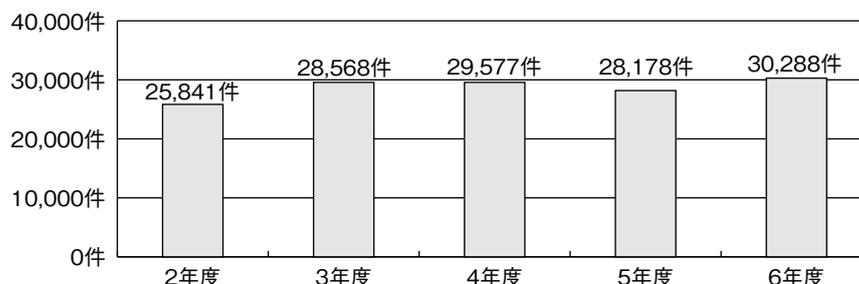
区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
小 児 科	延3,889人	延4,278人	10.0%
児 童 精 神 科	6,869	7,091	3.2
整形外科（水曜日）	349	351	0.6
耳鼻いんこう科（火・金曜日）	637	703	10.4
歯 科（木曜日午前）	610	631	3.4
リハビリテーション	8,992	9,939	10.5

(4) 通園事業費 39,274,863 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
外来グループ療育事業	延4,207人	延4,180人	△ 0.6%
重症心身障害児通園事業	533	704	32.1
居宅訪問型児童発達支援事業	8	5	△37.5
重症心身障害児(者)日中一時支援事業	124	117	△ 5.6

[指 標]

指 標 名：こども発達センター利用件数  
 指標説明：相談件数＋診療・リハビリ人数＋通園事業利用者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 子ども・若者自立支援費 〈困難を抱える子ども・若者への支援の充実〉	25,747,190	9,516,000	0	3,150,000	13,081,190

1 子ども・若者自立支援事業費 24,352,630円 (こども若者支援センター)

[総括]

民間の支援団体に子ども・若者総合相談窓口の運営を委託し、子ども・若者及びその家族を対象に不登校、ひきこもりなどの相談・支援を行った。また、進路に悩む中高生等が、自らに合った進路を選ぶことができるよう、定時制・通信制高等学校の合同説明会を開催した。合同説明会では、参加者が知りたい情報を得られるように、すべての出展校の概略を聞くことができる全体会と、各校について個別に質問ができる個別相談会の2部構成で行った。さらに、児童養護施設等の退所により、社会的養護のケアから離れた若者に対して、食料の提供など自立した生活につながる支援を行った。今後も子ども・若者の支援機関で構成する協議会での取組みを通して、子ども・若者支援のネットワークを活用し、一人ひとりの困りごとに寄り添い、子ども・若者が望む自立に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者自立支援事業費 24,352,630円

(ア) 子ども・若者相談窓口運営事業費 24,262,570円

子ども・若者相談者数	令和5年度	令和6年度
		715人

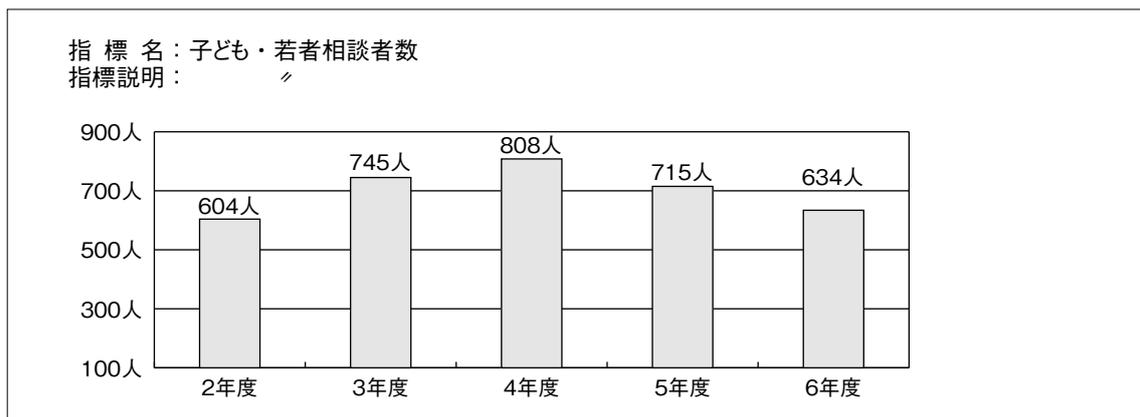
(イ) 子ども・若者支援地域協議会運営費 47,160円

定時制・通信制高等学校 合同説明会参加者数	令和5年度	令和6年度
		505人(年2回)

(ウ) ケアラーバー(施設退所児)支援事業費 42,900円

ケアラーバー(施設退所児) 支援者数	令和5年度	令和6年度
		4人

[指標]



2 子どもの未来応援事業費

1,394,560 円（子育て支援課）

[総括]

子ども食堂や学習支援教室を運営する団体に対し、補助金を交付するなど運営を支援し、子どもの居場所づくりを行った。また、ひとり親世帯や多子世帯に対する支援として、食料品等を配布するフードドライブや中学生の学生服のリユース活動を、NPO法人東三河フードバンクや豊橋市社会福祉協議会等と連携して行った。今後も引き続き関係機関等と連携して支援を行っていく。

[実績及び成果]

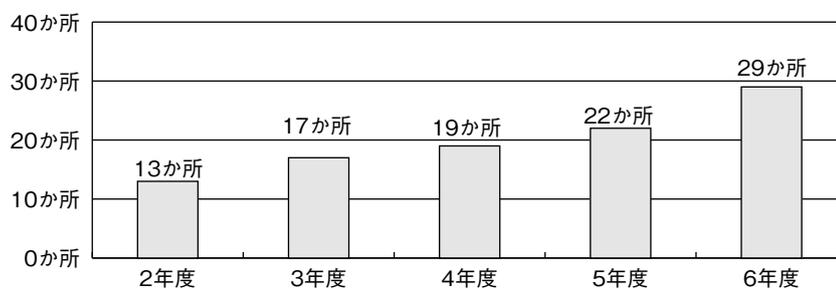
(1) 子どもの未来応援事業費

1,394,560 円

子どもの居場所数	令和5年度	令和6年度
	22か所	29か所

[指標]

指標名：子どもの居場所数  
 指標説明：子ども食堂及び学習支援の場所数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 生活保護費	4,928,992,968	3,439,161,561	0	69,893,450	1,419,937,957
2目 生活保護者等自立支援費 <生活保護者への継続的な自立支援>	4,610,321,361	3,409,710,786	0	69,893,450	1,130,717,125

1 生活保護者等援護事業費 4,605,296,361 円 (生活福祉課)

[総括]

最低限度の生活を保障し、自立助長を図るための支援を、生活保護受給者の状況に合わせて行った。就労が可能な方にはハローワークと連携した就労支援を、就労に向けた準備が整っていない方には就労準備支援員が寄り添い、きめ細やかな支援を行った。また、生活保護受給者が適切に年金を受給できるよう、年金調査員による支援を行った。生活保護受給者に対する健康管理支援においては、保健師、看護師及び地区担当員が連携し、医療と生活の両面から健康状態に応じた切れ目のない支援を実施することで、健康意識の向上や生活習慣病等の予防を図った。今後も生活保護受給者の自立のため包括的な支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活保護扶助事業費 4,603,029,883 円

[扶助費内訳]

区 分	令和5年度			令和6年度		
	世帯	人員	金額	世帯	人員	金額
生活扶助	1,878世帯	2,330人	1,283,673,776円	1,906世帯	2,357人	1,298,432,832円
住宅扶助	1,927	2,368	678,333,509	1,965	2,400	704,168,368
教育扶助	90	146	13,061,425	92	148	15,296,080
介護扶助	506	517	104,307,047	515	529	103,064,912
医療扶助	1,924	2,303	2,305,573,672	1,958	2,348	2,383,937,735
出産扶助	年間0	0	0	年間2	2	467,290
生業扶助	37	42	4,799,443	29	34	4,724,872
葬祭扶助	年間72	72	8,380,441	年間108	108	11,762,443
保護施設事務費	月平均7	7	12,838,022	月平均9	9	15,469,779
就労自立給付金	年間25	25	950,368	年間27	27	1,155,163
進学準備給付金	年間3	3	500,000	年間6	6	1,400,000
委託事務費	—	—	—	月平均2	2	546,560
計	—	—	4,412,417,703	—	—	4,540,426,034

※1 「世帯」、「人員」の実績は当該年度末現在の数値とする。(「出産扶助」、「葬祭扶助」、「保護施設事務費」、「就労自立給付金」、「進学準備給付金」及び「委託事務費」は除く)

※2 「進学準備給付金」は、生活保護法改正に伴い、「進学・就職準備給付金」に名称変更された。

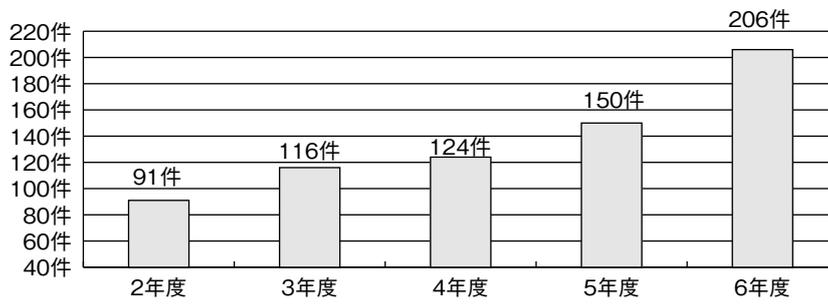
(2) 中国残留邦人生活支援事業費 2,266,478 円

受給世帯数	令和5年度		令和6年度		比較
	1世帯	2人	1世帯	2人	
	1世帯	2人	1世帯	2人	0.0%

[指 標]

指 標 名：自立件数

指標説明：保護廃止世帯数－死亡・失踪による廃止世帯数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 生活困窮者等自立支援費 <生活困窮者に対する包括的な自立支援>	41,208,770	29,450,775	0	0	11,757,995

1 生活困窮者等援護事業費 41,208,770円 (生活福祉課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度には生活相談件数が急増したが、令和5年度からは発生前と同程度となる中、相談の内容を丁寧に聞き取り、個々の状況に合わせた制度を案内するなど適切に支援を行った。住まいに関する相談については、住居確保給付金や一時生活支援事業を就労支援と併せて案内し、生活の基盤である住居を確保した上で、安心して就職活動を行うことができるよう支援した。学習・生活支援事業においては、学習支援コーディネーターとともに、生徒だけでなく、保護者からの相談も丁寧に聞き取り、適切な支援を行った。また、家計改善支援事業においては、家計に課題を抱える相談者に対し、情報提供や専門的な助言等を行い、家計管理能力を高めるための支援を行った。今後も生活困窮者に対し、関係機関と連携して迅速に支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活困窮者自立支援事業費 36,072,247円

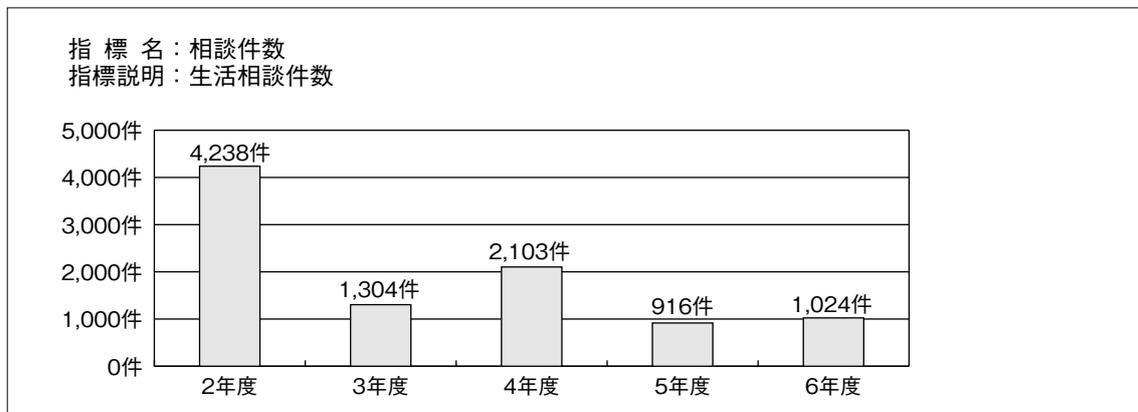
区 分	令和5年度		令和6年度	
	人 員	金 額	人 員	金 額
自立相談支援	131人	24,209,010円	108人	26,351,514円
住居確保給付金	40	4,709,700	23	1,603,100
一時生活支援	51	1,960,987	42	1,717,471
学習・生活支援	133	1,739,779	156	1,764,350
就労準備支援	17	67,216	12	65,690
家計改善支援	19	3,652,562	15	4,570,122

※「就労準備支援」「家計改善支援」の実績について、生活困窮者に加えて生活保護受給者を含んだ数値に変更

(2) 旅費欠乏者移送費等事業費 5,136,523円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
移送人数	28人	24人	△14.3%
行旅死亡人	2	0	皆減

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4 款 衛 生 費	17,280,826,054	838,357,483	1,000,500,000	1,736,037,196	13,705,931,375
1 項 保 健 衛 生 費	6,214,795,159	481,558,233	152,300,000	716,015,009	4,864,921,917
2 目 健 康 づ くり 費 <健康的な暮らしの支援>	353,319,787	4,272,403	0	3,298,583	345,748,801

1 保健所・保健センター管理運営事業費 280,172,024 円 (保健医療企画課)

[総括]

保健・医療・福祉の総合拠点「ほいっぷ」の中核施設として、こども発達センターを含め、PFI事業契約に基づき施設の維持管理・運営を行った。今後も市民の健康と安全を守るため、施設の適正な維持管理・運営に努めるとともに、医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携強化を図りながら、機能の充実と施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

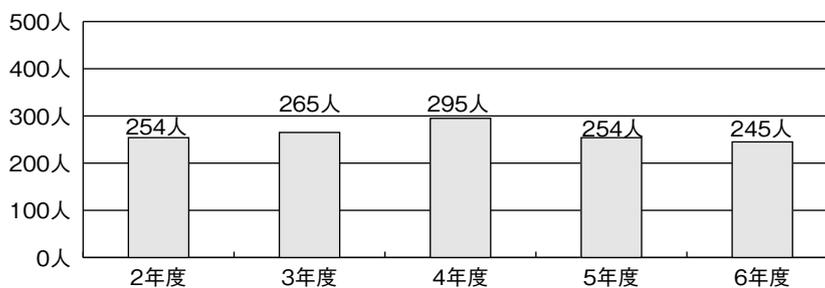
(1) 保健所・保健センター管理運営事業費 280,172,024 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	243日	243日	—
利 用 者 数	延 61,657人	延 59,420人	△ 3.6%

[指 標]

指 標 名：保健所・保健センター1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



2 健幸なまちづくり事業費

8,879,002 円（健康増進課）

[総括]

市民の野菜摂取を促すため、令和5年度のモデル校区での野菜摂取の取組み結果を踏まえ、野菜摂取量推定機器を活用した学校での食育授業や店舗での啓発活動に積極的に取り組み、実施地域の拡大を図った。また、個人の体力に応じた効果的なウォーキングである「とよはしクアオルト健康ウォーキング」の令和7年度本格稼働に向けて、本市の魅力あるウォーキングコースの設定や、専門ガイドの養成を行った。今後も、市民の健康づくりを進めるため、企業や教育機関、ボランティア団体等の様々な機関と連携し、ICTの利活用等新しい要素を組み込んだ取組みにより、社会環境を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 健幸なまちづくり推進事業費 2,916,722 円

区 分	令和5年度	令和6年度
官民連携健康づくりセミナー等の開催	15回 219人	13回 868人
ICTを活用した健幸なまちづくり(糖尿病予防)	568	2,384

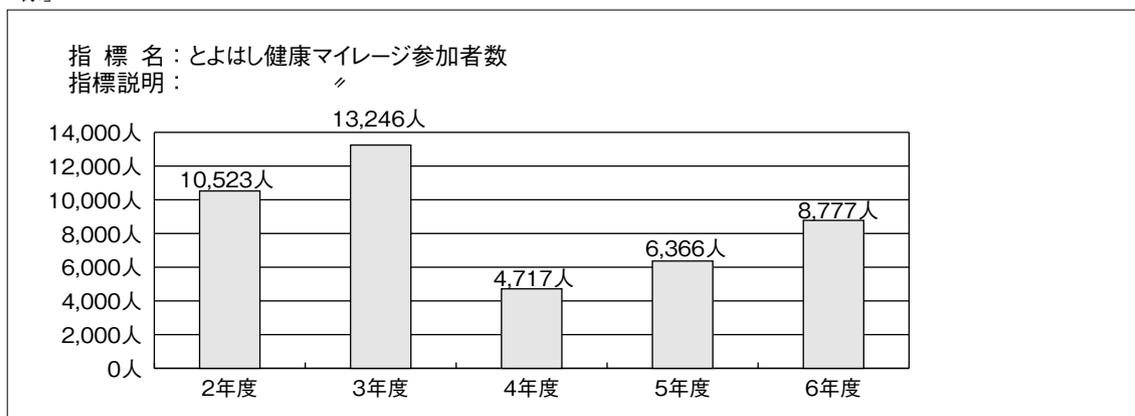
(2) 健康マイレージ推進事業費 4,644,940 円

区 分	令和5年度	令和6年度
とよはし健康マイレージ参加者数	6,366人	8,777人
ウォーキングイベント	3回 1,694	3回 573

(3) 健康経営推進事業費 1,317,340 円

区 分	令和5年度	令和6年度
とよはし健康宣言事業所	174事業所	189事業所

[指標]



※令和4年度より、新たに導入したウォーキングアプリ「あいち健康プラス」による参加者数を計上している。

3 健康づくり事業費

1,929,209 円（健康増進課・こども保健課）

[総括]

市民が健康の大切さに気づき、日常生活に健康づくりを取り入れることができるよう、運動プログラムの提供や、校区别ウォーキングマップを地域住民と作成し、地域主体の健康づくり活動のサポートを行った。今後も市民への健康に関する動機づけとなるような取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 学校保健連携事業費 253,159 円

区 分	令和5年度	令和6年度
学校保健委員会参加者数	4,144人	2,223人
訪問授業参加者数	1,502	1,196
食生活について考えよう受講者数	724	736
赤ちゃんふれあい体験	4校 参加者 320	5校 参加者 393

(2) 地域活動事業費 1,676,050 円

区 分	令和5年度	令和6年度
健康な地域づくり事業などの参加者数	6,105人	2,949人
校区対抗ウォーキングチャレンジマッチ	52校区 3,640	中止

[指標]

指標名：健康づくり事業への参加件数  
 指標説明：学校保健連携事業参加者数＋地域活動事業参加者数



4 余熱利用施設管理運営事業費 58,094,555 円（健康増進課）

[総括]

健康増進と交流促進の場として幅広い市民の利用に供するとともに、省資源・省エネルギーに対する市民意識の向上を促すため、資源化センターの余熱利用施設（りすば豊橋）の維持管理・運営を行った。今後も施設の適正な維持管理・運営に努め、利用者の増加を図っていく。

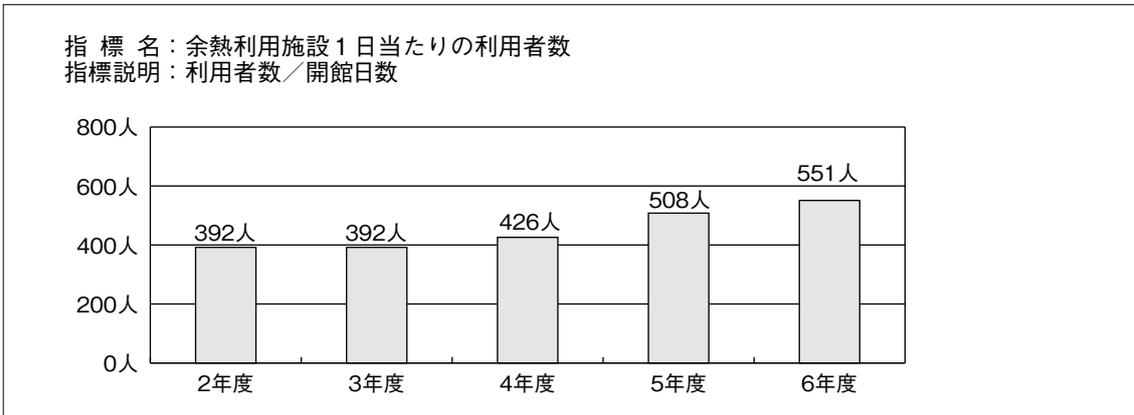
[実績及び成果]

(1) 余熱利用施設管理運営事業費 58,094,555 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度
温 水 プ ー ル	延 63,546人	延 65,346人
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	延 27,905	延 26,891
浴 場	延 45,508	延 47,366
無 料 チ ケ ッ ト 等	延 3,724	延 4,958
無 料 開 放 ス ペ ー ス	延 8,287	延 13,440
自 主 事 業 ( プ ー ル 以 外 )	延 1,917	延 3,470
計	延 150,887	延 161,471
開 館 日 数	297日	293日

[指 標]



※令和5年度より、無料チケット等による利用者数を計上している。

5 歯科口腔保健推進事業費 2,621,681 円（健康増進課）

[総括]

生涯を通じた歯と口の健康のために定期的な歯科検診の受診とかかりつけ医を持つことを推奨するとともに、歯科口腔保健推進のために必要な歯科医療関係者等に対する情報提供や研修を実施し、資質向上に努めた。「豊橋市歯科口腔保健推進計画（第2次）」に基づき今後も関係機関と連携し、市民が生涯にわたり、自分の歯でおいしく食べることができるよう、歯科口腔保健の施策を推進していく。

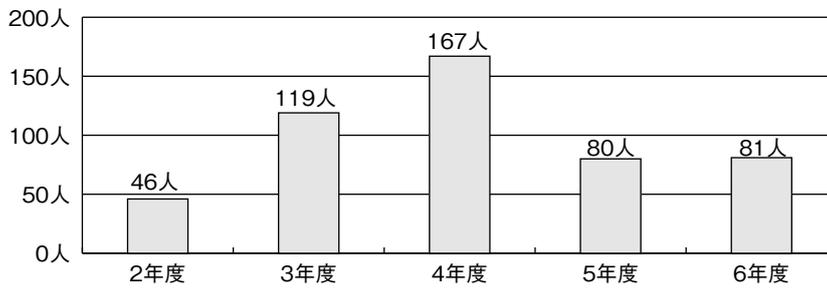
[実績及び成果]

(1) 口腔保健支援センター運営事業費 2,621,681 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	研修会の開催	2回	研修会の開催	2回
運営会議の開催	2	運営会議の開催	2	

[指 標]

指 標 名：豊橋市口腔保健支援センター研修会参加者数  
指 標 説 明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 たばこ対策費 <たばこ対策の推進>	678,204	498,000	0	0	180,204

1 たばこ対策事業費 678,204円 (保健医療企画課・健康増進課)

[総括]

受動喫煙防止の推進のため、新規開設飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する説明会を実施するとともに、医療機関、公的施設、事業所、アミューズメント施設に啓発ポスター等を配布した。今後も受動喫煙の防止対策を推進し、望まない受動喫煙が生じない環境づくりをめざしていく。

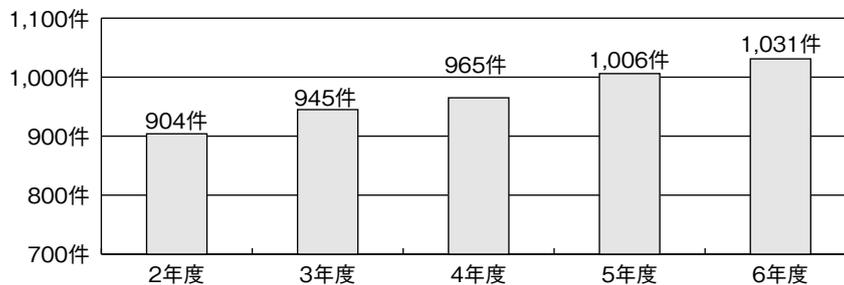
[実績及び成果]

(1) 受動喫煙防止対策事業費 487,085円

内 容	令和5年度	令和6年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施</li> <li>リーフレットや啓発グッズなどの作成、配布</li> <li>不動産事業者を通じた受動喫煙に関する啓発</li> </ul>

[指 標]

指 標 名：敷地内禁煙ステッカー交付件数(累計)  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4日 疾 病 対 策 費 <疾病の予防対策の推進>	410,285,661	25,049,744	0	60,824,833	324,411,084

1 成人保健予防事業費 322,856,790 円 (健康増進課)

[総括]

生活習慣病を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診と骨粗しょう症検診・歯周病検診等を実施したほか、集団検診会場において、がん検診と特定健康診査を同時受診できる会場の増設や、Web申込による受診券の発行など利便性を高めることで受診率の向上に努めた。また、女性がん検診の受診勧奨や、若い世代への啓発として、子宮頸がんについて4コマ漫画を活用したチラシや、健診や禁煙についての啓発物を、二十歳の集いや市内大学等で配布した。さらに、HPVワクチンを接種した20歳から27歳の方を対象に全額公費負担により子宮頸がん検診を実施した。今後も検診の体制充実や精度管理に努め、病気の早期発見や生活習慣の改善につなげられるよう、保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 生活習慣病予防事業費 42,382,636 円

区 分	令和5年度	令和6年度
健康診査(生活保護受給者等)	94人	101人
骨粗しょう症検診	1,904	2,015
歯周病検診	2,176	2,220
眼科検診	1,662	1,642
肝炎ウイルス検査	657	771
集団健康教育	11コース	10コース

(2) がん予防事業費 277,929,785 円

区 分	令和5年度	令和6年度
胃がん検診 (内:胃内視鏡検診)	7,359人 (4,050)	7,024人 (3,938)
大腸がん検診	19,517	19,212
肺検診(結核・肺がん)	22,705	22,159
子宮頸がん検診	7,916	8,538
乳がん検診	6,623	6,690
前立腺がん検診	1,042	936
がんセット検診(再掲)	21日間 5,063	22日間 6,017

(3) がん患者アピアランスケア支援事業補助金 2,134,464 円

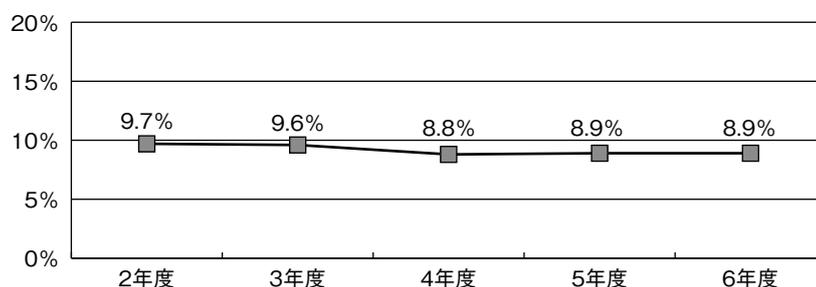
区 分	令和5年度	令和6年度
医療用ウィッグ・乳房補正具 購入費補助金	140件	111件

(4) 若年がん患者在宅療養支援事業補助金 409,905 円

区 分	令和5年度	令和6年度
在宅サービス、福祉用具の 貸与・購入の補助	3件	11件

[指標]

指標名：がん検診受診率(肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診分)  
 指標説明：がん検診受診者数/検診対象者



2 精神保健対策事業費 4,504,128 円 (健康増進課)

[総括]

こころの不調で悩んでいる方とその家族が地域で安定した生活を送ることができるように、精神科医師や保健師等の相談を行い、こころの健康の維持増進を図った。また、市民向けの講演会等で、自殺予防の啓発を行ったほか、ゲートキーパー研修等を実施し自殺対策を支える人材育成を行った。さらに、自己肯定感を育む教育の推進として、SOSの出し方に関する教育を教育委員会と連携して実施するとともに、ひきこもり支援の充実を図るため、ひきこもり状態にある方や家族の実態及びニーズを把握する調査を実施した。

今後も、「第2期豊橋市自殺対策計画」に基づき、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざし、生きることのさらなる包括的な支援の取組みを推進していく。

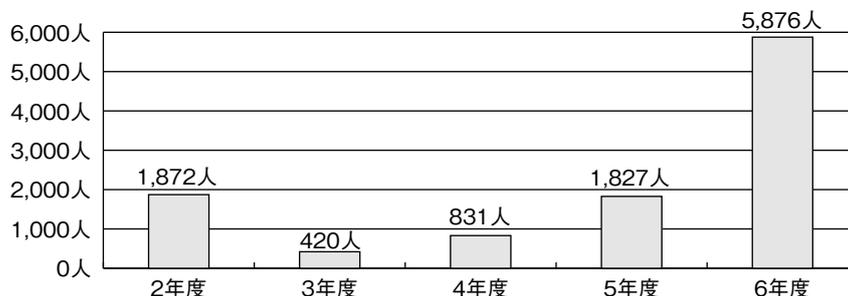
[実績及び成果]

(1) 精神保健対策事業費 4,504,128 円

区分	令和5年度	令和6年度
研修等を実施した回数	66回	83回
研修等を受けた人数	1,827人	5,876人

[指標]

指標名：研修等を受けた人数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 感染症対策費 <感染症対策の推進>	1,768,049,544	128,110,876	0	203,685,400	1,436,253,268

1 予防接種事業費 1,722,348,052 円 (保健医療企画課)

[総括]

感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の防止による、公衆衛生の向上を図るため、予防接種未接種者への個別通知を行うなど、接種を勧奨し、抗体保有率(接種率)の向上に努めた。また、HPVワクチンキャッチアップ接種対象者に個別通知を行い、確実な周知に努めるとともに、男性のHPVワクチン接種費用の一部助成も開始した。また、新型コロナワクチンが定期予防接種B類疾病に位置付けられたことから、対象者へ個別通知にて周知を行った。今後も予防接種法の改正や感染症の動向に的確かつ迅速に対応するとともに、周知を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 予防接種事業費 1,722,348,052 円

(ア) 予防接種委託料等 1,722,174,022 円

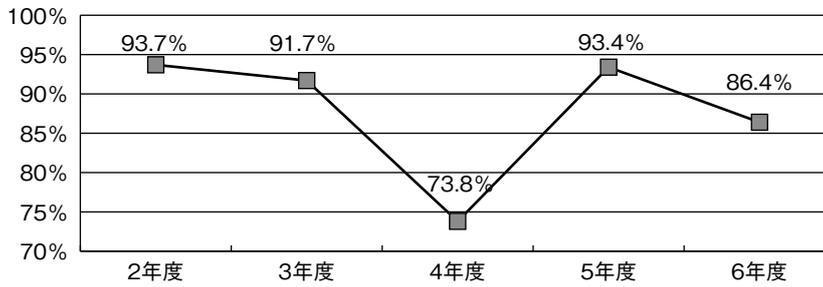
区 分		令和5年度		令和6年度		
		接 種 人 員		接 種 人 員		
定 期 類	A	4 種 混 合	延 9,855人	延 3,213人		
		5 種 混 合	—	延 5,793		
		D P T (3種混合)	延 1	延 6		
		D T 2 期	2,885	2,792		
		不 活 化 ポ リ オ	延 3	延 3		
		麻 し ん ・ 風 し ん 混 合	5,083	4,742		
		日 本 脳 炎	延 11,996	延 10,497		
	B	C G	—	2,279	2,094	
			延 9,239	延 2,677		
		ヒ	延 9,242	延 8,507		
		小 児 用 肺 炎 球 菌	延 1,650	延 3,467		
		H P V ( 定 期 )	延 2,226	延 8,516		
		HPV(キャッチアップ)	延 4,682	延 4,433		
		水 痘	延 6,762	延 6,322		
		B 型 肝 炎	52	210		
		風 し ん ( 追 加 対 策 )	延 6,124	延 5,711		
		ロ タ ウ イ ル ス	61,368	54,947		
B 類	インフルエンザ	2,533	1,247			
	高 齢 者 用 肺 炎 球 菌	—	24,100			
	新 型 コ ロ ナ					
任 意	お た ふ く か ぜ	4,382	4,163			
	風 し ん ( 成 人 )	371	280			
	帯 状 疱 疹	8,469	4,201			
	男 性 H P V	—	132			

(イ) 特別の理由による任意予防接種費補助金 174,030 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
	延21人	171,840円	延16人	174,030円

[指 標]

指 標 名：定期A類(20歳未満)予防接種率  
指標説明：接種人員／接種対象者数



※令和4年度は、HPVワクチンの勧奨が再開し、対象者に個別通知を行ったことによる接種対象者数の増加が影響している。また、HPVワクチンのキャッチアップは、4年度から3年間の時限的措置のため含まれていない。

※令和6年度は、HPVワクチンの勧奨を小学6年生と中学1年生の2学年に個別通知を行ったことによる接種対象者数の増加が影響している。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 母子保健推進費 <母子保健の推進>	785,731,092	296,337,359	0	0	489,393,733

1 母子保健対策事業費 449,163,007円 (こども保健課)

[総括]

性と健康の相談センター事業において、学校や企業等に対しプレコンセプションケアの講座を開催し、若い世代の健康増進に取り組んだ。また、産後ケア事業の利用促進のため、面接等で対象者全員に産後ケアに関する情報を提供したほか、利用料の軽減を図った。今後も、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、相談支援や訪問、乳幼児の健康診査など切れ目のない母子保健事業の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 妊産婦保健事業費 315,392,604円

区 分		令和5年度	令和6年度
母子健康手帳の交付		2,514冊	2,357冊
妊娠・出産・子育て総合相談窓口		延 2,908件	延 2,810件
妊婦健康診査		延27,111人	延25,416人
妊産婦歯科健康診査		1,168	1,157
産婦健康診査		延 4,408	延 4,106
性と健康の相談 センター事業	講座	20回 延 3,651	19回 延 3,102
	相談	延 120件	延 89件
産前・産後 サポート	パートナー型	延 576人	延 615人
	参加型	18回 延 90件	14回 延 49件
	多胎妊産婦支援事業	延 78回	延 72回
産後ケア事業		延 1,196日	延 2,036日

(2) 乳幼児保健事業費 114,596,481円

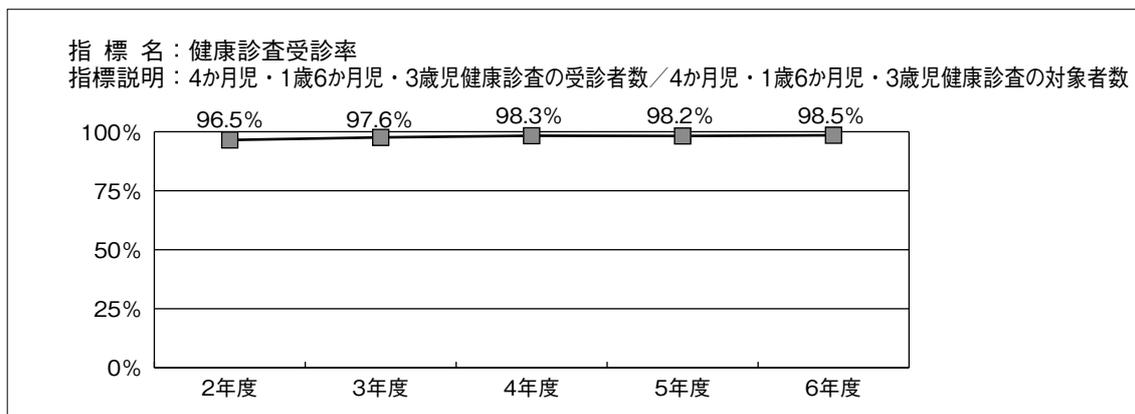
区 分		令和5年度	令和6年度
乳児健康診査		延 4,349人	延 3,972人
新生児聴覚検査		1,999	1,867
4か月児健康診査		40回 2,314	39回 2,141
1歳6か月児健康診査		43 2,475	41 2,346
3歳児健康診査		45 2,612	43 2,501
2歳児歯科健康診査		1,304	1,306
未熟児・ハイリスク児等訪問指導		延 4,232	延 4,520
養育支援訪問事業		延 927	延 923
乳児家庭全戸訪問事業		1,824件	1,944件
乳幼児健康診査事後相談		43回 延 547	41回 延 510
乳幼児健康診査事後教室		39 延 477	39 延 470
離乳食講習会		47 延 417人	46 延 455人

(3) 不妊不育対策事業費 19,173,922 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
生殖補助医療治療費補助金	延 166件	22,457,489円	延 144件	19,173,922円
不育症検査費補助金	延 0	0	延 0	0

※令和 6 年度から特定不妊治療費補助金の名称を生殖補助医療治療費補助金に変更した。

[指 標]



※分母を、令和 2 年度以前は年度当初の対象者数、3 年度以降は当該月の対象者数の合計とする。

2 出産・子育て応援給付金給付事業費 223,681,732 円(こども保健課・こども未来館)

[総 括]

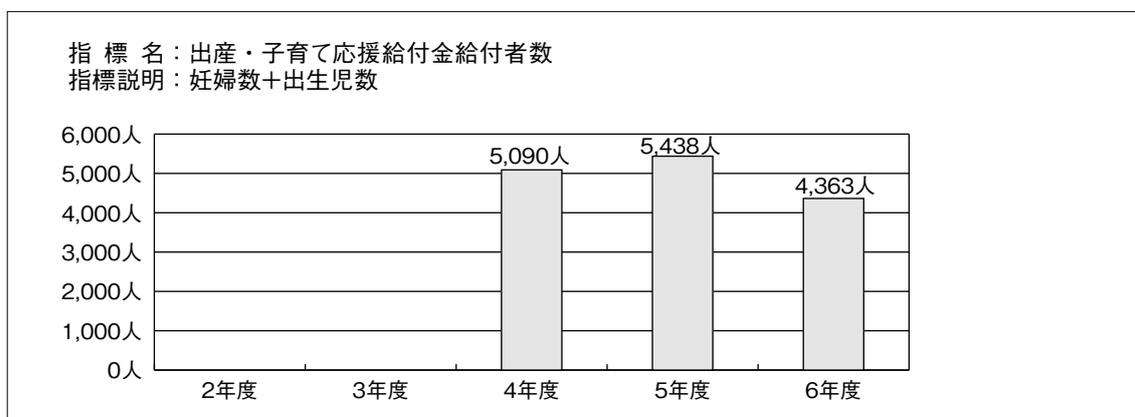
全ての妊婦、子育て世帯が安心して出産、子育てができるように、妊娠から出産、子育てまで切れ目なく相談に応じる伴走型相談支援を実施するとともに、出産・子育て応援給付金の給付を継続し、妊婦及び乳幼児期の子育て世帯への経済的支援を一体的に実施した。今後も、相談支援及び給付金の給付を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 出産・子育て応援給付金給付事業費 223,681,732 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
出産・子育て応援給付金	延 5,438人	延 4,363人

[指 標]



※令和 4 年度、5 年度については、経過措置対象者を含む。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 保健医療体制費 <保健医療体制の充実>	752,320,367	0	0	275,421,534	476,898,833

1 看護専門学校事業費 295,565,631 円 (保健医療企画課)

[総括]

地域医療サービスを推進するため、看護師の養成を目的に摘便シミュレータを新たに導入し、修得技術の向上を図ったほか、スライディングマットや最新のCPS実習ユニットを導入し、学習環境や実習効率の向上を図った。今後も地域医療を担う人材育成を推進するため、看護師資格取得者数の増加をめざす。

[実績及び成果]

(1) 看護専門学校管理運営事業費 60,255,954 円

[運営状況]

区 分		令和5年度	令和6年度
看護第1科	学 生 数	118人 (定員120人)	115人 (定員120人)
	課 程	3年課程全日制	3年課程全日制
	修 業 年 限	3年	3年
看護第2科	学 生 数	111人 (定員120人)	108人 (定員120人)
	課 程	2年課程昼間定時制	2年課程昼間定時制
	修 業 年 限	3年	3年

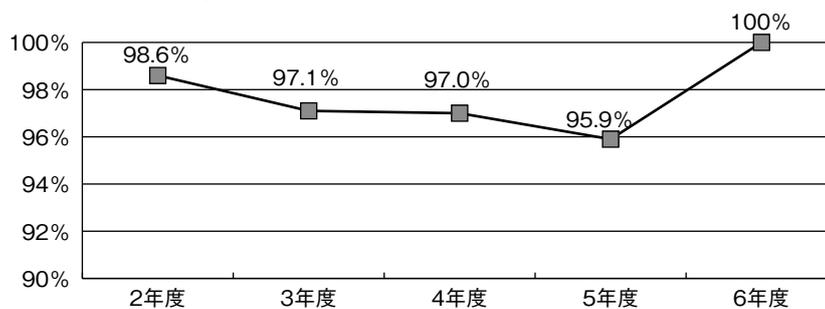
(ア) 非常勤講師報酬 4,774,500 円

(イ) 管理運営費 55,481,454 円

[指 標]

指 標 名：看護師国家試験合格率

指標説明：資格取得者数／看護第1科・看護第2科の受験者数



2 地域医療対策事業費 3,000,000 円（保健医療企画課）

[総括]

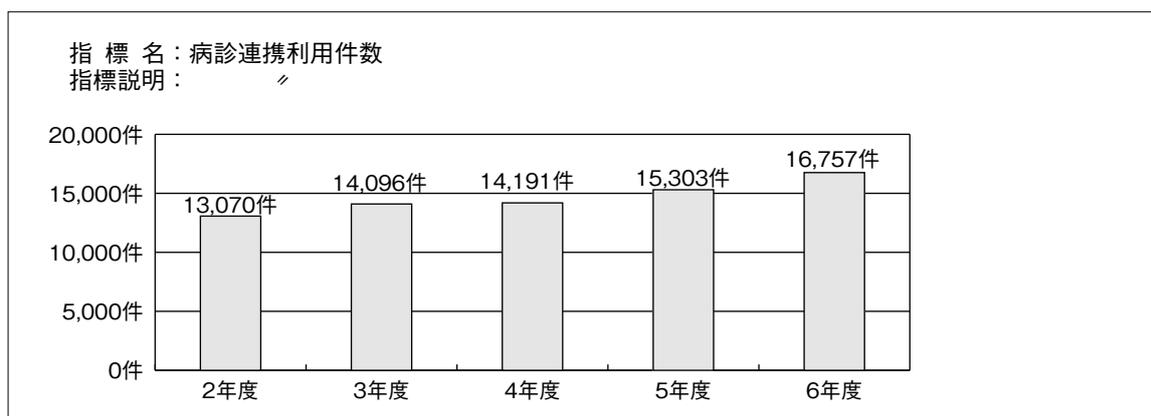
病院と診療所の機能分担を考慮した迅速かつ適切な医療サービスの提供を図るため、医師会が運営する病診連携室に対し助成を行った。なお、病診連携室は令和7年度から豊橋市民病院による運営となるため、本事業は令和6年度末をもって廃止となった。

[実績及び成果]

(1) 地域医療対策事業補助金 3,000,000 円

補助金	令和5年度	令和6年度
	3,000,000 円	3,000,000 円

[指標]



3 休日夜間診療対策事業費 445,255,844 円（保健医療企画課）

[総括]

第1次救急医療として、休日夜間急病診療所及び休日夜間・障害者歯科診療所で初期医療等に対応するとともに、医師会等に助成することにより在宅輪番による緊急医制度を実施した。また、第2次救急医療として、東三河平坦部（4市）の病院群輪番により救急患者を受け入れた。さらに、4市合同でポスターを作成し、適正受診の必要性を啓発した。今後も第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、医療機関との連携強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 休日夜間急病診療所管理運営事業費 360,312,397 円

[診療状況]

区分		令和5年度	令和6年度
患者数		17,666人	15,538人
内訳	内科	9,170	8,935
	小児科	8,496	6,603

## 〔時間帯別診療状況〕

区 分		令和5年度	令和6年度
昼 (休日)	診 療 日 数	72日	72日
	患 者 数	7,596人	6,709人
	1日当たりの患者数	106	93
夜 (毎日)	診 療 日 数	366日	365日
	患 者 数	10,070人	8,829人
	1日当たりの患者数	28	24

(ア) 指定管理料 359,553,987 円

(イ) 施設管理費 758,410 円

(2) 休日夜間・障害者歯科診療所管理運営事業費 38,118,069 円

## 〔診療状況〕

区 分		令和5年度	令和6年度
休日・夜間	診 療 日 数	366日	365日
	患 者 数	939人	1,039人
	1日当たりの患者数	3	3
障害者	診 療 日 数	49日	49日
	患 者 数	445人	466人
	1日当たりの患者数	9	10

(ア) 指定管理料 38,118,069 円

(3) 休日夜間診療対策事業費 9,203,920 円

(ア) 休日夜間診療対策推進費補助金 9,158,920 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	患者数	補助金	患者数	補助金
医 師 会	25,245人	9,100,820円	23,520人	9,018,920円
柔 道 整 復 師 会	156	142,000	143	140,000
計	25,401	9,242,820	23,663	9,158,920

(イ) 休日夜間診療対策事務費 45,000 円

(4) 愛知県救急医療情報システム運営事業費 60,478 円

運 営 費 負 担 金	令和5年度	令和6年度
	142,448円	60,478円

(5) 救急医療第2次病院運営事業費 37,474,980 円

## 〔救急医療第2次病院の診療状況〕

区 分	令和5年度	令和6年度
医 療 機 関 数	7機関	7機関
回 数	439回	437回
患 者 数	4,323人	4,863人
1回当たりの患者数	10	11

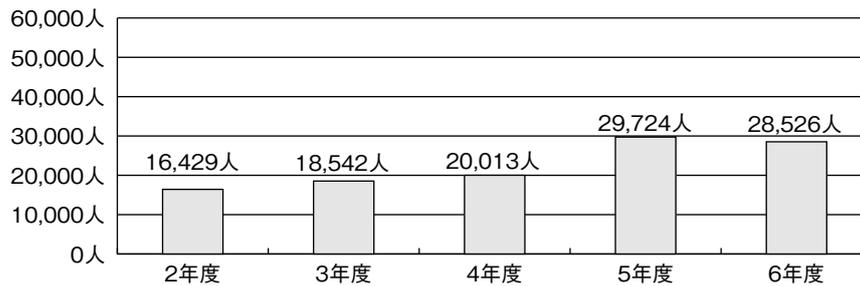
(6) 適正受診普及啓発事業費

86,000 円

		令和 5 年度	令和 6 年度
内	容	・ 啓発グッズ（小児救急ガイドブック）の作成及び配布 ・ 適正受診ポスターの作成及び配布	・ 英語版小児救急ガイドブックの作成及び配布

[指 標]

指 標 名：第 1 次・第 2 次救急医療利用者数  
指 標 説 明：第 1 次救急医療患者数 + 第 2 次救急医療患者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 災害時医療体制費 <災害時医療体制の充実>	4,166,498	0	0	0	4,166,498

1 医療救護活動事業費 4,166,498円 (保健医療企画課)

[総括]

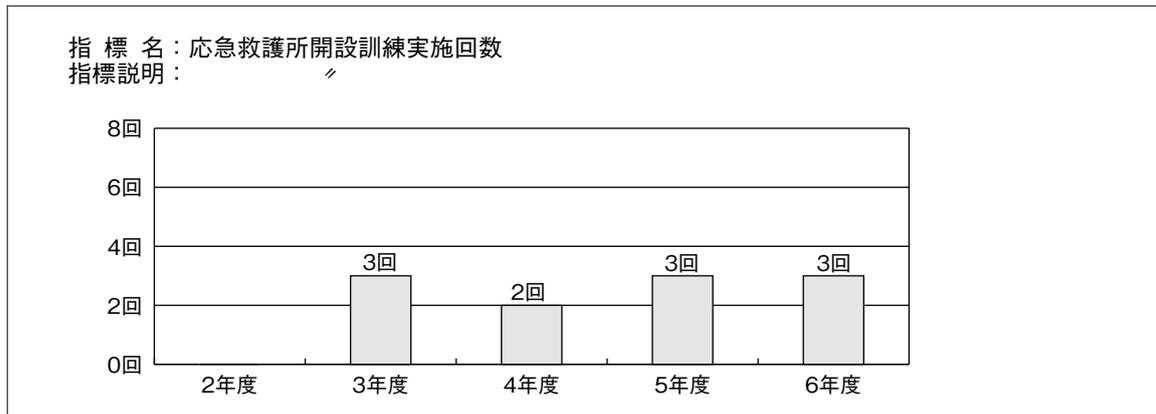
大規模災害時に迅速な医療救護活動を行うため、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の三師会をはじめとした関係機関との連携・協力のもと、住民参加の応急救護所開設訓練を実施するとともに、まちづくり出前講座を通じて災害時の医療体制について啓発を行った。また、災害時の医療提供体制を検討するため、豊橋市災害時医療連絡協議会及び実務担当者部会、医療機関との意見交換会を実施したほか、関係機関との情報連携を強化するため、愛知県及び東三河南部医療圏の医療活動訓練に参加した。今後も、大規模災害時に、より実効性の高い保健医療救護活動等が行えるよう、保健所を拠点とする保健医療衛生班の活動体制及び災害時医療体制の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 医療救護活動事業費 4,166,498円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	応急救護所開設訓練の実施	3回	応急救護所開設訓練の実施	3回
防災訓練等での応急救護所啓発		防災訓練等での応急救護所啓発		
	4		4	
保健医療衛生班総合訓練の実施		保健医療衛生班総合訓練の実施		
	1		1	
まちづくり出前講座の開催	21	まちづくり出前講座の開催	18	
タブレットの導入	24台	通信機器を使用した関係機関との訓練の実施		
衛星インターネットの整備			24	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 環境衛生対策費 <環境衛生対策の推進>	11,281,169	0	0	0	11,281,169

1 環境衛生指導事業費 4,639,269 円 (生活衛生課)

[総括]

理美容所、公衆浴場、旅館などの環境衛生施設等に対し、立入検査や自主管理点検表を活用した監視指導を実施した。また、集客施設における感染症防止対策として、施設内の空気環境測定と換気指導を行う「換気の見える化事業」を実施した。今後も、「豊橋市環境衛生等監視指導計画」に基づく監視指導を行い、施設の衛生水準向上を図る。

[実績及び成果]

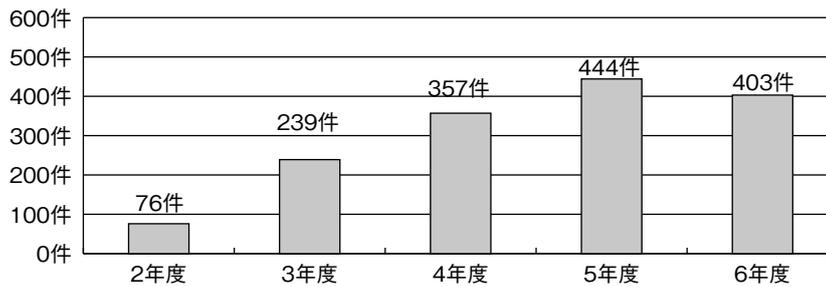
(1) 営業施設等指導事業費 4,639,269 円

区 分	令和5年度	令和6年度
監視指導件数	444件	403件

[指 標]

指 標 名：監視指導件数

指標説明：「豊橋市環境衛生等監視指導計画」に基づき実施した監視指導件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 斎 場 費 ＜斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理＞	254,059,040	0	0	41,404,147	212,654,893

1 斎場事業費 254,059,040円 (福祉政策課)

[総括]

PFI手法により整備した斎場において、指定管理者のノウハウ等を活用し円滑な運営を行った。今後も火葬需要が増加しても、利便性が低下しないよう円滑な運営を行っていく。

[実績及び成果]

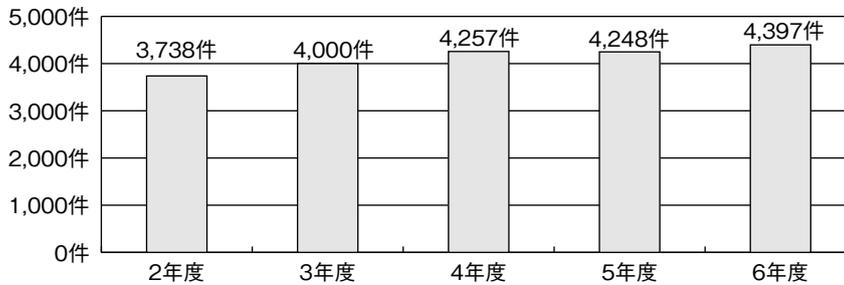
(1) 斎場管理運営事業費 254,059,040円

[斎場使用状況]

区 分		令和5年度	令和6年度
火 葬	大 人	4,242体	4,389体
	小 人	6	8
	計	4,248	4,397
	死 産 児	46	33
	愛 玩 動 物	1,898件	1,814件
多 目 的 室	1	0	
遺 体 安 置 室	20	21	

[指標]

指標名：斎場火葬件数  
指標説明：大人及び小人の火葬件数の合計



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11日 墓 苑 費 〈斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理〉	44,266,679	0	0	52,522	44,214,157

1 墓苑事業費 44,266,679 円 (福祉政策課)

[総括]

向山霊苑を始め市営墓地5か所の適正な維持管理を行った。今後も墓地需要の把握と、利用者が快適に使用できるよう墓地の適正な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

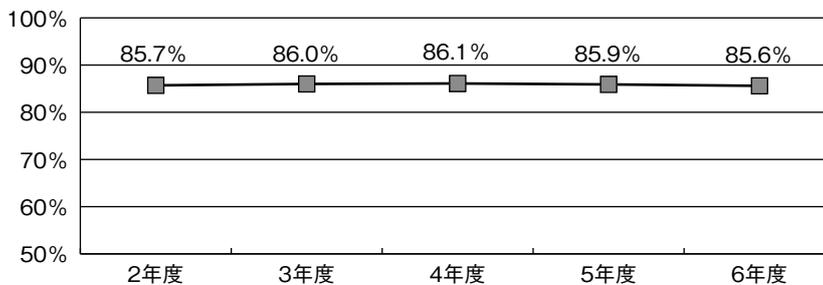
(1) 市営墓地管理運営事業費 (墓地区画数 12,426 区画) 44,266,679 円

[墓地使用許可状況]

区 分		令和5年度	令和6年度
向山霊苑	普通墓地(再貸出)	4区画	2区画
梅田川霊苑	普通墓地	25	34
飯村墓地	普通墓地(再貸出)	15	13
	修景墓地(再貸出)	0	1
	納骨堂	1年許可	21室
3年許可		19	23
野依台墓地	普通墓地(再貸出)	0区画	3区画
東細谷墓地	普通墓地(再貸出)	2	0

[指標]

指標名：墓地貸出率  
 指標説明：貸出済数/全体区画数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 動物愛護管理推進費 <動物愛護管理の推進>	249,084,130	5,000,000	152,300,000	116,700	91,667,430

1 動物管理指導事業費 35,531,053 円 (生活衛生課)

[総括]

犬の登録、狂犬病予防注射接種の啓発と集合注射の実施により、狂犬病の発生予防、まん延防止を図った。また、ペットの適正飼養などの動物愛護に関する講習会を開催したほか、ペット防災の啓発に努めるとともに、地域猫不妊去勢手術費補助金を増額し、地域猫活動の支援強化を図った。今後は、動物愛護センターを拠点に動物愛護及び管理の取組みを充実させていく。

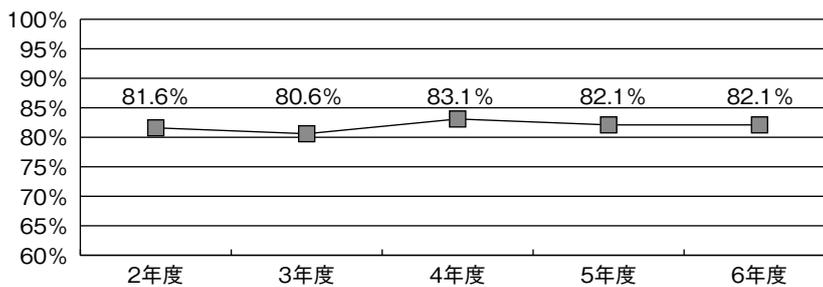
[実績及び成果]

(1) 動物管理指導事業費 35,531,053 円

区 分		令和5年度	令和6年度
犬 登 録 頭 数		22,961頭	23,011頭
狂犬病予防注射実施頭数	集合注射	1,231	1,249
	診療施設	17,628	17,643
	計	18,859	18,892
狂 犬 病 予 防 注 射 実 施 率		82.1%	82.1%
地 域 猫 不 妊 去 勢 手 術 費 補 助 金		241頭 3,070,000円	311頭 3,930,400円
譲 渡 率	犬	73.3%	65.5%
	猫	86.0	53.2
動 物 愛 護 講 習 等 へ の 参 加 者 数		1,494人	1,741人

[指 標]

指 標 名：狂犬病予防注射実施率  
 指標説明：狂犬病予防注射実施頭数／犬登録頭数



2 動物愛護センター（仮称）整備事業費 213,553,077 円（生活衛生課）

[総括]

「豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画」に基づき、動物愛護センターの建設工事の着実な推進を図った。

[実績及び成果]

(1) 動物愛護センター（仮称）整備事業費 213,553,077 円

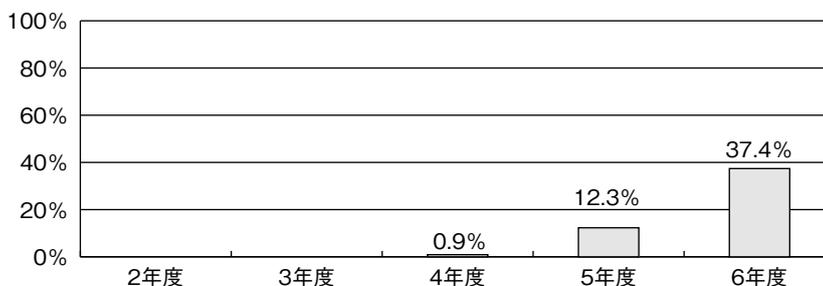
(ア) 動物愛護センター（仮称）整備工事 213,299,240 円

2 か年継続事業の初年度 総事業費 829,000,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 平家建	動物愛護センター、芝生広場、駐車場	998 m <sup>2</sup>

[指 標]

指 標 名：動物愛護センター（仮称）整備事業進捗率（供用開始まで）  
 指標説明：整備事業費 / 整備事業費合計（令和4年度～7年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 食品安全対策費 <食品の安全対策の強化>	63,310,437	1,289,282	0	0	62,021,155

1 食品衛生指導事業費 18,488,444 円 (生活衛生課)

[総括]

食品等取扱施設に対し、立入検査による衛生指導及び食品表示に係る監視指導を実施した。また、「豊橋市ええじゃないかHACCP推進事業」とHACCP衛生監視の継続実施により事業者の自主衛生管理を支援し、食中毒や異物混入等の食品事故防止に努めた。今後も、「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視指導を行い、流通する食品の安全性確保を図る。

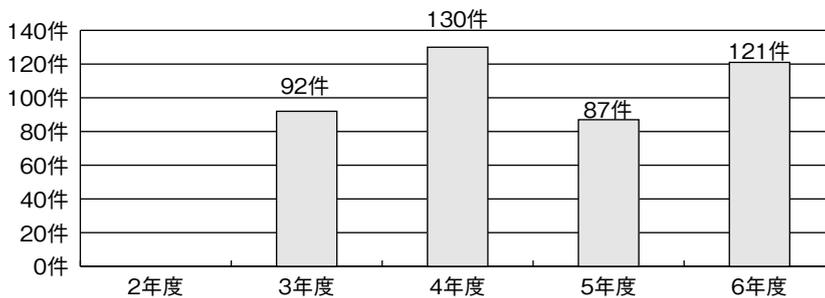
[実績及び成果]

(1) 食品衛生指導事業費 18,488,444 円

区 分		令和5年度	令和6年度
監視指導件数		2,922件	2,904件
H A C C P 衛 生 監 視 件 数		87	121
豊橋市ええじゃないか H A C C P 推 進 事 業	相談窓口対応施設数	7施設	5施設
	導入確認施設数	2	2

[指標]

指標名：HACCP衛生監視件数  
 指標説明：「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14日 食 肉 検 査 費 <食品の安全対策の強化>	206,840,189	605,000	0	92,090,130	114,145,059

1 食肉衛生検査指導事業費 194,561,521 円 (食肉衛生検査所)

[総括]

株式会社東三河食肉流通センターに搬入された獣畜のと畜検査、食肉中の残留動物用医薬品等検査を実施した。と畜検査情報は、健康な家畜生産のため、生産現場へ還元した。

また、微生物試験や監視によりと畜場の衛生管理状況を検証し、その結果に応じ改善指導した。

今後も検査体制の充実を図るとともに、衛生管理状況の監視指導を継続することで、と畜場の衛生水準を高め、市民が安心して消費することができる安全で衛生的な食肉の供給を図る。

[実績及び成果]

(1) 食肉安全管理事業費 56,324,195 円

区 分		令和5年度	令和6年度	
と 畜 検 査	検 査 頭 数	212,622頭	222,394頭	
	内 訳	牛	7,912	7,640
		馬	0	0
		豚	204,710	214,753
		めん羊	0	1
山 羊	0	0		
残留動物用医薬品等検査	検 査 件 数	14,667件	15,387件	

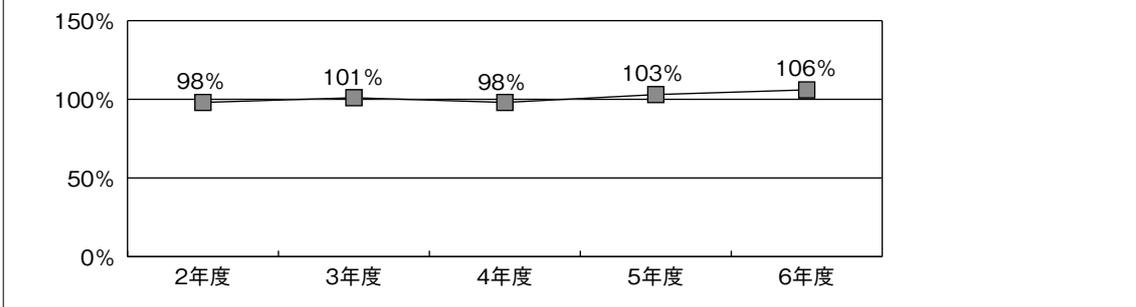
(2) と畜場衛生指導事業費 2,294,911 円

区 分	令和5年度	令和6年度
微 生 物 試 験 件 数	240件	240件
監 視 回 数	241回	241回

[指 標]

指 標 名：「豊橋市食品衛生監視指導計画」達成率(食肉衛生検査所分)

指標説明：「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視等の実施件数／同計画件数(食肉衛生検査所分)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 環 境 費	8,293,379,914	356,799,250	848,200,000	1,020,022,187	6,068,358,477
2目 低炭素型社会促進費 <低炭素型社会の促進>	11,740,533	250,000	0	100,000	11,390,533

1 低炭素型社会推進事業費 2,571,933円 (環境政策課)

[総括]

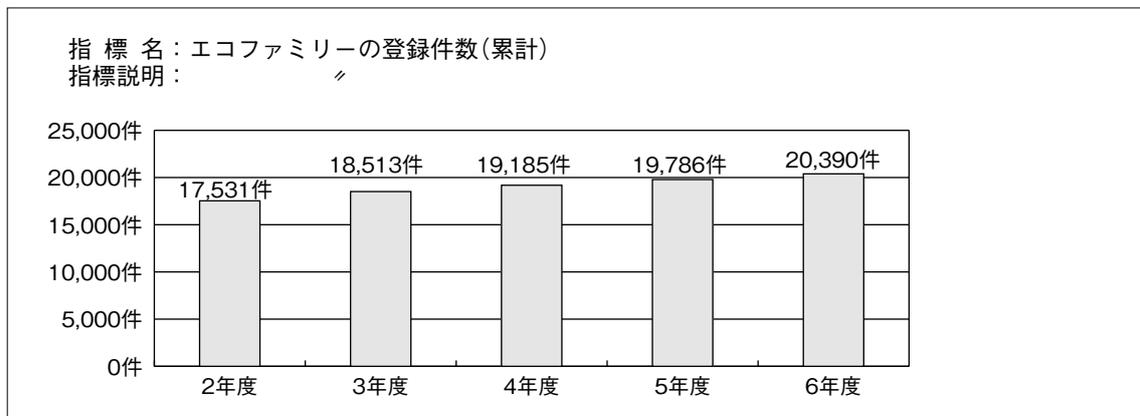
ゼロカーボンに関する市民の理解度の向上を図るため、SNS (Instagram) を活用して環境に関する分かりやすい情報を継続して発信した。また、省エネルギー対策として公共施設への緑のカーテンの設置をはじめスポーツ施設照明のLED化、家庭におけるLED照明の普及啓発キャンペーンを実施したほか、地球温暖化対策のさらなる推進に向け、「第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画」の改訂に着手した。今後も効果的かつ取り組みやすい節電・省エネ対策の啓発を行い、ゼロカーボンの推進を図っていく。

[実績及び成果]

区 分	令和5年度	令和6年度
エコファミリー登録件数	601件	604件
公共施設における緑のカーテンの設置箇所数	121施設	117施設

- (1) 低炭素型社会管理事務費 215,160円
- (2) 低炭素型社会活動事業費 2,356,773円

[指標]



2 次世代自動車等普及促進事業費 9,120,000 円（環境政策課）

[総括]

化石燃料の消費を抑制し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減するため、市民・事業者が購入する次世代自動車等（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車など）に加え、新たに急速充電設備及び普通充電設備を対象とした助成を開始し、次世代自動車等の普及促進を図った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、交通・輸送分野の温室効果ガス排出量削減に取り組んでいく。

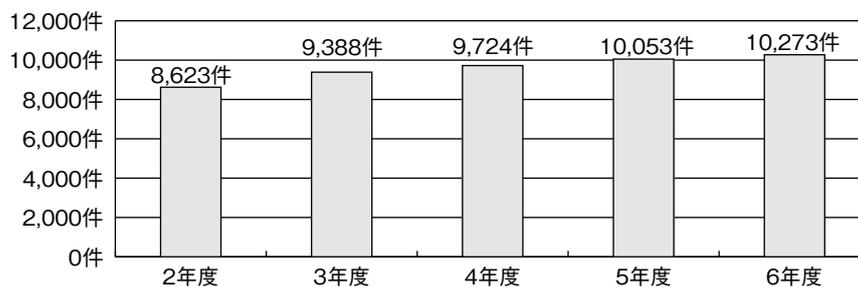
[実績及び成果]

(1) 次世代自動車購入等補助金 9,120,000 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	件数	補助金額	件数	補助金額
電 気 自 動 車	170件	7,530,000円	103件	5,040,000円
プラグインハイブリッド自動車	150	4,500,000	96	2,880,000
燃 料 電 池 自 動 車	1	200,000	1	200,000
住 宅 用 充 給 電 設 備	8	400,000	20	1,000,000
急 速 充 電 設 備	—	—	0	0
普 通 充 電 設 備	—	—	0	0

[指 標]

指 標 名：電気自動車、電動バイク、電動アシスト自転車購入等への助成件数(累計)  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 再生可能エネルギー利用促進費 <再生可能エネルギーの利用促進>	55,404,455	8,070,000	0	1,755,000	45,579,455

1 再生可能エネルギー活用推進事業費 6,032,455円 (環境政策課)

[総括]

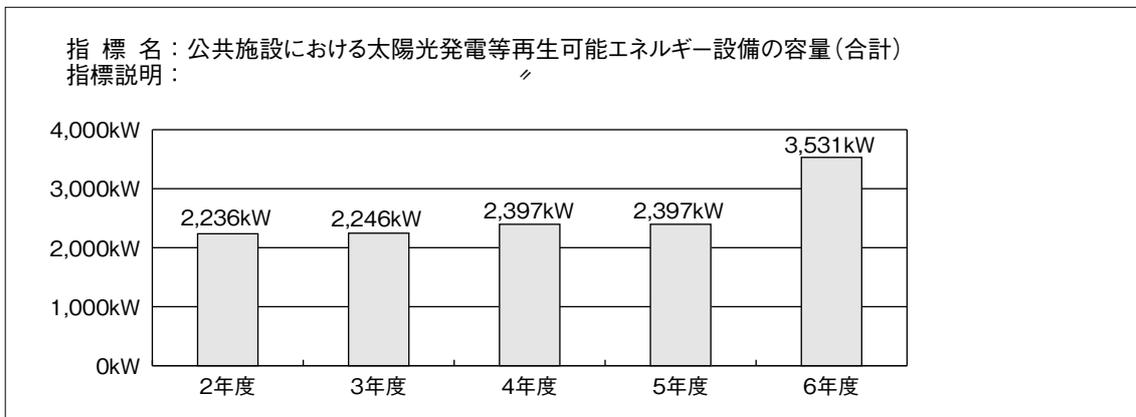
再生可能エネルギーの導入など温室効果ガスの排出削減に関連する情報を発信したほか、市民・事業者の意識醸成を図り、自律的な行動変容を促すことを目的として市民・事業者を対象としたセミナーを開催した。また、公共施設における民設・民営の太陽光パネル設置を活用した電力供給（P P A事業）について、豊橋総合動植物公園の駐車場や保健所・保健センターの屋上を利用し供給を開始した。今後も再生可能エネルギーの活用並びにエネルギーの地産地消を推進するため、公共施設への太陽光パネルの導入のほか、市民・事業者に対するより効果的な普及啓発に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 再生可能エネルギー活用推進事業費 5,999,775円
- (2) エネルギー地産地消推進事業費 32,680円

区 分		令和5年度	令和6年度
太陽光発電等再生可能エネルギー設備を導入した公共施設	施 設 数	0施設	2施設
	導 入 容 量	0kW	1,154kW

[指 標]



2 再生可能エネルギー導入促進事業費 49,372,000 円（環境政策課）

[総括]

家庭部門や産業・業務部門などからの温室効果ガスの排出量を削減するため、住宅及び事業所への創エネ・蓄エネ・省エネ設備の導入に対し設置費用の一部を助成し、再生可能エネルギーの普及及びエネルギーの地産地消の促進を図った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、市民・事業者のニーズに合った助成を通じて、再生可能エネルギーの導入促進を図っていく。

[実績及び成果]

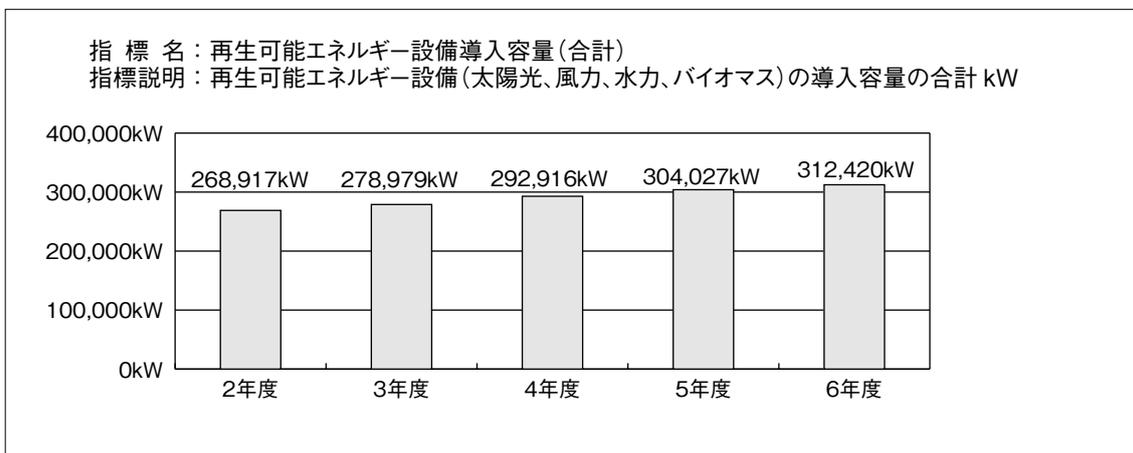
(1) 家庭用エネルギー設備等導入費補助金 47,617,000 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額
太陽光発電設備	33件	1,509,000円	39件	1,791,000円
燃料電池	119	4,760,000	75	3,000,000
リチウムイオン蓄電池	245	16,102,000	228	14,585,000
太陽光発電設備パワーコンディショナー	36	1,769,000	49	2,431,000
太陽熱利用設備	18	390,000	12	290,000
地中熱利用設備	3	300,000	—	—
ネットゼロエネルギーハウス(ZEH)	108	17,280,000	116	18,560,000
一体的導入	45	5,400,000	58	6,960,000

(2) 市内事業者太陽光発電設備等導入費補助金 1,755,000 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額
太陽光発電設備	9件	4,604,000円	4件	1,755,000円
蓄電池	3	1,143,000	0	0

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 気候変動適応策推進費 <気候変動への適応策の推進>	1,317,380	0	0	0	1,317,380

1 気候変動適応策推進事業費 1,317,380円 (環境政策課)

[総括]

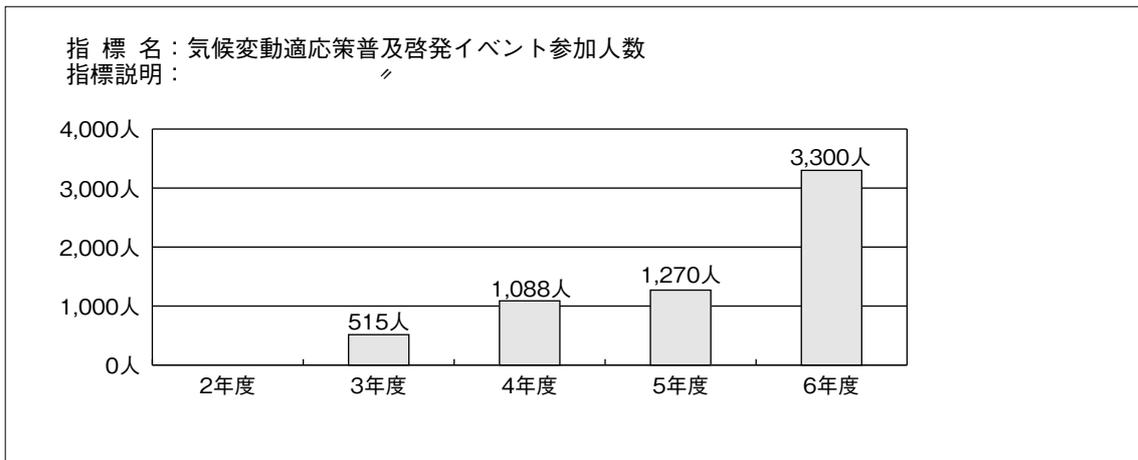
気候変動による環境への影響に関心や理解を深め、脱炭素につながる市民の行動変容及びライフスタイルの変革を促すことを目的に「とよはしやってみりんプロジェクト」を立ち上げ、こども未来館ここにおいて、子どもも大人も楽しみながら熱中症について学べるイベントを開催した。さらに、冷房施設の共有による節電及び熱中症による健康被害の防止を目的に、公共施設・民間施設をクールシェアスポット兼クーリングシェルターとして開放した。今後も市民・事業者の「気候変動への適応」に関する理解を深めるため、イベント等を通じてより分かりやすい手法で普及啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 気候変動適応策推進事業費 1,317,380円

区 分	令和5年度	令和6年度
参 加 人 数	1,270人	3,300人
開 催 回 数	2回	1回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 生物多様性保全費 <生物多様性の保全>	8,228,229	2,286,000	0	0	5,942,229

1 自然環境保全対策事業費 8,228,229円 (環境保全課)

[総括]

「第3次豊橋市環境基本計画」(豊橋市生物多様性地域戦略)に基づき、表浜海岸に上陸・産卵するアカウミガメの実態調査、トンボ・メダカ及び希少植物のモニタリング調査を実施した。また、豊橋市生態系ネットワークづくり懇話会を運営するとともに、ボランティア等と連携し、自然観察会の実施、啓発冊子の頒布、アカウミガメ保護啓発用ポスター及び動画の掲示・上映を実施し広く啓発した。その他、特定外来生物防除活動として生息地域の市民及び企業の協力を得ながら一斉防除を実施するとともに、イベントを開催し取扱いについて啓発した。汐川干潟の保全に関しては、田原市と連絡会や自然観察会を開催したほか、地元中学校・自然保護団体などとともに、汐川干潟の保全実践活動を支援した。今後も、自然環境及び生物多様性の保全に努めていく。

[実績及び成果]

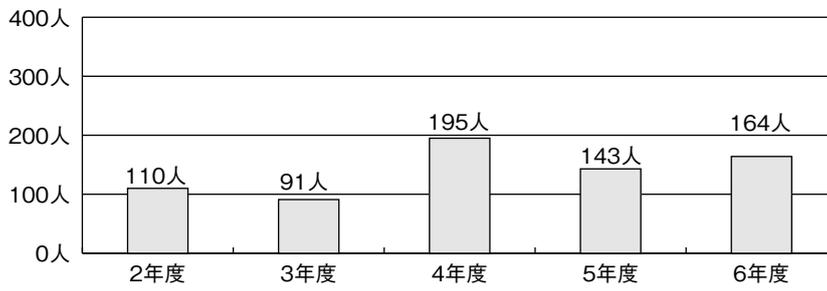
(1) 自然環境保全推進事業費 8,228,229円

区 分	令和5年度	令和6年度
アカウミガメ実態調査	上陸期間 6.10～7.29 上陸回数 6回 産卵巣数(産卵成功率) 2巣(33%)	上陸期間 5.17～8.14 上陸回数 27回 産卵巣数(産卵成功率) 17巣(63%)
アカウミガメ保護啓発イベント	・表浜自然観察会 開催2回 参加者数 105人 ・竜宮探検 開催1 参加者数 8 ・530のまち環境フェスタ 開催1 参加者数 578	・表浜自然観察会 開催2回 参加者数 76人 ・竜宮探検 開催1 参加者数 7 ・530のまち環境フェスタ 開催1 参加者数 588
生態系ネットワークづくり懇話会	開催4回	開催3回
有害鳥獣捕獲許可	95件	95件
愛がん飼養登録	0	0
汐川干潟自然観察会	開催1回 参加者数 30人	開催2回 参加者数 81人
汐川干潟保全連絡会	1	1
汐川干潟保全実践活動	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート
自然環境啓発等	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び訪問授業の開催	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び訪問授業の開催
外来種駆除対策	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除、アカミミガメ、ヌートリア、アライグマ、ミズヒマワリ駆除	アルゼンチンアリ、アカミミガメ、ヌートリア、アライグマ、ミズヒマワリの防除 アルゼンチンアリアリ一斉防除の実施 特定外来生物啓発イベントの実施

[指 標]

指 標 名：自然環境保全啓発活動参加者数

指標説明：汐川干潟自然観察会参加者数+表浜自然観察会参加者数+竜宮探検参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 環 境 対 策 費 <大気・水環境の保全>	132,137,294	55,486,250	0	960,000	75,691,044

1 発生源対策推進事業費 7,155,559 円 (環境保全課)

[総括]

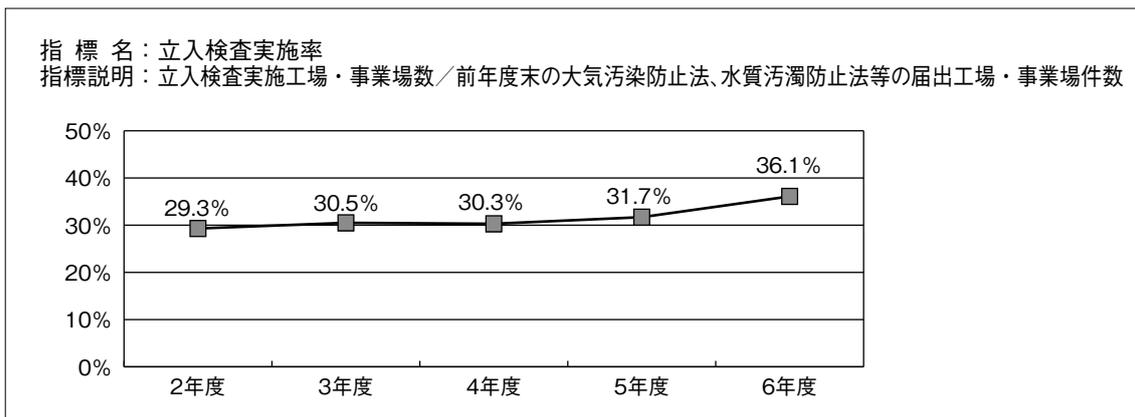
大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく規制対象工場・事業場に対し立入検査を実施し、規制基準の遵守状況の確認と基準超過の工場・事業場への指導を行った。今後も工場・事業場に対し、規制基準を遵守するよう指導・啓発を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 事業場監視指導事業費 7,155,559 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
立 入 件 数	大気関係	102件	大気関係	161件
	悪臭関係	28	悪臭関係	23
	騒音・振動関係	41	騒音・振動関係	34
	水質関係	223	水質関係	231
	土壌関係	14	土壌関係	11

[指 標]



## 2 環境調査事業費

60,717,582 円（環境保全課）

## 〔総括〕

生活環境の保全と健康の保護を図るため、環境汚染物質の調査測定を実施した。今後も複雑、多様化する環境汚染物質への対応を図るとともに、環境監視体制を精査し、効率的かつ効果的な調査測定に努めていく。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 大気環境調査事業費

31,877,278 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
大気汚染常時監視測定	今橋町 始め5か所	二酸化硫黄(2か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(4か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(5か所)、微小粒子状物質(3か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等	今橋町 始め5か所	二酸化硫黄(2か所)、二酸化窒素(4か所)、浮遊粒子状物質(3か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(5か所)、微小粒子状物質(3か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等
有害大気汚染物質調査	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等
ダイオキシン類環境調査	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類	今橋町 大崎町 大岩町	ダイオキシン類

備品購入	令和5年度		令和6年度
	ハイボリウムエアサンプラー	1台	—
微風向風速計発信器	1		

## (2) 水環境調査事業費

24,440,304 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
河 川	28 河川 31 か所	pH、DO、BOD、SS等	28 河川 31 か所	pH、DO、BOD、SS等
海 域	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等
地 下 水	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等	向山大池町 始め5か所	カドミウム、全シアン等
ダイオキシン類環境調査	水質6か所 土壌2か所	ダイオキシン類	水質6か所 土壌2か所	ダイオキシン類

備品購入	令和5年度		令和6年度		
	精密天秤	1台	上皿天秤	1台	純水製造装置
pH計	1	6連スターラー	1	超純水製造装置	1

(3) 生活環境調査事業費 4,400,000 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	調 査 場 所	調 査 項 目	調 査 場 所	調 査 項 目
自動車騒音 等 測 定	環境基準の調査8か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等	環境基準の調査9か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等

[指 標]

指 標 名：環境調査延項目数  
 指標説明：大気、水質、騒音・振動に係る延項目数(地点数×測定回数×項目数)



3 環境保全推進事業費 745,052 円 (環境保全課)

[総 括]

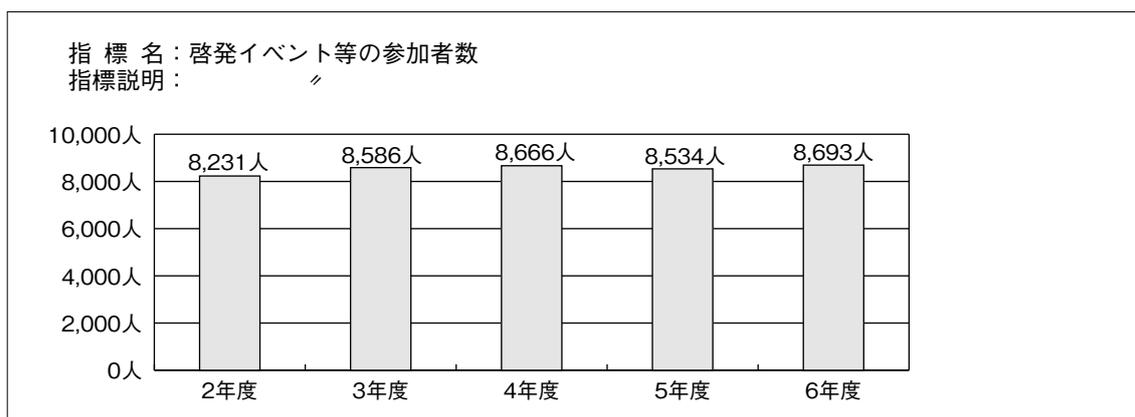
大気環境の保全のため、市民や協定締結事業者等に対し、エコドライブなどの大気汚染防止啓発を行った。また、三河湾を含めた水環境を保全するため、環境イベント等において、日常生活における排水対策の必要性を啓発した。今後も市民や企業などが、主体的に環境保全対策に取り組み、大気環境や水環境の保全に関する意識がより浸透するよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 環境保全啓発事業費 745,052 円

内 容	令和5年度	令和6年度
大気環境保全啓発	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 140事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発524人 ・公用車へ啓発用マグネット貼付264台	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 133事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発364人 ・公用車へ啓発用マグネット貼付265台
水環境保全啓発	啓発イベント等の参加者数 8,534人 ・豊橋みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会、イベント	啓発イベント等の参加者数 8,693人 ・豊橋みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会、イベント

[指 標]



4 浄化槽対策事業費 58,498,665 円（廃棄物対策課）

[総 括]

水環境の保全の観点から生活排水の適正処理を促進するため、単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換者に対して設置費及び撤去費の一部を助成した。また浄化槽の適正な維持管理に関して指導啓発を実施した。今後も合併処理浄化槽設置費等に対する支援を継続していく。

[実績及び成果]

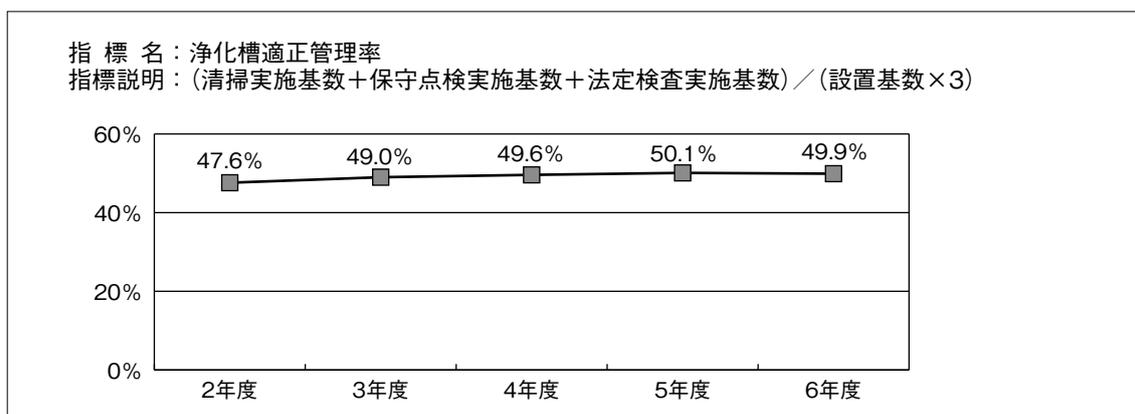
(1) 浄化槽指導事業費 3,357,415 円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
浄化槽設置届等	662件	614件	△7.3%
法定検査指導	21	18	△14.3

(2) 浄化槽設置費補助金 55,141,250 円

内 容		令和5年度	令和6年度
浄化槽設置費補助	基数	101基	71基
	金額	36,916,000円	26,680,000円
単独処理浄化槽等撤去費補助	基数	95基	64基
	金額	11,190,000円	7,680,000円
宅内配管工事費補助	基数	101基	71基
	金額	29,839,000円	20,781,250円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 ごみ減量推進費 <ごみ減量・リサイクルの推進>	43,276,271	0	0	21,399,060	21,877,211

1 ごみ減量推進事業費 43,276,271 円 (環境政策課)

[総括]

令和6年10月から新たに充電式電池を「危険ごみ」として収集開始するとともに、使い捨て電池や充電式電池が取り外せない小型家電を「こわすごみ」から「危険ごみ」に分別を変更することで、ごみ分別の利便性の向上やごみ収集車等の火災防止による安全性の確保を図った。また、買いすぎ等で手つかずのまま廃棄されてしまう食品の廃棄発生を防ぐため、買い物時に活用できるメモ帳を作成し、各種イベント等で配布することにより、家庭でできる食品ロス削減の周知啓発を行った。今後もごみ減量及び資源化を推進し、循環型社会の構築をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 地域資源回収事業費 31,964,711 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
地域資源回収団体奨励金	実施団体	291団体	291団体	0.0%
	実施回数	2,181回	2,094回	△4.0
	回収量	3,628 t	3,237 t	△10.8
リサイクルステーション	古紙回収量	261	222	△14.9

(2) ごみ減量啓発事業費 6,677,978 円

区 分	令和5年度	令和6年度
啓発事業への参加者数	1,262人	1,280人

(3) 環境にやさしいライフスタイル推進事業費 133,582 円

区 分	令和5年度	令和6年度
給水器設置補助金	0件 0円	—

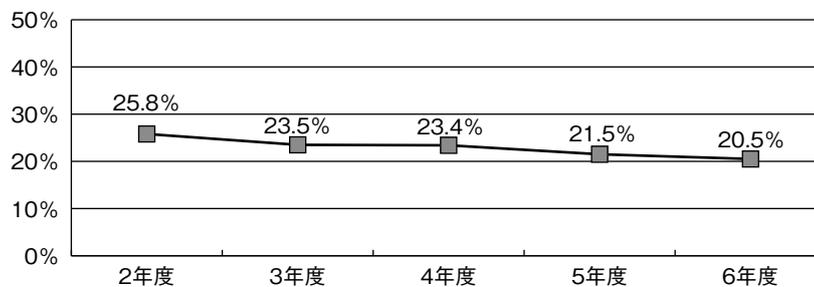
(4) 530運動環境協議会補助金 4,500,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指標]

指標名：リサイクル率

指標説明：(有価物量+地域資源回収量) / (市が収集・処理・処分する一般廃棄物量+地域資源回収量)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 ごみ収集費 <廃棄物の適正処理の推進>	690,425,961	0	39,400,000	24,648,622	626,377,339

1 家庭廃棄物収集事業費 690,425,961 円 (収集業務課)

[総括]

地球環境の保全及び資源の有効利用を図るため、自治会や地域住民と協働して、ごみステーションの適正管理に努めた。また、全てのごみの持ち去り行為を禁止する条例の施行にあわせ、新たにごみステーションでの早朝立ち番や金属類などの環境センターでの受入れを開始し、持ち去り行為の防止対策に取り組んだ。この他、一部のごみ収集車に各車両の位置情報の共有や収集状況の自動判定を行うシステムを搭載し、迅速で確実なごみ収集の実現に向け取組みを進めた。

今後も、市民ニーズや社会の変化に合わせて、効率的かつ効果的な家庭ごみ収集体制の構築を目指していく。

[実績及び成果]

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較	備 考
家庭 ごみ 収集 量	も や す ご み	45,747 t	45,657 t	△ 0.2%	週 2 回 収集
	生 ご み	12,189	11,362	△ 6.8	週 2 回 収集
	プラマークごみ	4,234	4,186	△ 1.1	週 1 回 収集
	こ わ す ご み	3,091	2,855	△ 7.6	4 週 毎 収集
	危 険 ご み	170	209	22.9	4 週 毎 収集
	う め る ご み	804	792	△ 1.5	8 週 毎 収集
	大 き な ご み	352	361	2.6	戸 別 収集
	資源 (びん・カン)	3,000	2,957	△ 1.4	週 1 回 収集
	〃 (ペットボトル)	601	583	△ 3.0	週 1 回 収集
	〃 (布類)	1,318	1,481	12.4	8 週 毎 収集
	計	71,506	70,443	△ 1.5	
	ステーション数		5,480か所	5,500か所	0.4
死体処理数	犬	55匹	51匹	△ 7.3	
	猫 等	2,276	2,049	△10.0	
	計	2,331	2,100	△ 9.9	
ふれあい収集実施世帯数		537世帯	521世帯	△ 3.0	

※家庭ごみ収集量については端数処理のため、計が各数値の和に一致しない。

※令和6年度の家庭ごみ収集量については速報値。

- (1) ごみ収集事業費 658,140,292 円  
 (ア) 収集業務費 558,371,352 円  
 (イ) 車両管理費 99,768,940 円

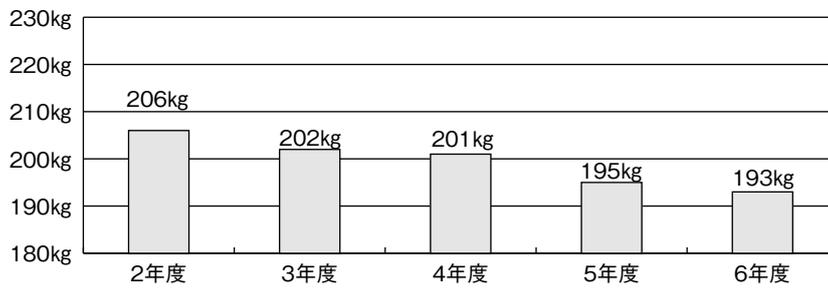
内 容	令和5年度		令和6年度	
		ごみ収集車	2台	ごみ収集車
	2tダンプ	1	軽貨物自動車	3
	ウイング車	1		

- (2) ごみ収集指導啓発事業費 9,922,728 円  
 (3) 家庭ごみコールセンター運営事業費 22,362,941 円

[指 標]

指 標 名：1人当たりの家庭ごみ収集量

指標説明：家庭ごみ収集量／年度末豊橋市人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9日 廃棄物処理処分費 ＜廃棄物の適正処理の推進＞	4,349,712,427	0	0	894,681,630	3,455,030,797

1 資源化センター事業費 3,808,615,374円 (資源化センター)

[総括]

市民から排出された「もやすごみ、こわすごみ、大きなごみ、びん・カン、ペットボトル、プラマークごみ、危険ごみ」及び市内業者より排出された「紙くず、木くず、繊維くず」等を適正に処理した。今後もリサイクルを促進し、ごみの安定処理に努めていく。

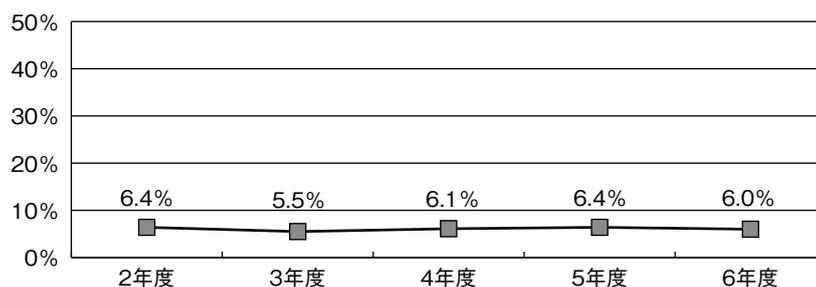
[実績及び成果]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
ごみ焼却処理量	98,082 t	101,449 t	3.4%
ごみ再利用処理量 (内：危険ごみ処理量)	9,254 (170)	8,620 (209)	△ 6.9 (22.9)
(内：剪定枝チップ等生産量)	(431)	(670)	(55.5)
こわすごみ(西部)処理量	3,079	2,854	△ 7.3
びん・カン等処理量	3,000	2,957	△ 1.4
ペットボトル処理量	601	583	△ 3.0
プラマークごみ処理量	4,234	4,201	△ 0.8

- (1) ごみ焼却処理事業費 2,487,010,815円
- (2) ごみ再利用事業費 229,658,334円
- (3) 資源ごみ処理事業費 111,852,318円
- (4) プラスチックごみ処理事業費 90,240,457円

[指標]

指標名：資源化センター施設の残さ率  
 指標説明：埋立処理する焼却処理施設・再利用施設・資源リサイクルセンターの残さ率



2 埋立処理事業費 161,924,747 円 (埋立処理課)

[総括]

市民から日常生活に伴って排出される埋めるごみについて適正に処理した。また、分別精度の向上やスラグの有効利用等により、残容量率の減少抑制に努めたほか、廃棄物の掘り起こし再生事業を行い、最終処分場の残余容量を増やした。今後も、これら事業を継続し、最終処分場の延命化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 埋立処理事業費 161,924,747 円

(ア) 埋立関連工事費 11,235,400 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	施設整備工事	3件	施設整備工事	3件
農地補修工事	1	農地補修工事	1	

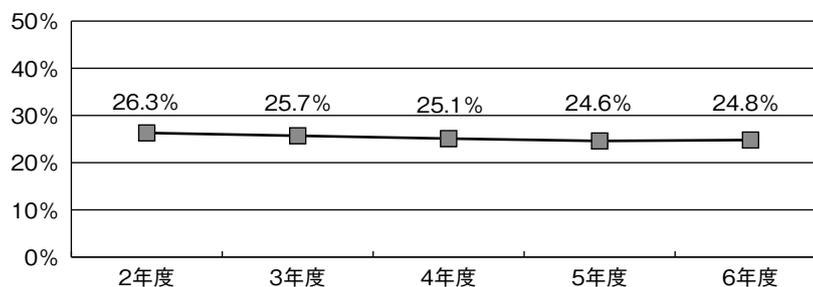
(イ) 掘起し再生事業費 11,394,666 円

(ウ) 管理運営費 139,294,681 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
一般廃棄物処分量	12,623 t (11,817m <sup>3</sup> )	15,343 t (17,261m <sup>3</sup> )	21.5% ( 46.1% )
産業廃棄物処分量(公共)	318 ( 530 )	220 ( 367 )	△30.8 (△30.8 )
処分実績量(( )内覆土含む)	12,941 (12,347 )	15,563 (17,628 )	20.3 ( 42.8 )

[指 標]

指 標 名：最終処分場残容量率  
 指標説明：残容量／全体容量(全体容量 2,008,000m<sup>3</sup>)



※令和6年度の残容量率は、残容量を埋立容量の累計値から現況測定値に置き換えて算出

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 ごみ処理施設整備費 <安全で安定したごみ処理施設の整備>	1,671,789,018	284,707,000	808,800,000	72,607,000	505,675,018

1 豊橋田原ごみ処理施設整備事業費 1,671,789,018 円 (施設建設室)

[総括]

ごみ処理の広域化に向けて、DBO手法による豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業を推進する中で、豊橋田原ごみ処理施設の建設工事を進めるとともに、資源化センター内にある既存機能の維持に必要な事業を実施した。今後も既存施設の安全かつ安定的な稼働に留意しながら、新施設の整備事業を計画的に進めていく。

[実績及び成果]

(1) ごみ処理施設整備等事業費 1,671,789,018 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事</li> <li>・ 資源化センター水処理放流設備改修工事</li> <li>・ 資源化センター除鉄装置電気設備改修工事</li> <li>・ 南部環境センター解体ヤード等設置工事</li> <li>・ 南部環境センター布貯留ヤード設置工事</li> <li>・ 資源化センター臨時高圧電力引込対策工事</li> </ul>

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 廃棄物適正処理対策費 <廃棄物の適正処理の推進>	31,545,619	6,000,000	0	3,490,000	22,055,619

1 一般廃棄物対策事業費 16,092,078 円 (廃棄物対策課)

[総括]

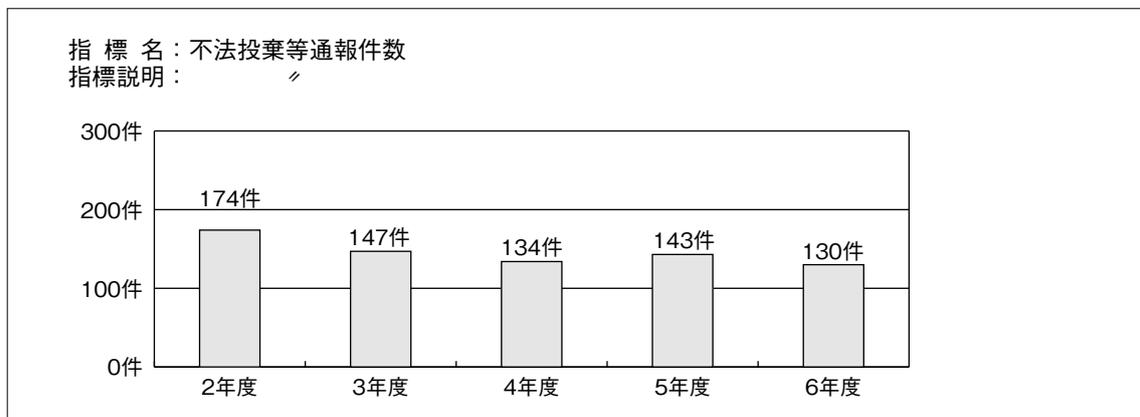
一般廃棄物処理業の許可事務、廃棄物投入許可証の交付事務のほか、不法投棄対策や事業系ごみ対策を行った。不法投棄対策として、監視カメラや看板の設置、自治会等への不法投棄防止パネルの配布を行うなどの取組みを行った。また、警備会社による市内全域の休日、夜間、早朝の監視を行い、早期発見・早期対応に努めた。事業系ごみ対策としては、市内の事業者向けに「事業系ごみ適正処理セミナー」の開催や、排出事業者を対象とした事業系ごみ訪問調査委託を実施するなど事業系ごみの処理方法等について周知した。不良な生活環境の解消については、「豊橋市不良な生活環境の解消に関する条例」に基づき、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者に対し、他部局と連携を図って支援・助言等を行った。令和6年度は新たに大規模な風水害や地震等への対応を想定した仮置場の設置・運営に係る訓練を実施することで、災害廃棄物処理に係る知識やスキルの向上、市民や事業者等との連携の強化を図った。今後も一般廃棄物の適正処理推進に向けた取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 一般廃棄物対策事務費 16,092,078 円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
不 法 投 棄 等 通 報	143件	130件	△ 9.1%
一 般 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可	18	0	皆減
廃 棄 物 投 入 許 可	427	1,547	3.6倍
不 良 な 生 活 環 境 相 談 件 数	174	144	△17.2%

[指 標]



2 産業廃棄物対策事業費

15,453,541 円（廃棄物対策課）

[総括]

産業廃棄物の適正処理を推進するため、苦情対応や立入記録を庁内型GISで管理し、効率的、統一的な指導・監視を行うとともに、産業廃棄物処理施設等について、職員による監視が困難な休日、夜間、早朝の監視を警備会社に委託し、事業者等への監視を行った。また、PCB含有機器等を所有する疑いのある事業所等に対しては、平成28年8月に施行された改正PCB特別措置法を踏まえ、昨年度に引き続き処理期限内に適正処理を行うよう通知を発出した。今後も、監視パトロール等を通じて、事業者等への適正処理に係る指導や助言を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 産業廃棄物処理等許可事務費 50,307 円

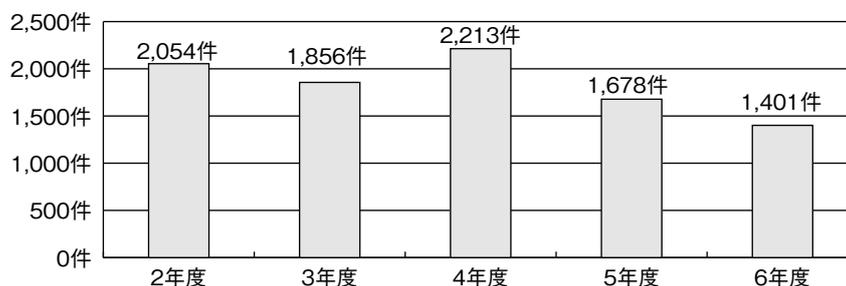
内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
産業廃棄物関係申請書等受付	6,218件	5,993件	△3.6%

(2) 産業廃棄物指導監督事務費 15,403,234 円

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
監視指導件数	1,678件	1,401件	△16.5%
立 入 検 査 等	773	870	12.5
施 設 等 監 視	905	531	△41.3

[指 標]

指 標 名：監視指導件数  
 指標説明：立入検査等件数+施設等監視件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 款 労 働 費	267,730,810	12,900,000	0	172,795,289	82,035,521
1 項 労 働 費	267,730,810	12,900,000	0	172,795,289	82,035,521
2 目 就 業 促 進 費 <雇用の安定と人材確保>	82,437,328	12,900,000	0	22,795,289	46,742,039

1 職業訓練センター事業費 5,782,306 円 (商工業振興課)

[総括]

職業訓練センターでは、円滑な職業訓練のため適正な運営管理を行った。今後も引き続き技能労働者の技術習得のための職業訓練を実施するとともに、令和8年度末に豊橋高等技術専門校が廃校となることを踏まえ事業の整理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 職業訓練センター管理運営事業費 4,582,306 円

[施設利用者]

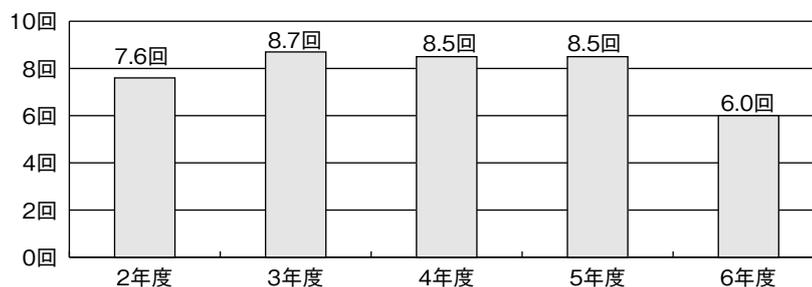
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	287日	281日	△ 2.1%
利 用 者 数	延 22,268人	延 14,981人	△32.7

[普通職業訓練の普通課程訓練生数]

内 容	科 目	令和5年度	令和6年度	比 較
		木 造 建 築 科	7人	5人
	建 築 板 金 科	5	6	20.0
	造 園 科	1	3	3.0倍
	木 工 科	0	0	0.0%
	計	13	14	7.7

[指 標]

指 標 名：職業訓練センター1日当たりの教室利用回数  
指 標 説 明：教室利用回数／開館日数



## 2 就業促進事業費

35,718,480 円（商工業振興課）

## 〔総括〕

若者の市内企業への就業を促すため、高校生を対象とした合同企業説明会や合同企業研究フェアを行い、若者と企業の出会いの場を創出した。また、中小企業の人材不足解消のため、働きやすい職場づくりの環境整備や自動車運送事業者への免許取得費助成の拡充、首都圏からの就職活動支援など、雇用の促進と定着につながる支援を市内企業に対し行った。今後も、市内企業の人材確保や、誰もが働きやすい環境づくりへの支援策の充実を図っていく。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 雇用確保安定事業費 31,818,480 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	高校生合同企業説明会 開催日 12.5 参加者 25人			高校生合同企業説明会 開催日 12.4 参加者 28人
高校生合同企業研究フェア 開催日 12.5 参加者 53人			高校生合同企業研究フェア 開催日 12.4 参加者 70人	

## (ア) 大型運転免許等取得支援補助金 4,286,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		26 件	2,339,000 円	60 件

## (イ) 働きやすい職場づくり補助金 2,743,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		9 件	2,571,000 円	15 件

## (ウ) 奨学金返還支援補助金 4,275,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		31 件	4,215,000 円	28 件

## (エ) 就職サイト等活用事業費補助金 3,209,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		20 件	3,240,000 円	18 件

## (オ) 首都圏人材確保事業費 17,300,000 円

〔U I J ターン就業奨励金〕 100,000 円

奨 励 金	令和5年度		令和6年度	
		0 件	0 円	1 件

〔移住支援事業費補助金〕 17,200,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		9 件	15,400,000 円	9 件

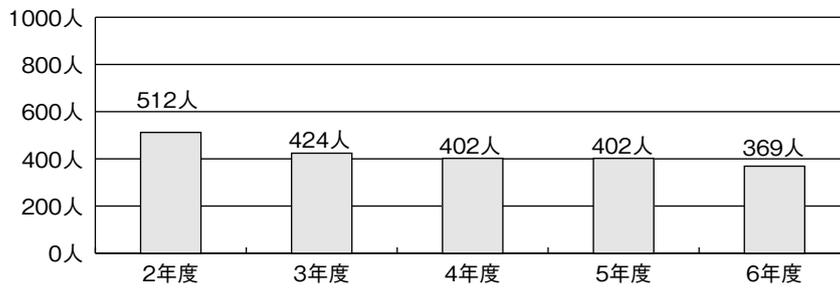
〔地方就職学生支援事業費補助金〕 0 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		—		0 件

[指 標]

指 標 名：中学、高校卒業就職者数

指標説明：中学、高校を卒業し、市内事業所に就職した人数



3 とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 40,936,542 円（商工業振興課）

〔総括〕

地域産業を支える人材の育成による地域経済の持続的な成長と地域産業の基盤強化のため、労働安全衛生法に基づく各種講習会や無人航空機操縦士試験の実地試験のほか、大型トラックの運転講習の受入等を実施した。今後も、広報活動や環境整備等を推進し、地域の産業人材育成拠点の一つとして、各種セミナー研修やドローン講習等を通じた人材育成の充実により、地域産業の基盤強化を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 40,936,542 円

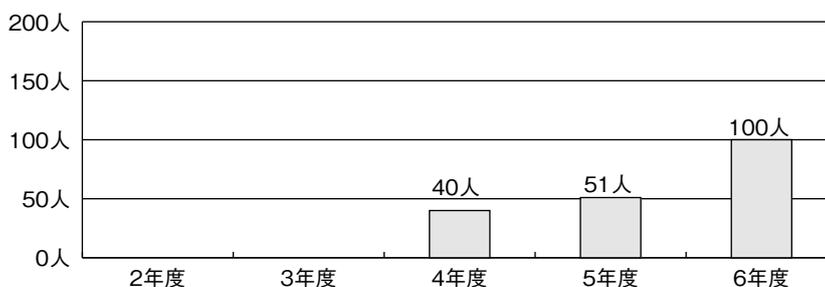
〔施設利用者〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	259日	301日	16.2%
利 用 者 数	延 13,114人	延 30,087人	2.3倍

〔指 標〕

指 標 名：とよはし産業人材育成センター1日当たりの利用者数

指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 労働者福祉費 <労働者の福祉の充実>	159,882,862	0	0	150,000,000	9,882,862

1 勤労者会館管理運営事業費 329,562 円 (商工業振興課)

[総括]

勤労者の福祉の増進及び文化の向上並びに雇用の促進を図る施設として、適正な管理運営を行った。今後も利用者が安心・快適に利用できるよう努めていく。

[実績及び成果]

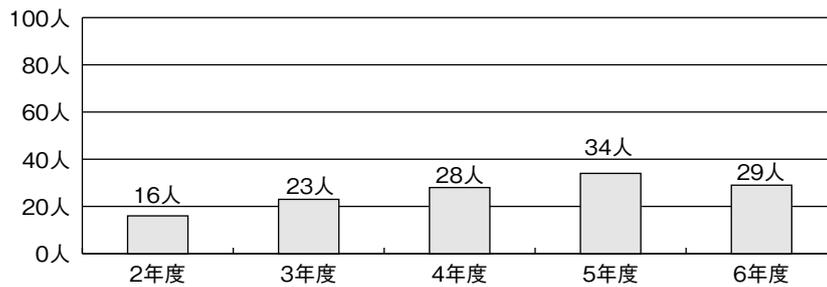
(1) 勤労者会館管理運営事業費 329,562 円

[施設利用者]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	348日	348日	0.0%
利 用 者 数	延 11,709人	延 10,069人	△14.0

[指 標]

指 標 名：勤労者会館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



2 労働者福祉対策事業費 8,429,500 円（商工業振興課）

[総括]

勤労者が安心して働くための相談窓口の設置や、勤労者福祉を充実させるための活動に対し支援を行った。今後も勤労者福祉において有意義な事業を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 労働者福祉対策事業費 8,429,500 円

(ア) 勤労者文化体育事業費補助金 5,130,000 円

補助金	令和5年度	令和6年度
	5,130,000円	5,130,000円

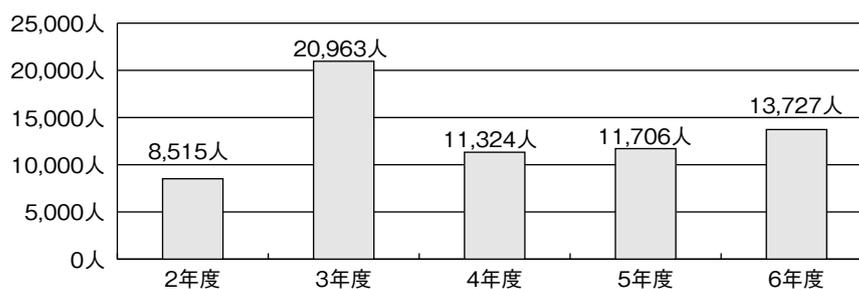
(イ) 勤労者福祉サービスセンター事業費補助金 2,289,500 円

補助金	令和5年度	令和6年度
	2,253,000円	2,289,500円

[指標]

指標名：文化・体育事業等への参加延人数

指標説明：勤労者文化体育事業参加者延人数＋労働福祉団体事業参加者延人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6 款 農 林 水 産 業 費	2,053,149,333	351,773,316	622,300,000	18,904,990	1,060,171,027
1 項 農 林 水 産 業 費	760,748,035	125,222,991	14,800,000	18,796,869	601,928,175
3 目 農 業 経 営 力 強 化 費 < 農 業 者 の 経 営 力 の 強 化 >	59,359,341	5,115,511	0	1,650,407	52,593,423

1 農業生産流通事業費 47,077,528 円 (農業企画課・農業支援課)

[総括]

有害鳥獣による農産物被害の拡大を防ぐため、地域住民が主体となった駆除団体の組織化を進め、適切で安全な駆除活動が実施できるよう支援を行った。また、農家の経営安定を図るため、各種の助成を行った。今後も、農家の健全な経営に資するよう支援に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 1,673,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成
補 助 金	2,026,700円	1,673,000円

(2) 農作物鳥獣被害防止事業費 6,846,567 円

区 分	令和5年度	令和6年度
地域駆除団体数	8団体	8団体
安全講習会の開催	1回	2回

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金 6,210,949 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	生産者が負担する経費の一部に対する助成	生産者が負担する経費の一部に対する助成
補 助 金	6,127,133円	6,210,949円

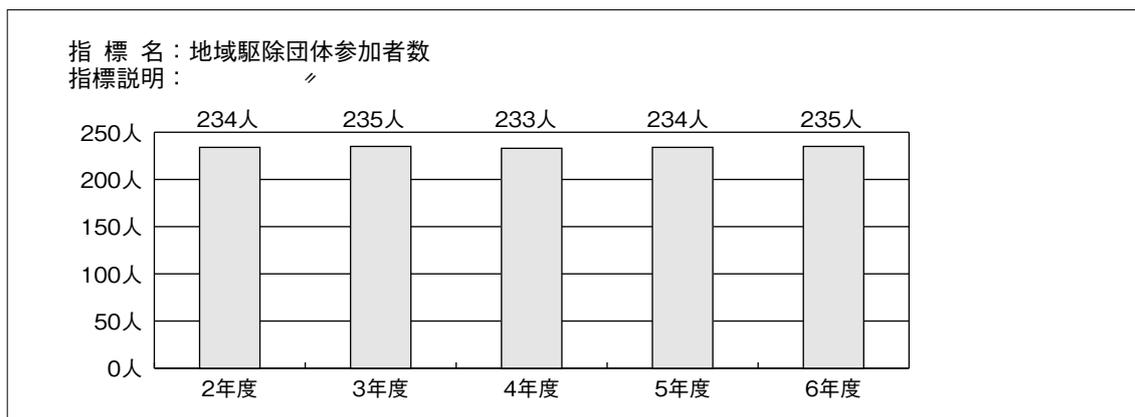
(4) 畜産配合飼料価格安定事業補助金 31,773,912 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	—	畜産農家が負担する配合飼料価格安定制度積立金の一部を助成
補 助 金	—	31,773,912円

(5) 園芸産地事業継続強化対策事業補助金 370,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	—	災害に強い産地を形成するため、既存ハウス補強等の費用の一部を助成
補 助 金	—	370,000円

[指 標]



2 農業環境対策事業費 1,785,000 円（農業支援課）

[総 括]

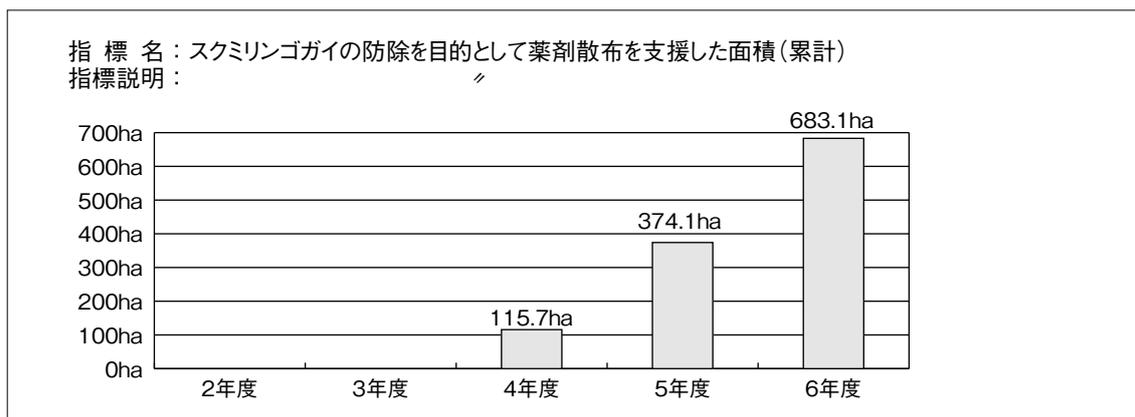
環境負荷要因となり得る化学肥料や農薬等の各種資材の適正な使用を支援することで、環境負荷の低減及び農作物の安全確保に配慮した農業の普及を推進した。また、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による水稲への食害を防止するため支援を行った。今後も化学肥料等の適正使用を支援し、環境に配慮した農業の普及に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業支援事業費 939,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	スクミリンゴガイの防除対策として使用する薬剤購入費の一部を助成	スクミリンゴガイの防除対策として使用する薬剤購入費の一部を助成
薬 剤 散 布	23件	27件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 農業者確保育成費 <農業者の確保・育成>	19,355,590	8,850,000	0	1,000,000	9,505,590

1 農業人材確保育成事業費 13,531,590円 (農業企画課・農業支援課・農業委員会事務局)

[総括]

農業人材の確保・育成を図るため、認定農業者や認定新規就農者制度の普及啓発、関係団体と連携した女性農業者の活動支援に取り組むとともに、農業者の経営安定及び農業後継者の就農を促進するため、各種の助成を行った。今後も本市農業の発展のため、担い手の確保・育成に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 担い手育成事業費 13,181,900円

(ア) 担い手育成活動事業費 474,300円

区 分	令和5年度	令和6年度
農業経営改善計画等の認定件数	114件	63件

(イ) 農業次世代人材投資資金 1,350,000円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対する経営資金の助成	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対する経営資金の助成
補 助 金	1,500,000円	1,350,000円

(ウ) 経営発展事業補助金 0円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	次世代を担う農業者となることを志向する者の就農後の経営発展に資する設備投資に対する助成	次世代を担う農業者となることを志向する者の就農後の経営発展に資する設備投資に対する助成
補 助 金	0円	0円

(エ) 経営開始資金 7,500,000円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対する経営資金の助成	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対する経営資金の助成
補 助 金	5,250,000円	7,500,000円

(オ) 大型特殊免許取得支援事業補助金 12,600円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	認定農業者等の大型特殊免許の取得に対する助成	認定農業者等の大型特殊免許の取得に対する助成
補 助 金	23,400円	12,600円

(カ) 営農継続応援補助金 1,845,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	認定農業者の後継者が就農する際や認定農業者が法人化する際の設備投資に対する助成	認定農業者の後継者が就農する際や認定農業者が法人化する際の設備投資に対する助成
補 助 金	0円	1,845,000円

(キ) 経営継承・発展等支援事業補助金 2,000,000 円

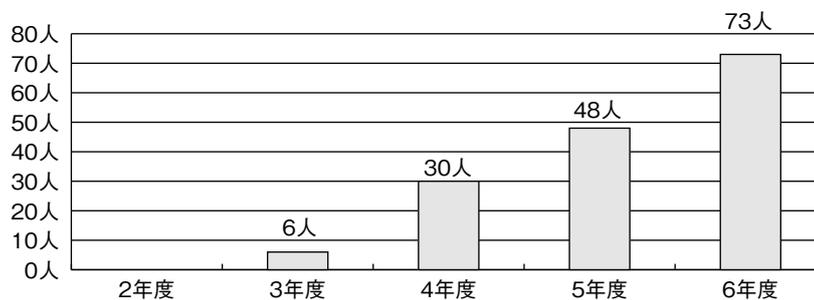
区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取組みに対する助成	中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取組みに対する助成
補 助 金	0円	2,000,000円

(2) 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金 124,370 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	座談会、男女交流会の開催	座談会、男女交流会の企画募集
補 助 金	266,576円	124,370円

[指 標]

指 標 名：新規就農者数(累計) ※令和3年度以降  
 指標説明： //



2 次世代農業推進事業費

5,824,000 円（農業企画課）

[総括]

全国でも有数の先端施設園芸が集積する本地域における生産性の向上や農業後継者の育成等の課題に対処するため、植物工場の管理者等先端的な農業を担う次世代人材の育成に対し助成した。また、次世代を担う小学生から大学生までを対象にふるさと農業講座を実施した。今後も、本市農業の持続と更なる発展のため、先端農業技術の普及促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代「農力」UPアカデミー事業費 5,824,000 円

(ア) 次世代「農力」UPアカデミー事業補助金 5,700,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び市民講座を開催	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び市民講座を開催
補 助 金	5,700,000円	5,700,000円

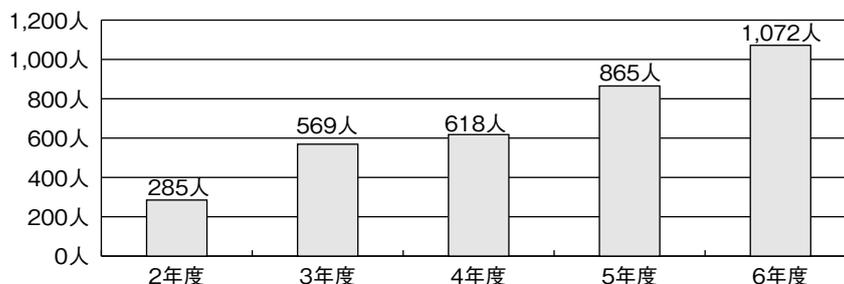
(イ) 次世代農業者育成事業費 124,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
ふるさと農業講座の実施校数	17校	16校

[指 標]

指 標 名：講座等参加者数

指標説明：次世代「農力」UP事業講座受講者数＋ふるさと農業講座受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 産地競争力強化費 <競争力の高い産地づくりの推進>	113,302,717	70,081,000	0	4,063,900	39,157,817

1 農産物ブランド化推進事業費 10,312,837円 (農業企画課)

[総括]

豊橋産農産物の需要や消費の拡大を図るため、首都圏等においてフェアやマルシェなどでPRを実施したほか、消費宣伝事業等に対する助成を行った。今後も本市農産物の長をわかりやすく消費者に伝えながら、より効果的なプロモーションを継続して行っていく。

[実績及び成果]

(1) 農産物ブランド化推進事業費 10,312,837円

(ア) 豊橋産農産物販売促進事業補助金 3,600,000円

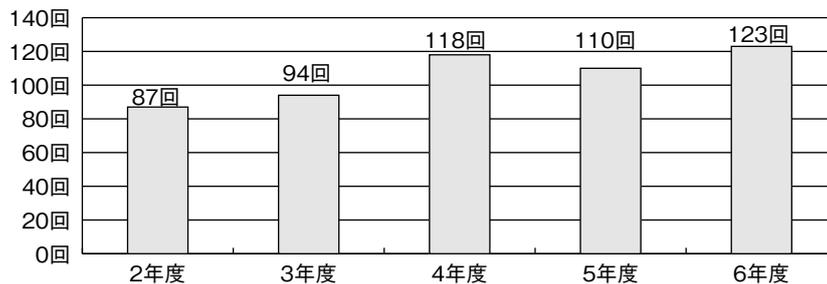
区 分	令和5年度	令和6年度
内 容	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業
事 業 費	10,447,370円	8,042,276円
補 助 金	3,600,000	3,600,000

(イ) 豊橋産農産物PR事業費 6,712,837円

	令和5年度	令和6年度
内 容	首都圏における豊橋フェアの開催やマルシェの実施、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど	首都圏における豊橋フェアの開催やマルシェの実施、JA全農が運営するレストランでのPRなど

[指標]

指標名：豊橋産農産物販売促進活動実施回数  
 指標説明：〃



2 豊橋田原広域農業推進事業費 3,015,000 円（農業企画課）

[総括]

豊橋田原地域における農業の活性化を目的として、農産物輸出と食農教育を推進するとともに、ファーマーズマーケットの活動を推進した。今後も広域連携に基づく各種事業を継続的に実施することにより地域農業の活性化を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋田原広域農業推進会議負担金 3,015,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
事業主体	豊橋田原広域農業推進会議	豊橋田原広域農業推進会議
内 容	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、海外向け販売促進用の販促資材作成、香港・タイ・マレーシアにおける販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証、残留農薬検査及び輸出実証実験など	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、海外向け販売促進用の販促資材作成、香港・シンガポール・グアムにおける販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた輸出実証実験など
事業費	8,043,717円	7,773,154円
負担金	3,015,000	3,015,000

[指標]

指標名：豊橋田原食農教育推進フォーラム参加人数  
 指標説明：〃



3 海外販路開拓推進事業費

1,714,209 円（農業企画課）

[総括]

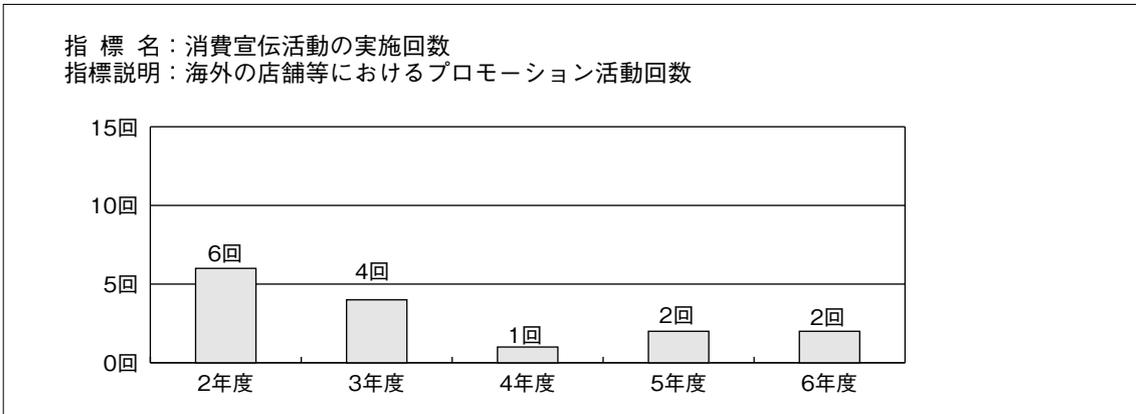
シンガポール、香港への既存品目を継続して輸出するとともに、販促資材を活用したPRを行った。また、田原市、飯田市との三遠南信連携により、米国向け花きの販促資材を制作した。海外販路の開拓には継続的な取組みが必要となるため、今後も引き続き効果的な事業の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋産農産物海外販路開拓事業費 1,714,209 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、米国向け花きの販促資材制作など	シンガポール、香港への常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、米国向け花きの販促資材制作など

[指標]



4 農業経営高度化事業費

91,228,400 円（農業支援課）

[総括]

栽培技術の高度化と経営規模の拡大を促進することを目的に、次世代施設園芸愛知県拠点のほか、農業者が行う農業機械等の導入等に対して支援した。今後も農業経営の高度化を促し、産地競争力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金 16,675,400 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
内 容	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成
補 助 金	16,675,400円	16,675,400円

(2) 産地生産基盤パワーアップ事業補助金 6,611,000 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
内 容	—	農業機械、施設等の導入等に対する助成
補 助 金	—	6,611,000円

(3) 豊橋市あいち型産地パワーアップ事業補助金 65,276,000 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
内 容	農業機械、施設等の導入等に対する助成	農業機械、施設等の導入等に対する助成
補 助 金	40,103,000円	65,276,000円

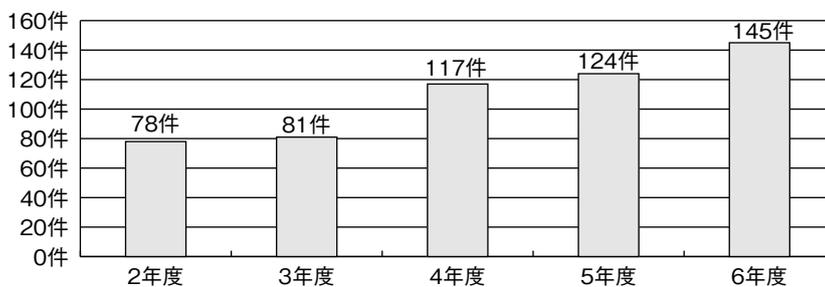
(4) 高温対策栽培体系転換支援事業補助金 2,666,000 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
内 容	—	高温耐性品種等を導入するための実証等に対する助成
補 助 金	—	2,666,000円

[指 標]

指 標 名：先端技術を活用した園芸施設等の普及に対する支援件数(累計)

指標説明：国・県の支援により栽培技術の高度化を推進するための施設整備等を行った農業者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 地産地消推進費 <地産地消の推進>	30,604,973	5,818,477	0	11,607,882	13,178,614

1 道の駅食農拠点推進事業費 10,883,640円 (農業企画課)

[総括]

開駅6年目となる道の駅「とよはし」では、農業者の6次産業化商品の開発支援・販売促進や地元農産物の購買促進のためSNS等での発信を行ったことなどにより来場者数227万人を達成した。

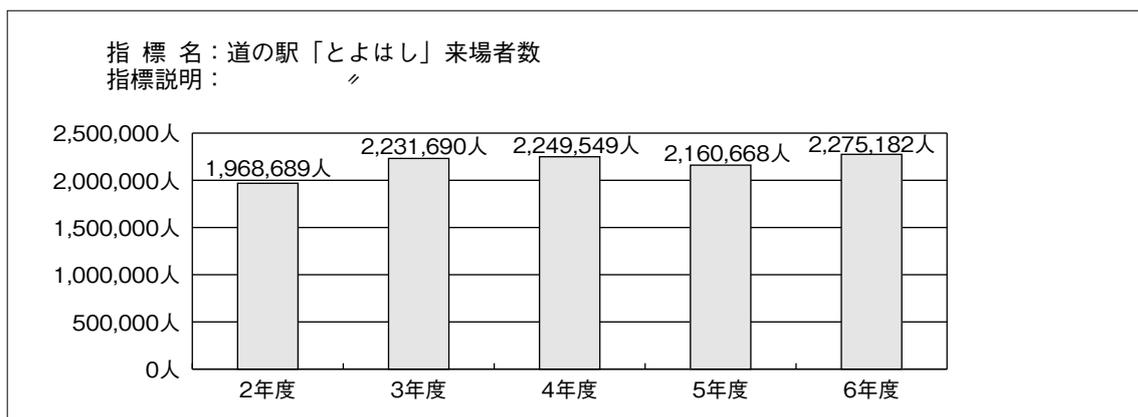
今後も食と農の拠点として、多様で魅力的なサービスの提供、市内外への情報発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 道の駅食農拠点推進事業費 10,883,640円

内 容	令和5年度	令和6年度
	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、フリーペーパーやSNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、フリーペーパーやSNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信

[指標]



2 都市農村交流促進事業費 7,383,778 円（農業支援課）

[総括]

市民が土に親しみ生産の喜びを体験することで農業への知識や理解を深める機会を提供するため、市民ふれあい農園の管理運営を行った。今後も市民の農業への理解及び関心を高めるための事業や農産物の消費拡大を図るための事業を行っていく。

[実績及び成果]

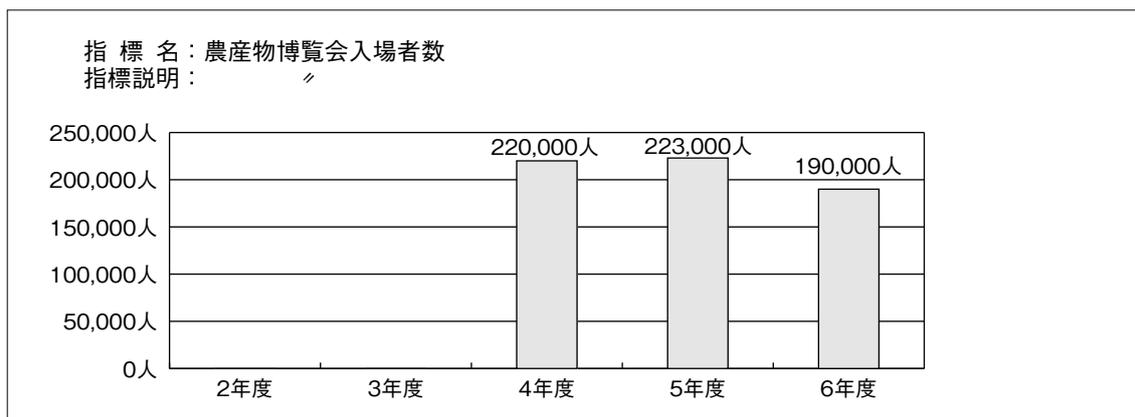
(1) 市民ふれあい農園事業費 4,734,920 円

区 分	令和5年度	令和6年度
農園利用者数	236人	236人
栽培講習会の開催	3回	4回

(2) 農産物博覧会振興補助金 2,648,858 円

区 分	令和5年度	令和6年度
開催期間	10.21～10.22	10.19～10.20
開催場所	豊橋公園	市役所市民ひろば
事業費	2,960,000円	2,863,858円
補助金	2,700,000	2,648,858

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 森林・海岸保全費 <治山・治水対策の充実>	93,906,139	17,390,850	14,800,000	261,360	61,453,929

1 森林環境整備推進事業費 19,455,700円 (農業支援課)

[総括]

森林所有者の高齢化などにより、手入れの行き届かない人工林の把握及び健全化を推進するため、市内1か所の対象地区について森林整備及び森林整備事業実施に向けた現地確認を行った。今後も、本市が主体となって人工林の適正管理に向けた取組みを行っていく。

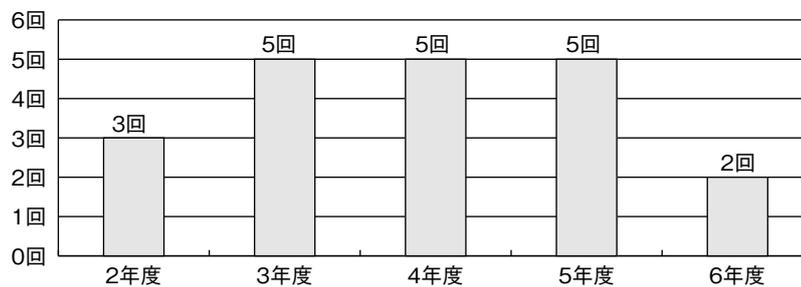
[実績及び成果]

(1) 森林環境整備推進事業費 19,455,700円

内 容	令和5年度	令和6年度
	対象地区の森林整備及び森林整備事業実施に向けた森林所有者との協定締結や現地調査、令和6年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析	

[指標]

指標名：対象地区で行った森林整備に関する説明会や座談会等の実施回数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 農地整備費	1,292,401,298	226,550,325	607,500,000	108,121	458,242,852
2目 農業生産基盤整備費 <農業生産を支える基盤の充実>	1,253,024,832	226,550,325	607,500,000	0	418,974,507

1 かんがい排水整備事業費 69,829,680円 (農業支援課)

[総括]

農業用排水施設の機能を強化することにより、水資源の有効利用と農業経営の安定化を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 県営かんがい排水事業補助金 8,825,170円

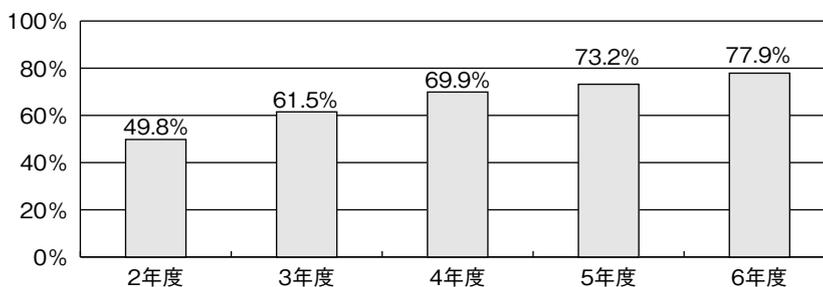
区 分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
神野新田地区	89,999,345円	8,999,934円	89,999,900円	8,825,170円

(2) 県営かんがい排水事業負担金 7,539,179円

区 分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
牟呂明治地区	29,999,122円	2,919,282円	79,999,197円	7,539,179円

[指標]

指標名：県営かんがい排水事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和9年度)



※神野新田地区の計画変更に伴う全体直接事業費見直しのため、2年度～5年度指標を再計算

(3) 単県土地改良事業補助金 42,707,090円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
土地改良区への補助	297,473,000円	43,423,917円	293,230,400円	42,707,090円

(4) 土地改良施設維持管理事業補助金 9,713,241円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
用水機維持管理事業補助金	85,977,000円	7,763,830円	102,684,000円	9,513,241円
土地改良施設維持管理 適正化事業補助金	4,500,000	450,000	2,805,000	200,000

(5) かんがい排水事業計画調査事業補助金 1,045,000 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
青竹富久縞地区	—	—	10,450,000円	1,045,000円

2 ため池等整備事業費 391,721,736 円（農業支援課・河川課）

[総括]

ため池の適切な状態を維持し安全対策と機能保持を図った。今後もため池施設の適正な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) ため池等維持管理適正化事業費 1,620,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
工 事 費	9,011,200円	—
負 担 金	1,620,000	1,620,000円

(2) ため池維持補修事業費 352,608,271 円

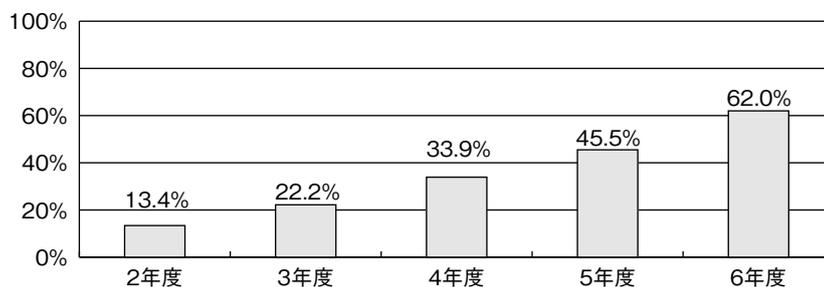
内 容	令和5年度	令和6年度
除 草 委 託	241,980㎡	243,730㎡
浚 渫 工 事	18,150㎡	19,488㎡

(3) 県営防災ダム事業負担金 27,039,749 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
嵩山池地区	45,390,500円	4,992,955円	23,999,100円	2,639,901円
ひょうたん池地区	667,700	73,447	59,999,500	6,599,945
三太郎池地区	55,253,900	6,077,929	59,999,700	6,599,967
上庄池地区	49,999,400	7,999,904	69,999,600	11,199,936

[指標]

指標名：県営防災ダム事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和8年度）



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、2年度～5年度指標を再計算

(4) 県営湖岸堤防事業負担金 10,079,916 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
神野新田3期地区	49,998,957円	6,999,853円	71,999,400円	10,079,916円

3 ほ場整備事業費 108,348,693 円（農業支援課）

[総括]

ほ場整備により農地の集団化と利用集積を行い、農業生産性を高め農業経営の安定化を図った。今後もほ場整備事業推進のため、地元や関係機関とより連携して事業を進めていく。

[実績及び成果]

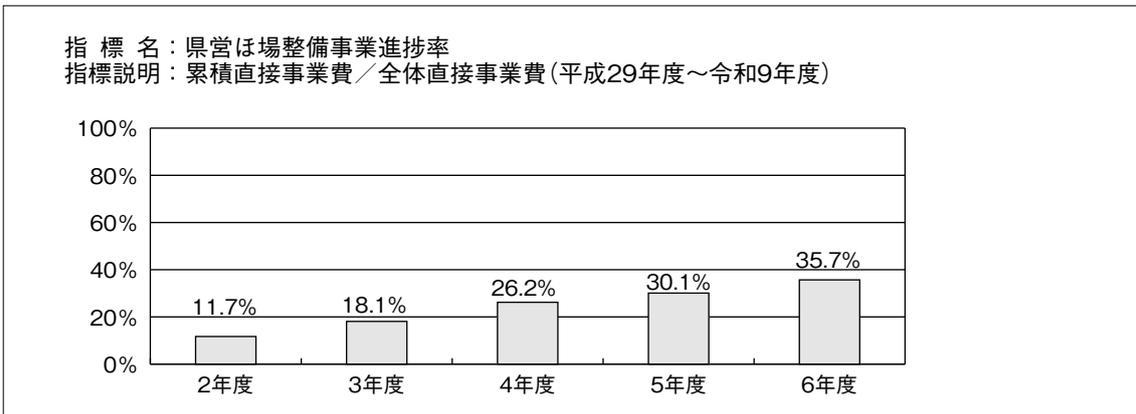
(1) 県営ほ場整備事業補助金 19,266,648 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
三郷地区	429,998,800円	23,179,332円	199,999,200円	13,342,450円
東細谷地区	126,999,260	1,484,585	399,999,600	5,924,198

(2) 県営ほ場整備事業負担金 89,082,045 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三郷地区	429,998,800円	42,999,880円	199,999,200円	19,999,920円
東細谷地区	126,999,260	20,377,428	399,999,600	69,082,125

[指標]



4 農道整備事業費 6,178,310 円（農業支援課）

[総括]

農道整備を推進し、農作物運搬効率の向上、農業経営の安定及び農村生活環境の向上を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 農道維持補修事業費 6,178,310 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		側溝工等 一式

5 農村保全活動推進事業費 213,657,100 円（農業支援課）

[総括]

地域資源（農用地・水路・農道等）の保全管理などの地域の共同活動に対し支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図った。今後も、活動に関する指導、助言を行い、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能の適切かつ十分な発揮につなげていく。

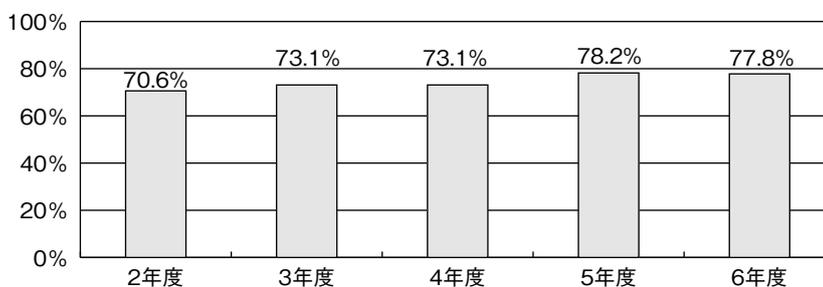
[実績及び成果]

(1) 農村保全活動推進事業費 213,657,100 円

内 容	令和5年度	令和6年度
活動組織数	39組織	39組織
事業費	209,826,000円	213,657,100円

[指標]

指標名：対象農用地面積に対する活動面積の比率(カバー率)  
 指標説明：活動面積／対象農用地面積(市内農振農用地区域内の農用地面積)



6 農業用排水機場整備事業費 288,888,473 円（河川課）

[総括]

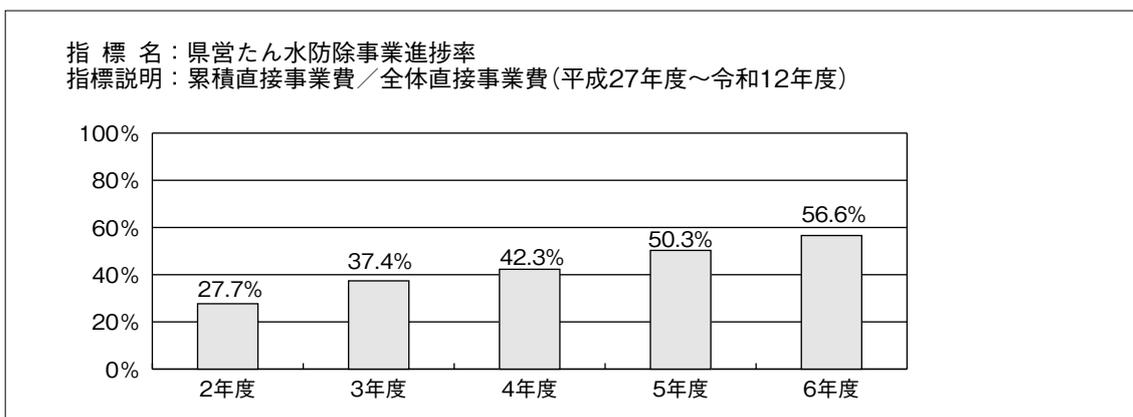
施設の老朽化に伴い能力が低下した排水機場、排水路等を更新することにより、農地のたん水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図った。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 県営たん水防除事業負担金 87,470,567 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
新清須地区	139,999,102円	20,999,865円	39,999,002円	6,149,835円
新高師地区	39,999,499	5,999,924	79,339,335	11,900,900
野依地区	89,999,496	11,699,934	125,812,596	16,355,637
新梅敷地区	109,999,642	14,299,953	389,999,142	50,699,888
三郷地区	422,653,000	54,944,890	15,524,977	2,018,247
吉田方地区	37,345,000	4,854,850	2,662,000	346,060

[指標]



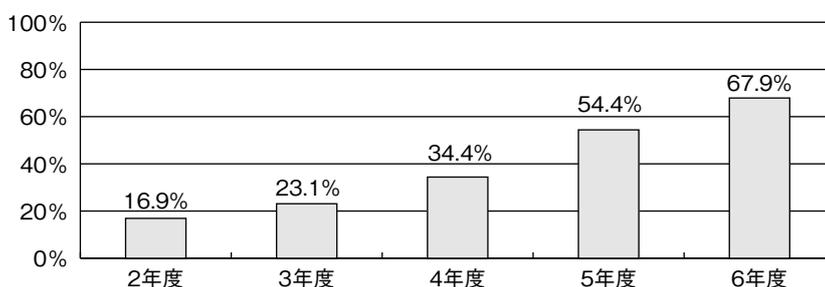
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、2年度～5年度指標を再計算

(2) 県営緊急農地防災事業負担金 46,333,376 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
大村東地区	7,272,398円	1,090,859円	153,217,900円	22,982,685円
大村西地区	451,915,200	67,787,280	155,671,274	23,350,691

[指標]

指標名：県営緊急農地防災事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和11年度)



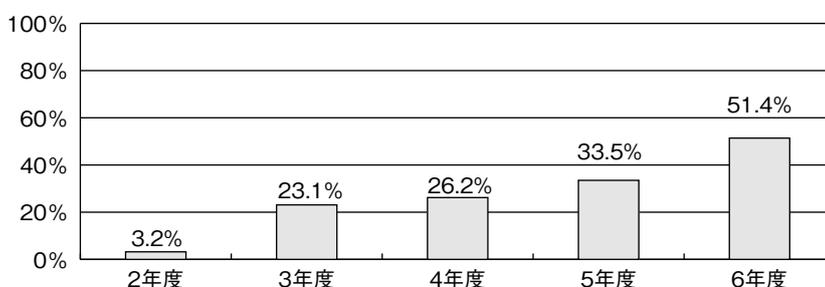
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、2年度～5年度指標を再計算

(3) 農業水利施設保全対策事業負担金 48,666,277 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
豊橋西部地区	72,999,300円	13,869,867円	77,499,400円	14,724,886円
八王子地区	19,999,100	3,799,829	139,999,200	26,599,848
宇塚地区	7,999,200	1,519,848	31,159,700	5,920,343
大山地区	—	—	7,480,000	1,421,200

[指標]

指標名：農業水利施設保全対策事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和元年度～令和8年度)



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、2年度～5年度指標を再計算

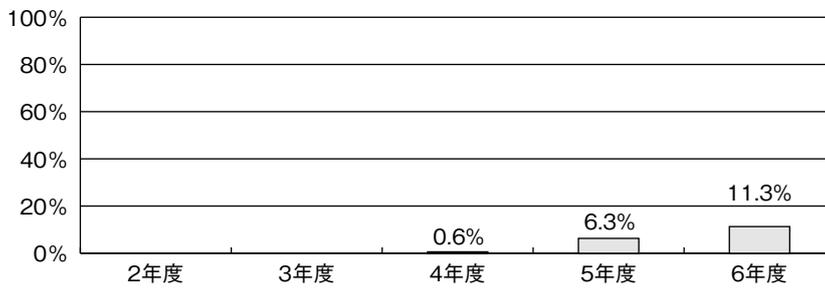
(4) 用排水施設整備事業負担金 23,099,853 円

区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三協排水路地区	126,882,637円	26,645,353円	109,999,300円	23,099,853円

[指 標]

指 標 名：用排水施設整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和4年度～令和10年度)



※三協排水路地区の事業費変更に伴う全体事業費見直しのため、4年度～5年度指標を再計算

- (5) 緊急農地防災事業費 25,227,400 円

地 区 名	令和5年度	令和6年度
緑 地 区	組立水路工 一式	組立水路工 一式

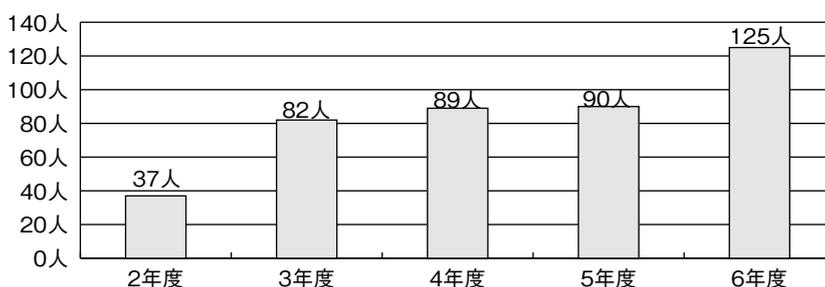
- (6) 農業水路等長寿命化・防災減災事業費 57,596,000 円

地 区 名	令和5年度	令和6年度
船 渡 地 区	実施設計 一式	L型水路工 一式

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,403,500,901	180,768,749	0	1,165,271,372	2,057,460,780
1 項 商 工 費	3,403,500,901	180,768,749	0	1,165,271,372	2,057,460,780
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	1,558,784,481	42,000,000	0	986,421,441	530,363,040
1 中小企業振興事業費 430,717,950 円 (産業政策課・商工業振興課)					
[総括]					
中小企業の経営基盤強化のため、設備投資等支援を行うとともに、事業承継における、リーフレット配布・セミナーを開催し、普及啓発を行った。					
また、企業BCP(事業継続計画)等の普及・啓発を目的として、策定に向けたセミナーを開催するとともに、策定に係る経費を助成したほか、市内事業者のBCP等の策定状況、策定を検討するきっかけなどを把握するため、市内に事業所がある事業者を対象にアンケートを実施した。					
今後も、中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換・デジタル化などの新たなチャレンジを後押しする。					
[実績及び成果]					
(1) 設備投資等支援事業費 136,456,670 円					
(ア) 中小企業振興助成金 132,452,550 円					
助 成 金		令和5年度		令和6年度	
		174件	152,815,780円	151件	132,452,550円
(2) 事業承継支援事業費 242,762 円					
セミナー受講者数		令和5年度		令和6年度	
		会場受講	延 58人	会場受講	延 101人
		WEB受講	延 32	WEB受講	延 24
(3) 企業BCP策定支援事業費 1,796,000 円					
(ア) 企業BCP等策定推進事業費 1,709,000 円					
内 容		令和5年度		令和6年度	
		・セミナー受講者数 延 127人		・セミナー受講者数 延 127人	
				・市内に事業所がある事業者(5,000者)を対象にアンケートを実施	
(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 87,000 円					
補 助 金		令和5年度		令和6年度	
		2件	60,000円	3件	87,000円
(4) 新ビジネスチャレンジ応援事業費 14,623,515 円					
(ア) 新ビジネスチャレンジ応援補助金 14,595,000 円					
補 助 金		令和5年度		令和6年度	
		14件	3,315,000円	54件	14,595,000円
(イ) 新ビジネスチャレンジ応援セミナーの実施 28,515 円					
セミナー受講者数		令和5年度		令和6年度	
		14人		9人	

[指 標]

指 標 名：事業承継セミナー参加者数  
 指標説明：〃



2 制度融資事業費 1,057,809,510 円（商工業振興課）

[総 括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 932,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 額		1,004,000,000円	932,000,000円	△ 7.2%
融 資 枠		3,792,000,000円	3,486,000,000円	—
融 資 実 績	件数	714件	1,000件	40.1
	金額	2,728,675,000円	4,231,777,000円	55.1
融 資 実 績 率		72.0%	121.4%	49.4ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 511,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		509,000,000円	511,000,000円	0.4%
融 資 枠		1,527,000,000円	1,533,000,000円	—
融 資 実 績	件数	87件	165件	89.7
	金額	623,245,000円	1,077,600,000円	72.9
融 資 実 績 率		40.8%	70.3%	29.5ポイント

## (イ) 経営安定資金預託金 10,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		44,000,000円	10,000,000円	△77.3%
融 資 枠		132,000,000円	30,000,000円	—
融 資 実 績	件数	4件	2件	△50.0
	金額	15,500,000円	13,000,000円	△16.1
融 資 実 績 率		11.7%	43.3%	31.6ポイント

## (ウ) 小規模企業等振興資金預託金 230,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		260,000,000円	230,000,000円	△11.5%
融 資 枠		1,560,000,000円	1,380,000,000円	—
融 資 実 績	件数	487件	603件	23.8
	金額	1,615,320,000円	2,269,487,000円	40.5
融 資 実 績 率		103.5%	164.5%	61.0ポイント

## (エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 16,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		15,000,000円	16,000,000円	6.7%
融 資 枠		45,000,000円	48,000,000円	—
融 資 実 績	件数	4件	5件	25.0
	金額	18,000,000円	36,000,000円	2.0倍
融 資 実 績 率		40.0%	75.0%	35.0ポイント

## (オ) 創業支援資金預託金 150,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか8金融機関	豊橋信用金庫ほか8金融機関	—
預 託 額		160,000,000円	150,000,000円	△ 6.3%
融 資 枠		480,000,000円	450,000,000円	—
融 資 実 績	件数	129件	205件	58.9
	金額	449,210,000円	768,930,000円	71.2
融 資 実 績 率		93.6%	170.9%	77.3ポイント

## (カ) 小規模事業資金預託金 15,000,000 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		16,000,000円	15,000,000円	△ 6.3%
融 資 枠		48,000,000円	45,000,000円	—
融 資 実 績	件数	3件	20件	6.7倍
	金額	7,400,000円	66,760,000円	9.0
融 資 実 績 率		15.4%	148.4%	133.0ポイント

(2) 制度融資関係事業費 125,809,510 円

(ア) 制度融資信用保証料補助金 108,950,310 円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	1,409件	127,679,432円	986件	108,950,310円

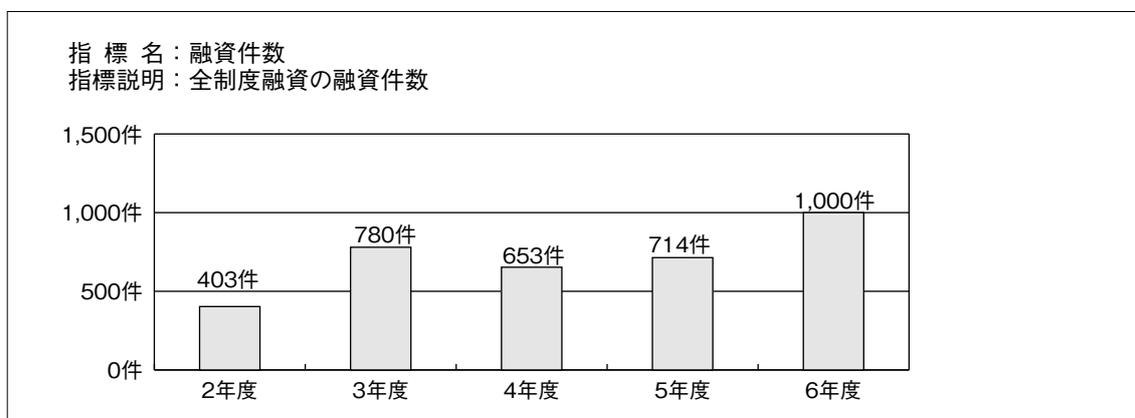
(イ) 経営安定資金特別対策補助金 16,493,400 円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	849件	56,440,400円	252件	16,493,400円

(ウ) 小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 365,800 円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	6件	51,400円	22件	365,800円

[指標]



3 人材育成事業費 64,830,871 円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や経営力向上等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ大学や金融機関など様々な機関が一体となって行う社会人向けの人材育成の取組みに対して助成したほか、リスクリングを中心とした学びの機会の提供や学びの意識を醸成する交流の場づくりなどを実施した。さらに、学生が企業の魅力を発見し、その発信を行う講座を開催した。今後も産業を支える人材の育成を積極的に推進していく。

[実績及び成果]

(1) 人材育成支援事業費 21,713,330 円

(ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 19,999,980 円

セミナー受講者数	令和5年度		令和6年度	
	286人 (うち人材確保セミナー 110人)		197人 (うち人材確保セミナー 45人)	

(2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000 円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	3,150,000円		3,150,000円	

(3) 学生の学びと交流推進事業費 2,000,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援したほか、企業の魅力発見・発信講座を実施	

(4) 未来産業人材育成支援事業費 37,967,541 円

(ア) 未来産業人材育成支援活動費 33,325,541 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	

(イ) 経営幹部育成支援補助金 3,792,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	—	12件 3,792,000円

(ウ) 人材育成研修応援補助金 262,000 円

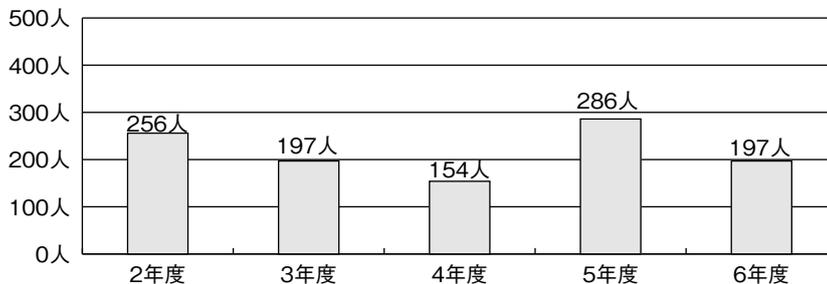
補 助 金	令和5年度	令和6年度
	—	12件 262,000円

(エ) 無人航空機操縦者資格取得支援補助金 588,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	—	9件 588,000円

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数  
 指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 〈スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援〉	231,057,944	17,490,000	0	116,941,600	96,626,344

1 新事業創出事業費 231,057,944円 (地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、農業者・地域企業・研究者とスタートアップとの共創プロジェクトづくり、産学連携等による新技術または新製品開発をめざす取組みへの助成のほか、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。また、新たに首都圏を拠点にスタートアップとの連携や誘致活動等を推進した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 官民一体型新ビジネス創出事業費 54,000円

内 容	令和5年度	令和6年度
	スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施	

(2) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 52,403,000円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
		50,235,000円

(3) スタートアップ支援事業費 91,241,057円

(ア) アグリテック実証支援事業費 51,320,559円

内 容	令和5年度	令和6年度
	農業者・農業関係企業等の課題解決に資する製品開発に取り組むスタートアップとの共創プロジェクトの創出及び伴走支援	

(イ) 共創コミュニティ創出支援事業費 18,801,754円

内 容	令和5年度	令和6年度
	スタートアップと、そのチャレンジを応援する地域事業者等からなるコミュニティをつくり、両者の共創を促進	

(ウ) 研究シーズスタートアップ支援事業補助金 18,000,000円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
		18,000,000円

(エ) 首都圏スタートアップ連携活動費 3,118,744 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	首都圏等のスタートアップとのネットワークを構築し、本市への誘致、市内企業との共創を促進

(4) 未来産業創出事業費 45,968,887 円

(ア) 未来産業創出事業補助金 31,403,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	62,421,196円	31,403,000円

(5) ものづくり・夢づくり支援事業費 20,141,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 2,793,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	20件 2,100,000円	27件 2,793,000円

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 6,788,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	32件 7,686,000円	36件 6,788,000円

(ウ) 起業支援事業費補助金 8,560,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	48件 11,074,000円	37件 8,560,000円

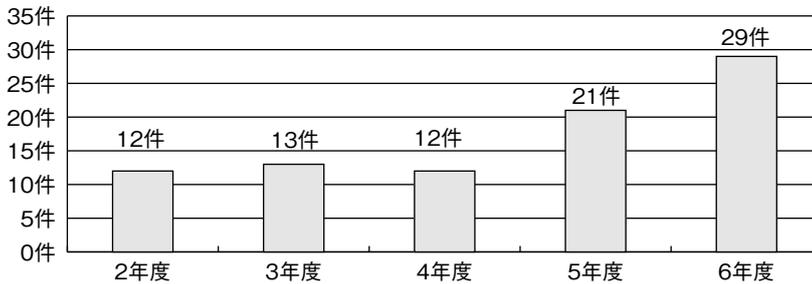
(エ) 「ものづくり博 2024in 東三河」開催費補助金 2,000,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	—	2,000,000円

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数

指標説明：未来産業創出事業(令和4年度以前はイノベーション創出等支援事業)及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～令和5年度)の研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	626,132,731	99,261,000	0	42,135,000	484,736,731

1 企業誘致推進事業費 626,132,731 円 (産業政策課)

[総括]

首都圏で開催された展示会や県主催の産業立地セミナーに参加するなど、市外、県外の企業に対し、積極的な誘致活動を行った。また、オフィスの誘致を推進するため、開設準備に係る経費などを新たに助成したほか、市内企業のニーズ把握のため情報交換会を行った。加えて、豊橋新城スマート I C (仮称) 開設予定地付近における新たな産業用地確保に向けた調査や調整を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 3,160,731 円

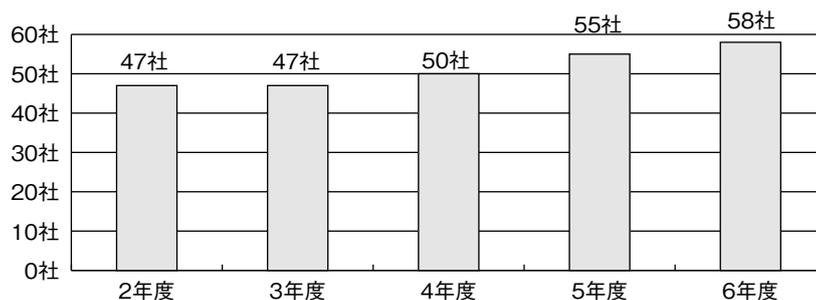
内 容		令和5年度		令和6年度		
立地企業情報交換会	開催日	7.7	7.18	7.8	7.12	7.26
	場 所	若松地区	二川地区	明海地区	リサーチパーク	石巻地区
	出席企業数	10社	16社	13社	8社	12社
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	事業実績	○メッセナゴヤ2023出展 11.8~11.10 ポートメッセなごや ○2023“よい仕事おこし”フェア出展 11.21~11.22 東京ビッグサイト ○2023国際ロボット展出展 11.29~12.2 東京ビッグサイト	○ものづくり博2024in東三河出展 6.14~6.15 豊橋総合体育館 ○Japan Robot Week 2024出展 9.18~9.20 東京ビッグサイト ○メッセナゴヤ2024出展 10.31~11.1 ポートメッセなごや			
オフィス誘致補助金		—	—	1社		352,000円
工場見学施設整備支援補助金		8社	3,453,000円	4社		1,232,000円

(2) 企業立地促進奨励金 622,972,000 円

奨 励 金	令和5年度		令和6年度	
		36件	249,657,000円	30件

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)  
指 標 説 明：豊橋市、愛知県企業庁及び豊橋市土地開発公社が分譲する産業用地に立地した企業の数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかのにぎわいの創出>	44,847,196	16,740,000	0	0	28,107,196

1 まちなかにぎわい創出事業費 19,223,980円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地におけるにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やクリスマスマーケット、おさんぽマルシェ等を商店街や市主催の他のイベントと連携し引き続き開催した。また、リノベーションまちづくりの推進を目的としたワークショップを開催したほか、まちなかにおける空き物件の調査を行った。今後も中心市街地で活動する関係者や団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 9,630,620円

内 容	令和5年度		令和6年度	
とよはしクリスマス マーケットの開催	開催期間	12.15~12.24 10日間	開催期間	12.14~12.24 11日間
	来場者数	延 34,200人	来場者数	延 39,500人
おさんぽマルシェの 開催	開催回数	3回	開催回数	2回
豊橋駅南口駅前広場、 まちなか広場使用実績	使用件数	102件	使用件数	136件
	使用日数	145日	使用日数	154日

(2) エリアプラットフォーム負担金 800,000円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
	800,000円	800,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 846,000円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	1件 500,000円	1件 846,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 4,860,000円

内 容	令和5年度		令和6年度	
歩行者天国の実施	実施回数	4回	実施回数	4回
	来場者数 (連携イベント含む)	延 121,000人	来場者数 (連携イベント含む)	延 85,000人

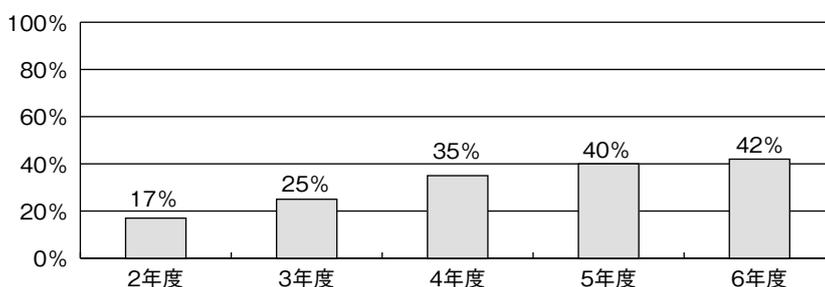
(5) リノベーションまちづくり推進事業費 3,087,360円

内 容	令和5年度		令和6年度	
ワークショップ等の実施	・ワークショップの開催 実施回数	3回	・ワークショップの開催 実施回数	3回
	参加者及び聴講者数	計37人	参加者数	計29人
			・空き物件調査の実施	

[指標]

指標名：公共空間の年間稼働率

指標説明：豊橋駅南口駅前広場またはまちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費

25,623,216円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業やまちなかインキュベーション事業への支援を行った。また、民間活力とノウハウを活かしてにぎわいを創出するため、TMOが開催するイベントや豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等のイルミネーション装飾への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業の集積やにぎわい創出のための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 共通駐車券事業補助金 540,000円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	1件	614,000円	1件	540,000円

(2) まちなかインキュベーション事業補助金 8,358,000円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	15件	7,005,000円	18件	8,358,000円

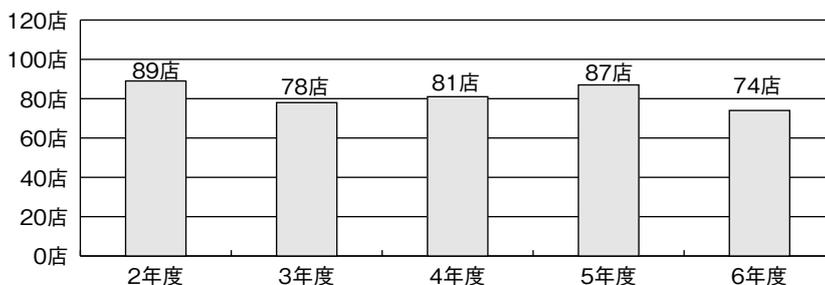
(3) 官民連携まちなかにぎわい創出事業補助金 16,725,216円

補助金	令和5年度		令和6年度	
	1件	18,973,939円	1件	16,725,216円

[指標]

指標名：中心市街地内の空き店舗数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	334,507,408	0	0	10,251,540	324,255,868

1 まつり・イベント支援事業費 65,800,000円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、1日目は夕方から雨となり2日目は10月としては冷え込んだが、誰でも気軽に参加できるよう「いざ舞らん」を「TOYOHASHI BIG PARADE」に改めるとともに、総おどり会場を拡大したことで、延べ62万人と多くの人出につながった。春まつりのうめは、花の開花が遅かったため、通常よりも期間を延長して行ったが、来場者数は昨年度と同等に留まった。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,800,000円

行 事 内 容			令和5年度	令和6年度
春まつり	さくら	期 間	4.1~4.9 3.20~3.31 (21日間)	4.1~4.7 3.19~3.31 (20日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	延35,000人	延35,000人
	つつじ	期 間	4.15~5.5 (21日間)	4.20~5.5 (16日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	延2,500人	延2,500人
	うめ	期 間	2.2~3.3 (31日間)	1.31~3.16 (45日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	延40,000人	延40,000人
		補 助 金	6,489,000円	6,489,000円
花しょうぶまつり	期 間	5.24~6.6 (12日間)※	5.22~6.4 (14日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	延100,000人	延90,000人	
	補 助 金	4,311,000円	4,311,000円	

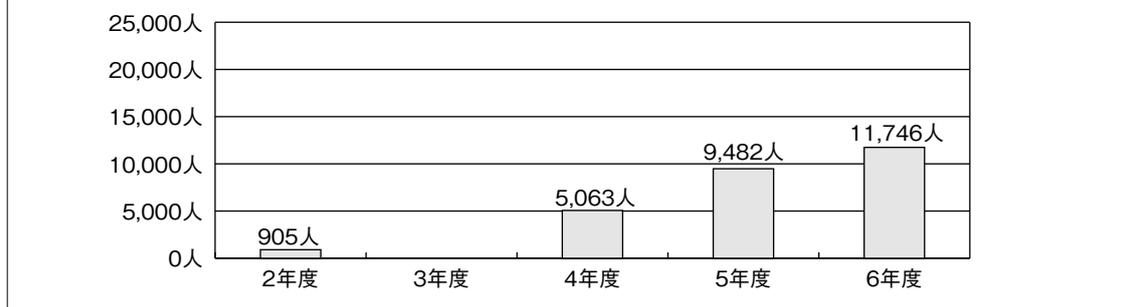
※令和5年度の花しょうぶまつりは、台風2号の影響により6.3~6.4の2日間を中止

(2) 豊橋まつり開催費補助金 55,000,000円

区 分	令和5年度	令和6年度
開 催 日	10.20~10.21 (2日間)	10.19~10.20 (2日間)
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 18会場	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 19会場
行 事 数	27行事	30行事
総 人 出 数	延610,000人	延620,000人
総 参 加 団 体 数	約554団体	約584団体
補 助 金	55,800,000円	55,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数(令和2年度はオンライン総おどり)  
 指標説明：〃



2 ふるさと寄附返礼品魅力向上事業費 238,468,454 円（観光プロモーション課）

[総 括]

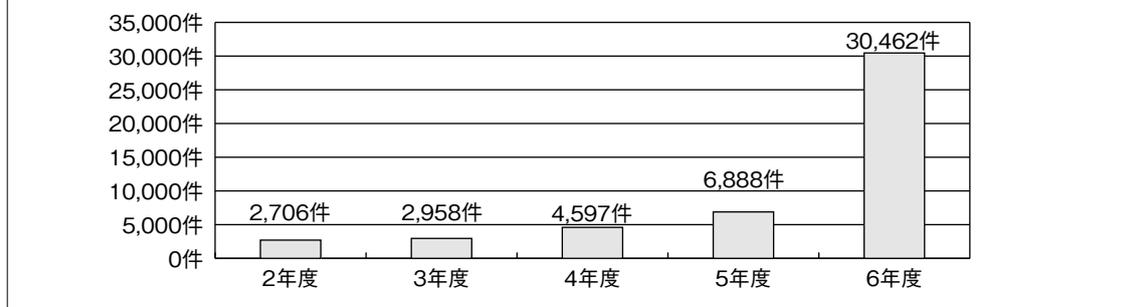
本市の優れた農産物や加工品、観光資源等を有効活用したふるさと寄附制度とするため、令和6年度は新たなポータルサイトの開設等を行い、発送返礼品件数を大幅に増やした。今後もふるさと寄附を通じて本市の認知度の向上に努めていくとともに、豊橋製品のPRを実施していく。

[実績及び成果]

	令和5年度	令和6年度
内 容	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」、「ANAのふるさと納税」、「au PAYふるさと納税」、「セゾンのふるさと納税」、「ふるラボ」への掲載、「ぺいふる」、「楽天トラベルクーポン」の導入	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」、「ANAのふるさと納税」、「au PAYふるさと納税」、「セゾンのふるさと納税」、「ふるラボ」、「ぺいふる」、「楽天トラベルクーポン」への掲載、「ふるなび」、「Amazon ふるさと納税」の導入
返 礼 品 件 数	6,888件	30,462件

[指 標]

指 標 名：返礼品件数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 観光情報発信費 〈誘客につながるプロモーションの推進〉	116,470,193	5,277,749	0	0	111,192,444

1 観光プロモーション推進事業費 49,659,901 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

本市の特色ある資源(自然、街並み、食文化など)を観光資源へと磨き上げるため、体験型観光の商品を販売する大手サイトを活用して市場調査を実施し、ターゲット及び商圈を明確化するとともに、オリジナルカテゴリー「豊橋アソビバPROJECT」のプロモーションを行った。また、とよはしミュージックアンバサダーの影響力や人気を活かした本市のPR及び観光誘客事業を実施したほか、JR東海や市内事業者と連携し、ゲームやアニメなどのコンテンツを活用した新たな観光需要を創出した。今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につながるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 観光プロモーション推進事業費 49,659,901 円

(ア) 推進活動費 1,846,995 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所青年部東海ブロック大会豊橋大会でのPR</li> <li>・ライトノベル「負けヒロインが多すぎる!」を活用したPR</li> <li>・音楽を活用した観光誘客事業企画</li> </ul>	
観光プロモーション実施回数 ※( )は日数	1回 (1日)	0回 (0日)

(イ) 手筒花火放揚 8,000,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎の祭典 2回 (2日)</li> </ul>	
観光プロモーション実施回数 ※( )は日数	2 (2)	1 (1)

(ウ) 訪日外国人観光客誘致 1,999,932 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾現地旅行会社に対する現地セールス</li> <li>・SNS用動画の作成及び投稿</li> <li>・台湾向け繁体字Facebookページの運営による情報発信及び問合せ対応</li> </ul>	

(エ) 地域資源をいかした体験型観光の推進 9,969,999 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	体験型観光の強化を図るため、地域資源を活用した体験型観光商品の造成・磨き上げを希望する事業者の支援、道の駅とよはしでの体験型観光の情報発信とイベントを実施 ・表浜海岸での漁体験 1回(1日) ・豊橋・浜名湖堪能自転車ガイドツアー 1 (1)	体験型観光の強化を図るため、地域資源を活用した体験型観光商品の造成・磨き上げを希望する事業者の支援、道の駅とよはしでの体験型観光の情報発信とイベントを実施 ・西七根海岸での漁体験 1回(1日) ・「豊橋アソビバ PROJECT」のプロモーション及びアソビバ DAY の実施 1 (1)
観光プロモーション実施回数 ※ ( ) は日数	2 (2)	2 (2)

(オ) MICE の開催支援等 0 円

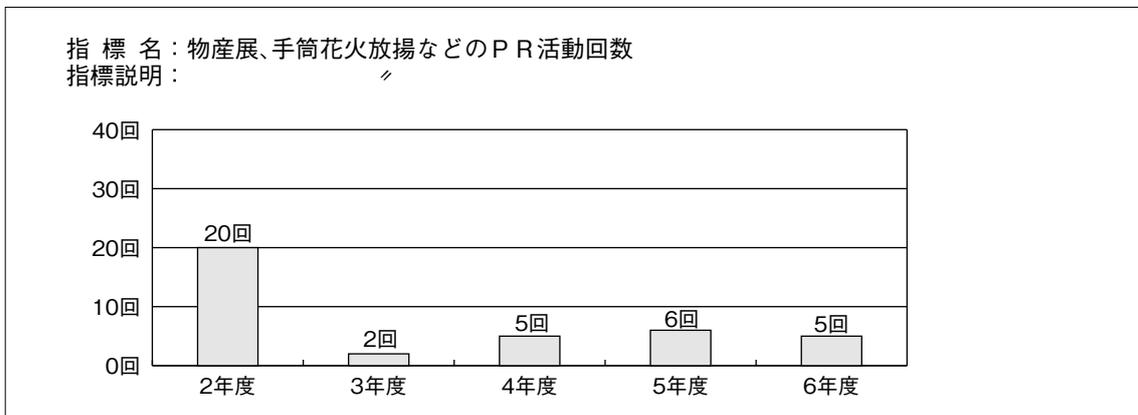
(カ) アンバサダーと連携した観光プロモーション 5,163,497 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	・YONFES2024 に豊橋市 PR ブースを出展 2回(2日) ・豊橋鉄道渥美線「大清水駅」にて04 Limited Sazabys の楽曲活用 ・新作 EP「MOON」収録の新曲「magnet」の MV 撮影誘致
観光プロモーション実施回数 ※ ( ) は日数	—	2 (2)

(キ) ゲームやアニメを活用した観光誘客 22,679,478 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	—	JR 東海「押し旅」と連携した PR (ゲーム「モンスターハンター」、アニメ「負けヒロインが多すぎる!」)

[指 標]



2 観光宣伝事業費

40,910,292 円（観光プロモーション課）

[総括]

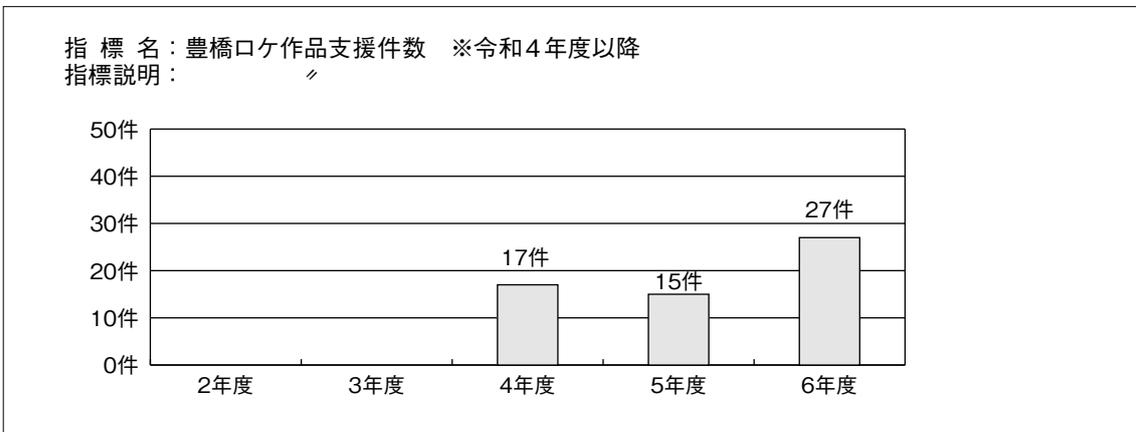
本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信のほか、観光案内所や道の駅「とよはし」でのPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。また、一般社団法人とよはしフィルムコミッションへ負担金を支出し、映画やドラマなど豊橋でのロケ活動を支援することで、作品を通じて本市の魅力を発信した。今後も映像作品を活用した本市のPRを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 31,696,797 円

豊橋市への来訪者数	令和5年度	令和6年度	比較
	延 4,318,313人	延 4,617,144人	6.9%

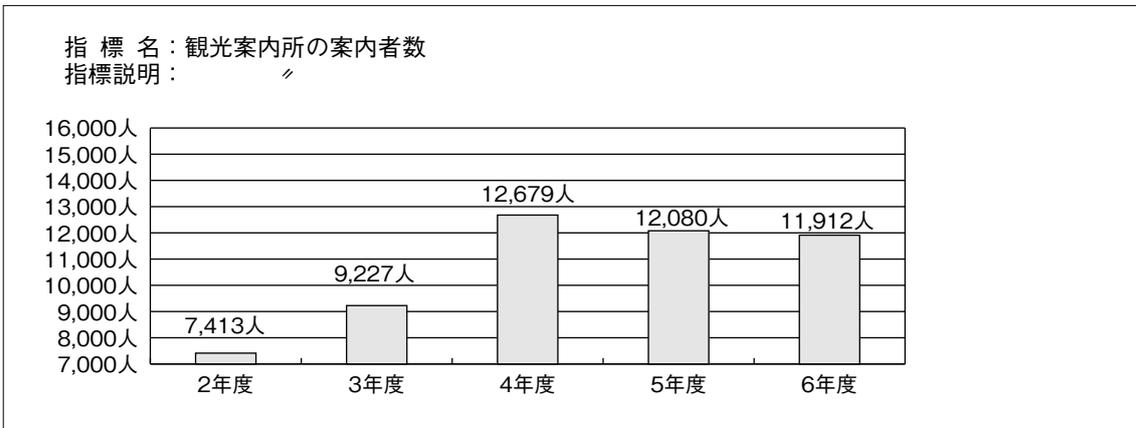
[指標]



(2) 観光案内所運営事業費 9,213,495 円

案内者数	令和5年度	令和6年度	比較
	延 12,080人	延 11,912人	△ 1.4%

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 北部地域活性化推進費 <産業集積の促進>	39,895,024	0	0	200,000	39,695,024

1 北部地域活性化推進事業費 39,895,024 円 (北部地域活性化推進室)

[総括]

現在整備中の豊橋新城スマート I C (仮称) を契機に地域及び本市の活性化をめざし、地域住民と共に土地利用計画図(案)および事業手法を取りまとめた「豊橋新城スマート I C (仮称) 周辺土地利用計画」の作成を進めた。今後も地域住民をはじめとした関係者と意見交換を行いながら、地域活性化に資するまちづくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 北部地域活性化推進事業費 39,895,024 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		—

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	15,225,763,807	2,249,657,289	3,432,100,000	954,348,758	8,589,657,760
1 項 道 路 橋 梁 費	5,221,597,094	969,187,647	1,955,800,000	439,146,340	1,857,463,107
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 ＜ 幹 線 道 路 の 整 備 ＞	1,815,821,904	827,487,000	781,100,000	115,694,348	91,540,556

1 幹線道路建設促進対策事業費 396,717,237 円 (道路建設課)

[総括]

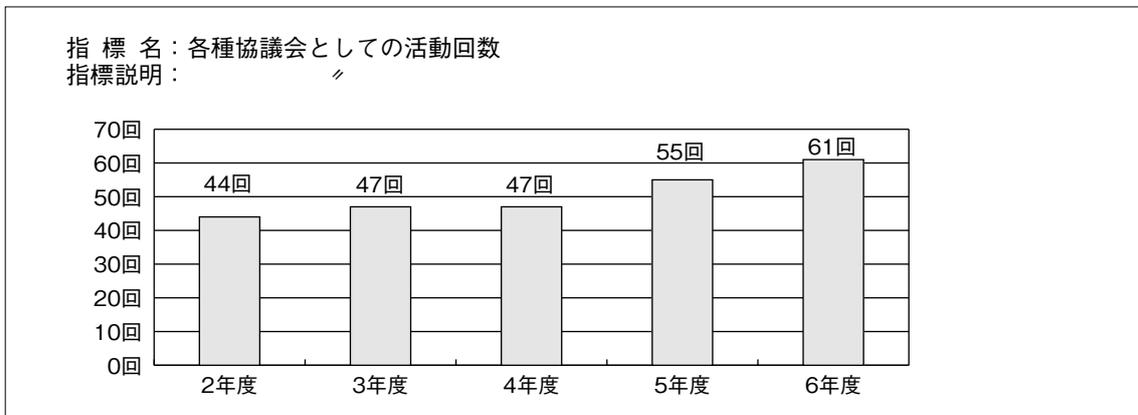
広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会及び名豊道路建設推進協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、継続的に要望活動等を行った。名豊道路については、全線開通を祝う開通式や記念イベントを実施した。また、豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業については、用地取得や事業損失調査等を実施するとともに、橋梁下部工事等を進めたほか、橋梁上部工事に着手した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化し、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマート IC の整備に向けた取組みを推進する。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,757,916 円

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動等の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動・開通式等の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加

[指 標]



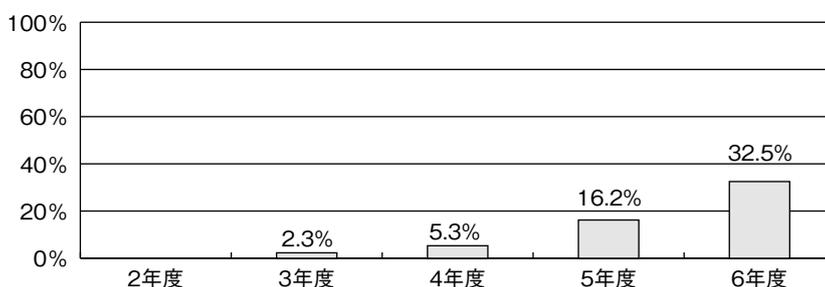
(2) 豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業費 394,959,321 円

(国庫補助事業 320,910,000 円 市単独事業 74,049,321 円)

ス マ ー ト IC	令和 5 年度	令和 6 年度
	詳細設計 盛土材仮置場の確保 — 用 地 4,687.60㎡ 補 償 立木等	事業損失調査等 盛土材仮置場の確保 橋梁下部工等 用 地 11,011.23㎡ 補 償 立木等

[指標]

指標名：豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度～）



2 幹線市道整備事業費 1,268,423,931 円（道路建設課）

[総括]

大岩町・小松原町55号線は用地取得とともに、道路改良工事を行った。一色町・王ヶ崎町1号線ほかは第2工区の詳細設計を行った。明海町・老津町28号線については、橋梁下部工事等を進めた。また、西幸町・高田町10号線ほかについては土地評価及び用地測量を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線市道の整備を推進する。

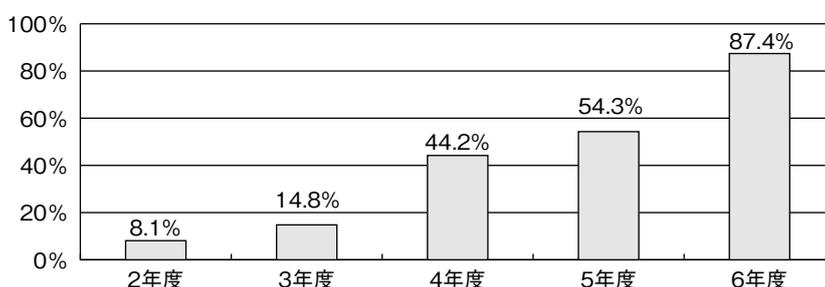
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 257,611,308 円  
 （国庫補助事業 232,742,000 円 市単独事業 24,869,308 円）

道路改良 (第4工区)	令和5年度		令和6年度	
	延長	241m	延長	547m
用地	63.05㎡	用地	530.94㎡	
補償	工作物等	補償	工作物等	

[指標]

指標名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和2年度～7年度）

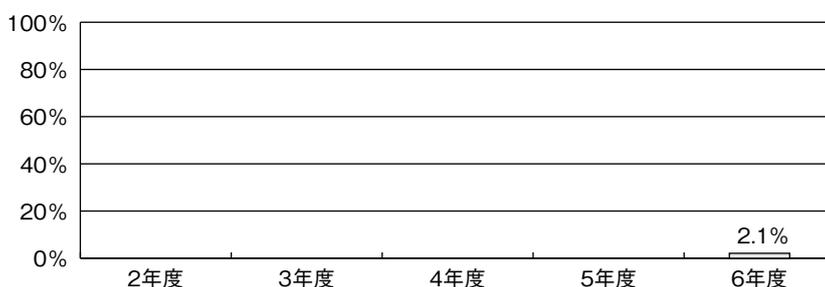


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線ほか整備事業費 22,665,500 円  
 （国庫補助事業 18,100,000 円 市単独事業 4,565,500 円）

道路改良 (第2工区)	令和5年度		令和6年度	
		—		詳細設計

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線ほか整備事業進捗率(第2工区)  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和5年度～)

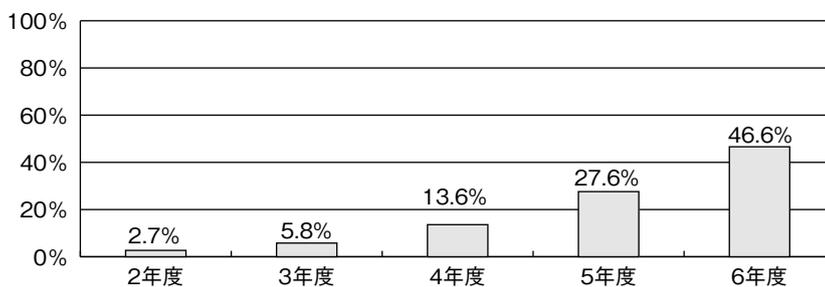


- (3) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 975,768,823 円  
 (国庫補助事業 943,154,000 円 市単独事業 32,614,823 円)

道 路 改 良	令和 5 年度	令和 6 年度
	延 長 43m 用 地 2,310.23㎡ 補 償 工作物等	延 長 218m — —

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成30年度～)

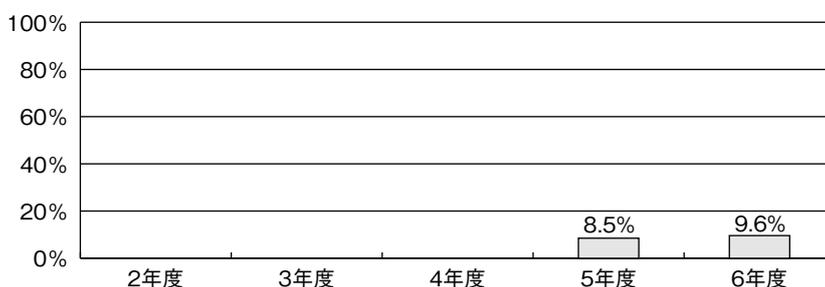


- (4) 西幸町・高田町 10 号線ほか整備事業費 12,378,300 円  
 (国庫補助事業 10,486,000 円 市単独事業 1,892,300 円)

道 路 改 良	令和 5 年度	令和 6 年度
	詳細設計	土地評価 用地測量

[指 標]

指 標 名：西幸町・高田町10号線ほか整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和4年度～）



※総事業費の見直しにより再計算

3 都市計画道路整備事業費 150,680,736 円（道路建設課）

[総 括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和6年度は弥生町線の整備を完了した。

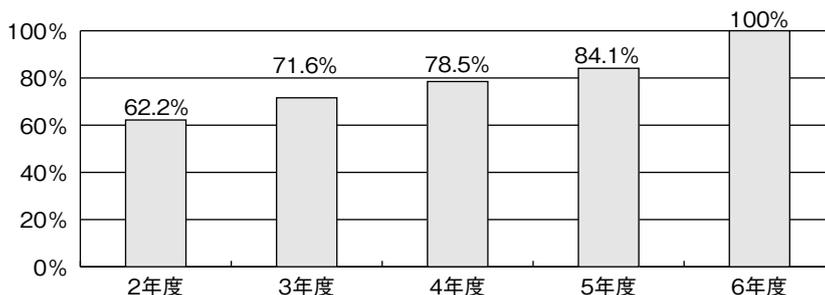
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 150,680,736 円  
 （国庫補助事業 117,801,819 円 市単独事業 32,878,917 円）

道 路 改 良	令和5年度	令和6年度
	— 用 地 480.57㎡ 補 償 建物等	延 長 485m — 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	2,273,201,029	126,636,647	1,114,800,000	138,791,023	892,973,359

1 自由連絡通路等管理事業費 391,905,154 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTロリアンデッキなどを維持管理した。令和6年度は長寿命化計画に基づき、豊橋駅東西自由連絡通路における天井耐震改修工事に着手した。また、豊橋駅東口駅前広場において、老朽化により停止しているエスカレーターに代えてエレベーターを設置するための実施設計を行った。今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 374,311,984 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	清掃・保守点検・修繕等 天井耐震改修実施設計	

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 17,593,170 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	清掃・保守点検・修繕等	

2 自転車等駐車場管理運営事業費 121,040,834 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。施設の長寿命化計画に基づき、豊橋駅西口地下エリアの泡消火設備取替修繕を行ったほか、豊橋駅東口地下エリアの防火扉や汚水ポンプを取替修繕するなど、安全安心な施設づくりを行った。また、二川駅南口西エリアに新たに自動二輪車専用駐車枠を12台分設置した。

今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持するとともに、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 62,785,728 円

(ア) 自転車・ミニバイク (駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
1日平均利用台数		2,453台	2,455台	0.1%
自 転 車	定 期	2,020	1,974	△ 2.3
	一 時	297	352	18.5
ミニバイク	定 期	101	96	△ 5.0
	一 時	35	33	△ 5.7

## (イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14台

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
1日平均利用台数		10台	12台	20.0%
自動二輪車	定期	2	2	0.0
	一時	8	10	25.0

## (2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 42,035,609円

## (ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300台

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
1日平均利用台数		865台	848台	△ 2.0%
自 転 車	定期	688	673	△ 2.2
	一時	135	137	1.5
ミニバイク	定期	34	32	△ 5.9
	一時	8	6	△25.0

## (イ) 自転車・ミニバイク・自動二輪車（白河エリア） 収容台数 404台

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
1日平均利用台数		292台	262台	△10.3%
自 転 車	定期	113	93	△17.7
	一時	80	75	△ 6.3
ミニバイク	定期	28	25	△10.7
	一時	15	15	0.0
自動二輪車 (原付2種含む)	定期	42	38	△ 9.5
	一時	14	16	14.3

## (3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 16,219,497円

## (ア) 自転車・ミニバイク・自動二輪車（西エリア） 収容台数 382台

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
1日平均利用台数		326台	347台	6.4%
自 転 車	定期	254	277	9.1
	一時	43	42	△ 2.3
ミニバイク	定期	22	21	△ 4.5
	一時	7	6	△14.3
自動二輪車	一時	—	1	皆増

※自動二輪車の一時利用駐車枠を令和6年10月1日より新設

## (イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45台

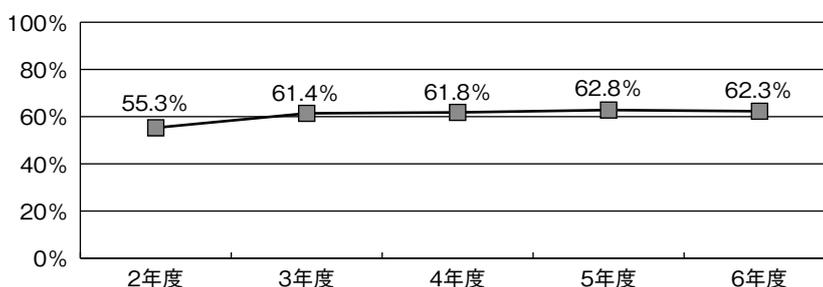
1日平均利用台数	令和5年度	令和6年度	比 較
	30台	29台	△ 3.3%

## (ウ) 自動車（西エリア） 収容台数 7台

1日平均利用台数	令和5年度	令和6年度	比 較
	6台	6台	0.0%

[指 標]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率  
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 408,666,935 円（道路維持課）

[総 括]

生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。また、とよはし道路通報システムを活用し、道路異常箇所への迅速な対応を行った。今後も道路交通に対する一層の安全に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

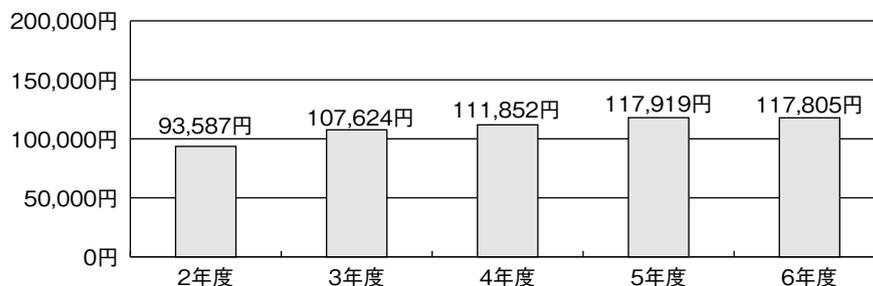
[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 408,666,935 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
道 路 清 掃	57路線 延長 135.0km	68路線 延長 158.0km
道 路 側 溝 清 掃	50か所 〃 3,543m	45か所 〃 3,420m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	延長 75.94m	延長 60.63m
道路ストック点検調査	横断歩道橋等点検調査	—

[指 標]

指 標 名：市道 1 km 当たりの維持管理費  
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 347,441,600 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

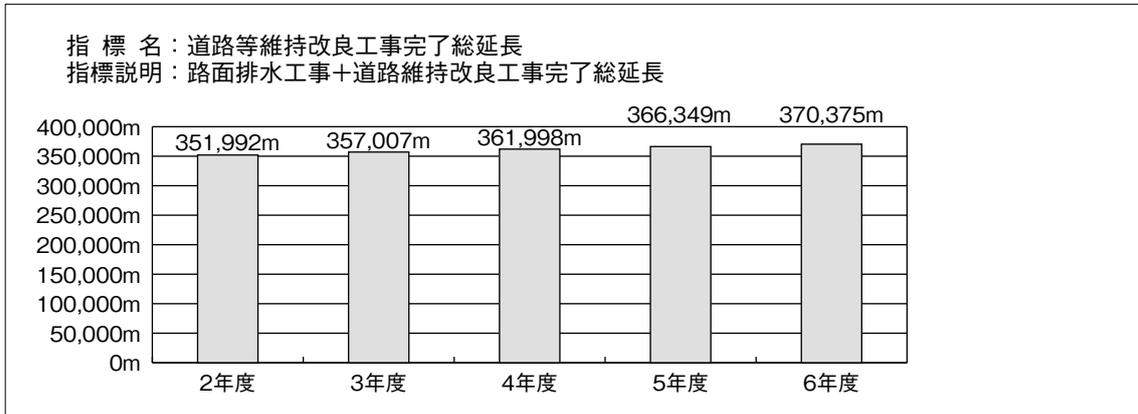
(1) 路面排水整備工事費 313,350,400 円

路面排水	令和5年度		令和6年度	
	市内一円	延長 3,712m	市内一円	延長 3,449m
	市街地	〃 531	市街地	〃 442
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 34,091,200 円

道路維持改良	令和5年度		令和6年度	
	1件	延長 108m	1件	延長 135m

[指標]



5 道路舗装事業費 651,477,200 円（道路維持課・公園緑地課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。また、穂の国とよはし芸術劇場前の空地において、デザイン性を持たせた舗装を実施した。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

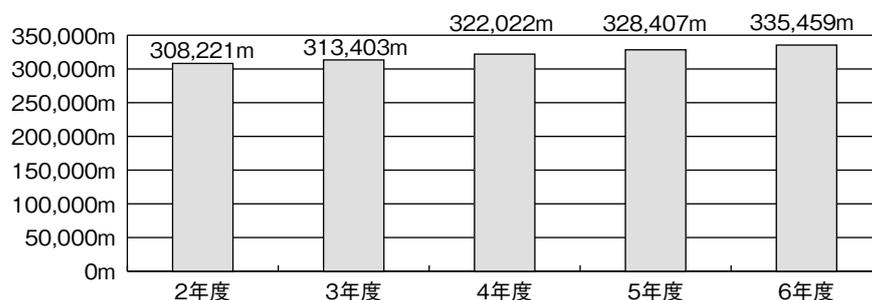
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 651,477,200 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	舗装新設	延長 255m	面積 481㎡	延長 209m
舗装改良	〃 6,385	〃 41,825	〃 7,052	〃 41,444
舗装修繕		〃 10,334		〃 8,204
路面下点検調査	〃 219km		—	

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)  
 指標説明：〃



6 橋梁整備事業費 197,701,989 円 (道路建設課)

[総 括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「豊橋市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。また、橋梁の安全・安心を確保するとともに、維持管理コストの縮減を図るため「豊橋市橋梁長寿命化修繕計画」を改定し、修繕実施時期の見直しを行った。今後も道路の安全・安心を確保するため、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

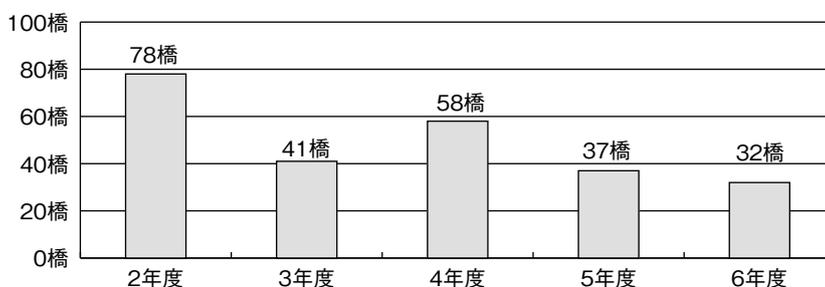
[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 197,701,989 円  
 (国庫補助事業 168,995,000 円 市単独事業 28,706,989 円)

内 容	令和5年度	令和6年度
計 画	—	豊橋市橋梁長寿命化修繕計画改定
定 期 点 検	高洲橋始め 330橋	五間大橋始め 165橋
補 修 ( 国 庫 補 助 )	下向イ橋始め 37	笹原橋始め 32
補 修 ( 市 単 独 )	城下3号橋始め 3	西の川橋始め 6
改 築 ( 国 庫 補 助 )	道六橋 1	—

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数  
 指標説明：補修(国庫補助)に係る橋梁数



7 道路環境整備事業費 3,121,800 円（道路維持課）

[総括]

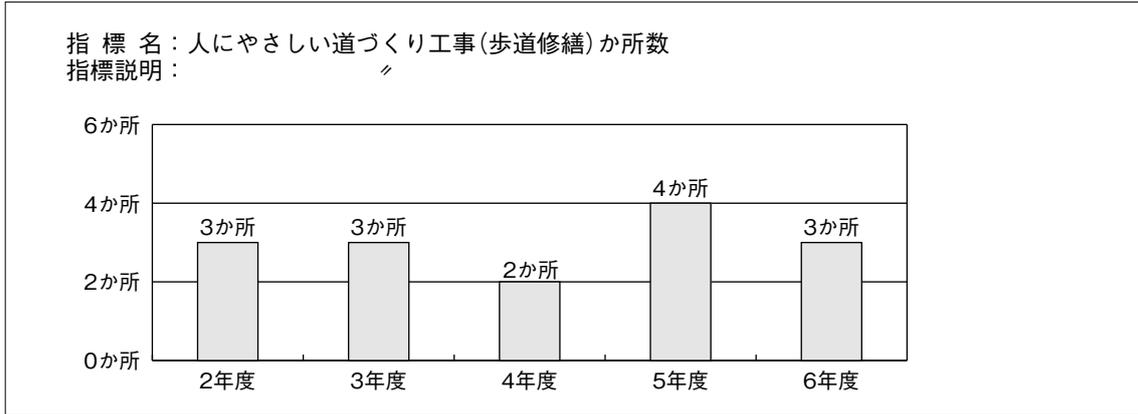
歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 3,121,800 円

歩道修繕	令和5年度	令和6年度
	4か所	3か所

[指標]



8 狭あい道路拡幅整備促進事業費 8,206,691 円（土木管理課）

[総括]

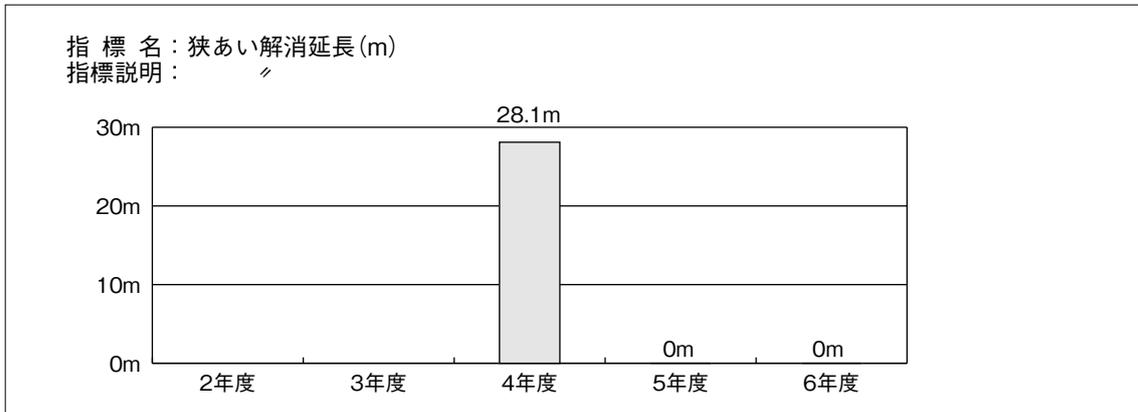
幅員4m未満である狭あい道路の拡幅のため、寄附の申し出があった後退用地に対する測量、分筆登記等を実施した。今後も国の交付金を活用しながら、災害が発生しても緊急車両が目的地へ速やかに到着できる安全安心な交通環境整備に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 狭あい道路拡幅整備促進事業費 8,206,691 円

	令和5年度	令和6年度
狭あい解消延長	0m	0m
拡幅工事延長	0	0
測量	5件	7件
登記	6	8

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	360,093,272	15,064,000	59,900,000	704,400	284,424,872

1 交通安全施設整備事業費 30,253,300円 (道路建設課)

[総括]

自転車通行空間整備事業は、「豊橋市自転車活用推進計画」に定めた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行い、石巻萩平町68号線ほかについては、詳細設計及び道路改良工事を行った。今後も通学路などの安全を確保するため、道路状況等を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

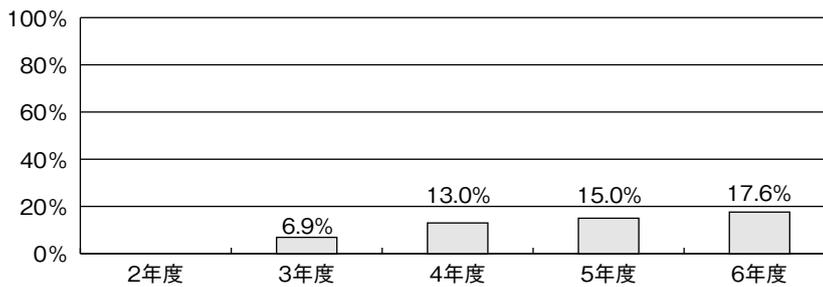
[実績及び成果]

- (1) 自転車通行空間整備事業費 10,498,400円  
(国庫補助事業 9,808,000円 市単独事業 690,400円)

内 容	令和5年度	令和6年度
路面標示等	延長 700m	延長 747m

[指標]

指標名：自転車通行空間整備進捗率  
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (令和3年度～12年度)



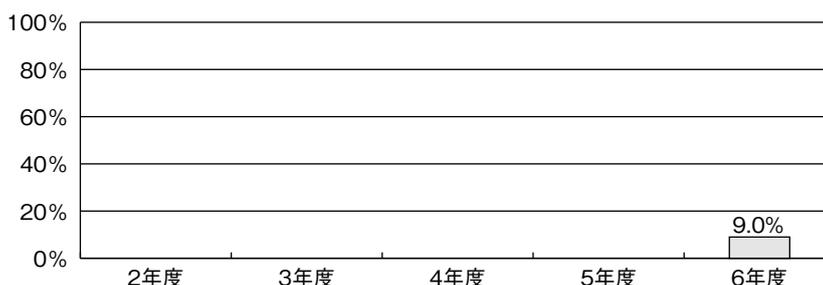
※指標算出方法の見直しにより再計算

- (2) 石巻萩平町68号線ほか整備事業費 19,754,900円  
(県費補助事業 19,340,000円 市単独事業 414,900円)

	令和5年度	令和6年度
道路改良	—	詳細設計 延長 71m

[指標]

指標名：石巻萩平町68号線ほか整備事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (令和6年度～)



2 交通安全施設維持改良事業費 329,839,972 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 202,731,100 円

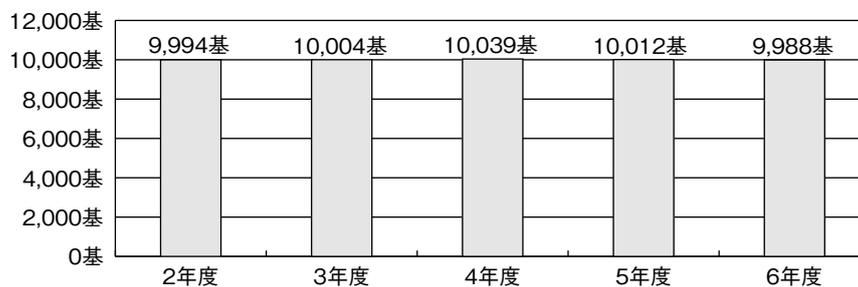
内 容	令和5年度	令和6年度
道路照明柱建替	76基	59基
交差点等安全カラー標示	4か所	6か所
防護柵設置	延長 222m	延長 230m
道路反射鏡設置	65基	58基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 53,598m	延長 44,098m

(2) 交通安全施設維持事業費 127,108,872 円

道路付属物塗裝修繕	令和5年度	令和6年度
	11基	11基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,172,067,268	100,009,500	385,900,000	34,123,165	652,034,603
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	418,272,073	0	138,600,000	0	279,672,073

1 河川水路等維持管理事業費 418,272,073円 (河川課)

[総括]

河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

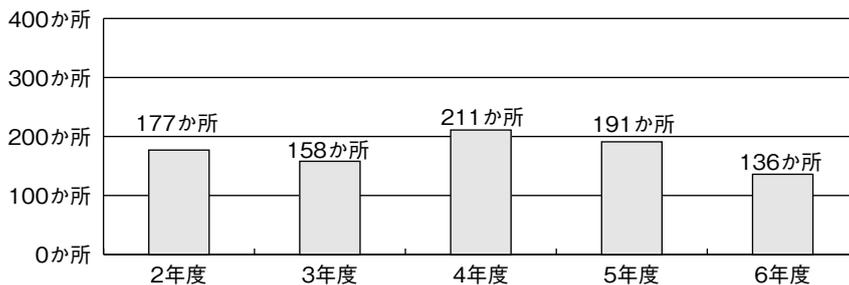
(1) 維持整備事業費 418,272,073円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	補 修	53か所		42か所
除 草	69	27,686㎡	55	22,231㎡
浚 渫	69	7,260㎡	39	7,135㎡

[指 標]

指 標 名：維持整備箇所数(総数)

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	581,397,197	100,009,500	247,300,000	26,191,199	207,896,498

1 河川施設等維持管理事業費 322,723,518 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 50,024,100 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 137,868,925 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 6,709,022 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 128,121,471 円

2 河川水路等改良事業費 250,242,120 円 (河川課)

[総括]

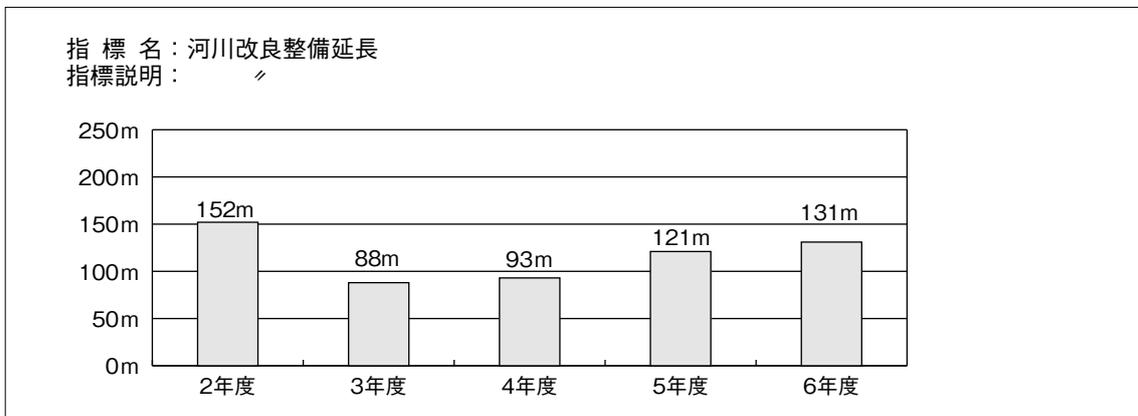
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 88,916,994 円

河 川 改 良	令和5年度		令和6年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		121m		131m

[指 標]

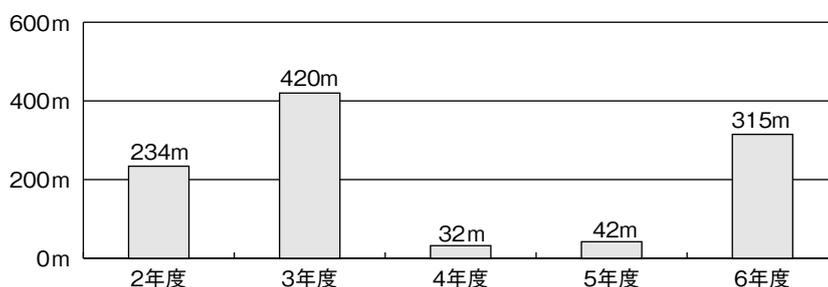


- (2) 水路改良事業費 161,325,126 円

水 路 改 良	令和5年度		令和6年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		42m		315m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長  
 指標説明： //



3 土砂災害対策事業費 8,431,559 円（河川課）

[総 括]

がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事等を実施した。  
 今後も計画的な事業進捗に努めていく。

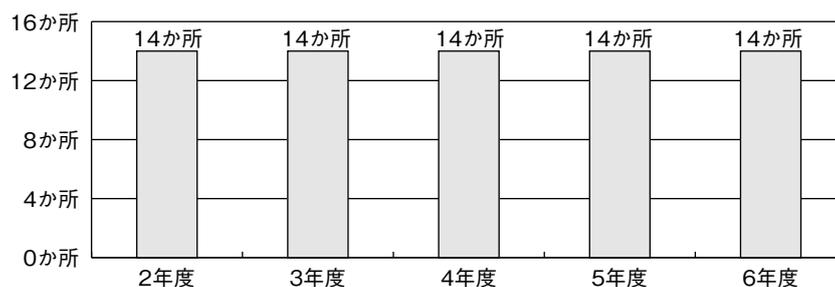
[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 7,486,159 円

事業主体	区分 地区名	令和5年度		令和6年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	45,759,226円	4,575,922円	74,545,126円	7,454,512円
愛知県	大崎町地下	5,610,000	561,000	316,470	31,647

[指 標]

指 標 名：急傾斜地崩壊防止施工箇所数(累積)  
 指標説明： //



(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 945,400 円

作成地区数	令和5年度	令和6年度
	—	32地区

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,770,445,145	486,403,092	481,400,000	380,970,812	421,671,241
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	993,699	0	0	0	993,699

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 993,699円 (建築指導課)

[総括]

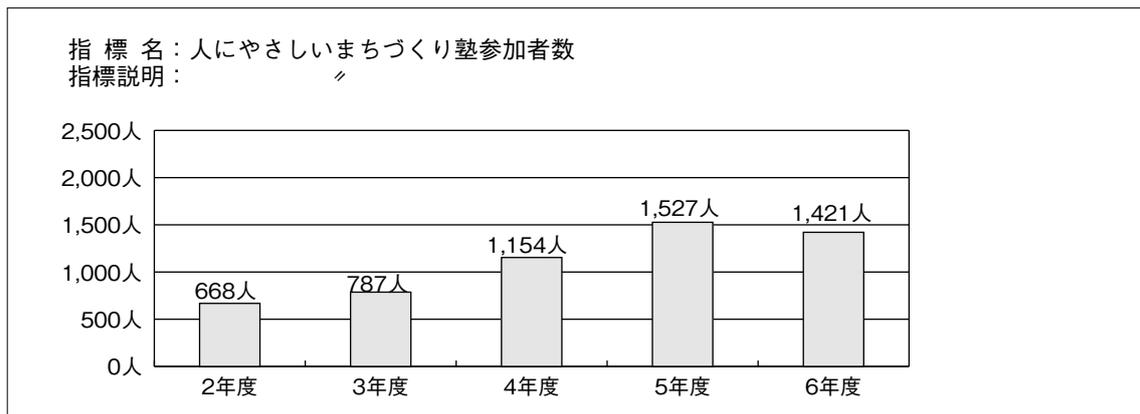
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校等で開催した。令和6年度は参加者の多い中学校での実施がなかったため、「人にやさしいまちづくり塾」の開催回数及び参加者数が減少した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 993,699円

啓発事業開催回数	令和5年度	令和6年度	比較
		32回	30回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,305,739,533	468,164,000	481,400,000	278,662,376	77,513,157

1 住宅維持管理事業費 368,848,255 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため、計画的な工事・修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 347,716,065 円

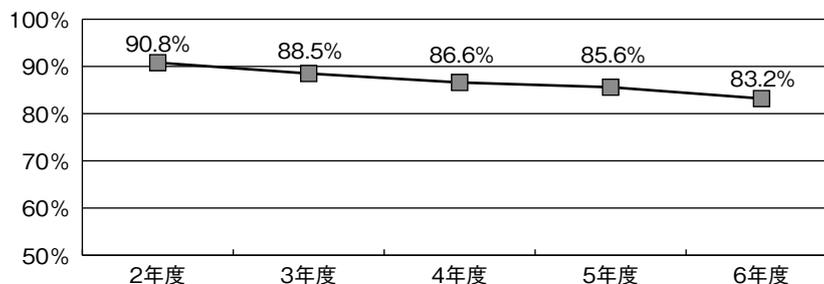
住宅管理戸数 (年度末)	令和 5 年度	令和 6 年度
		3,822戸

(2) 住宅維持補修事業費 21,132,190 円

工 事 内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
屋 根 防 水	向山	向山
外 壁 改 修	オノ神	—
浴 室 改 修	オノ神	オノ神
遊 具 改 修	空池、向山	—
手 す り 設 置	空池	中野

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率  
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

933,742,040 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替事業に係る建設工事（第3期）に着手した。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

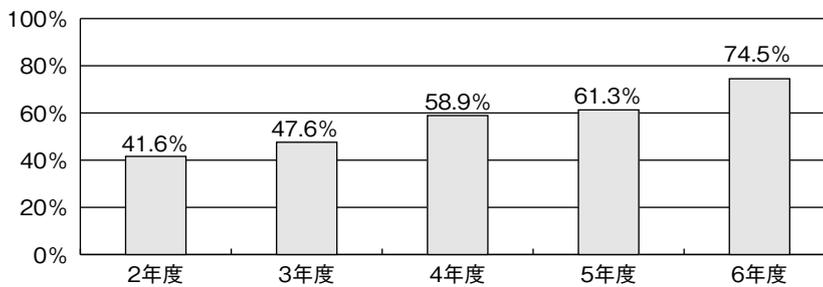
933,742,040 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	アスベスト調査 実施設計 解体工事（第3期）	電波障害調査（西口住宅3号棟） アスベスト調査（西口母子住宅） 移転補償（西口母子住宅） 建設工事（第3期）

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和9年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 <空家対策の推進>	9,618,767	5,550,000	0	0	4,068,767

1 空家対策推進事業費 9,618,767円 (建築物安全推進課)

[総括]

「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家の解体を促進するとともに、空家対策専門アドバイザーが対応するオンライン相談窓口の開設や、管理不全空家の認定、財産清算人の申し立てを行った。今後も、空家の所有者への助言・指導や倒壊危険空家の解体支援を行うとともに、オンライン相談窓口や財産清算人制度の活用により空家問題の解決を図っていく。

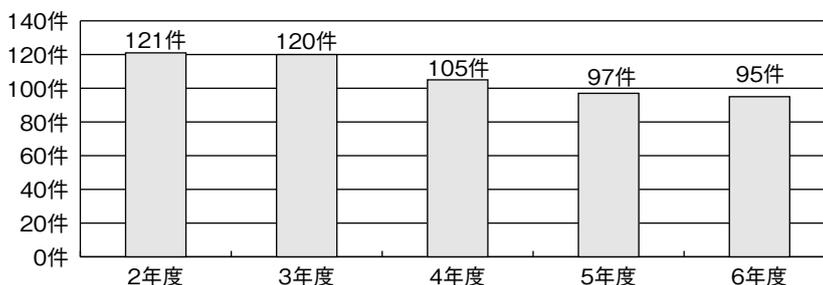
[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 9,618,767円

区 分	令和5年度	令和6年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	5件	4件	54件
空家利活用改修費補助金補助件数	0	0	8
空家解体促進費補助金補助件数	32	10	293

[指 標]

指 標 名：管理が不適切な空家等の件数  
 指標説明：〃



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	26,539,045	7,999,200	0	0	18,539,845

1 建築指導事務費 26,539,045円 (建築指導課)

[総括]

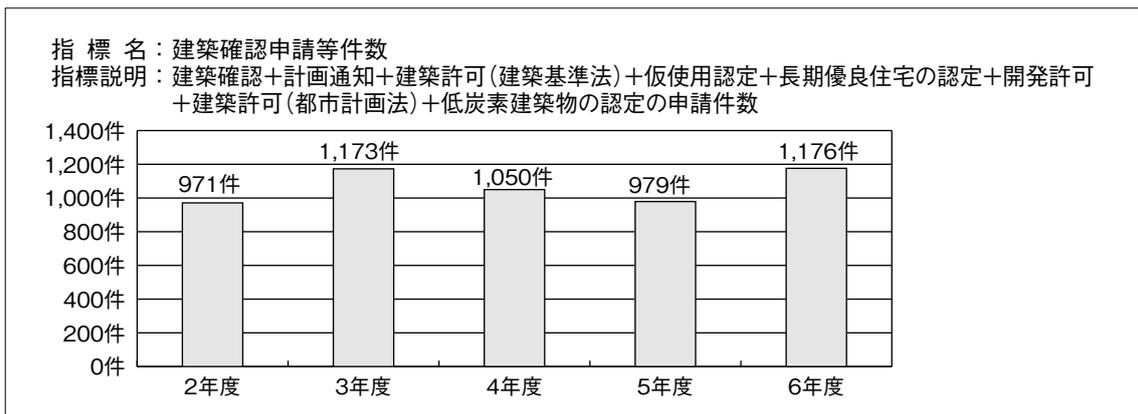
建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着しており、令和5年度と比較し減少した。一方、より性能が高いものとして認定される長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は令和7年4月1日施行の建築基準法改正を前に、申請件数が増加した。また、都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、5年度と比較し件数が減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 26,539,045円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和5年度	令和6年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	16件	7件	△56.3%
	計 画 通 知	18	13	△27.8
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	19	15	△21.1
	仮使用認定申請	3	3	0.0
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	712	913	28.2
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	12	10	△16.7
	建 築 許 可 申 請	181	201	11.0
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	18	14	△22.2

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	150,591,488	143,000	0	33,846,483	116,602,005
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	93,018,857	143,000	0	33,800	92,842,057

1 港湾関連対策事業費 34,857,351 円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動を行うとともに、三河港ポートセミナー及び三河港の未来を語るシンポジウムを開催し三河港のPR及び利用促進を呼びかけた。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。さらに、5年ぶりに海外ポートセールスを行い、韓国の船社及び自動車メーカーに対しトップセールスを行った。

令和6年の完成輸入自動車の取扱量は、平成5年以来32年連続で金額・台数ともに日本一となった。また、令和6年度のコンテナ取扱量は、コロナ禍から若干回復した前年に比べ、6%減の23,862TEUであった。

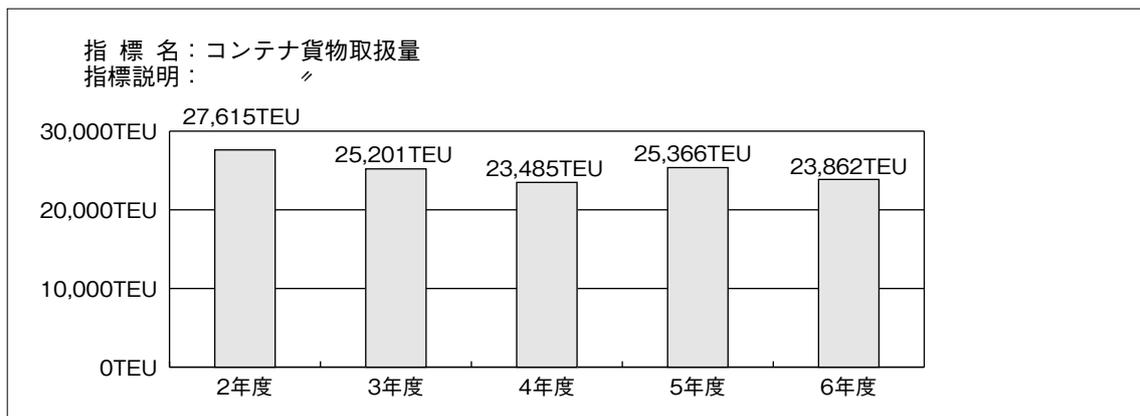
今後は、企業用地の確保や臨港地区における渋滞の解消など、三河港の物流機能の向上に向けた要望活動を行うとともに、コンテナ取扱量の増加に向けたインセンティブ制度の拡充や新たな取扱貨物の創貨に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 13,257,351 円  
(2) 三河港振興会負担金 21,600,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	11,000,000	8,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	13,000,000	13,000,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	57,572,631	0	0	33,812,683	23,759,948

1 みなとにぎわい創出事業費 240,458円 (みなと振興課)

[総括]

港の重要性や必要性を理解してもらい、港に親しみを持ってもらえる機会を提供する場として、ポートインフォメーションセンターを拠点に、臨海部周辺の企業等と連携したイベントを実施している。令和6年度は、工場見学ツアーの定員を大幅に増やしたことなどから、イベント参加者が令和5年度を大きく上回った。

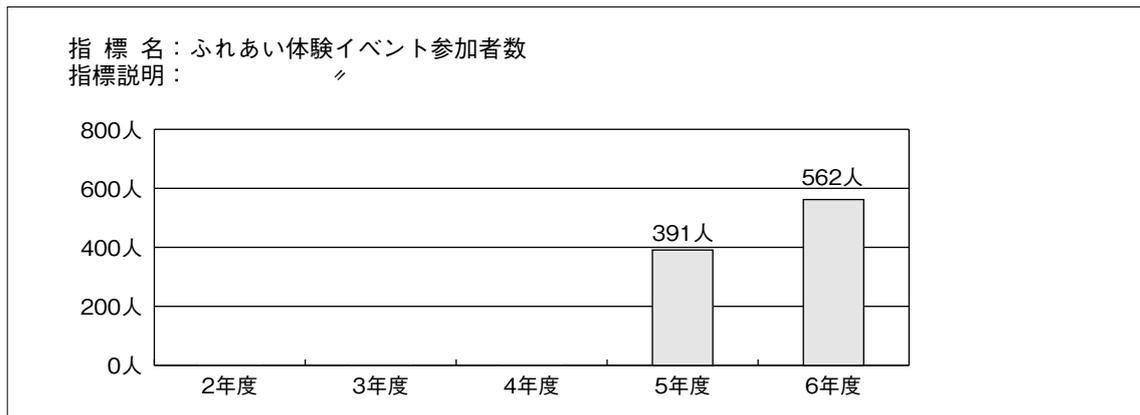
今後も引き続き、工場見学先の入れ替え等工夫をしながら、幅広い企業と連携し、市民が港への理解を深める機会の創出を図っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 240,458円

内 容	令和5年度	令和6年度
関係団体数	9団体	9団体
イベント参加者数	391人	562人

[指標]



※令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症予防のため中止

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 51,932,173円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、親しみを持ってもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和6年度の来館者数は、小学生を中心とした団体の来館が増えたことなどにより、4.2%増の21,527人となった。今後も館内での情報発信を強化することで、人々が港への理解を深める機会の創出を図っていく。

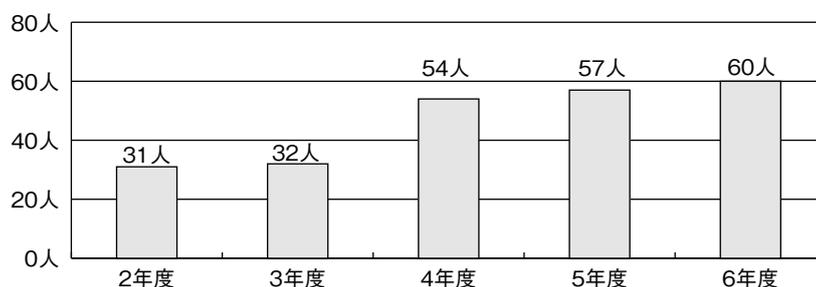
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 51,932,173円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	360日	359日	△ 0.3%
利 用 者 数	延 20,661人	延 21,527人	4.2

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費 5,400,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。令和6年度は熱中症対策のため初の夕方開催とし、比較的過ごしやすい気候の中、会場には多くの来場者が訪れた。

今後も、引き続き暑さ対策を講じつつ、港湾関連団体や臨海部立地企業の協力を得ながら、港の重要性について理解を深める場を提供していく。

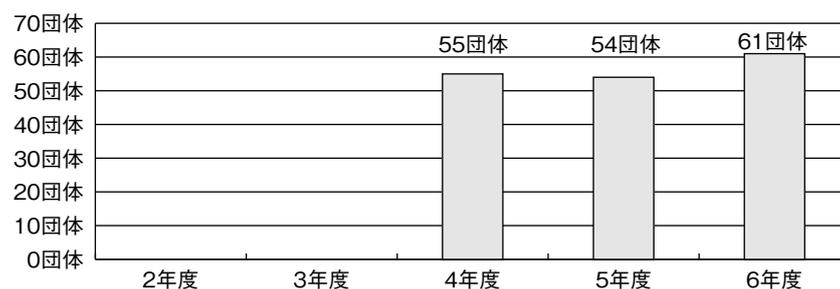
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 5,400,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	5,400,000円	5,400,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数  
 指標説明：〃



※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	3,795,211,344	501,122,050	247,300,000	50,564,758	2,996,224,536
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	1,094,453,488	228,026,000	229,000,000	15,895,933	621,531,555

1 公園施設維持管理事業費 894,409,635 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 553 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

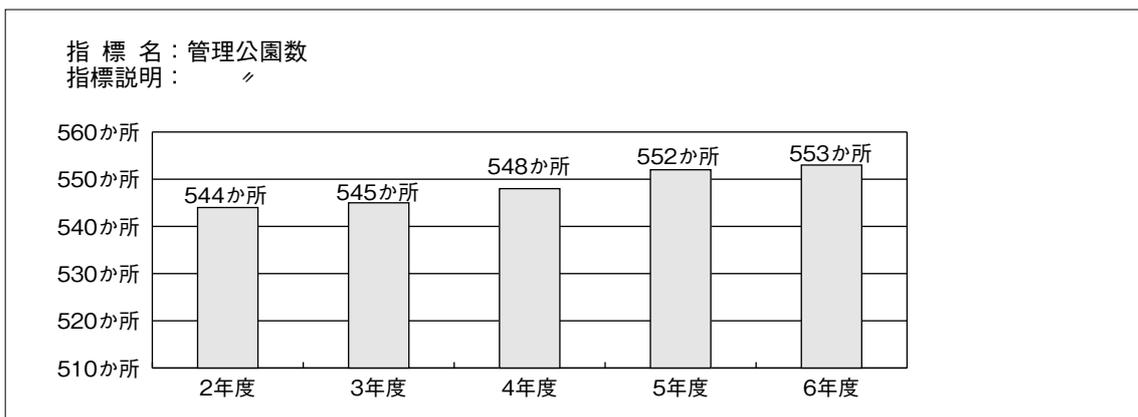
(1) 公園維持管理事業費 422,541,502 円

除草清掃・施設管理委託等	令和5年度	令和6年度
		高師緑地始め552か所

(2) 公園修繕事業費 471,868,133 円  
(国庫補助事業 403,560,000 円 市単独事業 68,308,133 円)

内 容	令和5年度	令和6年度
照 明 灯 修 繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊 具 補 修	下五井町ちびっこ広場ほか	御園遊園ほか
諸施設及び塗装修繕等	高師緑地ほか	豊橋公園ほか
外 柵 修 繕	小池公園ほか	豊岡公園ほか
照 明 灯 更 新	五反田公園ほか	東田公園ほか
遊 具 更 新	老津公園ほか	岩鼻公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費

64,590,540 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、牛川洗島第一公園の整備を行った。また、岩屋緑地西側広場および野依台上藤ヶ谷公園の再整備を進めた。今後も地域のニーズに応じた公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

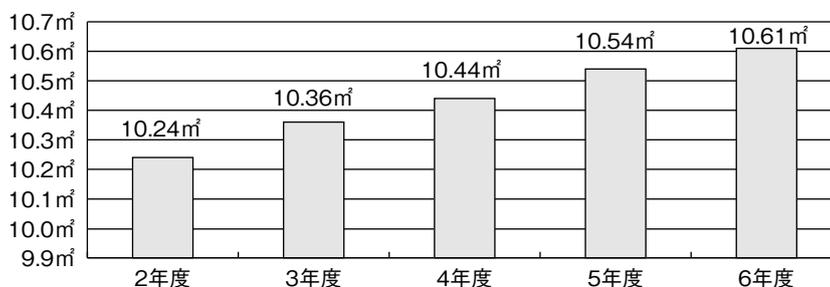
(1) 街区公園等整備事業費 64,548,000 円

(国庫補助事業 36,400,000 円 県費補助事業 18,000,000 円 市単独事業 10,148,000 円)

公園名	令和5年度	令和6年度
	三ツ山公園ほか 遊具広場整備等	牛川洗島第一公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積  
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	450,429,759	21,480,000	0	6,986,000	421,963,759

1 緑化維持管理事業費 394,637,982 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 230,278,510 円

路 線 名	令和5年度	令和6年度
		平川本町・多米東町7号線始め280路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 150,863,872 円

公 園 名	令和5年度	令和6年度
		高師緑地ほか

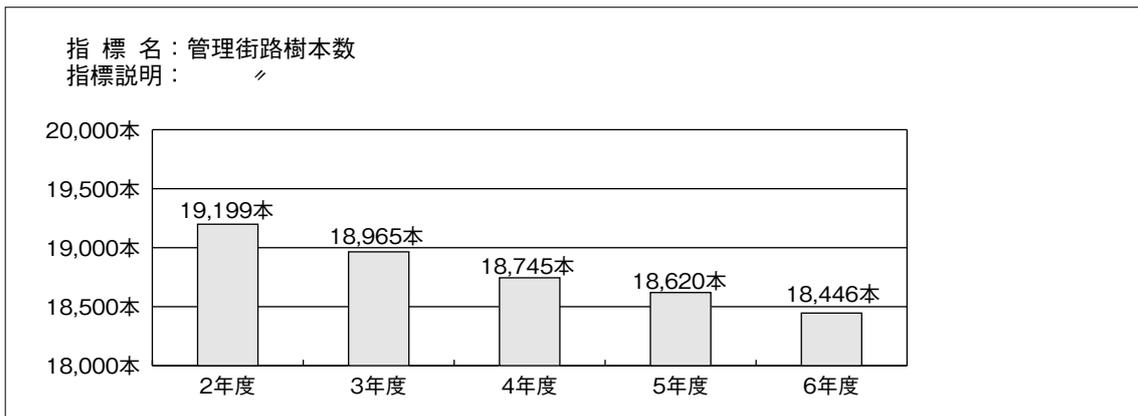
(3) 街路樹等維持補修事業費 8,762,600 円

路 線 名	令和5年度	令和6年度
		松葉町6号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 4,733,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 21,516,120 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜守講座等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 20,129,340 円

(県費補助事業 20,129,340 円)

内 容	令和5年度	令和6年度
	牛川通41号線 高木植栽 ハナミズキ 16本	牛川通41号線 高木植栽 ハナミズキ 11本

(2) 公園樹等緑化推進事業費 901,840 円

(県費補助事業 891,000 円 市単独事業 10,840 円)

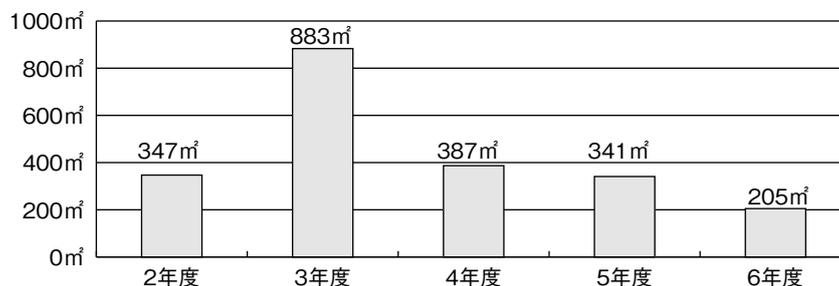
内 容	令和5年度	令和6年度
	向山緑地 高木植栽 サクラ 5本	向山緑地 高木植栽 サクラ 5本

(3) 民有地緑化推進事業補助金 473,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	3件 178.8㎡	1件 52.1㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積  
 指標説明：  
 //



3 公園等維持管理事業費

32,996,170 円（公園緑地課）

[総括]

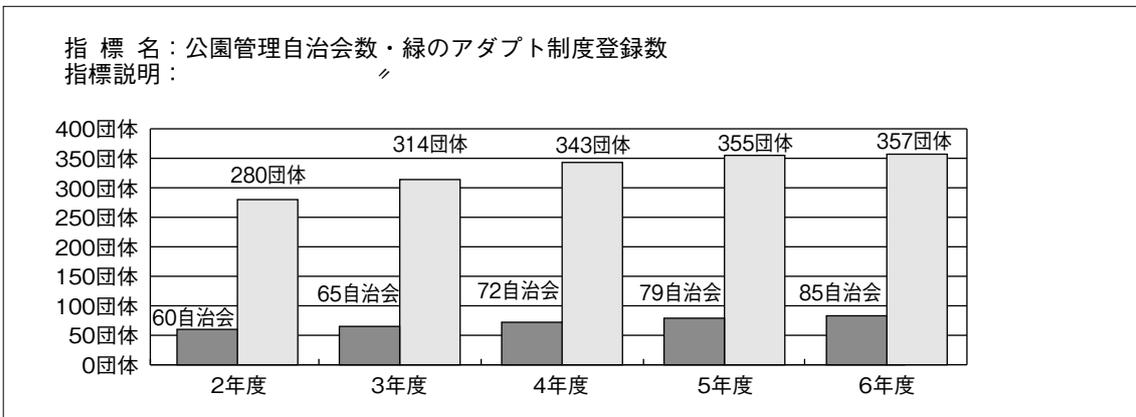
市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費 32,996,170 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
公園管理自治会数	79自治会	85自治会
緑のアダプト制度登録数	355団体	357団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ公園整備費	186,836,100	5,593,000	18,300,000	0	162,943,100

1 総合スポーツ公園整備事業費 186,836,100円 (公園緑地課)

[総括]

豊橋総合スポーツ公園B地区への野球場整備に向け、基本設計をはじめ、物件調査及び測量調査を行った。

[実績及び成果]

(1) 総合スポーツ公園整備事業費 186,836,100円

内 容	令和5年度	令和6年度
		現況測量調査

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	106,874,695	6,679,000	0	0	100,195,695

1 まとまりのある都市構造推進事業費 106,874,695 円 (都市計画課)

[総括]

「豊橋市立地適正化計画」に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行うとともに、市街化調整区域において既存集落の地域コミュニティの維持に向け、まちづくりワークショップを実施した。また、まちづくりにおけるDXの推進のため、3D都市モデルを整備し、オープンデータ化するとともに、活用を進めた。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 28,441,830 円

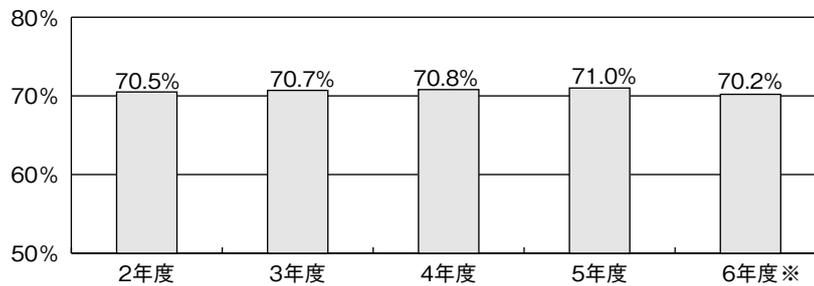
内 容	令和5年度		令和6年度	
	豊橋市立地適正化計画の評価・検証、改定 3D都市モデルの整備・オープンデータ化・活用			市街化調整区域まちづくりワークショップの実施 3D都市モデルの整備・オープンデータ化・活用

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 78,228,000 円

補 助 金	令和5年度		令和6年度	
		615件	72,532,000円	694件

[指標]

指標名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合  
指標説明：〃



※令和5年10月1日付け「豊橋市立地適正化計画」の改定により歩いて暮らせるまち区域が変更となったため、変更後の区域で再算定した数値を記載（変更前の区域で算定した割合71.1%）

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	297,654,251	199,965,000	0	1,192,721	96,496,530

1 再開発推進事業費 323,852 円 (まちなか活性課)

[総括]

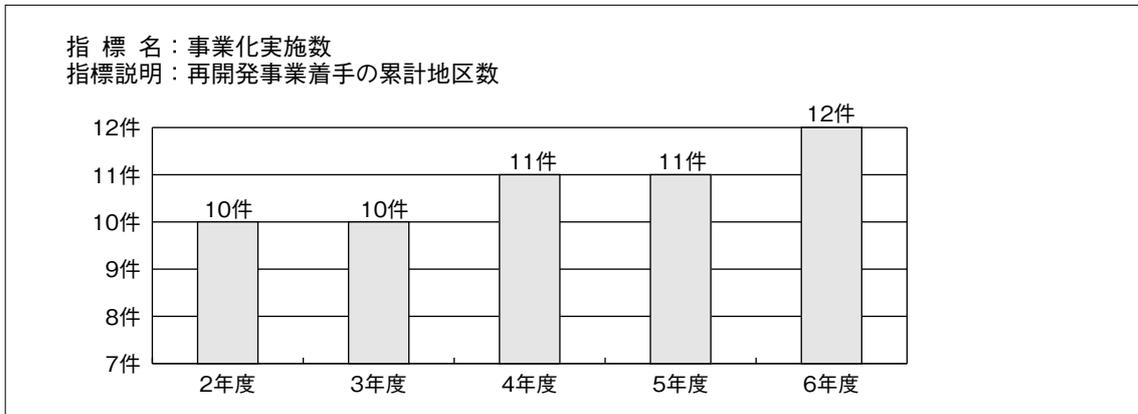
豊橋広小路一丁目北地区第一種市街地再開発事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業において、施行者に対する指導・助言を行った。また、豊橋東口駅前地区において、再開発を推進するための協議会に助言を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 323,852 円

事業費	令和5年度	令和6年度
		298,828円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 269,827,000 円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、豊橋広小路一丁目北地区第一種市街地再開発事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業の施行者に対して助成を行った。また、再開発事業の検討が進められている豊橋東口駅前地区においてコーディネート委託業務を行い、施行者の初動期の活動を支援した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋広小路一丁目北地区第一種市街地再開発事業費 191,600,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		—

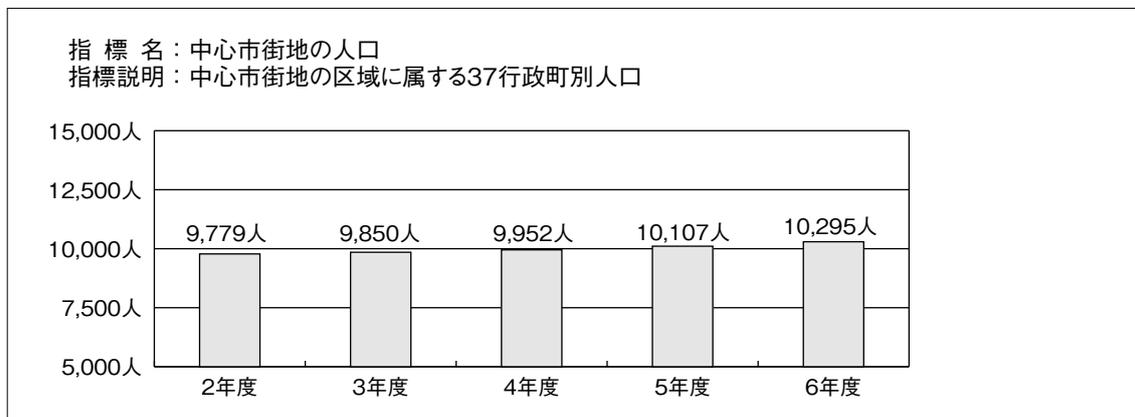
(2) 豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業費 71,200,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
		建築工事等

(3) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 7,027,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	豊橋広小路一丁目北地区 コーディネート委託業務	

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 6,186,741 円（まちなか活性課）

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前広場の再整備に向けた関係者へのヒアリング調査や事業手法の調査検討を行った。また、駅前大通りを居心地が良く、歩いて楽しい通りとするため、豊橋まちなか未来会議と連携して、滞留空間や緑の空間の創出、沿道の店舗・企業による植栽の維持管理体制の構築などを目的とした実証実験を行った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 112,745 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化に向けた関係者との調整等	

(2) 居心地が良く歩きたくなる空間形成事業費 6,073,996 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	歩道空間を活用した実証実験の実施及び基本計画の作成	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,130,541 円（まちなか活性課）

[総 括]

「中心市街地活性化基本計画」の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

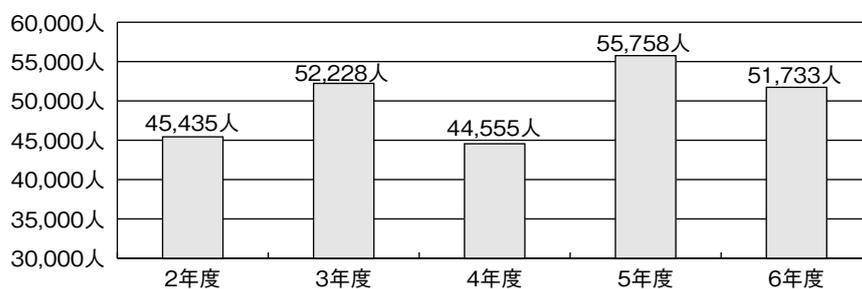
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,130,541 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	中心市街地通行量調査	

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量  
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 7,219,313 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 7,219,313 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	植栽管理・清掃委託等	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよ景観の形成>	4,809,082	0	0	1,596,376	3,212,706

1 まちづくり景観推進事業費 4,809,082円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」に沿って、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為等に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,540,706円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物の指定 2件			景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物の指定 1件 景観重要樹木の指定 1

(2) まちづくり景観形成助成金 1,672,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 1,672,000円

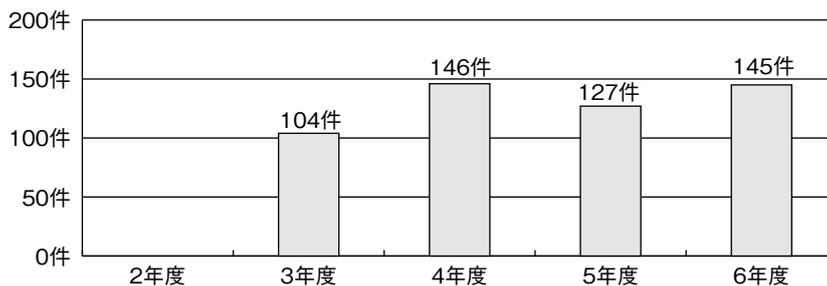
助 成 金	令和5年度		令和6年度	
		3件	515,000円	4件

(3) 屋外広告物対策事業費 1,596,376円

区 分	令和5年度	令和6年度
許 可 件 数	1,939件	1,976件
違反広告物撤去件数	14	14

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	275,029,192	39,100,000	0	4,813,327	231,115,865

1 公共交通活性化事業費 44,545,271 円 (都市交通課)

[総括]

「豊橋市都市交通計画 2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、高齢者や子育て世帯等も利用しやすいユニバーサルデザインタクシー導入への補助や路線バスの交通系 IC カード導入に対し助成したほか、路線バス等運転士確保支援事業を行った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、利便性の高い公共交通ネットワークの形成によるまとまりのある暮らしやすいまちづくりを進める。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 44,545,271 円

(ア) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 1,050,000 円

導 入 台 数	令和 5 年度	令和 6 年度
		8台

(イ) 都市交通計画策定事業費 14,753,860 円

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
		—

(ウ) モビリティマネジメント推進費等 7,077,360 円

[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
説明会参加者数	4人	25人
採用者数	2	10

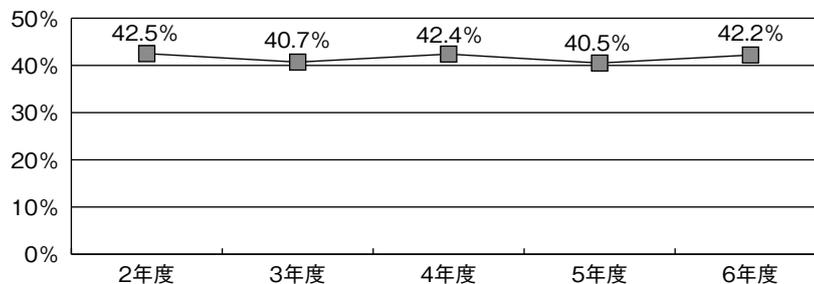
(エ) 交通系 IC カード導入支援事業費補助金 21,664,051 円

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
		運賃箱、運賃表示器等の取付

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費 226,077,043 円（都市交通課）

[総括]

市民生活の重要な移動手段である公共交通を維持・確保するため、鉄軌道事業者の施設改修や路線バスの運行に対し支援を行ったほか、地域住民が主体のコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。また、市境地域の移動手段を確保するため、湖西市・株式会社デンソーと連携し、企業シャトルバスを活用した実証実験を実施した。そのほか、慢性的な運転士不足への対応の1つとして、自動運転バスの社会実装に向けた実証走行を行った。今後も公共交通の安全・安心な運行の維持・確保を支援するとともに、利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 226,077,043 円

(ア) 市内線単路部軌道敷改修事業費補助金 18,948,223 円

実施箇所	令和5年度	令和6年度
	単路部（東田～競輪場前間）	

(イ) 鉄軌道施設安全対策事業費補助金 35,090,536 円

補助金	令和5年度	令和6年度
	1事業者 55,232,995円	1事業者 35,090,536円

(ウ) バス運行対策費補助金 93,386,000 円

補助路線数	令和5年度	令和6年度
	12路線	12路線

(エ) 企業シャトル BaaS 実証実験事業負担金 279,000 円

延べ利用者数	令和5年度	令和6年度
	229人	468人

※令和5年度は豊橋市のみの延べ利用者数

(オ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 36,648,262 円

本格運行地区	令和5年度	令和6年度
	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区

(カ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 1,628,005 円

運営団体数	令和5年度	令和6年度
	7団体	7団体

(キ) 公共交通利用促進費等 5,023,248 円

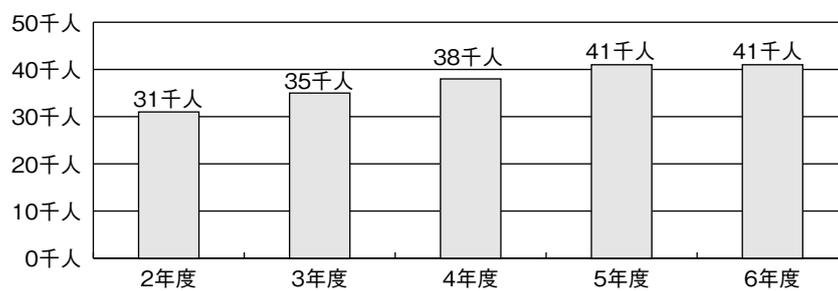
(ク) 自動運転社会実装推進事業費 35,024,000 円

実施箇所	令和5年度	令和6年度
	—	豊橋駅周辺

[指 標]

指 標 名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	776,307	279,050	0	0	497,257

1 自転車活用推進事業費 776,307円 (都市交通課)

[総括]

日常的な自転車利用を促進するための取組みとして、デジタルサイクリングマップを活用したサイクリングイベントを実施した。今後も市民や関係団体と連携・協働し、自転車の利用環境の整備や意識啓発を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 776,307円

(ア) 自転車活用環境整備事業費 648,100円

イベント参加人数	令和5年度	令和6年度
		25人

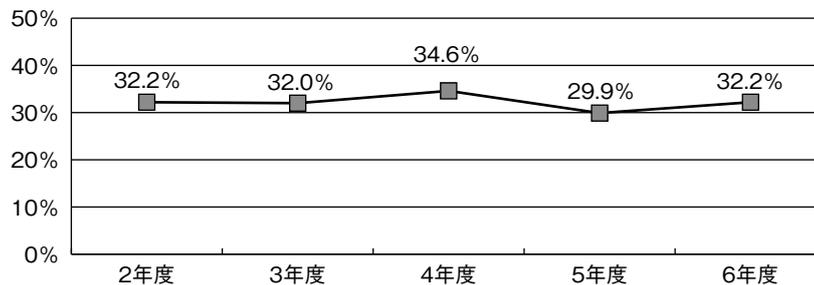
(イ) 自転車活用推進費 128,207円

内 容	令和5年度	令和6年度
		自転車活用推進委員会等の開催

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区 画 整 理 費	976,467,031	192,792,000	361,700,000	15,697,200	406,277,831
2目 市 街 地 整 備 費 <まとまりのあるまちの形成>	820,806,164	192,792,000	361,700,000	15,670,000	250,644,164

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 30,499,164 円 (区画整理課)

[総 括]

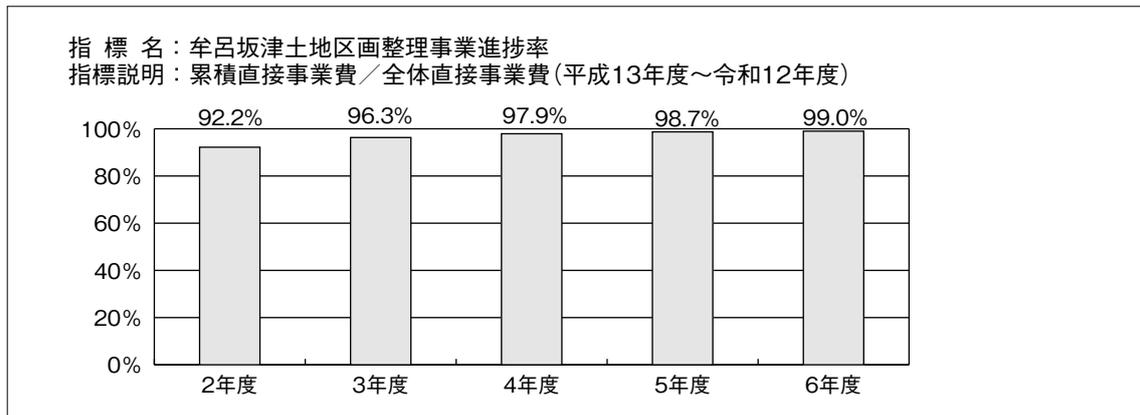
令和7年度の換地処分に向け、換地計画図書を作成し、権利者を対象とした換地計画に関する個別説明会を開催した。今後も権利者の理解を得ながら、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 30,499,164 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	換地計画図書の作成 公共施設引継図書の作成	

[指 標]



2 組合土地区画整理推進事業費 785,016,000 円 (区画整理課)

[総 括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し支援等を行うとともに、補助金を支出した。また、牛川西部及び柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して支援等を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 384,844,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 381,454,000 円

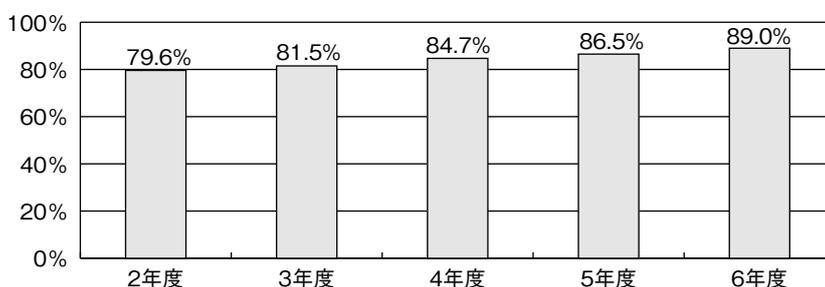
補 助 金	令和5年度	令和6年度
		267,061,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 3,390,000 円

負 担 金	令和5年度	令和6年度
		2,888,000円

[指 標]

指 標 名：牛川西部土地区画整理事業進捗率  
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～令和16年度)



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 400,172,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 396,922,000 円

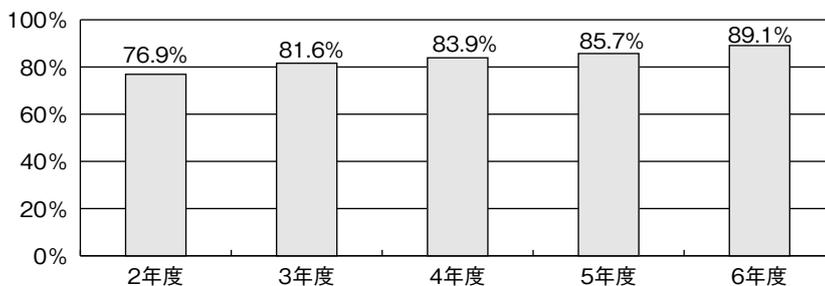
補 助 金	令和 5 年度	令和 6 年度
	308,647,000円	396,922,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 3,250,000 円

負 担 金	令和 5 年度	令和 6 年度
	85,492,500円	3,250,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率  
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和11年度)



3 長期未着手区画整理区域におけるまちづくり推進事業費 5,291,000 円（区画整理課）

[総括]

長期未着手となっている区画整理区域において、都市基盤施設に関する課題解消に向けた取組みについて、地域住民と勉強会を開催し検討を行った。今後も地域住民とともに、新たなまちづくりの検討を行う。

[実績及び成果]

(1) 長期未着手区画整理区域におけるまちづくり推進事業費 5,291,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	基礎調査	

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,777,216,460	26,744,892	282,000,000	135,313,805	3,333,157,763
1 項 消 防 費	3,777,216,460	26,744,892	282,000,000	135,313,805	3,333,157,763
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	780,680,171	12,762,892	269,100,000	102,305,626	396,511,653

1 消防署所施設管理事業費 287,196,318 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、建設後 50 年を経過する南消防署大清水出張所の大規模改修工事を実施し、建物や設備の機能回復のほか、仮眠室の個室化や女性職員が勤務可能となる施設の整備など職場環境の向上にも努めた。

今後も、計画的な施設保全に努めるとともに、必要に応じた機能強化を行うことで、消防体制の充実を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 消防署所施設管理事業費 287,196,318 円  
 (ア) 南消防署大清水出張所大規模改修工事 235,206,400 円  
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 235,206,400 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	933.10㎡

2 通信指令事業費 94,277,929 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害の軽減を図るとともに、救急事案における緊急度判定基準に基づく口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図った。また、119 番通報及び災害出動指令の安定稼働を図るため、老朽化した消防通信指令システムの更新に着手した。

今後も、的確な出動指令により、市民の生命、身体及び財産を守るため、東三河各市消防本部と連携し通信指令体制の強化を図っていく。

[実績及び成果]

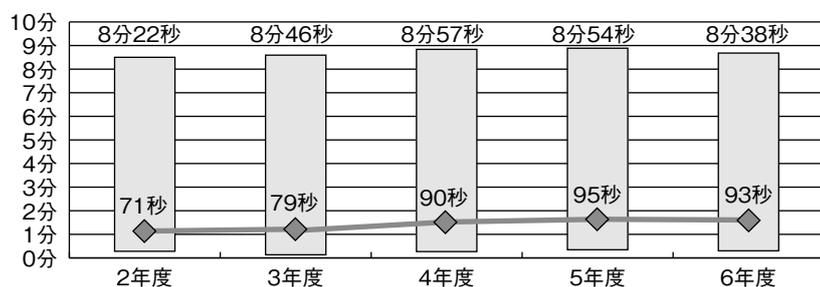
- (1) 通信指令事業費 94,277,929 円

[受信内訳]

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	24,681件	24,478件	△ 0.8%
固 定 電 話	5,160	4,717	△ 8.6
携 帯 電 話	14,644	14,668	0.2
I P 電 話	4,877	5,093	4.4

[指標]

指標名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)  
 指標説明：所要時間/件数



※折れ線部分は受信から指令までに要した時間(平均)

3 警防活動費 17,046,578 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各市消防本部や警察等の関係機関とも連携し、大規模火災を想定した訓練等を実施するなど、災害対応力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

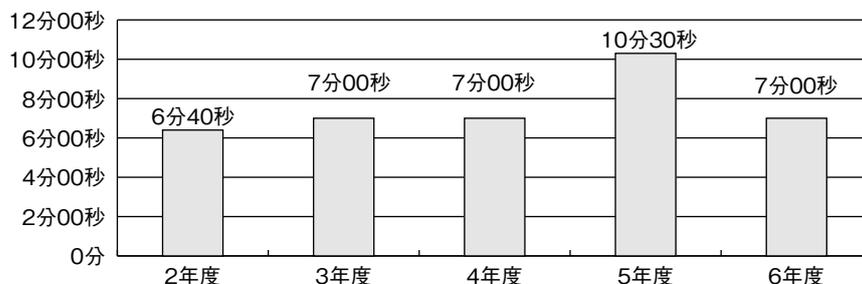
(1) 警防活動費 17,046,578 円

[火災発生状況]

区分	令和5年度	令和6年度	比較
出火件数	97件	116件	19.6%
り災棟数	62棟	92棟	48.4
り災世帯	28世帯	47世帯	67.9
り災人員	58人	119人	2.1倍
焼損面積(建物)	1,144㎡	4,245㎡	3.7
損害額	138,649千円	255,151千円	84.0%

[指標]

指標名：火災出動から放水開始までの時間(市街地の木造一般住宅火災)(平均)  
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

144,875,460 円 ((消) 総務課)

[総括]

前年度に策定した「豊橋市消防団ビジョン」を推進し、将来を見据えた組織の適正化を行うことで、持続可能な消防団組織の構築を図るとともに、消防団員募集ポスターの作成や SNS を活用した情報発信など、消防団 P R 事業を行い消防団員の確保に努めた。

また、消防団員の安全確保のための装備品を充実させるとともに、教育訓練の充実を行い、さらなる地域防災力の向上を図った。

今後も、市民の期待に応え続ける持続可能な消防団組織の構築と、地域防災力の向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 136,877,260 円

[災害・警戒出動、訓練・式典等の参加人数]

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
災 害 ・ 警 戒 出 動	2,016人	2,432人	20.6%
訓 練 ・ 式 典 等	4,091	3,780	△ 7.6

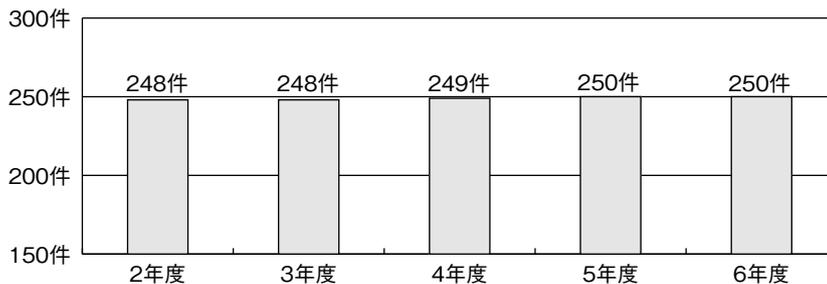
(2) 消防団交付金 7,998,200 円

[交付金内訳]

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,701,200	6,510,200
計	8,189,200	7,998,200

[指 標]

指 標 名 : 「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数  
 指標説明 :



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	76,192,759	13,982,000	12,900,000	5,045,046	44,265,713

1 救急事業費 69,841,636 円 (消防救急課)

[総括]

救急救命士や各種資格者の養成を進めたほか、増え続ける救急需要に迅速に対応していくため、2隊目の日勤救急隊となる「機動日勤救急隊」の運用を開始するとともに、救急需要予測システムを活用し、救急車の最適配置に取り組み、救急救命体制の強化を図った。応急手当の普及啓発については、各種応急手当講習の定員数の拡大や各種団体、事業所等への講習開催に係る積極的な啓発活動を行い、受講者数は過去最高値となった。今後も救急高度化や応急手当の普及啓発などに努め、救急救命体制の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 68,922,980 円

研修派遣内訳		令和5年度	令和6年度
救 急 救 命 士	救 急 救 命 士 養 成	1人	2人
	包 括 運 用 教 育 講 習	3	5
	気 管 挿 管 運 用 試 験	2	2
	薬 剤 投 与 運 用 試 験	3	4
	処 置 範 囲 拡 大 追 加 講 習	5	3
救 急 隊 員 資 格 取 得		9	11

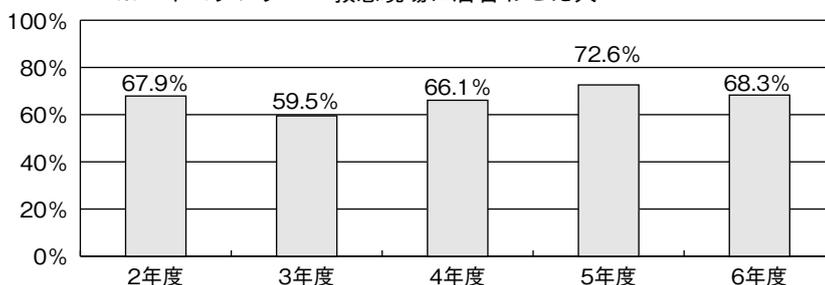
救急発生状況内訳		令和5年度	令和6年度	比 較
急	病	12,702件	12,920件	1.7%
一	般 負 傷	2,444	2,363	△ 3.3
交	通 事 故	1,045	1,119	7.1
労	働 災 害	161	183	13.7
運	動 競 技	140	178	27.1
加	害	31	36	16.1
そ	の 他	1,910	1,929	1.0
計		18,433	18,728	1.6

(2) 応急手当普及啓発事業費 918,656 円

救命講習内訳		令和5年度	令和6年度	比 較
応	急 手 当 指 導 員	51人	46人	△ 9.8%
応	急 手 当 普 及 員	61	67	9.8
普	通 救 命	2,435	2,499	2.6
上	級 救 命	69	84	21.7
そ	の 他 講 習	469	1,646	3.5倍
救	命 入 門 コ ー ス	8,353	10,659	27.6%
計		11,438	15,001	31.2

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)  
 指標説明：一般市民が目撃した心原性心肺停止の傷病者に対し応急処置を実施したバイスタンダーの割合  
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 6,351,123 円 (消防救急課)

[総 括]

豪雨災害及び津波被害に対応するため、2台目となる水上オートバイの運用を開始するとともに、水難救助活動における装備品を充実させ水難救助体制の強化を図った。

また、蒲郡市土砂災害及び奥能登豪雨へ災害派遣し、救助活動に努めた。今後は、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実を図っていく。

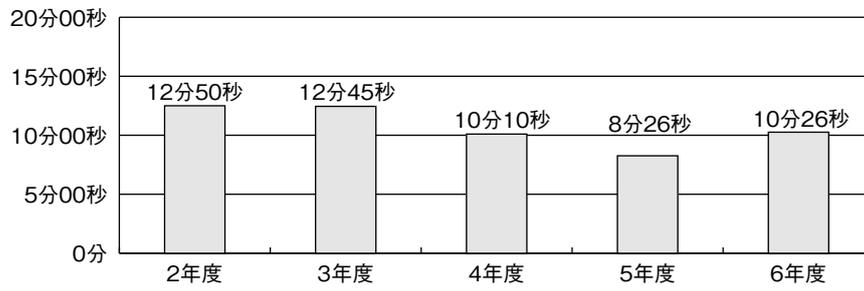
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 6,351,123 円

救助発生状況内訳		令和5年度	令和6年度	比 較
火 災	建 物 火 災	34件	41件	20.6%
	建 物 火 災 以 外	6	8	33.3
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	53	56	5.7
	水 難 事 故	3	15	5倍
	自 然 災 害	26	0	皆減
	機 械 に よ る 事 故	5	2	△60.0%
	建 物 等 に よ る 事 故	97	119	22.7
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	4	1	△75.0
	破 裂 事 故	0	0	0.0
そ の 他 の 事 故	104	145	39.4	
計		332	387	16.6

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)  
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	10,253,298	0	0	751,937	9,501,361

1 火災予防対策事業費 10,253,298 円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や高齢者防火教室において啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、小学校や事業所などへ火災予防対策に関する出前講座を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き、住宅火災や火災による高齢者の人的被害の低減を図るため、火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 火災予防啓発事業費 5,231,798 円

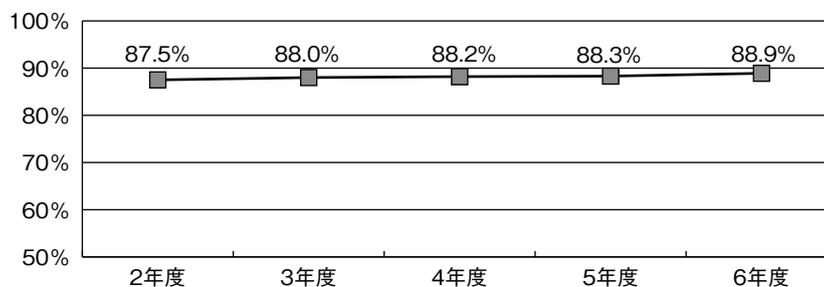
啓 発 区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	5回	7回	40.0%
講 習 会	9	16	77.8
老人クラブ防火教室等	11	14	27.3
女性防火クラブ研修等	12	8	△33.3
少年消防クラブ防火教室等	24	27	12.5

(2) 街頭消火器設置費等補助金 5,021,500 円

補 助 内 訳	令和5年度	令和6年度	比 較
消 火 器 更 新	783本	898本	14.7%
収 納 箱 更 新	97か所	83か所	△14.4
薬 剤 更 新	3本	2本	△33.3
消 火 器 新 規 設 置	18か所	16か所	△11.1
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	8本	12本	50.0
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	12	8	△33.3

[指 標]

指 標 名：住宅用火災警報器設置率  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	17,620,781,947	1,691,100,618	2,946,900,000	1,650,350,294	11,332,431,035
1項 教 育 総 務 費	3,929,766,610	218,144,359	396,300,000	128,503,229	3,186,819,022
3目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	904,870,729	25,332,000	0	19,494,171	860,044,558

1 教育諸活動支援事業費 139,404,913 円 (学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語ることができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 4,620,780 円

区 分		令和5年度	令和6年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日	10.21~10.22	10.19~10.20
	補助金	3,584,008円	3,571,579円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	11.1~11.30	11.1~11.28
	来場者数	11,586人	13,603人
	補助金	699,670円	699,600円
小柴記念賞補助金	応募点数	2,042点	1,903点
	補助金	349,906円	349,601円

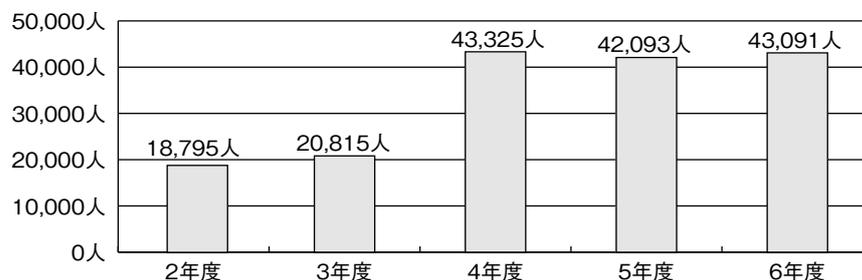
(2) 教育活動支援事業費 134,784,133 円

区 分	令和5年度	令和6年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 64人	支援員 66人
体育的部活動支援事業費	10,334,247円	10,609,013円
学校体育連盟補助金	1団体 8,020,707	1団体 8,607,271
中学校東海・全国大会出場補助金	17校(150人) 2,313,540	15校(99人) 2,001,742
文化的活動支援事業費	46 4,473,855	44 5,537,258
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 81人 400,000	クラブ員 72人 400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒1,710 3,002,250	参加児童生徒1,680 4,018,300
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 10 2,357,440	部活動指導者 13 2,209,698

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数＋子どものための科学展来場者数＋小柴記念賞応募点数  
 ＋市内体育大会参加児童生徒数＋中学校東海・全国大会出場者数＋文化的部活動の大会参加児童生徒数  
 ＋豊橋少年少女発明クラブ員数＋文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,245,310 円（学校教育課）

[総括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

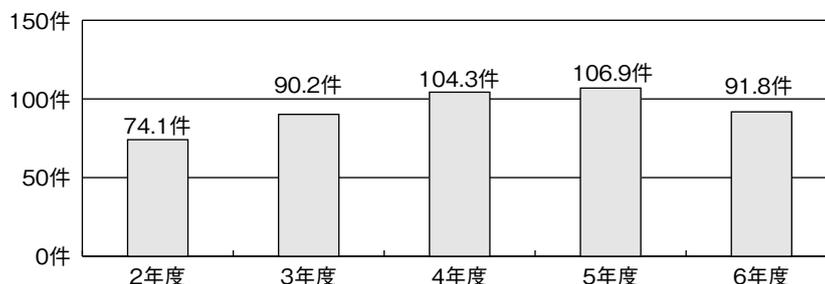
3,206,190 円

区 分	令和5年度	令和6年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回 夏季生徒会研修会 8 1	夏季教員研修会 8月 1回
進 路 指 導	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布

[指標]

指標名：1校当たりのいじめ、暴力行為等の認知件数

指標説明：いじめ、暴力行為等の認知件数／小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費

30,846,727 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 5,801,767 円

学校貸出冊数	令和5年度	令和6年度
	8,879冊	8,343冊

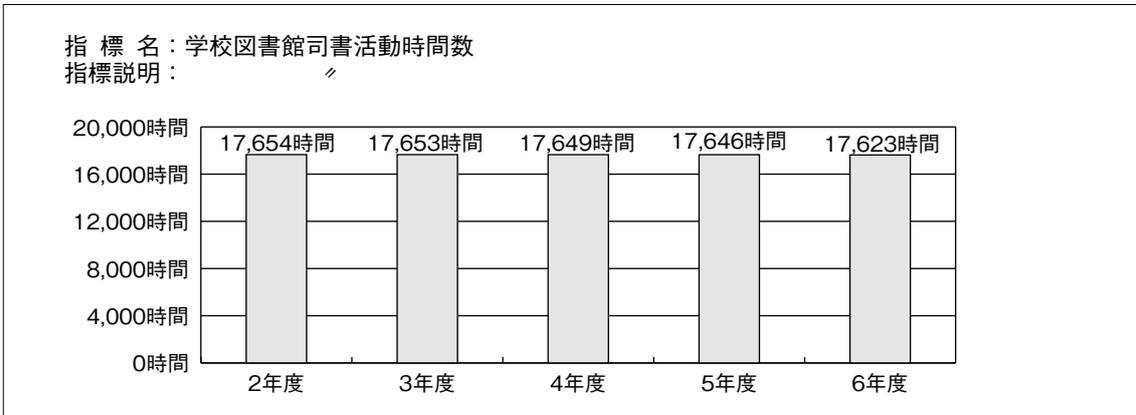
(2) 学校図書館活動推進事業費 24,892,889 円

司書配置	令和5年度	令和6年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 152,071 円

図書購入	令和5年度	令和6年度
	66冊	115冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費

11,774,821 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活用したより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスをを行った。

[実績及び成果]

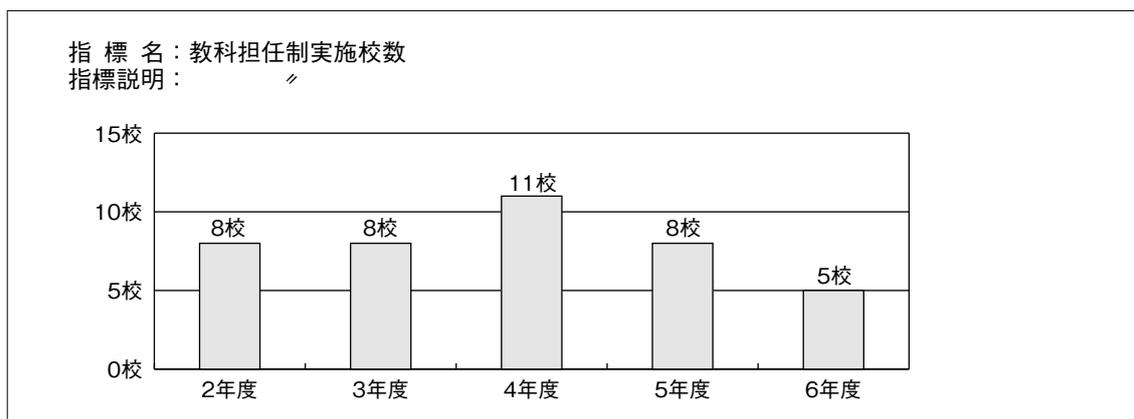
(1) 学力向上支援事業費 11,137,781 円

教科担任の非常勤講師人数	令和5年度	令和6年度
	5人	4人

(2) 体力向上支援事業費 637,040 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	スポーツトレーナーを小学校(22校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(23校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 282,928 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

子どもたちの「生きる力」を育むため、幼児期から高等学校までの校種を越えたつながりを意識した教育活動ができるよう、小中一貫教育や小中高特連携教育、幼児期教育を推進した。

令和6年度は、新たに2校区で小中一貫教育を導入し、ねらいやめざす子ども像を共有し、それを達成するための手法を小中学校で考えることで、子どもたちが話し合いに積極的に参加したり、考えたことを実践したりするなどの力が育まれ、各中学校区で特色のある教育活動を行うことができた。今後も校種を越えた教育活動と連携を推進する。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 282,928 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和5年度	令和6年度
	6校	8校

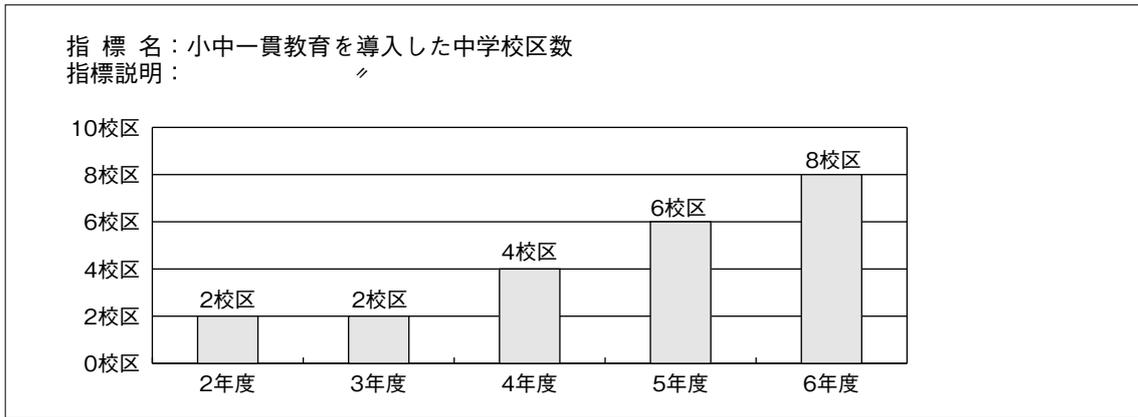
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和5年度	令和6年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(5回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(4回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(5回) 理科学教育分科会(5回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(4回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和5年度	令和6年度
	幼年期教育「園参観と語る会」開催 幼年期教育「学習会」開催 幼年期だよりの発行（4回） 幼年期教育の手引きダイジェスト版の発行（1回） 年長児就学先調査の実施	幼年期教育「園参観と語る会」開催 幼年期教育「学習会」開催 幼年期だよりの発行（4回） 「幼保小の連携に向けた取り組み」の集約・配布 年長児就学先調査の実施

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 155,513,867 円（学校教育課）

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント（SA）や外国人英語指導員（ALT）を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イメージ教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 155,513,867 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和5年度		令和6年度	
	74校	25人	74校	25人

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和5年度		令和6年度	
	52校	延 4,676時間	52校	延 4,652時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和5年度		令和6年度	
	2日間	230人	2日間	191人

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和5年度		令和6年度	
		3日間	31人	3日間

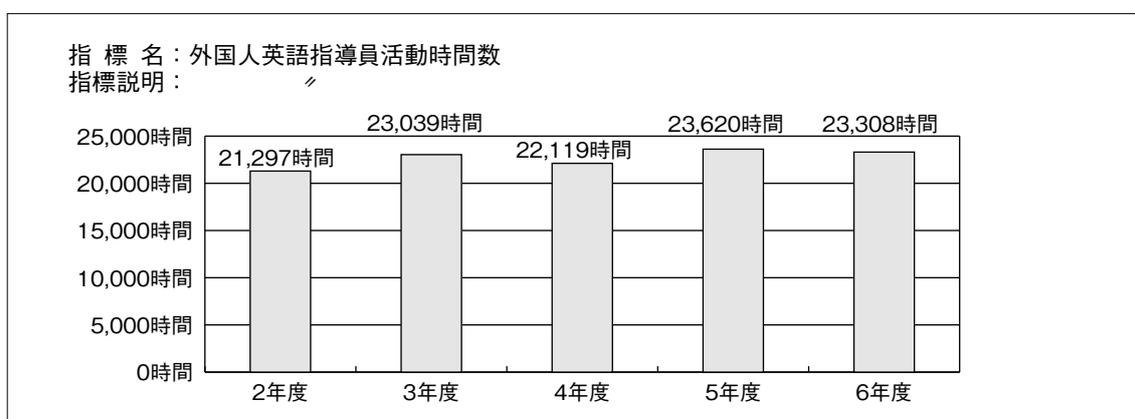
(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和5年度		令和6年度	
		2日間	103人	2日間

(カ) イマージョン教育推進費

内 容	令和5年度		令和6年度	
		1校	167人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 261,984,443 円 (学校教育課)

[総 括]

タブレットを活用した多様な学習活動を実施するため、「GIGA サポートセンター」のICT支援員による学習支援を行った。また、オンラインの出前講座を実施し、延べ8,849人の子どもたちがオンライン授業に参加した。さらに、「とよはし版GIGAスクール」を推進するため、ネットワーク環境の改善を行い、タブレットを活用した多様な学習活動を実施できる環境を整えた。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

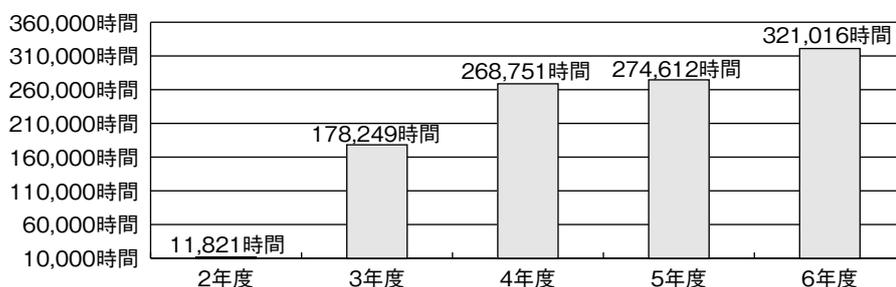
(1) コンピュータ活用事業費 261,984,443 円

(ア) 小・中学校コンピュータ活用事業費 261,984,443 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	学習用コンピュータ・タブレット費(小)	24,777台	173,922,998円	24,777台
学習用コンピュータ・タブレット費(中)	11,295	59,874,471	11,295	46,792,545
コンピュータネットワークシステム費		71,960,010		66,122,556
学校図書館管理用コンピュータ費(小)	52台	6,061,332	52台	6,061,332
学校図書館管理用コンピュータ費(中)	22	2,516,028	22	2,516,028
GIGAサポートセンター運営費	2人	11,161,720	2人	16,922,570

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数  
 指標説明：〃



8 体育施設等有効活用事業費 93,630,770 円（教育政策課）

[総 括]

児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、小学校水泳授業の民間プール等活用モデル事業を拡大し、インストラクターと教員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。児童、保護者、教員それぞれの評価も高いため、今後は学級数をさらに拡大して本格的に事業を実施していく。

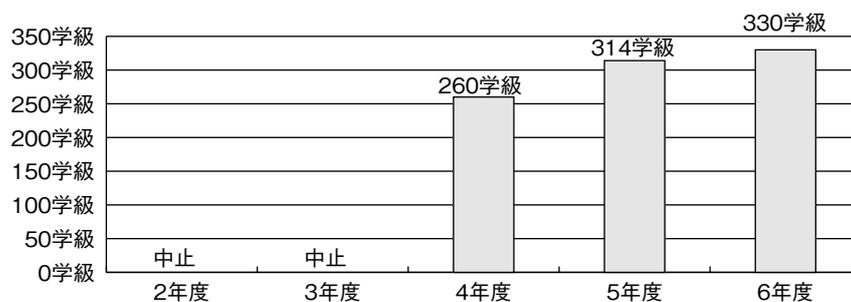
[実績及び成果]

(1) 民間プール等活用モデル事業費 93,630,770 円

実施学校数(学級数)	令和5年度	令和6年度
	20校(314学級)	20校(330学級)

[指 標]

指 標 名：民間プール施設等活用学級数  
 指標説明：民間プール施設等で水泳授業を実施する学級数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 <教育環境の充実>	346,009,363	99,454,372	0	25,162,650	221,392,341

1 私学振興事業費 38,169,280円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立高等学校等に通う生徒の就学を支援するため、国、県の授業料に対する支援に市独自に上乗せして補助することで家庭の教育費のさらなる負担軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 8,678,000円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,366人	5,748,000円	3,312人	6,312,000円
外国人学校(2校)	344	2,344,000	366	2,366,000
計	3,710	8,092,000	3,678	8,678,000

(2) 私立高等学校等支援事業費 29,491,280円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 28,116,352円

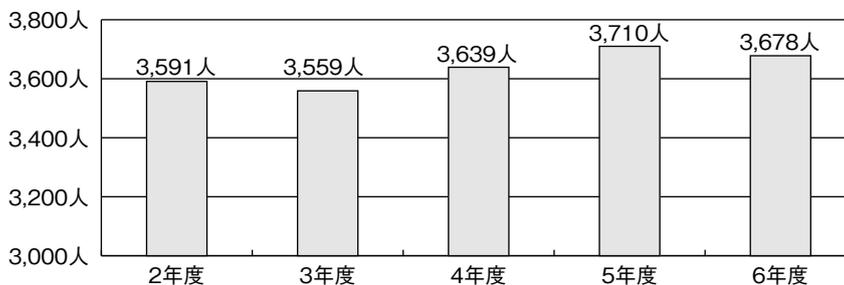
内 容	令和5年度		令和6年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,683人	25,736,980円	1,773人	28,116,352円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 1,170,000円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	43人	786,000円	54人	1,170,000円

[指 標]

指 標 名：私立高等学校、外国人学校在籍者数  
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

12,258,869 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、41 人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

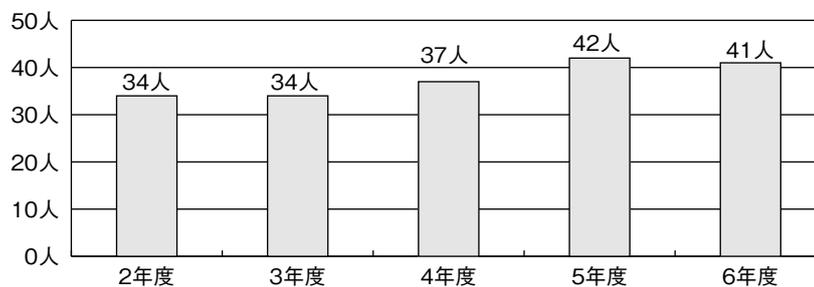
[実績及び成果]

(1) 奨学金給付事業費 12,258,869 円

受給者数	令和5年度	令和6年度
	42人	41人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 教職員研修費 <教職員の力量向上>	100,460,515	0	0	0	100,460,515

1 現職研修事業費 2,996,096円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活用するとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

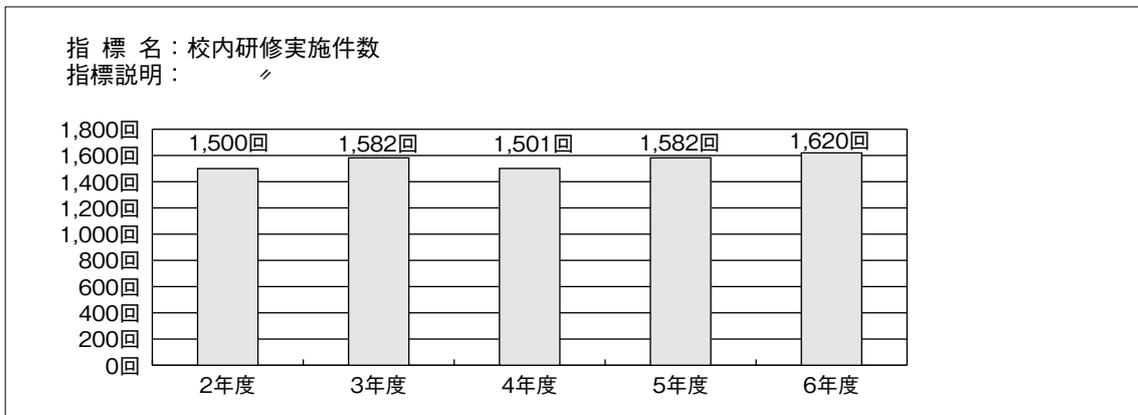
(1) 指定校研究費補助金 1,199,036円

区 分	令和5年度	令和6年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,198,142円	1,199,036円

(2) 現職研修委員会補助金 1,797,060円

区 分	令和5年度	令和6年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	9,067人	9,025人
補 助 金	1,762,633円	1,797,060円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 97,464,419円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新制の発展的解消を受け、効果的な研修体制の構築を目的とし、基本研修・職務研修等の各種研修の内容を充実させ教員の資質の向上を図った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 14,562,329 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	359日	360日	0.3%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 12,658人	延 13,737人	8.5
一 般 施 設 利 用 者 数	延 5,314	延 6,505	22.4
計	延 17,972	延 20,242	12.6

[各種活動]

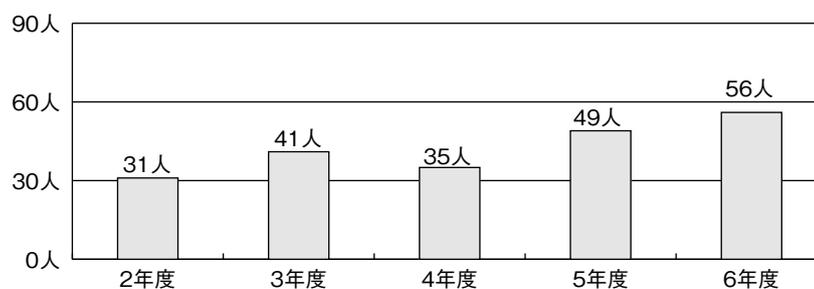
区 分	令和5年度	令和6年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	66時間 参加人員 817人	41時間 参加人員 799人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 451本	映像教材貸出 482本

(2) 教職員研修事業費 5,866,279 円

区 分	令和5年度	令和6年度
基 本 研 修	94回 参加人員 2,364人	96回 参加人員 2,570人
職 務 研 修	61 〃 1,798	65 〃 2,881
課 題 ・ 専 門 研 修	33 〃 3,880	78 〃 4,765
社 会 連 携 研 修	1 〃 66	1 〃 75

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,587,179	14,000	0	0	4,573,179

1 学校づくり推進事業費 4,359,359 円 (学校教育課)

[総括]

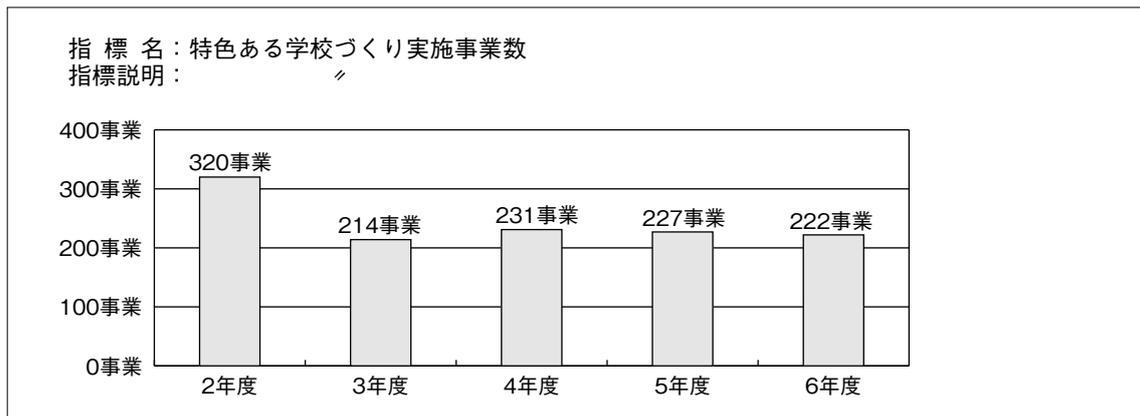
「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある子どもたちを育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。今後も各学校において、環境、福祉、国際、平和などをテーマに地域に根ざした学びを展開し、SDGs、ESD の推進を図るとともに、補助金を活用して特色ある教育活動の充実につなげていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,359,359 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	33校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	4,407,237円	74校	4,354,539円

[指標]



2 コミュニティ・スクール推進事業費 227,820 円 (地域教育推進室)

[総括]

学校・家庭・地域が一体となって学校運営や課題解決に取り組むコミュニティ・スクールを小学校4校で実施し、特色ある学校づくりを行った。今後も、将来を担う子どもたちを地域全体で育む「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

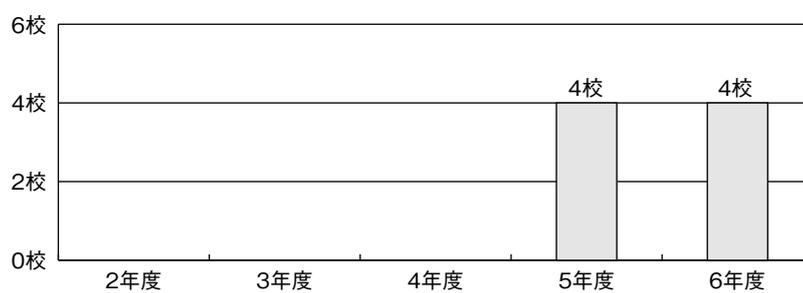
[実績及び成果]

(1) コミュニティ・スクール推進事業費 227,820 円

区 分	令和5年度	令和6年度
コミュニティ・スクール導入校	4校	4校

[指 標]

指 標 名：コミュニティ・スクール導入校  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 <個の特性に寄り添った教育の推進>	283,760,465	48,969,000	0	0	234,791,465

1 教育相談事業費 256,254,551 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒への対応及び学校復帰に向けた支援を行った。さらに、学校へ行きづらさを感じる子どもが安心して活動できる居場所として、令和5年度に市内2か所の中学校に設置した「エールーム」において、市内全小中学校の児童生徒を対象とした支援・受入を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 135,546,267 円

区 分	令和5年度	令和6年度
外国人児童生徒教育相談コーナー	相談件数 2,830件	相談件数 3,190件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	派遣時間 延 4,711時間	派遣時間 延 4,453時間
登録バイリンガルボランティア	〃 延 1,844.5	〃 延 2,159.5

(2) 教育相談活動事業費 51,257,819 円

区 分	令和5年度	令和6年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 4,715件	相談件数 5,216件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 9,381	〃 8,362
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 832	〃 887
心 理 判 定 員	〃 520	〃 553
メンタルフレンド	派遣回数 135回	派遣回数 111回

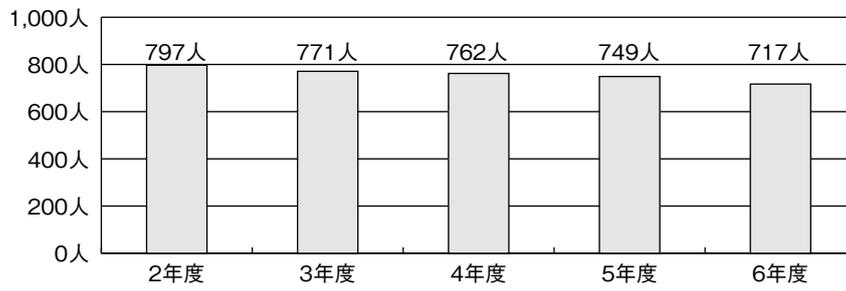
(3) 不登校対策支援事業費 69,450,465 円

区 分	令和5年度	令和6年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 189日 延 4,105人	3か所 189日 延 3,750人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 17	非常勤講師 15
不登校対策推進協議会運営費	担当者学習会 5・9・1月 3回	担当者学習会 5・9・11月 3回
	運営費 25,240円	運営費 26,160円
エールーム活動事業費	2か所 196日～197日 延3,284人	2か所 196日～197日 延4,103人

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 <個の特性に寄り添った教育の推進>	1,479,768,167	44,374,987	396,300,000	52,416,218	986,676,962

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 194,555,681円 (教育政策課)

[総括]

児童生徒一人ひとりの個性を踏まえた指導・支援により可能性を引き出し、たくましく生きる力を育成する教育活動を展開した。就労支援においては、関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、学校内にある農業実習施設での農作業実習や企業等での体験学習など、就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めているほか、校内では、心理カウンセラーを配置し、児童、生徒、保護者の問題解決の手助けを行った。令和6年度に開校10年の節目を迎え、これまで多くの卒業生を送り出すことができた。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 111,854,143円 (5月1日現在)

区 分	令和5年度	令和6年度
学 級 数	54学級	56学級
児 童 ・ 生 徒 数	300人	305人

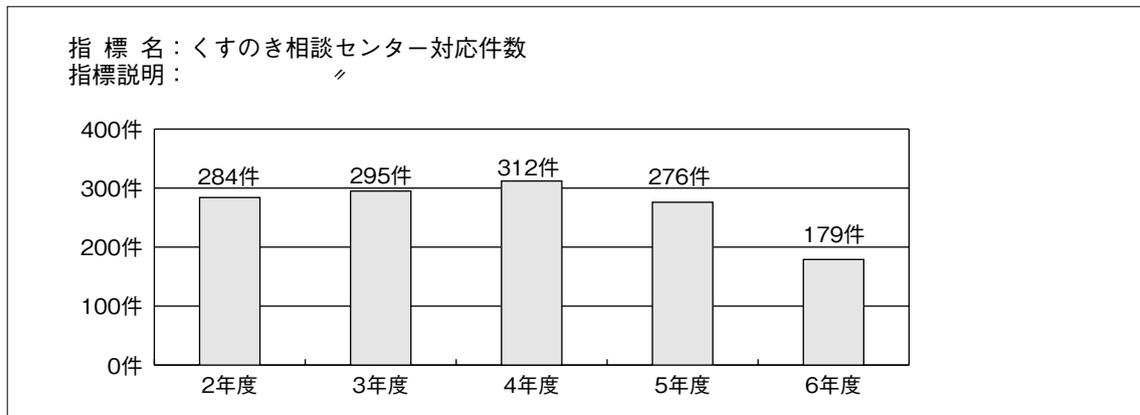
[施設整備]

内 容	令和5年度	令和6年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 71,400,991円

区 分	令和5年度		令和6年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,114冊		2,197冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	132台	8,869,080円	132台	8,869,080円
企業向け学校見学会実施回数	1回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	4		4	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	11		11	

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 137,773,705 円（教育政策課）

〔総括〕

定時制高校として、多様な生徒が学ぶことができる環境づくりを進めた。特にキャリア教育に関しては、地元新聞社とともに、進路説明会を実施し、生徒の進学や就職に対する意識を高めることができた。今後も、ICT 機器等を活用した学習環境の整備に努め、生徒一人ひとりの特性を伸ばし、自ら学ぶ主体性を確立させるなど、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 27,219,462 円 (5月1日現在)

区 分	令和5年度	令和6年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	605人	644人

〔施設整備〕

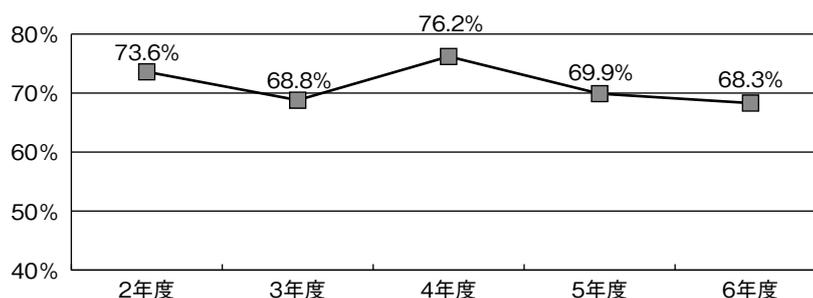
内 容	令和5年度	令和6年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 69,938,035 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	4,646冊		4,741冊	
定時制教育教科書給与費	11人	52,526円	27人	153,560円
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	42台	3,145,560	42台	3,145,560
心理カウンセラー相談開催日数	75日		68日	
キャリア教育実施回数	15回		12回	
外国人生徒教育支援日数	230日		226日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率  
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 市立高等学校整備事業費 1,047,954,315 円（教育政策課）

〔総括〕

豊橋高等学校の生徒が安心して学習できる環境を整備するため、長寿命化改良工事に着手した。

〔実績及び成果〕

- (1) 市立高等学校整備事業費 1,047,954,315 円  
 (ア) 仮設校舎の賃借等 557,857,188 円  
 (イ) 校舎長寿命化改良等工事 490,097,127 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造5階建	4,757㎡	外部・内部改修

4 家政高等専修学校教育推進事業費 99,484,466 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かな支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援を行い、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

- (1) 管理事業費 16,064,824 円 (5月1日現在)

区 分	令和5年度	令和6年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	100人	100人

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	一般補修工事	一般補修工事

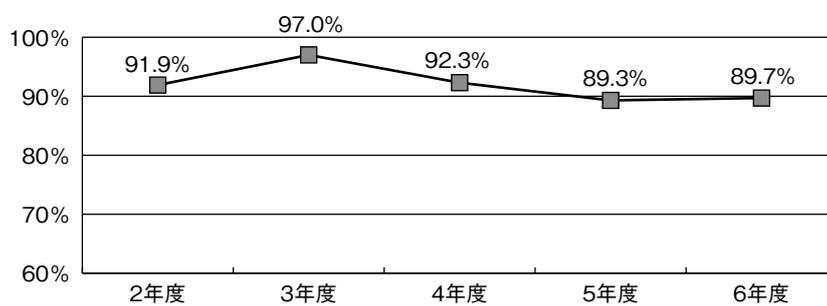
- (2) 教育活動事業費 26,794,004 円

区 分	令和5年度	令和6年度
学校図書館蔵書数	2,776冊	2,809冊
学習用コンピュータ費	41台 2,290,200円	41台 2,290,200円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	13回	13回

[指 標]

指 標 名：家政高等専修学校就職・進学率

指標説明：(就職者数+進学者数)／卒業生徒数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	208,761,417	0	0	24,393,400	184,368,017

1 自然史博物館事業費 150,506,925 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「ティラノサウルス」等の上映、特別企画展では「キセキの結晶 ☆鉱物」の開催のほか、ワークショップ、解説会等の教育普及活動を実施した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 28,241,127 円

区 分	令和5年度	令和6年度
ワークショップ等	85回 参加人員 1,136人	59回 参加人員 1,621人
出前授業等	34 “ 897	25 “ 1,077
大型映像	925 観覧者数 30,868	947 観覧者数 28,592
企 画 展	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 83,437人 4.15～5.14 「汐川干潟のウナギ展」 “ 56,904 5.20～6.25 「第19回自然史博物館自由研究展」 “ 55,598 11.3～11.26 「干支展 竜」 “ 47,233 12.16～1.21	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 121,546人 4.13～6.2 「第20回自然史博物館自由研究展」 “ 64,321 10.26～11.24 「干支展 巳」 “ 50,237 12.14～1.19

(2) 調査研究活動事業費 10,761,599 円

区 分	令和5年度	令和6年度
博物館資料	製作委託 剥製骨格標本製作 1点	剥製骨格標本等製作 14点
	採集・寄贈 1,876点 (総数 589,127点)	5,972点 (総数 595,099点)
研究発表(調査研究)	46件	54件

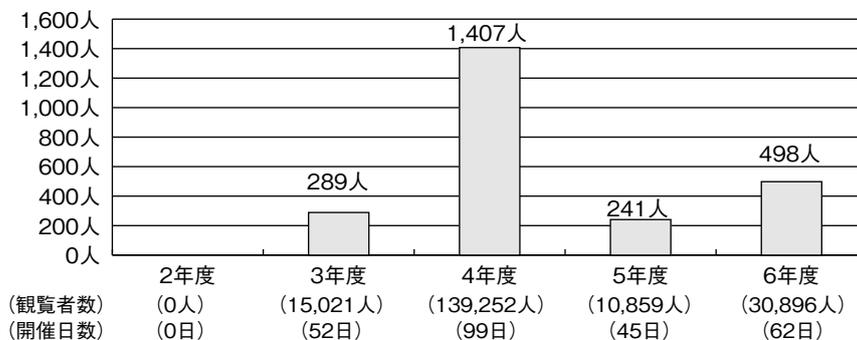
## (3) 特別企画展開催事業費

14,160,548 円

区 分	令和5年度	令和6年度
特 別 企 画 展	「カイジウ博2023-海で暮らす仲間たち-」	「キセキの結晶☆鉱物」
	7.14～9.3	7.12～9.23
	展示数250点 観覧者数 10,859人	展示数594点 観覧者数 30,896人
関 連 行 事	1. 記念講演会①「渥美半島表浜の漂着物」 参加人員 50人 2. 記念講演会②「海岸に打ち上がるくじらからのメッセージ」 〃 74 3. ワークショップ「砂の中から微小貝を探そう」 〃 31 4. ワークショップ「チリモン探し体験」 〃 54 5. ワークショップ「クジラの骨を洗おう」(2回) 〃 20 6. トークショー「ココリコ田中さんと学ぶ!豊橋のくじら～海洋プラスチックから海を守ろう～」 〃 60 7. 「カイジウ博2023」展示解説(10回) 〃 447 8. オンライン授業「カイジウ博2023」 〃 2,783	1. 記念講演会「日本産鉱物の魅力」 参加人員 64人 2. ワークショップ「鉱物結晶模型を作ってみよう」 〃 80 3. ワークショップ「結晶を調べる-岩石プレパラートを作ろう-」 〃 8 4. ワークショップ「小さな鉱物を探してみよう」 〃 17 5. ジオツアー「高級化粧品の本質を探る」 〃 19 6. 解説会「アンカットダイヤモンド～人と出会った奇跡の結晶～」 〃 138 7. 「キセキの結晶☆鉱物」展示解説(6回) 〃 498 8. オンラインスタディ「キセキの結晶☆鉱物」 〃 1,939

## [指 標]

指 標 名：特別企画展 1日当たりの観覧者数  
 指標説明：観覧者数／開催日数



2 自然史博物館施設管理事業費 57,756,039 円（自然史博物館）

〔総括〕

施設保全のため、研究棟の空調の修繕を行った。また、教育普及活動および展示の魅力向上のため、講堂プロジェクターや野外恐竜模型の修繕を行った。

今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費 57,756,039 円

〔利用状況〕

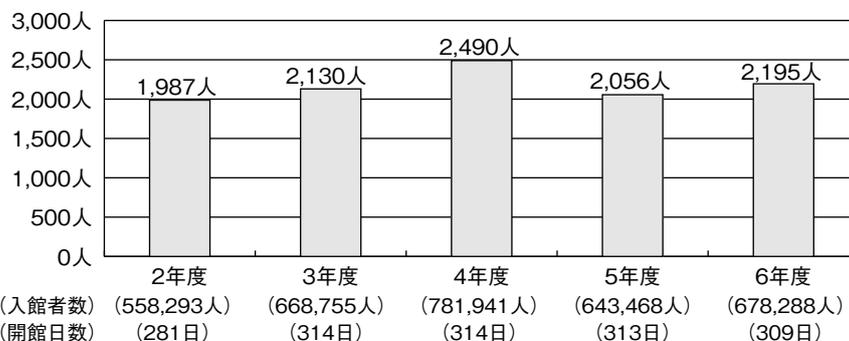
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	313日	309日	△ 1.3%
入 館 者 数	延 643,468人	延 678,288人	5.4

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	特別企画展示室ロビー屋上防水改修工事、古生代展示室照明LED化修繕、中生代展示室パソコン機器等修繕、野外恐竜模型（トリケラトプス・アンキロサウルス）修繕	研究棟空調修繕、講堂プロジェクター取替修繕、野外恐竜模型（メガロサウルス）修繕

〔指標〕

指標名：自然史博物館1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数／開館日数



3 石巻自然科学資料館運営事業費 498,453 円（自然史博物館）

〔総括〕

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

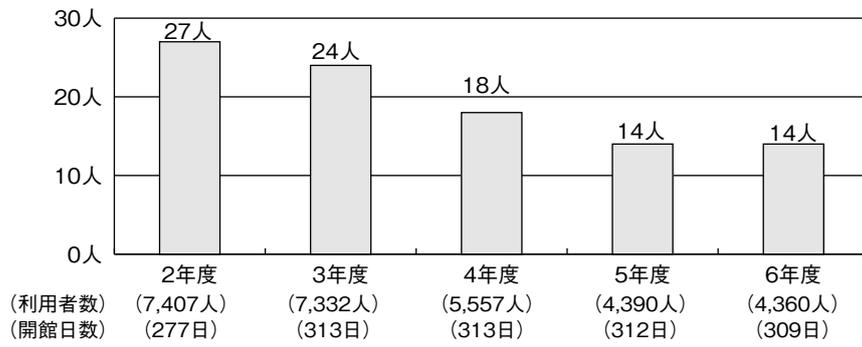
〔実績及び成果〕

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 498,453 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	312日	309日	△ 1.0%
利 用 者 数	延 4,390人	延 4,360人	△ 0.7

[指 標]

指 標 名：石巻自然科学資料館 1日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	96,740,445	0	0	6,710,446	90,029,999

1 科学教育センター事業費 67,568,619 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センター・地下資源館では、新たに高校生による小学生のための科学講座を6回開催し、講師である高校生と参加者である小学生双方が科学に親しみ、興味関心の裾野を広げる効果があった。

また、視聴覚教育センター開館50周年を記念し、各種事業を開催した。「科学捜査展2」では、科学捜査というテーマで事件現場での指紋鑑定など様々な鑑定技術について紹介するなど、子どもから大人まで幅広く科学教育の振興を図った。

今後も関係機関やサイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

また、第6次総合計画に位置付けられた「科学教育の推進」を実現するため、科学教育環境の充実に向けて、今後の科学教育施設のあり方を検討するとともに、自然史博物館や動植物公園を含めた科学教育施設全体の機能を整理し、科学教育の拠点づくりを一体的に推進するため、今後の整備方針の基本的な事項を定める計画の策定に取り組んだ。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター事業費 27,724,944 円

[各種活動]

区 分	令和5年度		令和6年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～10月	参加人員 3,374人	5月～11月	参加人員 3,327人
プラネタリウム投映	853回	観覧者数 28,697	870回	観覧者数 30,379
学 習 教 室	4月～3月(576回)	参加人員 12,008	4月～3月(724回)	参加人員 15,232
星 空 観 望 会	6月～3月(10)	〃 807	6月～3月(8)	〃 702
企 画 展	1月～2月	入場者数 7,519	8月～2月	入場者数 65,488
展 示 会	4月～3月(8回)	〃 109,110	4月～3月(10回)	〃 239,387

※企画展及び展示会は延べ人数

(2) 地下資源館事業費 1,725,580 円

[各種活動]

区 分	令和5年度		令和6年度	
学 習 教 室	4月～2月(63回)	参加人員 1,772人	4月～2月(30回)	参加人員 658人
小 学 生 サ イ エ ン ス ア イ デ ア 作 品 展	9.30～11.30(53日間) 展示点数372点 入場者数18,536		10.1～11.28(51日間) 展示点数384点 入場者数22,342	
企 画 展	—		—	
展 示 会	11月～3月(1回)	入場者数34,961人	7月～3月(2回)	入場者数93,487人

※地下資源館の学習教室の内ワークショップ等は令和5年度から開催場所である視聴覚教育センターへまとめて集計

※地下資源館の学習教室は出前授業や自由研究相談等を集計

[指 標]

指 標 名：実験・講座等参加者数  
 指標説明：学習教室と星空観望会の参加者数



2 科学教育センター施設管理事業費 29,171,826 円（科学教育センター）

[総 括]

地下資源館1階展示室に空調設備を設置したほか、キュービクル高圧機器等の取替修繕などを行った。  
 今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 15,286,740 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	309日	309日	0.0%
入 館 者 数	延 89,545人	延 105,052人	17.3

[施設整備]

内 容	令和5年度	令和6年度
	プラネタリウム環境改善修繕（リクライニングシート3脚、お座敷シート1席設置）	駐車場外灯修繕、自動券売機紙幣ユニット取替修繕

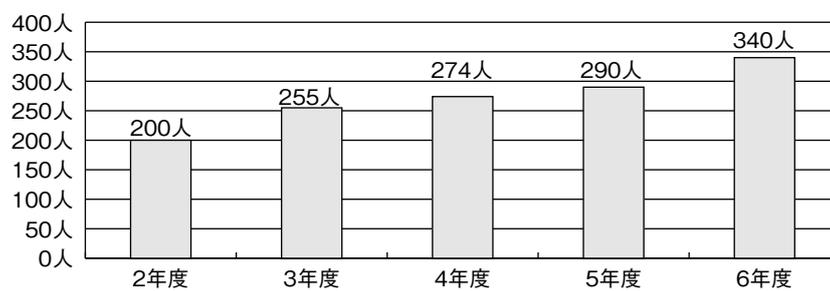
(2) 地下資源館施設管理事業費 13,885,086 円

[施設整備]

内 容	令和5年度	令和6年度
	電気自動車の購入	1階展示室空調設備設置工事、キュービクル高圧機器等取替修繕

[指 標]

指 標 名：1日当たりの入館者数  
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	4,149,365,599	581,516,000	1,654,100,000	147,799,223	1,765,950,376
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	4,149,365,599	581,516,000	1,654,100,000	147,799,223	1,765,950,376

1 小学校管理事業費 477,532,966 円 (教育政策課)

[総括]

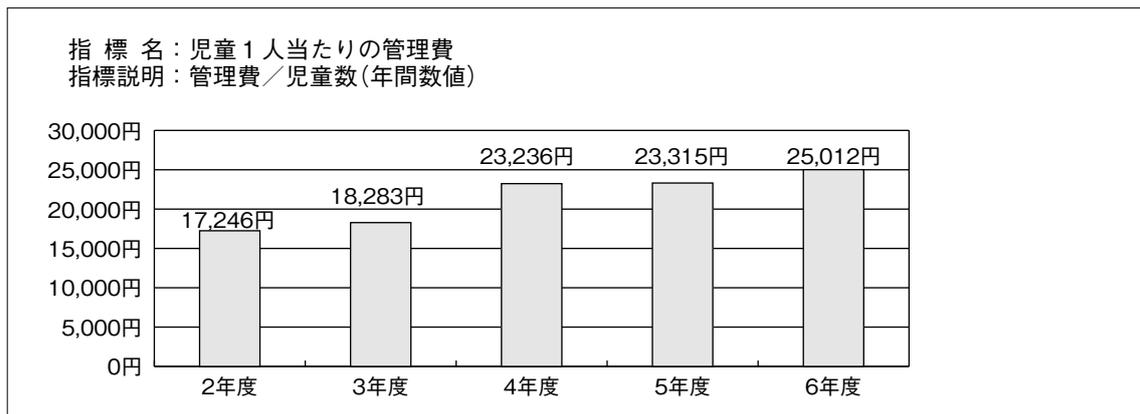
小学校を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 477,532,966 円 (5月1日現在)

区 分	令和5年度	令和6年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	860学級	856学級
児 童 数	19,683人	19,092人

[指 標]



2 小学校教育推進事業費 265,359,756 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が児童と向き合う時間の確保を図った。また、各学校が実情に応じて編成した学校配当予算を効率的に活用し、教育活動を行った。今後もさらなる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

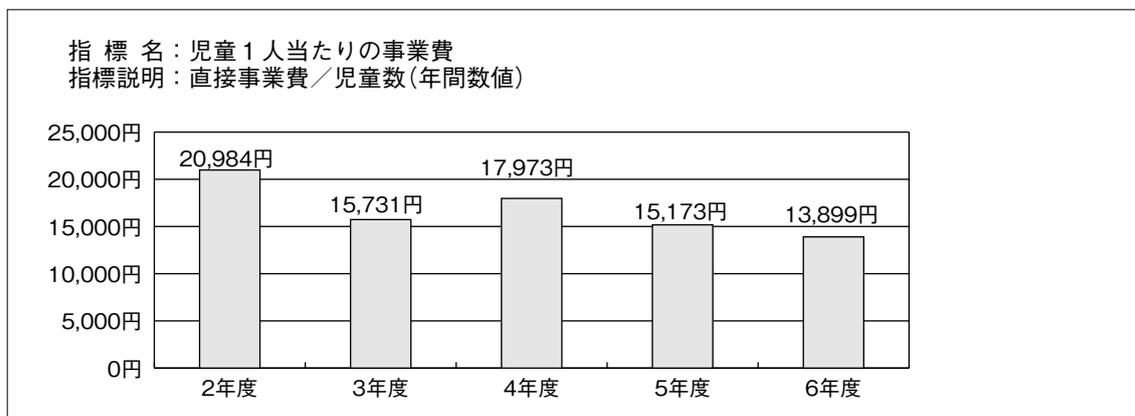
(1) 教育活動事業費 176,123,290 円

区 分	令和5年度	令和6年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	488,686冊	490,598冊
理科教育設備整備事業実施校数	17校	18校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 89,236,466 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	44,329,539円	1,308台	47,900,857円
校務支援システム費	1,308	41,335,609	1,308	41,335,609

[指 標]



3 小学校校舎等長寿命化改良事業費 2,058,069,668 円 (教育政策課)

[総 括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、豊小学校はじめ 5 校の校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 豊小学校校舎改良事業費 653,749,827 円  
 (ア) 仮設校舎の賃借 57,160,400 円  
 (イ) 北校舎長寿命化改良工事 296,780,000 円  
 3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 1,020,700,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	3,354㎡	外部・内部改修

- (ウ) 南校舎長寿命化改良工事 299,809,427 円  
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 513,302,427 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,113㎡	外部・内部改修

- (2) 花田小学校校舎改良事業費 399,406,091 円  
 (ア) 仮設校舎の賃借 47,179,000 円  
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 352,227,091 円  
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 570,193,921 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,459㎡	外部・内部改修

- (3) 磯辺小学校校舎改良事業費 232,174,000 円  
 (ア) 仮設校舎の賃借 28,796,900 円  
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 203,377,100 円  
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 342,641,750 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	1,142㎡	外部・内部改修

- (4) 栄小学校校舎改良事業費 503,826,380 円  
 (ア) 北・南校舎長寿命化改良工事 503,826,380 円  
 4 か年継続事業の3年度 総事業費 1,196,000,000 円

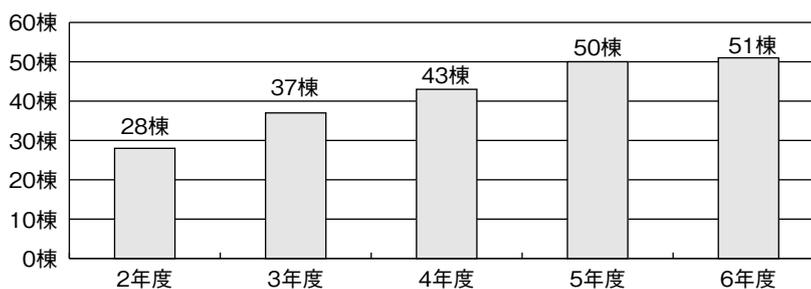
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建(北校舎) 鉄筋コンクリート造3階建(南校舎)	2,184㎡ 2,145㎡	外部・内部改修

- (5) 多米小学校校舎改良事業費 268,913,370 円  
 (ア) 中・南校舎長寿命化改良工事 268,913,370 円  
 4 か年継続事業の最終年度 総事業費 918,369,870 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建(中校舎) 鉄筋コンクリート造3階建(南校舎)	1,996㎡ 1,874㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数  
 指標説明：〃



4 小学校環境整備事業費 938,457,561 円（教育政策課）

[総括]

学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、2校で外壁等改修工事を実施したほか、37校で屋内運動場バスケットゴール補修工事などを行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	令和5年度	令和6年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費		829,838,867円	
長寿命化改良事業実施設計	—	1校	岩田
電気設備改修工事	9校	3	汐田、高師、老津
トイレ大規模改造工事	5	6	羽根井、松山、汐田、高師、福岡、飯村
校舎外壁等改修工事	2	1	賀茂
屋内運動場外壁等改修工事	1	1	つつじが丘
屋内運動場バリアフリー化工事	—	3	芦原、野依、二川
屋内運動場バスケットゴール補修工事	—	37	岩田、豊、東田、八町ほか33校
(2) 運動場等整備事業費		38,194,600円	
プール解体等工事	—	2	松葉、向山
(3) 一般補修事業費		70,424,094円	
	52校	52校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,894,187,765	254,256,000	661,000,000	594,502	978,337,263
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	1,894,187,765	254,256,000	661,000,000	594,502	978,337,263

1 中学校管理事業費 301,479,987 円 (教育政策課)

[総括]

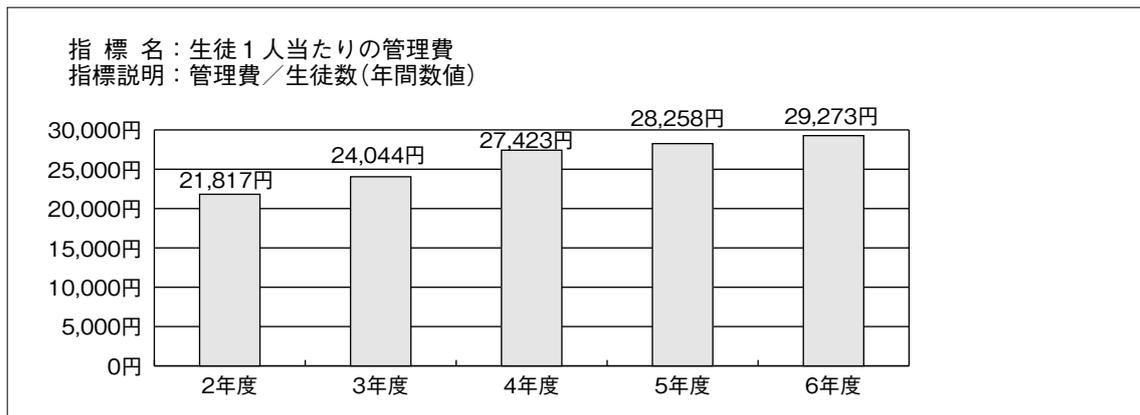
中学校を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふさと納税」により、家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れ、音楽活動に活用した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 301,479,987 円 (5月1日現在)

区 分	令和5年度	令和6年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	363学級	372学級
生 徒 数	10,273人	10,299人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 155,538,616 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、各学校が実情に応じて編成した学校配当予算を効率的に活用し、教育活動を行った。今後もさらなる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

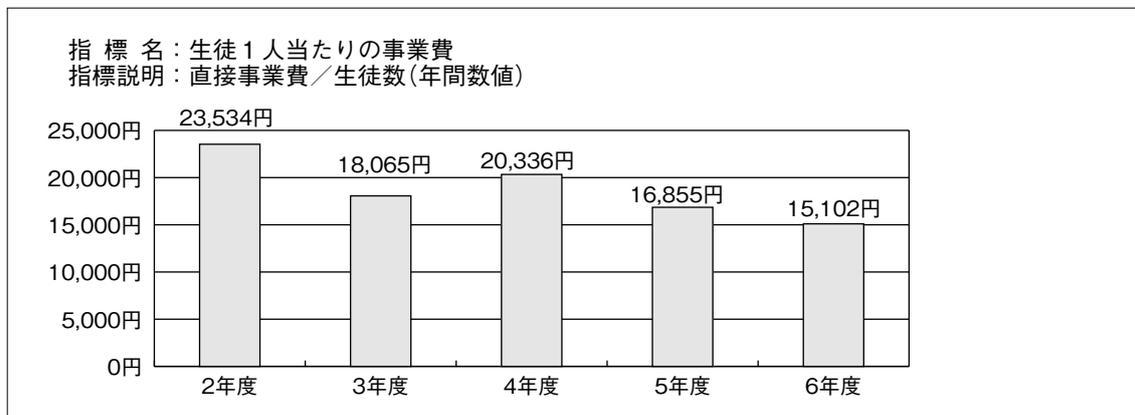
(1) 教育活動事業費 112,075,963 円

区 分	令和5年度	令和6年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	319,059冊	317,102冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 43,462,653 円

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,464,535円	758台	25,975,473円
校務支援システム費	758	17,487,180	758	17,487,180

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 848,036,991 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、東部中学校はじめ 2 校の校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東部中学校校舎改良事業費 581,868,636 円
- (ア) 仮設校舎の賃借 65,450,000 円
  - (イ) 校舎長寿命化改良工事 516,418,636 円
- 4 か年継続事業の 3 年度 総事業費 1,638,000,000 円

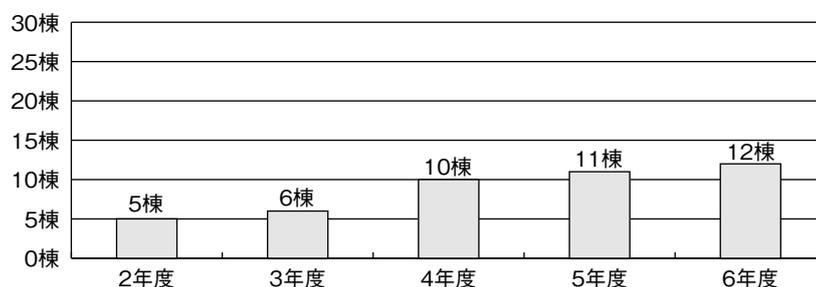
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 4 階建	6,822㎡	外部・内部改修

- (2) 豊城中学校校舎改良事業費 266,168,355 円
- (ア) 仮設校舎の賃借 113,201,000 円
  - (イ) 南校舎長寿命化改良工事 152,967,355 円
- 3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 463,100,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	1,561㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数  
 指標説明：



4 中学校環境整備事業費 405,809,156 円（教育政策課）

[総 括]

学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、2校で屋内運動場外壁等改修工事を実施したほか、10校で屋内運動場バスケットゴール補修工事などを行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	令和5年度	令 和 6 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	271,078,772円		
長寿命化改良事業実施設計	1校	3校	羽田、南稜、牟呂
電気設備改修工事	4	4	中部、青陵、南陽、章南
屋内運動場外壁等改修工事	—	2	東陵、南稜
屋内運動場バリアフリー化工事	—	2	石巻、二川
屋内運動場バスケットゴール補修工事	—	10	東陽、青陵、吉田方、高師台、南陽北部、前芝、二川、五並、章南
フェンス改修工事	—	1	東陽
(2) 一般補修事業費	38,833,231円		
	22校	22校	全校
(3) 運動場等整備事業費	95,897,153円		
運動場整備工事	—	1校	高豊

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	3,518,095,260	637,184,259	180,400,000	282,126,391	2,418,384,610
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習機会の充実>	499,427,648	5,292,259	54,400,000	36,772,978	402,962,411

1 生涯学習推進事業費 13,408,406 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 12,185,638 円

区 分	令和5年度			令和6年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	35	1,396人	172回	31	1,119人	156回	生涯学習センターほか
専 門 コ ー ス	24	506	34	23	847	40	〃
高 齢 者 コ ー ス	25	1,152	161	22	1,027	138	〃
企 業 連 携 講 座	22	432	65	22	475	64	〃

(2) 生涯学習活動事業費 1,222,768 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 440,000 円

発 行 部 数	令和5年度	令和6年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 590,748 円

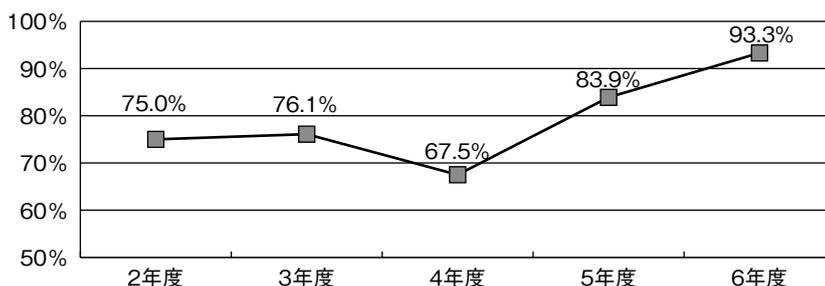
参 加 者	令和5年度	令和6年度
		2,000人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 192,020 円

参 加 者	令和5年度	令和6年度
		200人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率  
 指標説明：参加者数／募集定員



2 生涯学習センター管理運営事業費 296,878,453 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている生涯学習センターを指定管理者とともに、適切に管理・運営し、利用促進に努めた。また、新たな利用を促進するため、パートナーシティである福島市の古閑裕而記念館と連携したオンライン講座を全生涯学習センターにて実施した。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 生涯学習センター管理運営事業費（22センター） 296,878,453 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度			令和6年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川生涯学習センター	件 1,827	人 78,369	冊 41,215	件 1,930	人 83,676	冊 42,477	% 6.8
豊岡 〃	1,054	21,812	1,888	1,108	23,196	1,875	6.3
東陽 〃	1,436	30,265	3,550	1,179	24,631	2,941	△18.6
南稜 〃	2,182	63,053	—	2,338	73,174	—	16.1
青陵 〃	2,431	108,748	53,577	2,531	119,107	56,443	9.5
杉山 〃	658	14,176	1,414	698	15,630	660	10.3
石巻 〃	1,147	48,563	17,077	1,182	52,894	18,652	8.9
羽根井 〃	1,058	20,843	368	1,269	24,223	268	16.2
吉田方 〃	1,640	30,551	485	1,997	39,415	356	29.0
五並 〃	498	9,176	773	471	9,239	668	0.7
牟呂 〃	1,871	42,699	10,802	1,213	40,884	8,022	△ 4.3
高豊 〃	534	17,716	157	713	17,821	103	0.6
北部 〃	938	20,535	5,728	1,024	24,864	6,130	21.1
南部 〃	1,778	65,238	25,258	2,111	76,787	25,941	17.7
豊城 〃	2,244	38,967	903	2,011	36,255	1,363	△ 7.0
中部 〃	1,386	22,649	620	1,284	25,966	489	14.6
高師台 〃	1,436	28,926	2,809	179	3,374	145	△88.3
東部 〃	1,061	22,810	1,079	1,061	22,482	1,322	△ 1.4
東部生涯学習センター飯村分館	2,800	57,116	2,023	2,640	53,535	2,142	△ 6.3
南陽生涯学習センター	1,399	24,421	550	1,525	24,959	756	2.2
本郷 〃	1,861	37,589	696	1,946	36,597	984	△ 2.6
東陵 〃	1,667	37,863	2,256	1,835	42,085	2,250	11.2
計	32,906	842,085	173,228	32,245	870,794	173,987	3.4

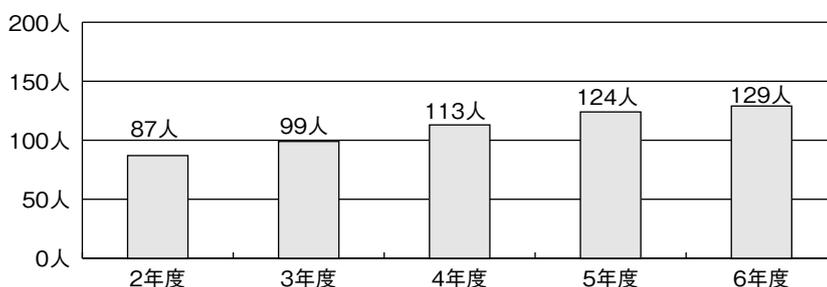
※高師台生涯学習センターは、大規模改修工事に伴い令和6年6月より休館

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	冷暖房機取替（東陽・五並・本郷）	

[指 標]

指 標 名：生涯学習センター1館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／(開館日数×生涯学習センター数)



3 生涯学習センター整備事業費 70,005,870 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、東陽生涯学習センターの大集会室兼実習室の特定天井改修工事を行った。また、高師台生涯学習センターにおいて大規模改修工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 生涯学習センター整備事業費 70,005,870 円
  - (ア) 大規模改修工事(高師台) 48,966,170 円
  - 2か年継続事業の初年度 総事業費 304,000,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 2階建	外壁改修、内装改修等	754㎡

- (イ) 天井耐震改修工事(東陽) 21,039,700 円

4 青少年教育施設管理運営事業費 119,134,919 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターでは、老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 43,282,847 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
研 修 棟	延 11,888人	延 11,748人	△ 1.2%
宿 泊 棟	延 197	延 438	2.2倍
運 動 広 場	延 5,998	延 7,710	28.5%
体 育 室	延 17,006	延 18,176	6.9
音 楽 室	延 2,888	延 2,816	△ 2.5
大 研 修 室	延 7,384	延 6,366	△13.8
多 目 的 室	延 1,926	延 3,212	66.8
そ の 他	延 6,088	延 8,341	37.0
計	53,375	58,807	10.2

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	外灯建替及び研修棟手摺修繕	中央棟2階男女トイレ洋式化修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 19,033,476 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 6,446人	延 3,218人	△50.1%
宿 泊 棟	延 1,410	延 1,355	△ 3.9
キ ャ ン プ 場	延 109	延 52	△52.3
計	7,965	4,625	△41.9

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	中央管理棟トイレ洋式化及びバルコニー防水塗装等修繕	コテージ網戸取替修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 22,423,986 円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
本 館（日帰り）	延 2,304人	延 5,197人	2.3倍
宿 泊 室	延 1,037	延 3,749	3.6
計	3,341	8,946	2.7

※野外教育センターは、令和5年6月の大雨の影響により、令和6年3月まで利用停止。

〔施設整備〕

内 容	令和5年度	令和6年度
	本館講義室及び第二野外 炊事場照明器具等修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,556,610円

〔利用状況〕

内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
利 用 者 数	延 1,899人	延 1,876人	△ 1.2%

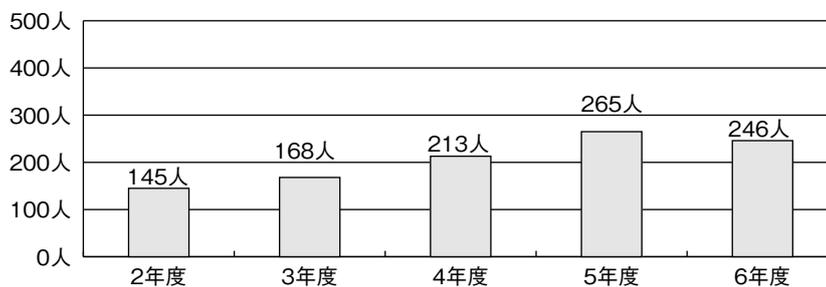
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 30,838,000円

〔利用状況〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
宿 泊 利 用	延 1,157人	延 1,504人	30.0%
日 帰 研 修	延 3,507	延 3,903	11.3
キ ャ ン プ 利 用	延 485	延 551	13.6
計	5,149	5,958	15.7
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,242	延 1,252	0.8

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域・学校・家庭の協働の推進＞	20,874,381	2,064,000	0	83,900	18,726,481

1 地域教育推進事業費 12,519,768 円 (生涯学習課・地域教育推進室)

[総括]

地域の大人を講師として子ども向けに多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 6,019,468 円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 220,000 円

内 容	令和5年度		令和6年度		
	延参加者	回 数	延参加者	回 数	開催場所
生涯学習推進セミナー	997人	23回	574人	17回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 211,500 円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	12	1,374人	82回	6	1,349人	51回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 547,968 円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	178人	22回	1	197人	22回	青少年センター

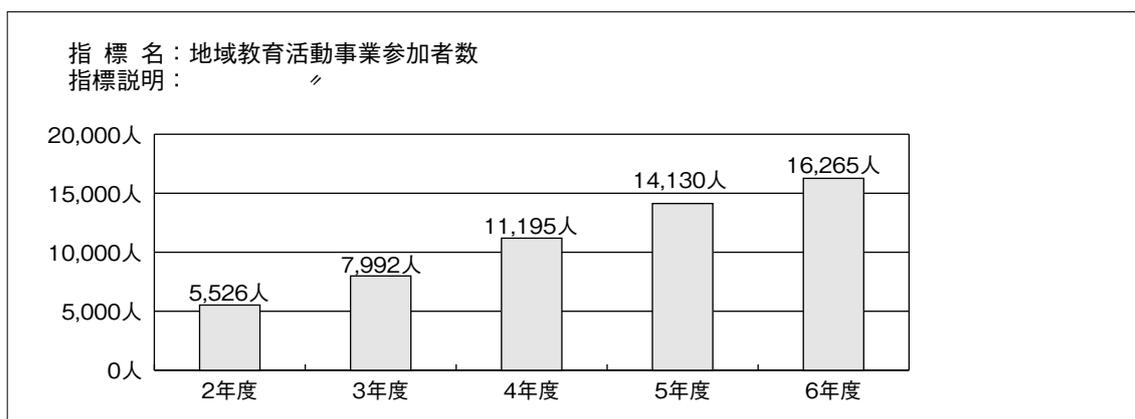
(エ) トヨッキースクール推進事業費 5,040,000 円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	40	11,581人	686回	46	14,145人	746回	校区市民館ほか

(2) 二十歳の集い開催事業費 6,500,300 円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
二十歳の集い	51	3,251人	46か所	51	3,202人	46か所	小学校ほか

[指 標]



2 家庭教育事業費 832,253 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー及び明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 832,253 円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	25	531人	28回	18	364人	19回	生涯学習センターほか
子育てお悩み解決塾	10	163	10	9	133	9	〃
子育て学習講座	32	2,149	32	29	2,083	29	小 学 校

3 青少年交流活動促進事業費 388,360 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

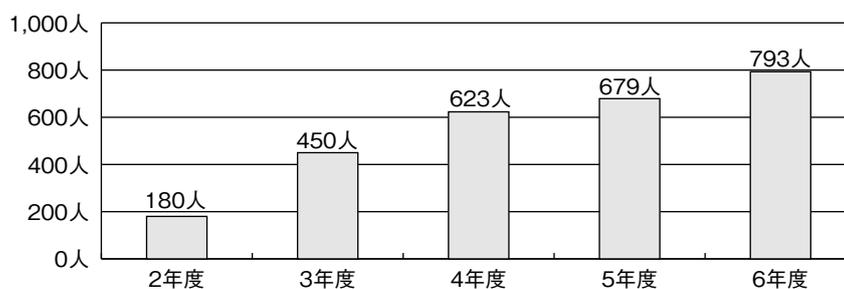
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 388,360 円

内 容	令和5年度		令和6年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	16回	585人	16回	665人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	3	59	3	115	〃
自然体験指導者養成プログラム	3	35	1	13	〃

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 青少年健全育成費 <青少年の健全育成>	13,497,752	0	0	0	13,497,752

1 子ども・若者健全育成事業費 4,137,522円 (生涯学習課)

[総括]

青少年の非行・被害防止に取り組む市民運動をはじめとした啓発活動や、各小中学校区青少年健全育成会と情報共有を図るとともに、小中学生への健全育成活動を積極的に実施した。今後も引き続き青少年健全育成のつどいを開催し、地域で活躍する青少年や青少年育成団体の紹介を行うことによって健全育成に対する意識啓発を図っていく。

[実績及び成果]

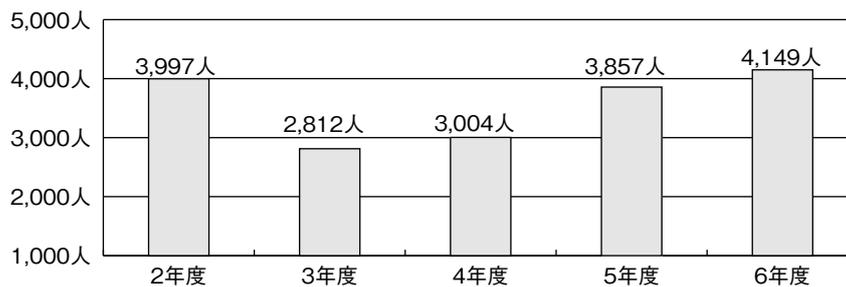
(1) 子ども・若者育成事業費 4,137,522円

(ア) 青少年問題協議会委員 72,000円

区 分	令和5年度	令和6年度
青少年問題協議会開催数	1回	1回

[指標]

指標名：非行防止啓発活動への参加者数  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	1,322,855,053	615,057,000	0	167,935,500	539,862,553

1 放課後児童対策事業費 1,322,855,053円 (地域教育推進室)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに1か所開設したほか、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを7か所開設した。また、民営児童クラブ3か所の施設整備に対する助成を行うとともに、常勤の支援員を2名以上配置した場合の運営費を拡充した。さらに多様な体験活動を行いながら子どもの健全育成を図る「のびるん de スクール」では、事業周知のためプロモーション活動を実施するほか、児童の受入れをスムーズに行うため管理システムの拡充を行った。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 563,209,924円

区 分	令和5年度		令和6年度	
事業費	60クラブ	493,321,741円	59クラブ	563,209,924円
年間利用者数	延 21,376人		延 20,936人	

(2) 民営児童クラブ運営事業費 518,157,300円

区 分	令和5年度		令和6年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	40クラブ	404,083,600円	44クラブ	479,248,000円
民営児童クラブ施設整備費補助金	1	22,379,000	3	25,157,000
民営児童クラブ利用料助成費	延 783人	13,083,000	延 832人	13,752,300

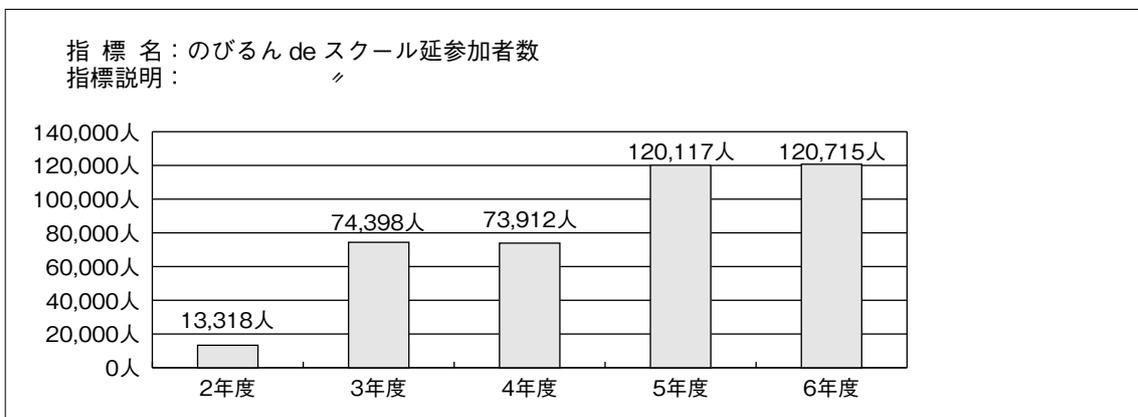
(3) 放課後子ども教室運営事業費 12,333,536円

内 容	令和5年度		令和6年度	
		6教室の開設		6教室の開設

(4) のびるん de スクール運営事業費 229,154,293円

内 容	令和5年度			令和6年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	52	120,117人	3,203回	52	120,715人	3,347回	小学校ほか

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 図書館費 < 図書館の充実 >	785,267,887	0	0	14,591,857	770,676,030

1 中央図書館事業費 425,218,603 円 (図書館)

[総括]

建設後40年を経過する中央図書館の機能強化と適切な維持管理を行うための「中央図書館リニューアル基本計画」の策定を行った。また、図書の閲覧や貸出に加え、郷土の歴史や時事の話題を取り上げた企画展などを開催するとともに、ICTを活用し、新たに所蔵した羽田八幡宮文庫旧蔵資料など貴重な郷土資料をインターネットで閲覧できる「とよはしアーカイブ」などのサービスを充実させた。

今後も「知の拠点」として、誰もが安全かつ快適に利用できるよう、施設・設備を更新するとともに、資料の保存環境の整備や利用者にとって魅力ある図書館サービスを提供できる空間・環境の実現に努める。

[実績及び成果]

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費           | 12,505,901 円 |
| (2) 一般図書業務費           | 30,110,301 円 |
| (3) レファレンス業務費         | 950,617 円    |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費      | 4,582,502 円  |
| (5) A V ・ C D 電子図書業務費 | 562,671 円    |

[利用状況等]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	286日	284日	△ 0.7%
入 館 者 数	延 241,829人	延 242,453人	0.3
館 外 貸 出 人 数	延 371,702	延 387,753	4.3
館 外 貸 出 冊 数	延 838,671冊	延 827,456冊	△ 1.3
館外貸出人数(C D)	延 7,339人	延 6,955人	△ 5.2
館外貸出点数(C D)	延 12,981点	延 12,265点	△ 5.5
蔵 書 冊 数	698,558冊	704,352冊	0.8
( ) 内は司文庫で再掲	(35,682)	(35,835)	(0.4)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,324点	6,439点	1.8

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

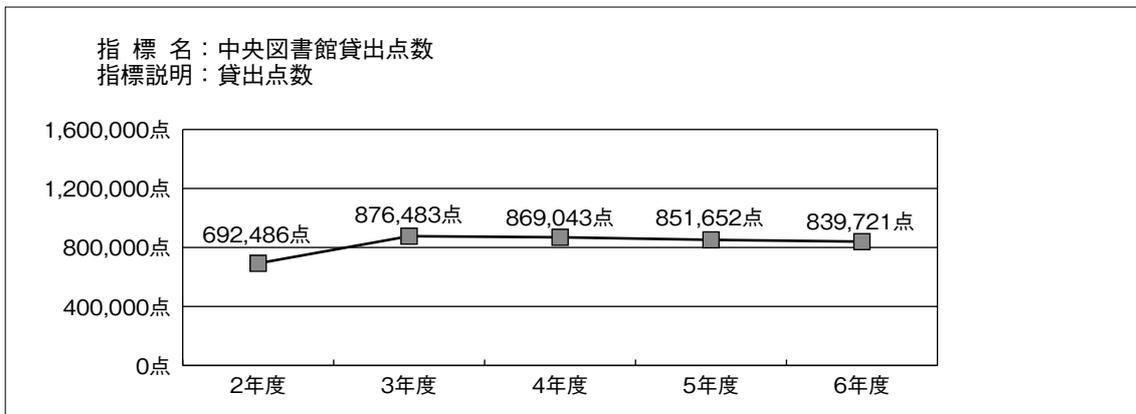
区 分	内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
図 書	一 般	6,073冊	5,139冊	△15.4%
	児 童	2,714	2,221	△18.2
	参 考	171	155	△ 9.4
	郷 土	105	89	△15.2
	司 文 庫	140	153	9.3
	計	9,203	7,757	△15.7
逐次刊行物	雑 誌 等	238種	235種	△ 1.3
	新 聞	24	23	△ 4.2
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	101点	124点	22.8

## (6) 行事開催業務費

9,960,687 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
資 料 展 覧 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	6回	延 18,896人	6回	延 14,060人
資 料 展 関 連 行 事	8	延 371	6	延 290
市 民 向 け 講 座	10講座	延 165	12講座	延 171
ボランティア等育成講座、研修	4	延 275	6	延 226
図書館子どもフェスタ		延 1,721		延 2,494
夏休み子どもフェスティバル		延 200		延 83
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	40回	配布人数 2,340 (絵本等)	39回	配布人数 2,164 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	31	延 1,770	34	延 2,053
おはなしのへや	222	延 2,810	220	延 2,593
調べ学習コンクール	45校	291	36校	240
情報発信コーナー展示	10回		11回	
外部連携展示等	11		40	
出 前 講 座	5	286	7	429

## [指 標]



2 向山図書館事業費

44,014,532 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる図書資料などの検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、工事により3か月間の休館期間があったが、分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。

今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者へ充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

38,057,412 円

[利用状況等]

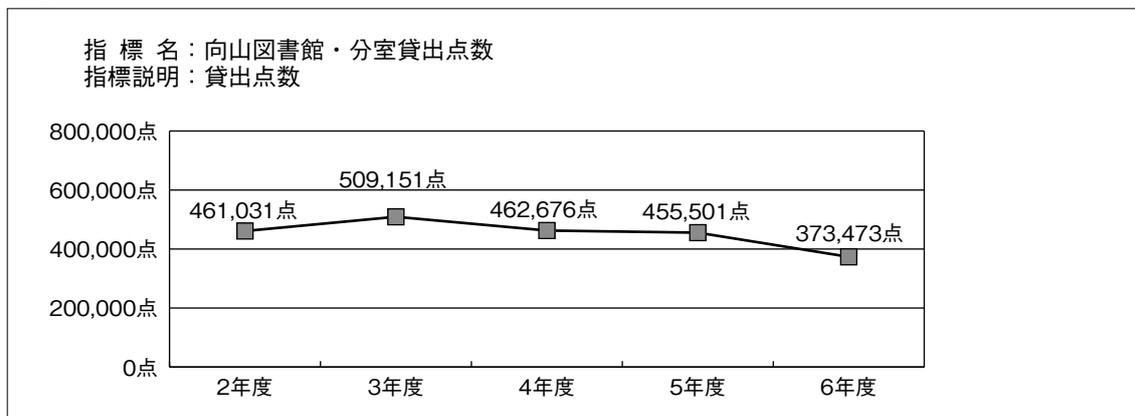
区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数		290日	214日	△26.2%
入 館 者 数		延 109,394人	延 74,550人	△31.9
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 65,257	延 42,195	△35.3
	分 室	延 83,147	延 84,424	1.5
	計	延 148,404	延 126,619	△14.7
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 214,999冊	延 138,532冊	△35.6
	分 室	延 240,502	延 234,941	△ 2.3
	計	延 455,501	延 373,473	△18.0
蔵 書 冊 数		254,903	252,550	△ 0.9

※市民文化会館改修工事（第一期）に伴い令和7年1月4日～令和7年3月31日まで休館。

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
図 書	一 般	3,332冊	2,885冊	△13.4%
	児 童	3,825	3,902	2.0
	郷 土	3	2	△33.3
	計	7,160	6,789	△ 5.2
逐次刊行物	雑 誌	51種	49種	△ 3.9
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



## 3 大清水図書館事業費

39,212,420 円（図書館）

## 〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、市民向け講座や日曜シネマ、読み聞かせを行うとともに、高校との連携企画等を開催することで、若年層の図書館利用の促進を図った。

今後も幅広い世代の方が図書館を利用するきっかけになるようなイベント等を実施するとともに、利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

## 〔実績及び成果〕

## (1) 図書業務費

8,216,181 円

## 〔利用状況等〕

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	289日	285日	△ 1.4%
入 館 者 数	延 204,907人	延 213,317人	4.1
館 外 貸 出 人 数	延 51,017	延 52,165	2.3
館 外 貸 出 冊 数	延 227,127冊	延 227,360冊	0.1
館 外 貸 出 人 数 ( C D )	延 724人	延 855人	18.1
館 外 貸 出 点 数 ( C D )	延 1,232点	延 1,434点	16.4
蔵 書 冊 数	84,055冊	85,067冊	1.2
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	883点	926点	4.9

※大清水図書館の入館者数は、令和5年11月15日～11月24日の間、機械故障のため測定不可。

## 〔資料購入状況〕

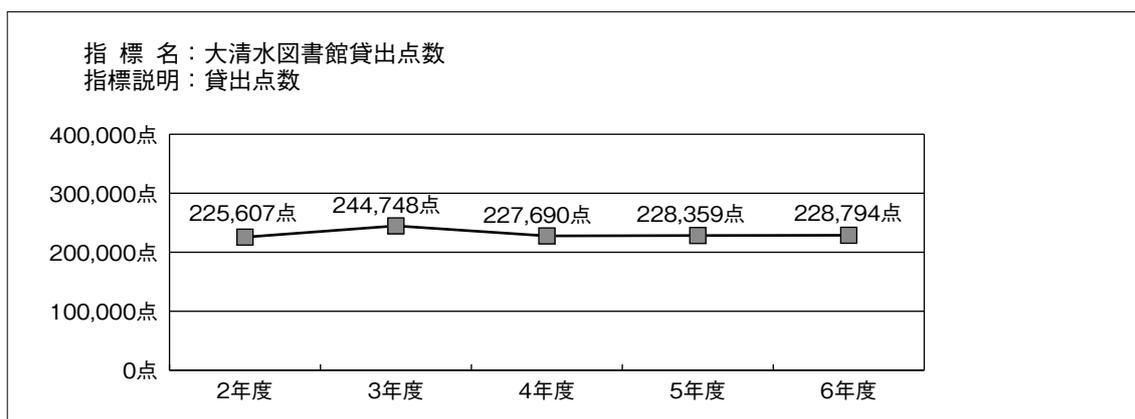
区 分	内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
図 書	一 般	2,873冊	2,317冊	△19.4%
	児 童	1,686	1,197	△29.0
	郷 土	4	3	△25.0
	計	4,563	3,517	△22.9
逐次刊行物	雑 誌	107種	109種	1.9
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	44点	43点	△ 2.3

## (2) 行事開催業務費

60,599 円

区 分	令和5年度	令和6年度
ミ ナ ク ル ま つ り	延 155人	延 166人
お は な し の へ や	75回 延 1,047	83回 延 1,004
出 前 講 座	2 延 72	2 延 84
外 部 連 携 展 示 等	10	11
日 曜 シ ネ マ	11 延 215	12 延 255
市 民 向 け 講 座	—	3 延 43

[指標]



4 まちなか図書館事業費 210,688,958 円（図書館）

[総括]

11月に開館4年目を迎え、3月には来館者が200万人に到達した。また、令和6年度の来館者数は開館以来初めて60万人を突破した。

「交流・創造拠点」として、独自の蔵書構築や特集棚の展開、多様なイベントの開催をしたことで新たな人々との交流の場としての役割を果たすことができた。

今後も外部との連携企画やワークショップ等を実施し、さらなる図書館サービスの充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 15,891,251 円

[利用状況等]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	340日	336日	△ 1.2%
入 館 者 数	延 582,927人	延 638,049人	9.5
館 外 貸 出 人 数	延 132,161	延 142,425	7.8
館 外 貸 出 冊 数	延 474,620冊	延 493,031冊	3.9
蔵 書 冊 数	76,991	81,653	6.1
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	166点	187点	12.7

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和5年度	令和6年度	比 較
図 書	一 般	4,389冊	3,489冊	△20.5%
	児 童	1,597	1,306	△18.2
	計	5,986	4,795	△19.9
逐次刊行物	雑 誌	305種	306種	0.3
	新 聞	16	15	△ 6.3
視聴覚資料	D V D	45点	21点	△53.3

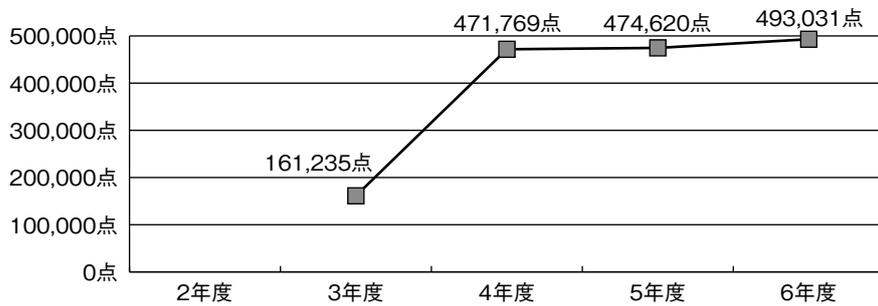
## (2) 行事開催業務費

731,320 円

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
資 料 展	22回	11回
資 料 展 関 連 行 事	17 延 440人	10 延 378人
映 画 上 映 会	33 延 897	29 延 593
お は な し の へ や	81 延 2,245	78 延 1,945
まちなか図書館主催イベント	76 延 883	85 延 947
外 部 連 携	259 延 4,996	218 延 3,968

## [指 標]

指 標 名：まちなか図書館貸出点数  
指 標 説 明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 美術博物館費 <美術博物館の充実>	281,947,527	0	0	45,696,728	236,250,799

1 美術博物館事業費 272,101,958 円 (美術博物館)

[総括]

企画展は、令和5年度末から継続開催したりニューアルオープン記念展「ブルターニュの光と風」のほか、「豊橋鉄道100年 市電と渥美線」「美術コレクション展 絵画のつくり方」「第9回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」「銅鐸の国 伊奈銅鐸出土100年」「生誕100年 中村正義展」などを開催した。

収蔵品を活用するコレクション展示は、テーマを変えて美術を4回、歴史を3回行った。通史展示「とよはしの歴史」は展示替えを行いながら実施し、スマートフォンアプリによる展示品解説サービスも活用した。また、美術・歴史の魅力を発信するため、ホームページで公開している収蔵品データベースの内容を充実させた。さらに、カプセルトイを設置し、収蔵作品などをデザインしたオリジナル缶バッジを販売し、子育て世代や若者が気軽に訪れるきっかけづくりを行った。

今後も美術・歴史に関する調査研究と教育普及を推進し、新鮮で魅力的な事業を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 56,993,139 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	31日	306日	9.9倍
企 画 展	2件 延 18,544人	9件 延 93,006人	5.0
共 催 展	— 延 0	5 延 5,166	皆増
市 民 ギ ャ ラ リ ー	— 延 0	47 延 38,251	皆増
公 開 講 座 等	19 延 724	58 延 2,368	3.3倍
計	19,268	138,791	7.2

(2) 展覧会事業費 58,992,554 円

(ア) 展覧会開催事業費 58,169,241 円

令和5年度		令和6年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
リニューアルオープン記念展 「ブルターニュの光と風」	8,092人 (5回359人)	リニューアルオープン記念展 「ブルターニュの光と風」	2,398人 (1回200人)	△70.4%
—	—	第45回豊橋美術展	4,398	—
—	—	第72回豊橋市民展	2,980	—
—	—	豊橋鉄道100年 市電と渥美線	6,541 (7回319人)	—
—	—	美術コレクション展 絵画のつくり方	4,290 (4回87人)	—
—	—	第9回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展	2,360 (2回26人)	—
びはく移動展Ⅲ 「末広五十三次」 ※二川宿本陣資料館	2,122	銅鐸の国 伊奈銅鐸出土100年	5,545 (7回487人)	—
びはく移動展Ⅳ 「浮き世を描く」 ※二川宿本陣資料館	2,407	生誕100年 中村正義展	7,083 (19回725人)	—
コレクション展示	10,452	コレクション展示	57,411 (18回524人)	5.5倍
延 93日	23,073 (5回359人)	延546日	93,006 (58回2,368人)	4.0

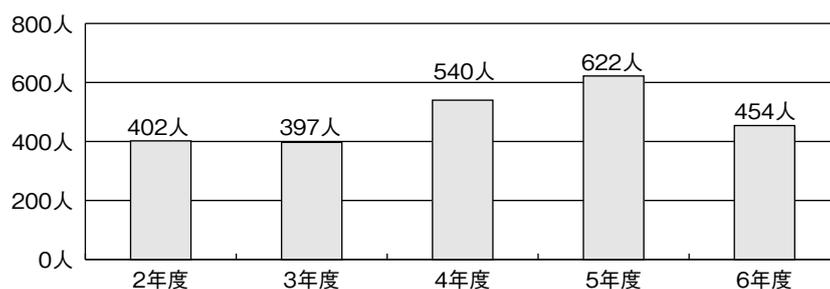
※ ( ) は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 492,000 円

区 分	令和5年度	令和6年度
美術資料	彫刻 国島征二 《Untitled》等 3点	—
歴史資料	長尾華陽粉本類等 11件	利休茶道具図絵等 2件

[指 標]

指 標 名：美術博物館 1 日当たりの利用者数  
指 標 説 明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 4,412,676 円（美術博物館）

〔総括〕

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、その歴史的な価値により、平成 28 年に収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に認定された。建設当時の趣を残す木造校舎として魅力の発信、施設の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和 6 年度はロケーションを生かした屋外における季節の展示や地域の学校との連携による児童の絵画作品展示などを行った。また、「見どころ紹介新聞」の作成・掲示や、施設の見学手法としてウォークラリー形式を取り入れるなど、年代を問わず来館者が楽しめるような工夫を行った。今後も施設の保存・活用方法を検討し、利用者増に努める。

〔実績及び成果〕

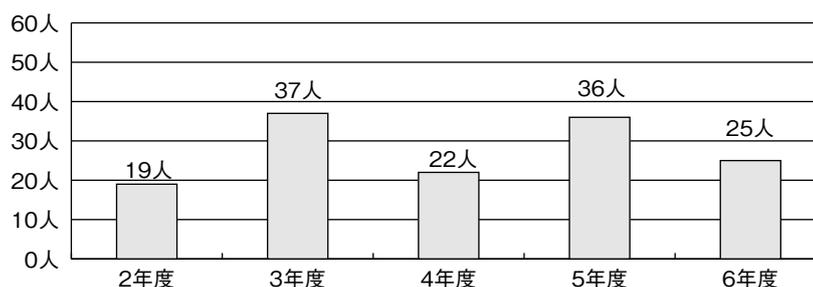
(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 4,412,676 円

〔利用状況〕

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
開 室 日 数	137日	141日	2.9%
延 入 室 者 数	4,872人	3,518人	△27.8

〔指 標〕

指 標 名：民俗資料収蔵室 1 日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開室日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	240,454,170	0	126,000,000	7,659,538	106,794,632

1 二川宿本陣資料館事業費 69,084,984 円 (美術博物館)

[総括]

資料の展示保存環境及び来館者の見学環境改善のため、令和6年1月より資料館の大規模改修工事を行い、11月3日に再開館した。これを記念し、開館以来東海道を中心に収集してきた街道関係資料を紹介した「再始動記念展－東海道の描きかた－」のほか、最新の東海道研究に迫る「再始動記念シンポジウム 東海道研究の最前線」、外部講師を招いた「再始動記念 ほんじん講座 特別編」などを開催した。また、東海道を中心とした江戸時代の交通並びに地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「春の七草展」や「本陣のひなまつり」など季節のイベントや各種講座を開催した。

今後も資料収集・調査研究活動に基づき、魅力ある展覧会の開催や地域への関心や愛着を深める教育普及活動に努める。また、イベント等開催においては、地域住民との連携をさらに深めていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 23,660,745 円

[利用状況]

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	241日	125日	△48.1%
延 入 館 者 数	20,521人	18,976人	△ 7.5

(2) 展覧会事業費 4,007,344 円

(ア) 展覧会開催事業費 2,215,244 円

令 和 5 年 度		令 和 6 年 度	
展 覧 会 名	延入館者数	展 覧 会 名	延入館者数
大たん可愛い 東三河の狂言装束	2,863人	再始動記念展 －東海道の描きかた－	7,236人
瓦版展	8,907	—	—
記念講演会 1回	21	記念講演会 1回	30
計	11,791	計	7,266

## (イ) 五節句行事開催等事業費 740,040 円

令和5年度		令和6年度		
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等	
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,110人	五月人形展－端午の節句－	工事休館のため休止	
本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」	参加者 43	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」		
琴のしらべ	20	琴のしらべ		
ほんじん講座	受講者 3	ほんじん講座		
本陣古文書講座(初級)	112	本陣古文書講座(初級)		
七夕の節句	会期中入館者 880	七夕の節句		
夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」	参加者 74	夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」		
菊の節句－重陽－	会期中入館者 351	菊の節句－重陽－		
本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	参加者 15	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」		
夏休みカブト作り教室	7	夏休みカブト作り教室		参加者 6人
本陣体験講座 「和本を作ろう」	14	本陣体験講座 「和本を作ろう」		3
本陣古文書講座(中級)	受講者 100	本陣古文書講座		受講者 81
本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」	参加者 27	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」		参加者 31
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	20	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」		20
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 739	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 1,032	
—	—	二川宿本陣のひなまつり	9,208	
本陣句会	応募者 55	本陣句会	—	

## (3) 資料収集事業費 986,000 円

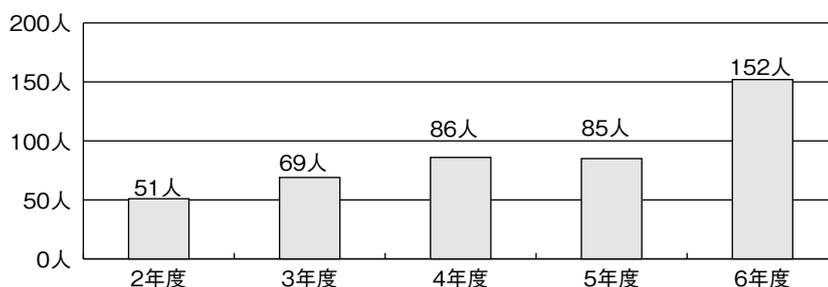
内 容	令和5年度	令和6年度
	東海道五十三次ノ内等	4点

## (4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	令和5年度	令和6年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指標]

指標名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数／開館日数



2 二川宿本陣資料館整備事業費 149,541,438 円（美術博物館）

[総括]

令和6年1月に着手、9月に竣工し、資料展示保存環境の最適化、来館者の見学環境及び利便性を向上させた。

[実績及び成果]

- (1) 二川宿本陣資料館整備事業費 149,541,438 円
- (ア) 二川宿本陣資料館大規模改修工事 132,744,400 円
- 2か年継続事業の最終年度 総事業費 192,504,400 円

[指標]

指標名：二川宿本陣資料館整備事業進捗率  
 指標説明：実施事業費／総事業費(令和4年度～令和6年度)



3 商家「駒屋」事業費 21,827,748 円（美術博物館）

[総括]

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、様々なワークショップに参加できる「駒屋であそびん」や「和み塾」、煎茶体験や和菓子作り、「駒屋の夜店」や「福よせ雛」など季節の行事等、各種イベントを定期的に開催した。また、地域の活性化を図る「灯籠で飾ろう二川宿」では夜間開館、「大名行列」では駒市を行った。さらに、カフェやショップでは、工夫を凝らした飲食提供、様々な手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めた。今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設づくりを進め入館者増に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 21,827,748 円

[利用状況]

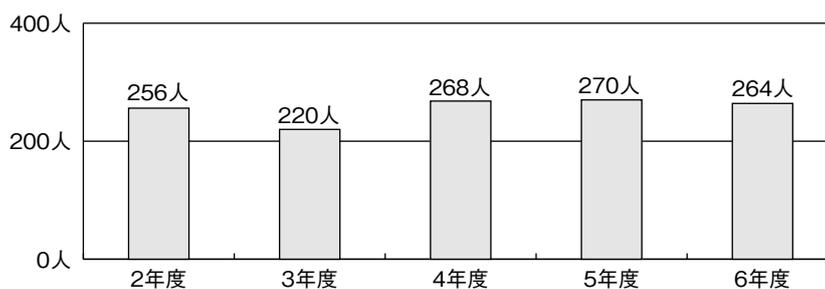
区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
開 館 日 数	312日	311日	△ 0.3%
延 入 館 者 数	84,378人	82,125人	△ 2.7

[主なイベント開催状況]

令和5年度		令和6年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
駒屋の夜店	1,000人	駒屋の夜店	550人
駒屋横丁	6,302	駒屋横丁	6,415
福よせ雛	会期中入館者 14,614	福よせ雛	会期中入館者 18,147

[指 標]

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	195,943,604	14,771,000	0	9,385,890	171,786,714

1 文化財保護事業費 195,943,604 円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動のほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入に係る準備、市史跡・吉田城址の石垣解体修理に伴う確認緊急調査を実施するとともに、豊橋市における文化財の保存と活用の基本方針を示す「豊橋市文化財保存活用地域計画」の作成を協議会に諮りながら進めた。

今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 184,123,261 円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	令和5年度	令和6年度
	馬越北山3号墳の確認調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	令和5年度	令和6年度
	西側北遺跡の発掘調査	

(ウ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	令和5年度	令和6年度
	吉田城址(南多門石垣)の確認緊急調査	

(エ) 報告書作成業務

内 容	令和5年度	令和6年度
	埋蔵文化財調査報告書第161・162・163集の作成	

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	令和5年度	令和6年度
	東郷廻遺跡・林遺跡ほかの試掘確認調査	

(カ) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和5年度	令和6年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(キ) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和5年度	令和6年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	

(ク) 文化財保存活用地域計画策定準備

内 容	令和5年度	令和6年度
	協議会を設置し、計画作成を開始	協議会を開催し、計画を作成

(2) 文化財保存事業補助金 3,618,000 円

内 容	令和5年度	令和6年度
	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 木造愛染明王坐像(赤岩寺)保存修理 東観音寺多宝塔防災設備修理	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 豊橋神明社の鬼祭(安久美神戸神明社)面新調・古面修理 野依八幡社のシダレザクラ樹勢回復

(3) 文化財活用事業費 8,202,343 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和5年度	令和6年度
	「豊橋平野に眠る縄文遺跡・大蚊里貝塚展」を開催	「小浜神明社に眠る縄文遺跡・小浜貝塚展」を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

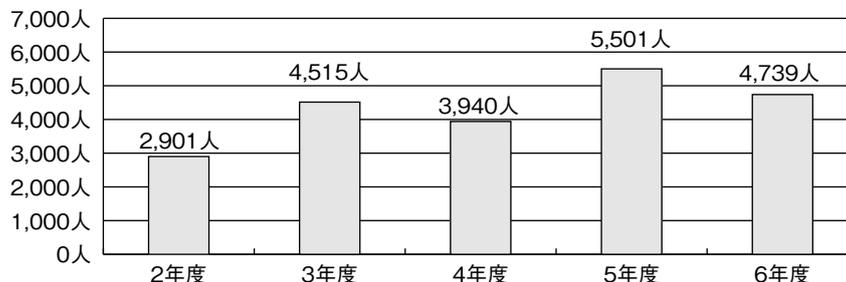
内 容	令和5年度	令和6年度
	現地見学(戦争遺跡めぐり・文化財めぐり)、勾玉づくりなど体験講座を開催	現地見学(近代化遺産めぐり・歴史的建造物めぐり)、勾玉づくりなど体験講座を開催

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和5年度	令和6年度
	とよはしシンポジウム「徳川の城・吉田城」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	とよはしシンポジウム「銅鐸の国と弥生時代の社会」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数  
 指標説明：文化財調査事業(発掘調査現地説明会等)参加者+文化財保存活用事業(とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等)参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保 健 給 食 費	4,129,366,713	0	55,100,000	1,091,326,949	2,982,939,764
2目 子どもの心と体の育成費 <健やかな心と体の育成>	4,027,722,612	0	55,100,000	1,091,326,949	2,881,295,663

1 学校保健事業費 176,687,642 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 139,521,530 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 100,451,870 円

区 分		人 員	
		令和5年度	令和6年度
学 校 医	内 科	76人	76人
	耳 鼻 科	10	10
	眼 科	14	16
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		223	225

(イ) 健康診断費 39,069,660 円

区 分	対 象	令和5年度	令和6年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	31,484人	31,872人	1.2%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	9,962	9,868	△ 0.9
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	2,855	2,830	△ 0.9
教 職 員 健 診	全 員	5,958	6,132	2.9

(2) 学校保健推進事業費 4,787,042 円

(ア) 学校保健会補助金 587,937 円

(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 29,432,720 円

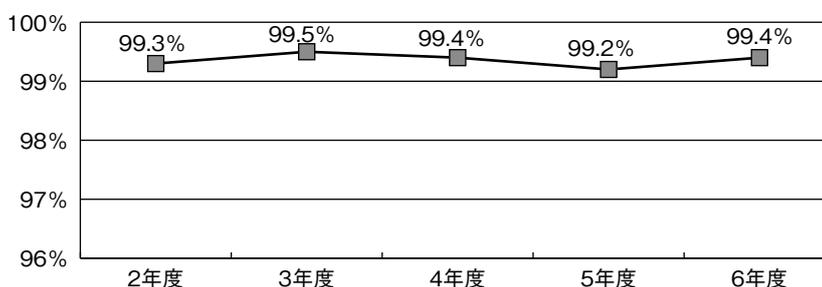
(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 28,738,730 円

(4) 学校結核予防事業費 2,946,350 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和5年度	令和6年度	比 較	令和5年度	令和6年度	比 較
胸部エックス線撮影	458人	455人	△ 0.7%	1,932人	1,956人	1.2%

[指 標]

指 標 名：健康診断受診率  
 指標説明：健康診断受診者数／児童生徒数(5／1現在)



2 学校給食センター運営事業費 1,677,184,722 円 (保健給食課)

[総 括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。令和 6 年度は、北部学校給食センターの建物の予防保全のため、屋根塗装等工事を行った。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 南部学校給食センター 232,173,187 円

令和 5 年 度			令和 6 年 度			食数比較
小学校	9校	5,048人	小学校	9校	4,929人	
中学校	5	2,431	中学校	5	2,400	
延1,314,414食			延1,296,256食			

(2) 北部学校給食センター 617,950,428 円

令和 5 年 度			令和 6 年 度			食数比較
小学校	17校	6,316人	小学校	17校	6,099人	
中学校	7	3,348	中学校	7	3,382	
延1,693,809食			延1,679,541食			

(3) 東部学校給食センター 140,637,697 円

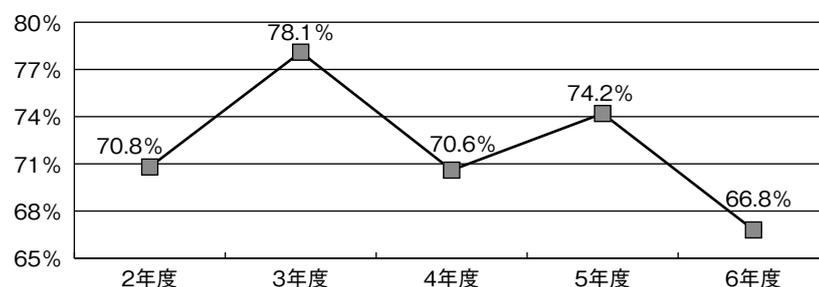
令和 5 年 度			令和 6 年 度			食数比較
小学校	7校	2,731人	小学校	7校	2,659人	
中学校	3	1,512	中学校	3	1,537	
延 741,527食			延 742,462食			

(4) 曙学校給食センター 585,218,686 円

令和 5 年 度			令和 6 年 度			食数比較
小学校	19校	7,097人	小学校	19校	6,950人	
中学校	7	3,738	中学校	7	3,764	
特別支援学校	1	440	特別支援学校	1	451	
延1,984,109食			延1,981,386食			

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率  
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 学校給食物資調達事業費 1,799,485,186 円（保健給食課）

[総 括]

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市立小中学校及びくすのき特別支援学校（小・中学部）の児童生徒を対象に、学校給食費を半額軽減した。

[実績及び成果]

(1) 学校給食物資調達事業費 1,799,485,186 円

区 分	令 和 6 年 度	
	学校給食費	軽 減 額
小 学 校	1食当たり 300円	1食当たり 150円
中 学 校	1食当たり 350	1食当たり 175
提 供 食 数	延4,569,253食	

4 学校給食費負担軽減対応補助金 11,551,600 円（保健給食課）

[総 括]

学校給食費の半額軽減にあわせて、食物アレルギー等により市が提供する給食を喫食していない児童生徒の保護者や豊橋市立以外の小中学校等に通う児童生徒の保護者に対し、給食費の半額軽減相当を助成した。

[実績及び成果]

(1) 学校給食費負担軽減対応補助金 11,551,600 円

区 分		令 和 6 年 度	
		補 助 額	交 付 人 数
学校給食非喫食	小 学 生	2,500円／月	96人
	中 学 生	2,900	158
市立学校以外	小 学 生	2,500	36
	中 学 生	2,900	198
補 助 金		11,551,600円	

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	176,597,144	2,145,000	83,600,000	58,140,540	32,711,604
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	127,991,200	0	55,100,000	56,946,900	15,944,300
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	9,000,000	0	0	0	9,000,000

1 道路橋梁災害応急復旧費 9,000,000円 (道路維持課)

[総括]

令和6年8月の台風10号により、高山町において道路法面崩れ等が発生したため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 9,000,000円

内 容	令和5年度	令和6年度
	牛川渡船 災害復旧 道路啓開作業 道路損壊復旧 35か所 仮設足場損壊復旧 橋梁損壊復旧 根固めブロック損壊復旧	

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目	河川災害復旧費	118,991,200	0	55,100,000	56,946,900	6,944,300

1 河川災害応急復旧費 118,991,200円 (河川課)

[総括]

令和5年6月の大雨及び令和6年8月の台風10号により、河川・水路等の破損や土砂の堆積による通水断面の阻害が確認された箇所の迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 河川災害応急復旧費 118,991,200円

内 容	令和5年度	令和6年度
	河川、水路等復旧 70か所	

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,806,500	2,145,000	0	0	7,661,500
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,806,500	2,145,000	0	0	7,661,500

1 農業用施設災害応急復旧費 9,806,500円 (河川課)

[総括]

令和6年8月の台風10号により、農業用排水路の破損や土砂の堆積による通水断面の阻害が確認された箇所迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 9,806,500円

内 容	令和5年度	令和6年度
		ため池施設復旧 3池

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	その他施設費	38,799,444	0	28,500,000	1,193,640	9,105,804
1目	その他施設費	38,799,444	0	28,500,000	1,193,640	9,105,804

1 諸施設災害応急復旧費 38,799,444 円 (長寿介護課始め7課)

[総括]

令和5年6月の大雨及び令和6年8月の台風10号により、学校を始めとした公共施設等に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 38,799,444 円

内 容	令和5年度		令和6年度	
	公共施設等復旧		公共施設等復旧	
市民協働推進課	高山校区市民館ほか	長寿介護課	西川老人憩の家	
「文化のまち」づくり課	アイプラザ豊橋	総合老人ホーム	養護老人ホーム	
「スポーツのまち」づくり課	豊橋市民球場ほか	観光プロモーション課	石巻山駐車場便所	
福祉政策課	大崎町墓地ほか	公園緑地課	石巻西川緑地	
障害福祉課	豊橋市障害者福祉会館	消防本部総務課	特殊災害対応指揮車ほか	
保育課	高山学園	教育政策課	杉山小学校	
収集業務課	東部環境センター	保健給食課	杉山小学校	
資源化センター	中央操作室			
観光プロモーション課	葦毛湿原			
みなと振興課	防潮ネット			
道路維持課	ダンプトラック			
住宅課	西口住宅			
公園緑地課	下地緑地ほか			
消防本部総務課	消防団植田分団 器具庫・詰所ほか			
教育政策課	青陵中学校ほか			
生涯学習課	牟呂地区市民館ほか			
美術博物館	商家「駒屋」			



## Ⅲ 特別会計

## 競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	36,442,855,858	0	0	299,508,738	36,143,347,120

### 1 競輪開催事業費 7,425,877,989 円 (競輪事務所)

#### [総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

令和6年度は、豊橋競輪場では5年振りとなるGIレース全日本選抜競輪を開催し、4日間で1万7千人を超える来場者を集めるとともに、売上も前年度の全日本選抜競輪を上回り、開催を成功させることができた。普通競輪においても、ミッドナイト競輪をはじめとしてインターネット投票の売上が好調であったため、前年度比で約42億4千万円の増加となった。単年度収支については、約19億3千万円を確保することができ、10億2千万円を一般会計に繰り出した。

施設整備については、メインスタンドのエレベーターを改修するなど、場内の整備を行った。

競輪業界では、中期基本方針に沿って競輪の持続的発展による社会還元(①機械振興、②公益増進、③地方財政の健全化)の最大化を図るための取組みを進めている。豊橋競輪場においても、老朽化の著しい北エリアのリニューアルなど、来場者や全国の競輪ファンにとって魅力のある競輪場となるよう施設整備を推進するとともに、新たな顧客層を獲得するため、広報活動等の施策に取り組み、本場開催及び場外発売を公正、安全に実施し、収益の確保に努めていく。

#### [実績及び成果]

##### (1) 市営競輪開催成績

区 分		令和5年度			令和6年度			比 較		
開催回数 日数	普通競輪	12回	20節	60日	12回	20節	60日	0.0%	0.0%	0.0%
	特別競輪	—	—	—	1	1	4	皆増	皆増	皆増
	記念競輪	1	1	4	—	—	—	皆減	皆減	皆減
	計	13	21	64	13	21	64	0.0%	0.0%	0.0%
入場者数	普通競輪	24,584人			26,292人			6.9%		
	特別競輪	—			17,389			皆増		
	記念競輪	7,467			—			皆減		
	計	32,051			43,681			36.3%		
売上高	普通競輪	20,750,351,000円			24,985,712,100円			20.4%		
	特別競輪	—			10,465,454,400			皆増		
	記念競輪	5,054,908,800			—			皆減		
	計	25,805,259,800			35,451,166,500			37.4%		

##### (2) 施設整備費 314,961,025 円

区 分	令和5年度	令和6年度
主 な 内 容	競輪場施設等整備計画改定業務 ナイター照明増設工事 メインスタンド空気調和機吸気式冷 温水機取替修繕 駐車場舗装修繕工事	メインスタンドエレベーター改修工事 競走路舗装改修工事 選手宿舍外壁防水等改修工事 大型映像装置更新 駐車場舗装修繕工事

競輪事業施設等整備基金残高

単位：千円

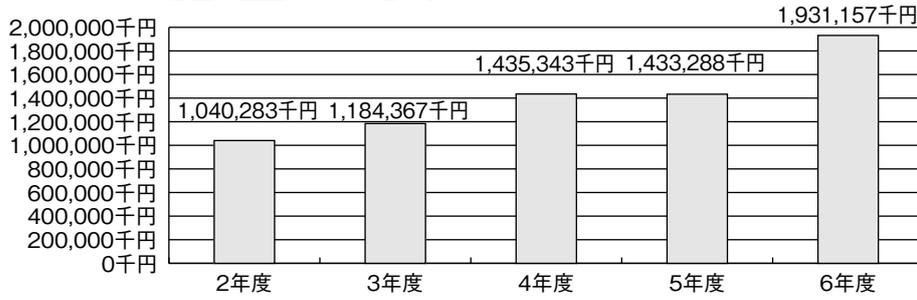
令和6年度当初	積立額	取崩し額	令和6年度末残高
3,573,375	1,412,752	284,488	4,701,639

[指標]

指標名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度実質収支

※利子以外の財政調整基金収入は歳入に含まず、一般会計繰出金及び利子以外の基金積立金は歳出に含まない



## 国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	32,565,874,406	21,896,887,734	0	128,096,800	10,540,889,872

### 1 国民健康保険給付事業費 21,534,482,252 円 (国保年金課)

[総括]

後期高齢者医療制度への移行等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により1人当たり医療給付金額は増加した。今後も医療費適正化に努めるとともに、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力し、適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

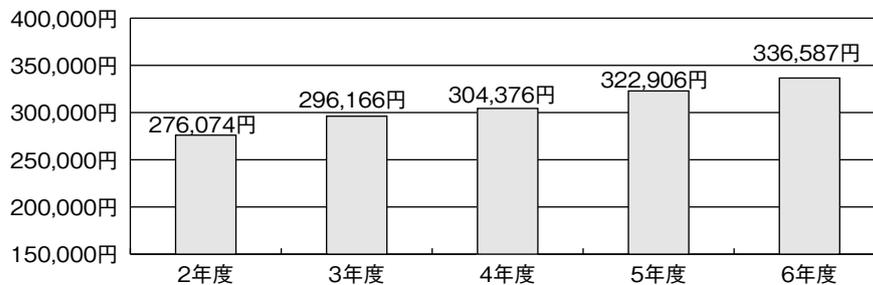
#### (1) 保険給付費 21,534,482,252 円

区 分	令和5年度		令和6年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,203,086件	21,597,588,497円	1,162,429件	21,382,025,344円
出産育児一時金給付	230	88,704,110	194	78,643,305
葬 祭 費 給 付	387	19,350,000	390	19,500,000
傷 病 手 当 金	24	373,078	1	11,259
審査支払手数料等	—	55,944,768	—	54,302,344
平均被保険者数	66,885人		63,526人	

[指標]

指標名：1人当たり医療給付金額

指標説明：(療養諸費(審査支払手数料を除く)+高額療養費+移送費)÷平均被保険者数(一般+退職)



### 2 国保税納税事務費 380,975 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。今後も収入率の向上に向け、口座振替の推進や適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

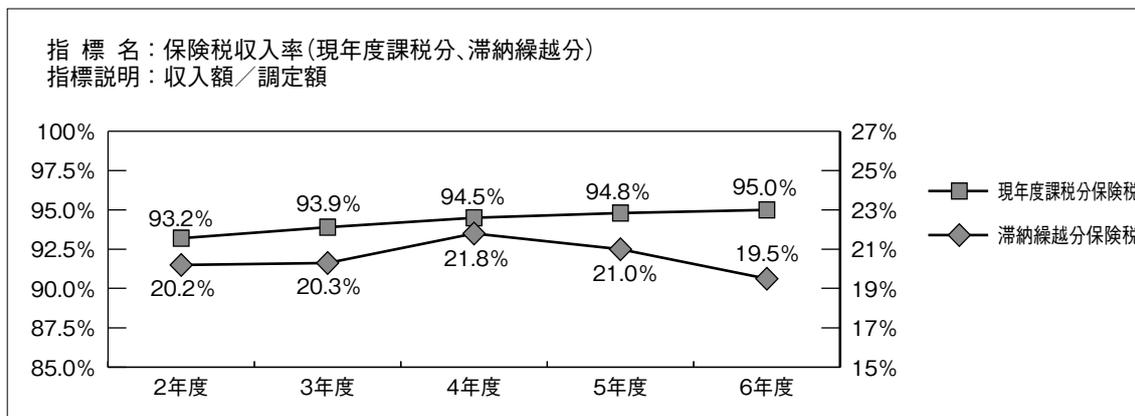
#### (1) 国保税収納整理事務費 334,200 円

現年度課税分保険税	令和5年度		令和6年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	6,707,920,900円	6,358,461,278円	6,826,072,400円	6,482,144,530円

(2) 国保税滞納整理事務費 46,775 円

滞納繰越分保険税	令和5年度		令和6年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	1,945,071,923円	407,746,275円	1,756,227,109円	343,150,938円

[指標]



3 特定健康診査等事業費 232,602,001 円 (健康増進課)

[総括]

特定健康診査では、AIを活用して、受診履歴の傾向に基づき対象者を分け、それぞれの特徴に応じたはがきやSMSによる未受診者勧奨を6回実施するとともに、若い世代に向けたYouTubeのバンパー広告による啓発を行い、受診率の向上を図った。また、特定保健指導では、40～60歳までの対象者全員に送付していた、検査値の順位付けや発症確率予測等を掲載した冊子について、対象年齢を64歳までと拡充したほか、新たに集団での特定保健指導を実施し、対象者の行動変容を促すよう努めた。今後も引き続き特定健康診査受診率向上及び特定保健指導利用者数の増加等に努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 227,272,443 円

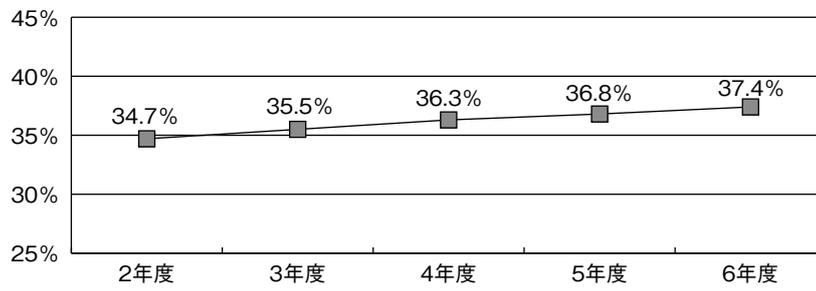
特定健康診査	令和5年度		令和6年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	52,047人	19,161人	48,821人	18,258人

(2) 特定保健指導事業費 5,329,558 円

区分		令和5年度	令和6年度
初回面接利用者数	動機付け支援	263人	247人
	積極的支援	56	49

[指 標]

指 標 名：特定健康診査受診率  
指 標 説 明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <のんほいパークの魅力向上>	1,929,693,985	30,877,000	251,000,000	17,102,574	1,630,714,411

1 総合動植物公園管理運営事業費 1,171,074,810 円 (動植物園)

[総括]

動物園開園 70 周年を迎え、記念事業として台北市立動物園の保全センター長を招聘し、シンポジウムの開催及び職員研修を実施した。また、登録博物館に認定されたことにより、今まで以上に社会教育施設としての認知度が向上した。

生物多様性の保全と動物福祉の推進として、愛知県指定の希少野生動物種であるアカハライモリ(渥美種族)の生息状況調査を行い、市内で約 50 年ぶりに再発見した。

また、新ゾウ舎整備については実施設計を行い、ゾウが暮らしやすい環境づくりのための整備計画を進めた。人が集まる環境づくりとしては、園内全域の Wi-Fi 環境整備や、来園者の憩いの場となる噴水の修繕などに取り組んだ。

こうした取組みにより、入園者については、8 月 8 日に発表された「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の影響を受けたものの、春・秋の季節イベントが盛況だったことや、国道 23 号バイパス全線開通記念のこども入園無料キャンペーンの効果もあり、歴代 3 番目の人数となった。

今後も園の魅力向上とプロモーション活動に努めるとともに、生物多様性の保全や教育普及など園の存在価値を高める活動に取り組み、持続的かつ発展的な運営に向けた経営改革を進めていく。

[実績及び成果]

[動植物公園入園状況]

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
開 園 日 数	313日	311日	△ 0.6%
入 園 者 数 (うちナイト Z O O)	延 966,789人 (延 136,558人)	延 971,290人 (延 128,493人)	0.5 (△ 5.9)
動 物 の 展 示	139種	137種	△ 1.4
	830点	814点	△ 1.9
植 物 の 展 示	2,593種	2,583種	△ 0.4
遊 具 設 置 数	14機	14機	0.0
遊 具 利 用 者 数	延 1,129,755人	延 1,113,509人	△ 1.4

[施設整備]

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
	サーバル舎整備工事 休憩所兼講義室整備工事 園内 Wi-Fi 整備 (西エリア) 西門常設駐車場拡張実施設計	新ゾウ舎・放飼場整備基本実施設計 動物資料館の解体 園内 Wi-Fi 整備 (東エリア) 西門常設駐車場拡張工事

(1) イベント企画運営事業費 48,427,900 円

(ア) ナイト ZOO の開催

内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
	開催日 (7.21~7.23、7.28~7.30、8.4、8.5、8.11 ~8.13、8.16~8.20、8.25~8.27、9.2、 9.3、9.9、9.10、9.16~9.18、9.23、9.24、 9.30、10.1) 計30日	開催日 (7.20、7.21、7.27、7.28、8.2~8.4、 8.9~8.18、8.23~8.25、9.6~9.8、9.13 ~9.16、9.20~9.23、9.27~9.29) 計34日

(イ) 四季イベント等の開催

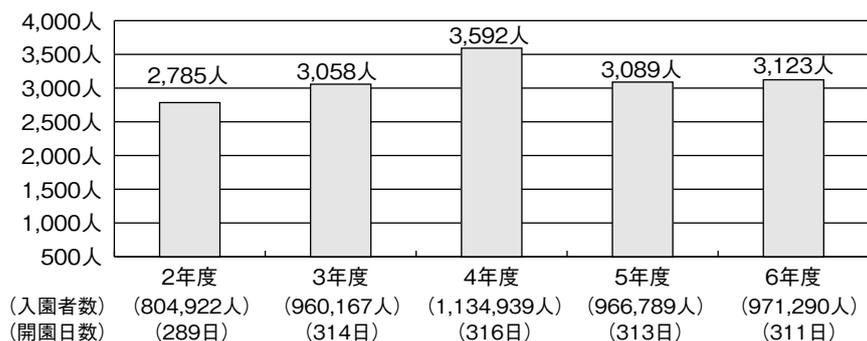
内 容	令和 5 年度	令和 6 年度
	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29~5.7) ・秋のイベント (10.14~11.26) ・クリスマス、新春イベント (12.16~2.25) ・春のイベント (3.16~3.31) ・夜のゆうえんち (5.20、5.21、5.27、5.28、11.4、 11.11、11.18、11.25) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (11.18、12.23) ・大型商業施設とのイベント (8.1~20、9.4~17、11.23~26、 3.29~31)	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.27~5.6) ・秋のイベント (10.12~12.1) ・クリスマス、新春イベント (12.14~2.24) ・春のイベント (3.15~3.31) ・夜のゆうえんち (5.11、5.12、5.18、5.25、5.26、 11.9、11.23) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (7.20、12.22) ・大型商業施設とのイベント (4.1~7、6.29~7.21、10.12~10.31、 11.22 ~ 12.1)

(ウ) シティプロモーションの推進

	令和5年度	令和6年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.29、7.21、8.25、2.17、3.30)</li> <li>○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1)</li> <li>○ 新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.10)</li> <li>○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフラッグ設置 (7.15～8.31)</li> <li>○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのデジタルサイネージ (9.1～9.30)</li> <li>○ PTA新聞「愛知のPTA」（西三河地区） (4.1、7.1)</li> <li>○ インターネット広告 (7.14～8.4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.27、7.27、8.31、2.22、3.29)</li> <li>○ 豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1)</li> <li>○ 新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.9)</li> <li>○ 豊橋駅東西自由連絡通路でのデジタルサイネージ (8.1～9.29)</li> <li>○ 機関紙掲載 (PTA新聞「愛知のPTA」西三河地区 4.1、7.1、3.1、聖教新聞全国 7.13)</li> <li>○ インターネット広告 (7.16～7.31)</li> </ul>

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園1日当たりの入園者数  
 指標説明：入園者数／開園日数



## 公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 ＜交通環境の保全＞	210,822,253	0	0	1,114,972	209,707,281

### 1 公共駐車場管理運営事業費 154,287,253 円 (土木管理課)

#### [総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。令和6年度は施設の長寿命化計画に沿って、駅前大通公共駐車場(第1)において老朽化した排気ファンの更新などを行ったほか、安全性向上のため、松葉公園地下駐車場においてエレベーターの更新などを実施した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

#### [実績及び成果]

#### (1) 公共駐車場管理運営事業費 154,287,253 円

区 分	令和5年度	令和6年度
施設管理費	17,261,888円	38,920,353円
指定管理料	74,335,000	81,939,000
施設整備費	0	33,427,900

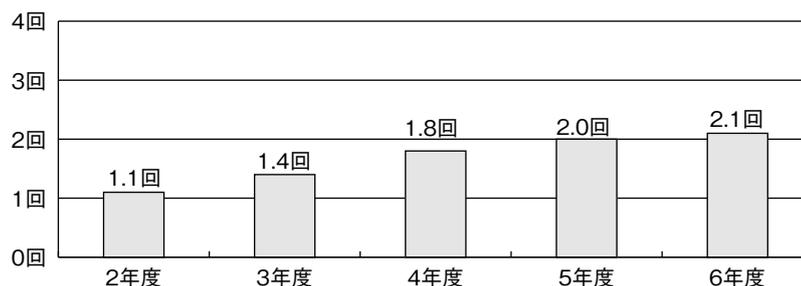
#### [利用状況]

区 分	令和5年度			令和6年度		
	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間
駅前第1公共駐車場	99,646台	272台	40分	113,014台	310台	39分
駅前第2公共駐車場	170,196	465	92	173,366	475	97
松葉公園地下駐車場	69,325	189	126	76,148	209	129

※普通駐車は夜間駐車、打ち切り料金及び定期利用を除く

#### [指標]

指標名：公共駐車場1日平均回転率  
 指標説明：1日平均利用台数／駐車場収容台数



母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等への支援の充実>	13,691,193	0	510,000	8,175,811	5,005,382

1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 13,691,193 円 (子育て支援課)

[総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、ひとり親家庭等の福祉増進を目的として、「現に20歳未満の児童を扶養している、配偶者のない女子または男子」、「かつて配偶者のない女子として児童を扶養していたことのある、配偶者のない女子」及び「父母のいない20歳未満の児童」等に対して貸付を行うものであり、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

今後も、ひとり親家庭等の経済的自立や生活の向上を図るため、貸付制度の周知を図り、活用を促していく。

[実績及び成果]

(1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 13,691,193 円

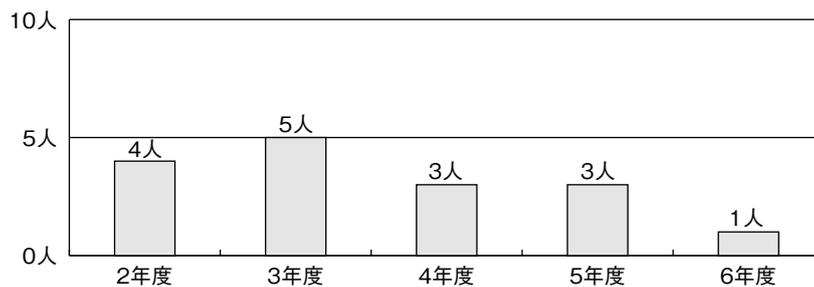
[貸付状況]

区 分	令和5年度	令和6年度
母子福祉資金貸付件数	3件	1件
父子福祉資金貸付件数	0	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	3	1
母子福祉資金貸付金額	1,650,000円	510,000円
父子福祉資金貸付金額	0	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	1,650,000	510,000

[指標]

指標名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



## 後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	10,834,126,629	0	0	277,401,011	10,556,725,618

### 1 後期高齢者医療事務費 113,770,291 円 (国保年金課)

[総括]

愛知県後期高齢者医療広域連合とともに、適正な資格管理、保険給付を行った。また、保険料未納者へ催告や臨戸訪問を行うとともに、必要に応じ滞納整理を行い、収入率の向上につなげた。今後も後期高齢者医療制度の安定運営に努めていく。

[実績及び成果]

#### (1) 窓口事務費 98,902,735 円

被 保 険 者 数	令和5年度	令和6年度	比 較
		54,976人	56,765人

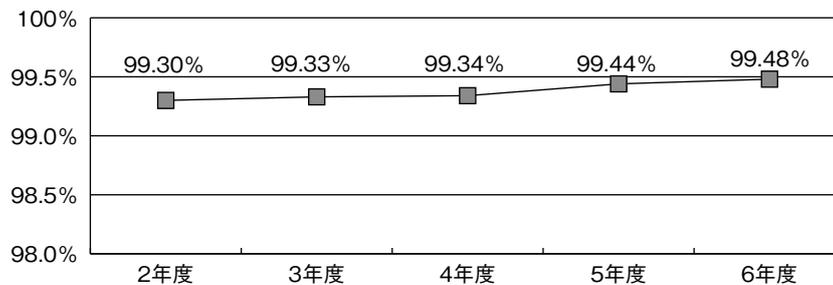
※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

#### (2) 徴収事務費 14,867,556 円

区 分		令和5年度	令和6年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	42,533人	43,532人	2.3%
	普通徴収	12,443	13,233	6.3
督促状発付件数		5,042件	6,008件	19.2
口座振替利用者数(普通徴収)		7,410人	8,099人	9.3

[指標]

指標名：保険料収入率  
指標説明：収入済額／調定額



2 保健事業費

210,284,691 円（国保年金課・健康増進課）

[総括]

病気の予防及び早期発見のため、健康診査を実施するとともに、集団健診会場において、フレイル予防や骨粗しょう症予防、高血圧対策等生活習慣病予防のための個別教育を行った。また、高齢者の口腔機能の維持・向上を図るため、76歳を対象として歯科健康診査を行った。今後も引き続き健康診査及び歯科健康診査の受診率向上に努め、フレイル予防の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 健康診査事業費 202,430,738 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
受 診 者 数	16,843人	17,674人	4.9%

(2) 歯科健康診査事業費 5,027,052 円

区 分	令和5年度	令和6年度	比 較
受 診 者 数	873人	827人	△ 5.3%

[指 標]

